

平成 30 年度

植物防疫年報

三重県病害虫防除所

三重県内で発生が目立った病害虫

トマト黄化病

(病害虫発生特殊報第1号、平成30年6月20日発表)



(写真1) 下位葉から中位葉の黄化症状



(写真2) 葉の退緑黄化 (提供: 三重農研)



(写真3) トマト黄化病の初期病徴



(写真4) 苦土欠乏症の黄化 (提供: 三重農研)

目 次

I	病虫害防除所の組織と業務	1
1.	病虫害防除所の業務内容	1
2.	病虫害防除所の組織図	1
II	病虫害防除員の設置及び活動状況	4
1.	病虫害防除員の配置	4
2.	病虫害防除員の活動状況	5
III	病虫害発生予察に関する業務	6
1.	病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物	6
(1)	指定有害動植物名	6
(2)	指定外有害動植物名	6
2.	病虫害発生予察の調査圃場	7
(1)	県予察圃場	7
(2)	予察灯・トラップ	7
(3)	その他の調査圃場	7
(4)	ミバエ類等侵入警戒調査圃場	10
(5)	火傷病侵入警戒調査圃場	10
(6)	調査地点図	11
3.	作物別の病虫害発生状況	12
(1)	水稲	12
(2)	麦類	16
(3)	大豆	17
(4)	果樹	19
(5)	茶	25
(6)	野菜	27
(7)	全作物一覧	28
4.	病虫害の発生面積と防除面積	32
5.	発行された予察情報	35
(1)	発生予察情報の一覧	35
(2)	予報	36
(3)	特殊報	85
(4)	注意報	85
(5)	技術情報	86
IV	事業関係の試験成績	91
1.	診断対策	91
(1)	灰色かび病の薬剤感受性検定	91

(2) ミカンハダニの薬剤感受性検定	94
V 農薬の指導に関する業務	96
1. 農薬危害防止対策	96
(1) 農薬危害防止運動の実施	96
(2) 農薬安全使用講習会の開催状況	96
(3) ゴルフ場の調査点検実施状況	97
(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況	98
2. 無人航空機による空中散布の実施状況	101
VI 各種データ	102
1. トラップ等データ	102
(1) 予察灯	102
(2) フェロモントラップ	115
(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査	118
(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査	119
(5) ミバエ類等侵入警戒調査	120
(6) 火傷病侵入警戒調査	121
2. 巡回等データ	122
(1) 水稲	122
(2) 麦類	133
(3) 大豆	134
(4) 果樹	136
(5) 茶	157
(6) 野菜	166
3. 気象データ	180
(1) 気象概況	180
(2) 旬別気象表	181
(3) 気象グラフ	182

I 病虫害防除所の組織と業務

1. 病虫害防除所の業務内容

植物防疫法関係	発生予察業務	病虫害発生事業に関すること 病虫害発生予察情報の発行に関すること
	防除指導業務	病虫害防除の企画・調査・指導に関すること 病虫害防除員に関すること 航空防除に関すること
農薬取締法関係	農薬安全対策業務	農薬適正使用啓発・登録情報に関すること 農薬使用者・取扱者の指導・取締に関すること ゴルフ場の農薬安全使用指導等に関すること 農薬管理指導士に関すること

2. 病虫害防除所の組織図

(1) 事務の体制



発生予察従事職員

農業研究所	農産物安全安心研究課	主査研究員	中嶋 香織
茶業研究室		研究員	菅谷 耕紀
伊賀農業研究室		主幹研究員兼課長	近藤 宏哉
紀南果樹研究室		研究員	駒田 達哉

(2) 発生予察の体制

所外からの情報 → 病虫害防除所

ア. 調査依頼

発生予察従事職員

・農業研究所 4人

病虫害防除員

・市町 29人

・共済 7人

・広域 7人

予察灯調査委託

・県予察灯 2人

ア. 調査・研究

・県予察圃場

・地区予察圃場

・巡回調査圃場

・侵入警戒調査圃場

イ. 検討

・所内検討会

・三重県病虫害

発生予察警報

発令検討会等

イ. 情報検討

病虫害発生予察情報会議

・農産園芸課

・病虫害防除所

・中央・地域農業改良普及センター

・農業研究所

・農業共済組合・その他関係機関

ウ. 情報交換

植物防疫関係諸会議

・農林水産省関連

・日本植物防疫協会(JPP)関連

予察用の主な機器類 ()は導入年度

・予察灯 6台(H16、21、22、23、24、28)

・人工気象器 1台(H7)

・定温恒温器 1台(H30)

・光学顕微鏡 1台(S61)

・実体顕微鏡 1台(S61)

・乾燥器 1台(S61)

→ 情報の発信

ア. 情報提供先等

	県内					県外	
	農業者	防除員	農業団体	市町	県機関	国機関	他県
予報	AD E	AB	AB	A	A	A C	C
技術情報	E	AB	AB	A	A	A C	C
報告						A C	

イ. 情報の内容

予報:発生予報、注意報、警報、特殊報

技術情報:防除に関する情報

報告:現況報告、年次報告

ウ. 発信の方法

A:eメール、ファックス

B:郵送、運搬

C:JPP-NET(植物防疫情報総合ネットワーク)および発生予察集計プログラム(農林水産省)

D:報道機関(農産園芸課・病虫害防除所)

E:ホームページ

Ⅱ 病虫害防除員の設置及び活動状況

1. 病虫害防除員の配置

(1) 配置状況(所属別地域別配置人数)

地区	市町	農業共済組合等	広域	合計
桑名	4	1	1	6
四日市鈴鹿	6	1	1	8
津	1	1	1	3
松阪	4	1	1	6
伊勢志摩	7	1	1	9
伊賀	2	1	1	4
紀州	5	1	1	7
合計	29	7	7	43

(2) 病虫害防除員所属

①市町関係(29名)

市町名	所属	市町名	所属
桑名市	農林水産課	伊勢市	農林水産課
いなべ市	農林振興課	玉城町	産業振興課
木曾岬町	産業課	南伊勢町	水産農林課
東員町	産業課	大紀町	農林課
四日市市	農水振興課	度会町	産業振興課
菰野町	観光産業課	鳥羽市	農水商工課
朝日町	産業建設課	志摩市	農林課
川越町	産業建設課	伊賀市	農林振興課
鈴鹿市	農林水産課	名張市	農林資源室
亀山市	産業振興課	尾鷲市	水産農林課
津市	農林水産政策課	紀北町	農林水産課
松阪市	農水振興課	熊野市	農業振興課
明和町	農水商工課	御浜町	産業建設課
多気町	農林課	紀宝町	産業建設課
大台町	産業課		

②農業共済組合(7名)

組合名
三重県農業共済組合 桑員支所
三重県農業共済組合 三泗鈴亀支所
三重県農業共済組合 津支所
三重県農業共済組合 松阪飯多支所
三重県農業共済組合 伊勢地域支所
三重県農業共済組合 伊賀名張支所
三重県農業共済組合 東紀州支所

③広域関係(7名)

担当地域名	氏名
桑員地域	水谷 重一
鈴亀地域	平野 三男
津市地域	河野 満
松阪飯多地域	小林 雅彦
伊勢地域	福井 敏
伊賀地域	谷口 雄
東紀州地域	菊山 竜二

2. 病虫害防除員の活動状況

(1) 主な活動内容

①防除指導

水稲等の共同・空中防除の打ち合わせや薬剤散布に必要な応じて立ち会い、適切な広報活動及び防除指導を行った。また、病虫害防除所から発表された予報・注意報等の病虫害発生予察情報の広報を適宜行った。

②病虫害発生状況調査

管内の巡回調査を行い、水稲、麦、大豆、野菜等の病虫害発生状況の把握に努めた。また、広域病虫害防除員は担当地域の巡回調査で農家に対して聞き取り調査を行った。

③農薬安全使用指導

広報誌への掲載等を通じて農薬の適正使用の啓発に努めた。

④関係機関との打ち合わせ

共同防除、空中防除、防除歴作成等のため、JAや農業共済、農業改良普及センター等と適宜連携を図った。

⑤講習会・協議会

病虫害防除所が主催した植物防疫技術研修会等に参加し、最新の技術と情報の収集に努めた。

(2) 活動実績

(一人当たり平均、単位:時間)

防除指導	病虫害発生 状況調査	農薬安全 使用指導	関係機関との打 ち合わせ	講習会 協議会	その他	合計
14.5	35.8	1.6	5.5	6.9	2.7	66.7

Ⅲ 病虫害発生予察に関する業務

1. 病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物

(1) 指定有害動植物名(植物防疫法 22 条) (延 109 種)

区分	作物名	対象病虫害名
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、稲こじ病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤガ
	ムギ	うどんこ病、赤かび病
	ダイズ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、プチヒゲカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類(ミカンハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ)
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アザミウマ類(カキクダアザミウマ)、カイガラムシ類(クワコナカイガラムシ)
	ナシ	黒星病、シンクイムシ類(ナシヒメシクイ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ナシノアブラムシ、ナシミドリオオアブラムシ、モモアカアブラムシ)
	ブドウ	べと病、晩腐病
茶	チャ	炭疽病、ハダニ類(カンザワハダニ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、チャノホソガ
野菜	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、コナジラミ類(オンシツコナジラミ、タバココナジラミ)、オオタバコガ
	ハクサイ	アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ
	キャベツ	黒腐病、菌核病、コナガ、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシ)、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類(ネギアブラムシ)、アザミウマ類(ネギアザミウマ)、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ
	イチゴ	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類(ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、オオタバコガ

(2) 指定外有害動植物名(植物防疫法第 31 条) (延 62 種)

区分	作物名	対象病虫害名
普通作物	イネ	白葉枯病、苗立枯病、萎縮病、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、アワヨトウ、イナゴ類、イネシンガレセンチュウ
	ムギ	さび病類、縞萎縮病、黒穂病類、ムギアカタマバエ、アブラムシ類
	ダイズ	紫斑病、コガネムシ類(マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイ)、シロイチモジマダラメイガ
果樹	カンキツ	褐色腐敗病、ヤノネカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ミカンハモグリガ、アカマルカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	カキ	うどんこ病
	ナシ	赤星病、うどんこ病、輪紋病、クワコナカイガラムシ、アブラムシ類
	ブドウ	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、クワコナカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	ウメ	黒星病、かいよう病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ
茶	チャ	もち病、輪斑病、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、クワシロカイガラムシ、ヨモギエダシヤク
野菜	トマト	黄化葉巻病、ハモグリバエ類、すすかび病、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ハクサイ	軟腐病、白斑病、べと病、モンシロチョウ
	キャベツ	根こぶ病、モンシロチョウ
	ネギ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギコガ、ヨトウムシ類

2. 病虫害発生予察の調査圃場

農作物の栽培地帯における病虫害の発生及び被害を的確に予想し、その地帯の防除作業の実施に寄与するために、県予察圃場、地区予察圃場、巡回調査圃場、侵入調査圃場を設置し、調査を実施する。

(1) 県予察圃場 (3 地点 7 圃場)

作目	設置場所	設置数	備考
イネ	農業研究所	1	コシヒカリ
カンキツ	紀南果樹研究室	1	紀南果樹研究室担当
チャ	茶業研究室	1	茶業研究室担当
秋冬ハクサイ	農業研究所	1	
冬キャベツ、春キャベツ	〃	2	
ネギ	〃	1	

(2) 予察灯・トラップ (8 地点 22 箇所)

作目	設置場所	設置数	備考
予察灯	農業研究所	2	イネ、畑作物
	紀南果樹研究室	1	カンキツ
	伊賀農業研究室	1	イネ
	紀北町島原	1	イネ
	御浜町上野	1	イネ
フェロモントラップ	農業研究所	13	ニカメイガ(水田)、ハスモンヨトウ(畑)、コナガ(畑)、ネギコガ(畑)、チャノコカクモンハマキ(ナシ園)、チャハマキ(ナシ園)、ナシヒメシンクイ(ナシ園)、シロイチモジヨトウ(畑)、オオタバコガ(畑)、チャバネアオカメムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ
	林業研究所	2	チャバネアオカメムシ(場内・山林内)
	多気町矢田	1	チャバネアオカメムシ

(3) その他の調査圃場 (地区予察圃場 41 地点 41 圃場、巡回圃場 140 地点 368 圃場) 地点数は重複有り

県予察圃場の他に、地区予察圃場と巡回調査圃場で調査を行っている。

地区予察圃場は、農作物の中心地帯に農作物の種類ごとに設置した。この圃場における調査は、その地帯における病虫害の発生状況を把握するとともに、病虫害の発生に関与する各種の条件がどのように影響したかを検討する資料を得るために行なう。

巡回調査圃場は、病虫害の発生が類似した地点ごとに任意に抽出した圃場、あるいは地帯区分せずに系統抽出等によって抽出した圃場について定量的観察を行うとともに、管内を巡回して定性的観察を行うために設置する。以下の表中で、地区予察圃場の地名は太字で示してある。

- ① イネ 59 地点 236 圃場(地区予察圃場 19 地点 19 圃場＝19 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 59 地点 217 圃場＝40 地点各 4 圃場＋地区予察圃場 19 地点併置の各 3 圃場)

地区	設置場所
桑名	いなべ市北勢町阿下喜 いなべ市大安町高柳、いなべ市藤原町川合、桑名市坂井、桑名市多度町小山、桑名市長島町平方、東員町瀬古泉、木曾岬町小林
四日市鈴鹿	菰野町竹成、亀山市山下町、四日市市下海老町、鈴鹿市矢橋町、鈴鹿市御菌町 四日市市高角町、四日市市山田町、四日市市水沢野田町、四日市市茂福、亀山市太森町、鈴鹿市石薬師町、鈴鹿市津賀町
津	津市安濃町草生、津市安東町、津市一志町井生 津市芸濃町北神山、津市雲出本郷町、津市大里窪田町、津市美里町家所、津市戸木町、津市白山町川口
松阪	松阪市美濃田町、多気町兄国、明和町坂本 松阪市嬉野下之庄町、松阪市藤之木町、松阪市清水町、松阪市西黒部町、多気町朝柄、明和町明星
伊勢志摩	伊勢市円座町、玉城町蚊野、志摩市磯部町下之郷 伊勢市上地町、伊勢市西豊浜町、伊勢市楠部町、伊勢市小俣町相合、度会町牧戸、鳥羽市松尾町、南伊勢町泉
伊賀	伊賀市大野木、伊賀市甲野 伊賀市羽根、伊賀市岡田、伊賀市中柘植、伊賀市馬田、名張市東田原
紀州	紀北町島原、熊野市飛鳥町 御浜町下市木、紀宝町大里

- ② 29 年産コムギ 9 地点 36 圃場(巡回調査圃場 9 地点 36 圃場＝9 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町片樋	松阪	松阪市藤之木町、多気町兄国
四日市鈴鹿	菰野町池底、鈴鹿市下大久保町	伊勢志摩	伊勢市西豊浜町
津	津市殿村	伊賀	伊賀市西之澤、伊賀市畑村

- ③ ダイズ 8 地点 32 圃場(巡回調査圃場 8 地点 32 圃場＝8 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町大井田	松阪	松阪市藤之木町、松阪市保津町
四日市鈴鹿	四日市市江村町、鈴鹿市下大久保町	伊賀	伊賀市木興町、伊賀市千戸
津	津市白山町川口		

- ④ カンキツ 12 地点 13 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 10 地点 11 圃場=9 地点各 9 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	桑名市多度町小山(1)	伊勢志摩	南伊勢町船越(1)、五ヶ所浦(1)、泉(1)
津	津市大里窪田町(1)	紀州	紀北町海野(1)、熊野市久生屋町(1)、御浜町下市木(1)・阿田和・中立(2)、紀宝町大里(1)
松阪	多気町五桂(1)、松阪市小阿坂町(1)		

- ⑤ カキ 2 地点 4 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 2 地点 2 圃場=地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
松阪	松阪市嬉野川北町(2)	伊勢志摩	玉城町蚊野(2)

- ⑥ ナシ 6 地点 7 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 3 地点 4 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市下海老町(1)	伊勢志摩	玉城町富岡(1)
津	津市久居小野辺町(1)、津市香良洲町(1)	伊賀	伊賀市羽根(2)
松阪	松阪市笹川町(1)		

- ⑦ ブドウ 5 地点 8 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 5 地点 6 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市久居明神町(1)	伊賀	伊賀市森寺(2)、伊賀市上之庄(2)、名張市下小波田(2)
伊勢志摩	玉城町勝田(1)		

- ⑧ ウメ 4 地点 4 圃場(巡回調査圃場 4 地点 4 圃場=4 地点各 1 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市片田田中町	紀州	御浜町中立、紀宝町大里
伊勢志摩	南伊勢町船越		

- ⑨ チャ 6 地点 18 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 6 地点 15 圃場=2 地点各 3 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 3 地点併置の 7 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(3)、鈴鹿市山本町(4)、亀山市太森町(3)	伊勢志摩	度会町棚橋・牧戸(2)
松阪	大台町柝原(3) 松阪市飯南町粥見(3)		

⑩ 野菜 47 地点 53 圃場 (地区予察圃場 10 地点 10 圃場、巡回調査圃場 37 地点 43 圃場)

表中の(数字)は圃場数

野菜名	地区	設置場所	地区予察圃場	巡回調査圃場
冬春トマト	桑名 四日市鈴鹿 松阪 伊勢志摩	木曾岬町見入(1)、 木曾岬町源緑輪中 (1)、桑名市長島町(1) 四日市市貝家町(1) 松阪市嬉野一志町(1)、明和町佐田(1) 伊勢市小俣町相合(1)	1 地点 1 圃場	6 地点 6 圃場
冬ハクサイ	四日市鈴鹿 津 松阪	四日市市水沢町 (2)、四日市市下海老町(2)、 鈴鹿市国分町 (2) 津市一志町(2) 多気町丹生(1)、明和町志貴(1)	2 地点 2 圃場	6 地点 8 圃場
冬キャベツ	四日市鈴鹿 津 松阪 伊勢志摩	四日市市平尾町 (1)、四日市市下海老町(1)、四日市中野町(1)、 鈴鹿市国府町(2) 津市芸濃町椋本 (1)、津市北河路町(1)、津市久居野口町(1)、 津市新家町(1) 松阪市嬉野森本町(1) 玉城町岡出(1)	3 地点 3 圃場	11 地点 14 圃場
春キャベツ	四日市鈴鹿 津	四日市市下海老町(1)、四日市市赤水(1) 津市川方町 (2)、津市新家町(2)		
青ネギ	松阪 伊勢	松阪市柿木原町(1) 伊勢市東豊浜町 (1)、伊勢市小俣(2)	1 地点 1 圃場	2 地点 3 圃場
白ネギ	鈴鹿 松阪	鈴鹿市岸田町 (1)、鈴鹿市椿一宮町(1) 明和町佐田(1)、多気町東池上(1)	1 地点 1 圃場	3 地点 3 圃場
冬春イチゴ	津 松阪 伊勢志摩	津市芸濃町椋本(1)、津市一志町石橋(1)、津市雲出長常町(1) 松阪市藤之木町 (1)、松阪市曾原町(1)、松阪市嬉野権現前町(1)、 松阪市新開町(1) 玉城町勝田 (1)、玉城町岩出(1)、伊勢市小俣町相合(1)、 鳥羽市堅神町(1)、 志摩市磯部町栗木広 (1)	2 地点 2 圃場	9 地点 9 圃場

(4)ミバエ類等侵入警戒調査圃場(6 地点)

果樹等に多大の被害をもたらすミバエ類の侵入警戒のために誘引トラップを設置する(4~10 月)。

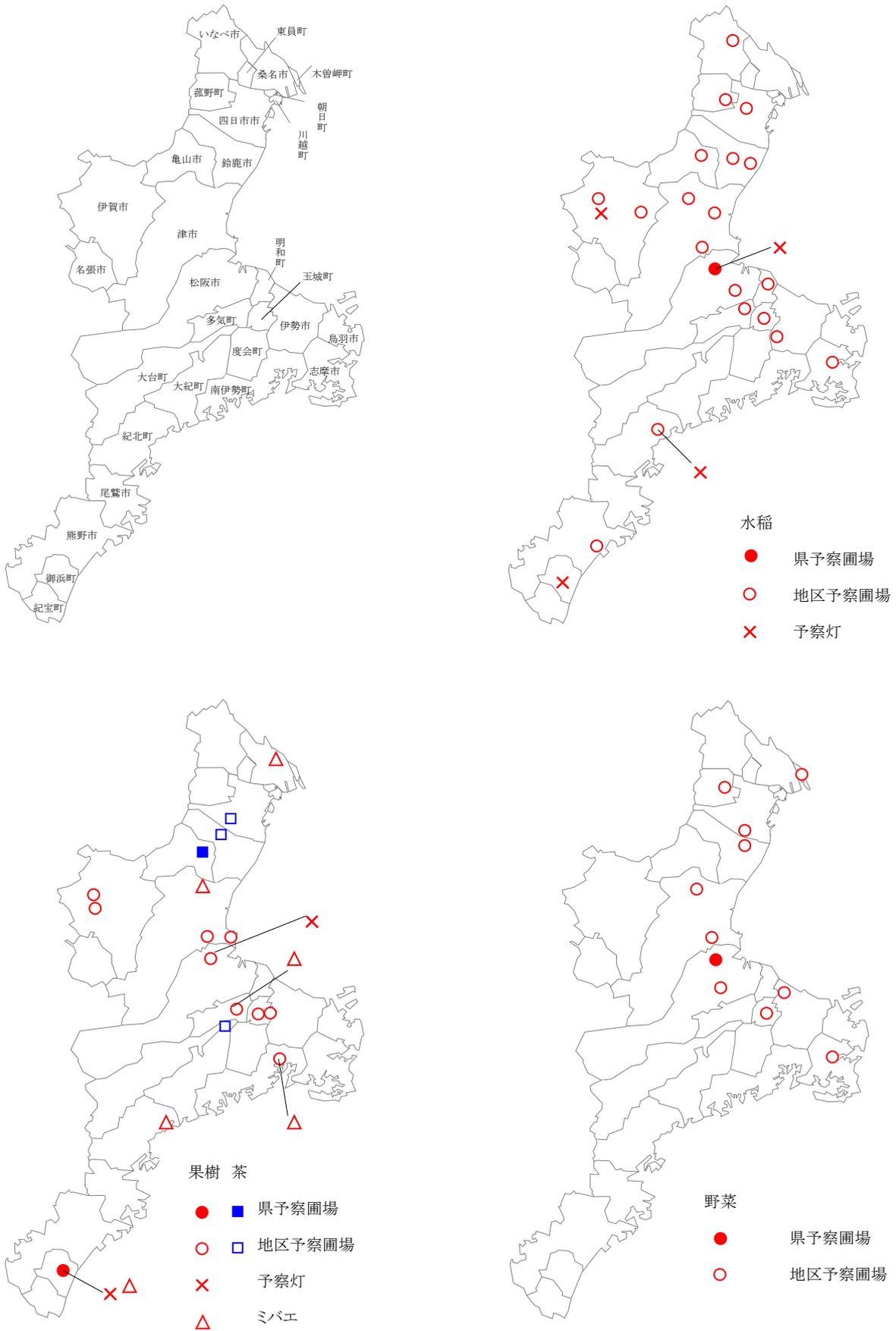
地区	設置場所	ウリミバエ・ミカンコミバエ種群 (ユーゲルア D8)	チチュウカイミバエ (メドフライコール)
桑名	桑名市多度町小山	○	○
津	津市大里窪田町	○	○
松阪	多気町五桂	○	○
伊勢志摩	南伊勢町船越	○	○
紀州	紀北町海野	○	○
	御浜町志原(紀南果樹研究室)	○	○

(5)火傷病侵入警戒調査圃場(7 地点)

寒冷地のリンゴ等に多大の被害をもたらす火傷病の侵入警戒のために巡回調査を実施する(4~9 月)。

調査樹	地区	設置場所
日本ナシ	四日市鈴鹿	四日市市下海老町
	津	津市久居小野辺町、津市香良洲町
	松阪	松阪市笹川町
	伊勢	玉城町富岡
	伊賀	伊賀市羽根
ナメモチ	四日市鈴鹿	鈴鹿市高塚町

(6) 調査地点図



3. 作物別の病虫害発生状況

(1) 水稲

a 生育状況

(a) 育苗期

今回巡回調査を行った県内 20 育苗施設における、ばか苗病の発生状況について、発生施設率は 35%で、昨年(50%)より低く、発生箱率も 0.3%と昨年(2.5%)より低かった。その他の病虫害の発生も平年より少い傾向であった。

生育は概ね順調に推移したが、夜温が確保できなかった施設では苗丈がやや短くなった。

(b) 移植～活着期

移植期に気温が低かったため活着がやや遅れた、また植え傷みにより生育が遅れた地域があった。

5 月以降は晴れた日が多く、気温が平年より高めで推移した。このため、初期生育は平年並に確保された。草丈、茎数が多く、生育の進捗も平年より 2 日早く推移した。

(c) 分けつ期

6 月中旬の気温は平年より低く推移したが、下旬は気温が高かった。日照時間は中旬において平年並～少だったが下旬はかなり多くなった。そのため、草丈が長く茎数は多く、生育の進捗は平年より 3～4 日早くなった。

(d) 幼穂形成期～出穂期

7 月上旬の気温は平年より高く、中旬以降も高温が続いた。生育はさらに早まり、出穂期は平年より 4～5 日早くなった。早生品種の出穂時期に、最高気温が 35℃を超える日が続いた。

(e) 登熟期

8 月に入ってから記録的な高温が続き、登熟期間が短くなった。そのため、粒の肥大に影響するとともに、高温障害による白未熟粒の発生が多く、県内全域で品質低下が見られた。

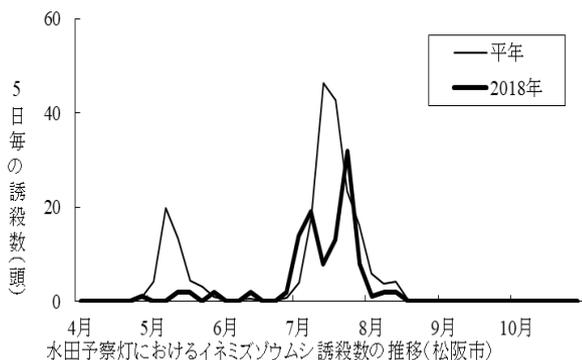
(f) 作柄

収量は 499kg/10a、作況指数 100 であったが、コシヒカリの 1 等米比率は 18.7%と昨年(29.8%)を下回った。

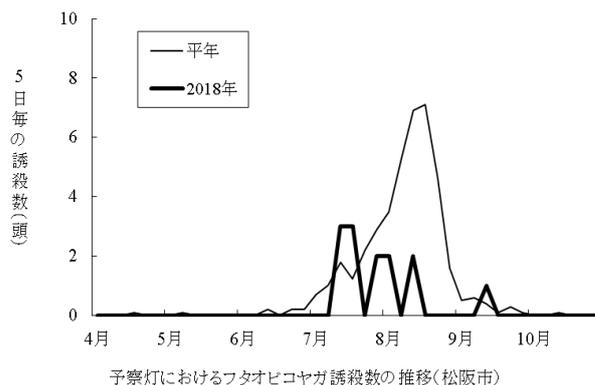
b 病虫害の発生状況

(a) 予察灯での誘殺状況(水田は 60 ワット白熱灯、畑地は 100 ワット水銀灯)

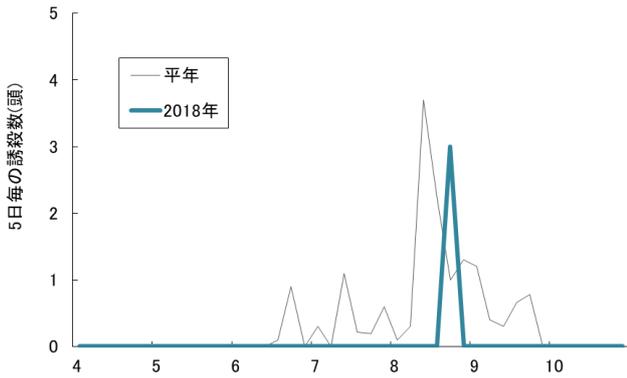
・イネミズゾウムシ



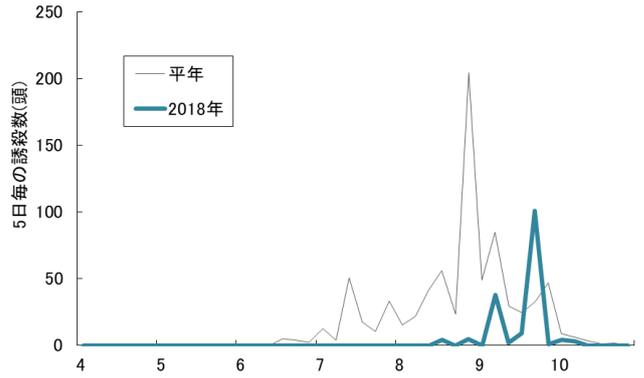
・フタオビコヤガ



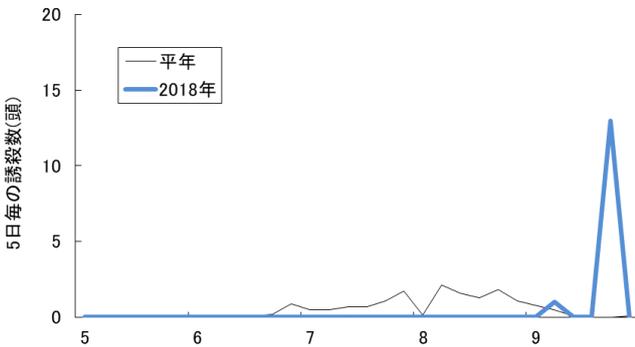
・セジロウんか



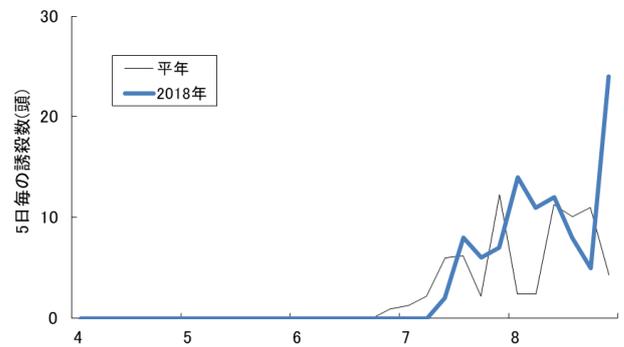
月. 半旬
水田予察灯におけるセジロウんかの誘殺数
(松阪市 60W白熱灯)



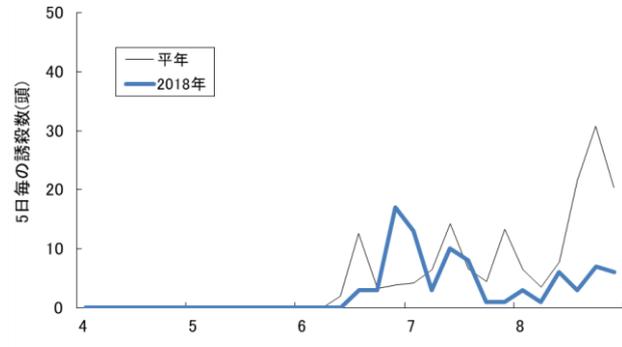
月. 半旬
畑予察灯におけるセジロウんかの誘殺数
(松阪市 60W白熱灯)



月. 半旬
水田の予察灯におけるセジロウんかの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)

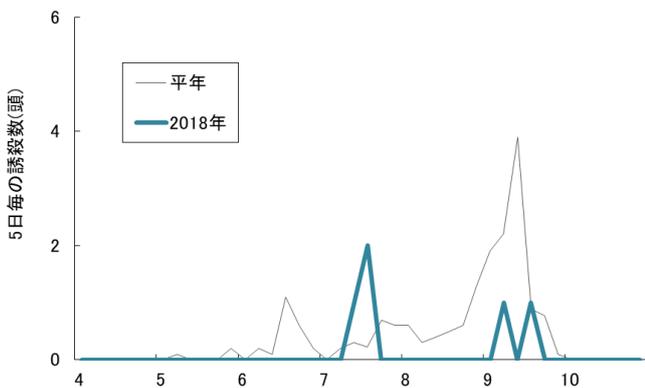


月. 半旬
水田の予察灯におけるセジロウんかの誘殺数
(紀北町 60W白熱灯)

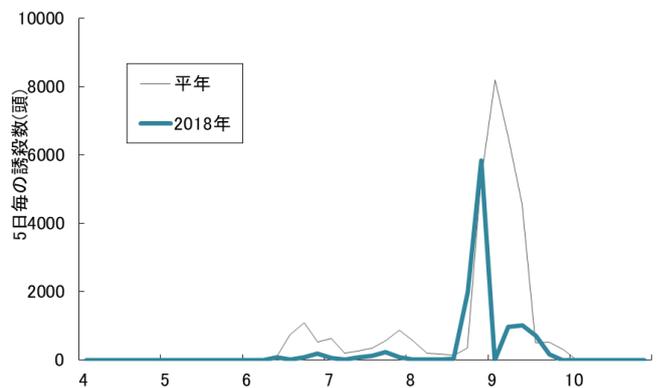


月. 半旬
水田の予察灯におけるセジロウんかの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

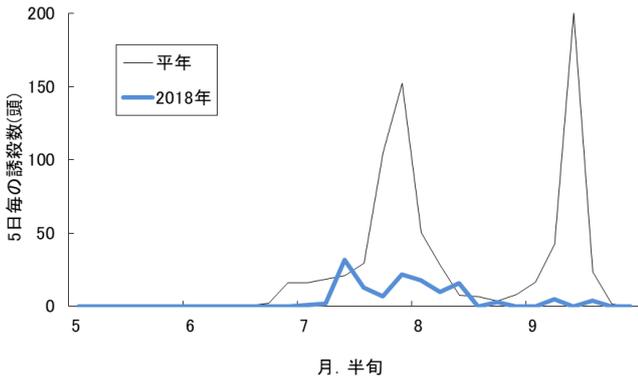
・ツマグロヨコバイ



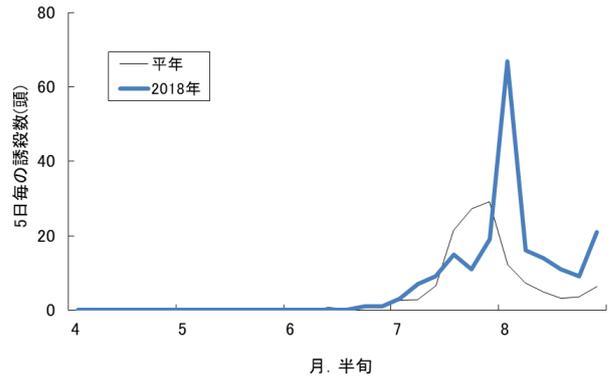
月. 半旬
水田予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(松阪市 60W白熱灯)



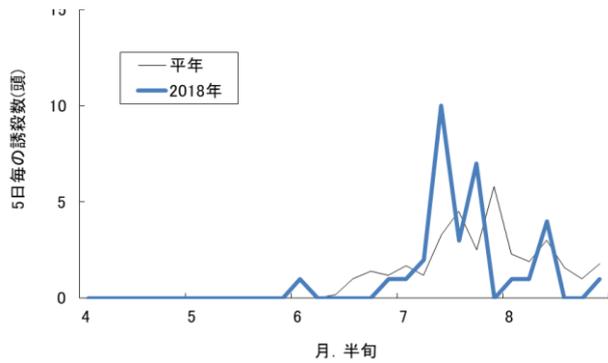
月. 半旬
畑予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(松阪市 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)

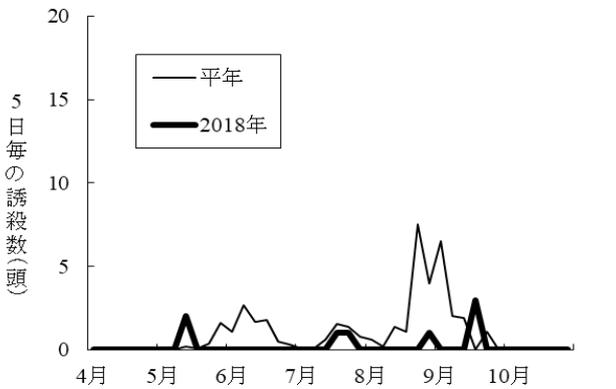


水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(紀北町 60W白熱灯)

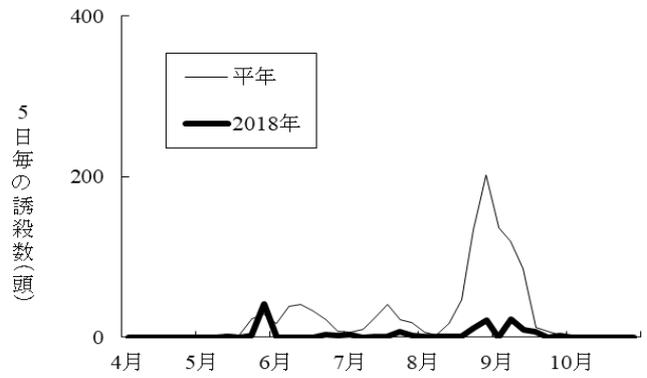


水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

・イネクロカメムシ

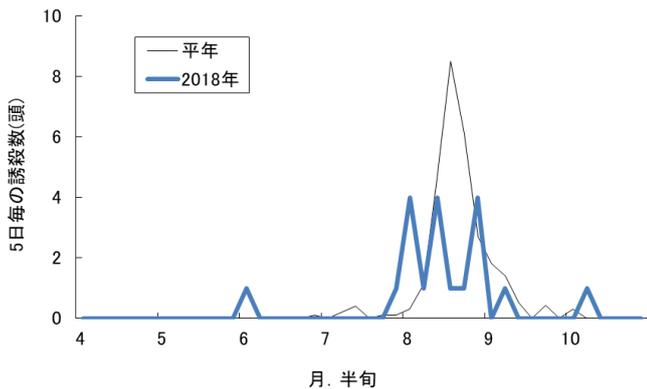


水田の予察灯におけるイネクロカメムシ誘殺数の推移(松阪市)



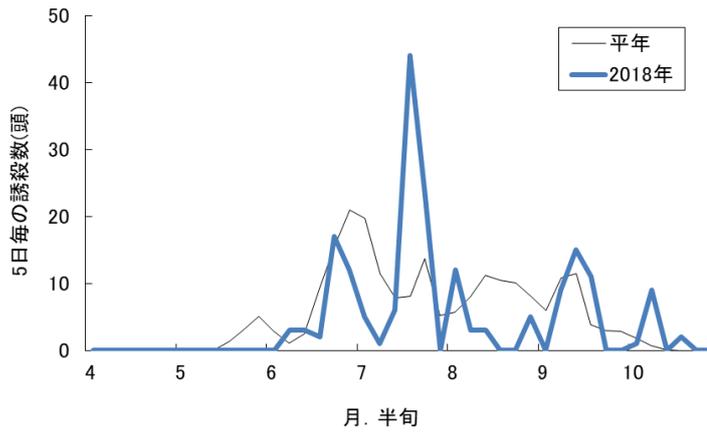
畑地の予察灯におけるイネクロカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・クモヘリカメムシ



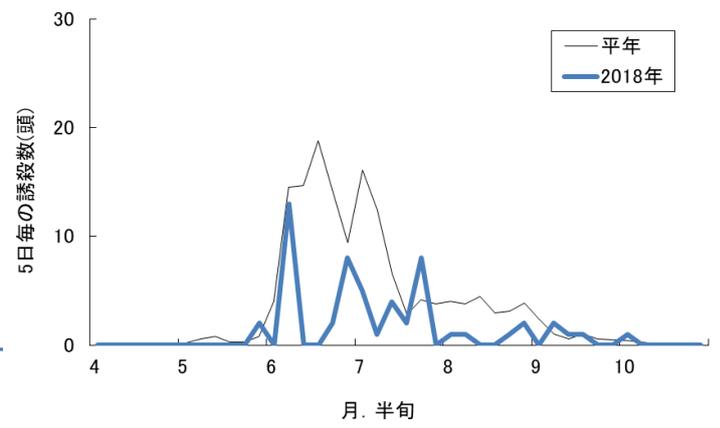
水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

・アカスジカスミカメ



水田の予察灯におけるアカスジカスミカメの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

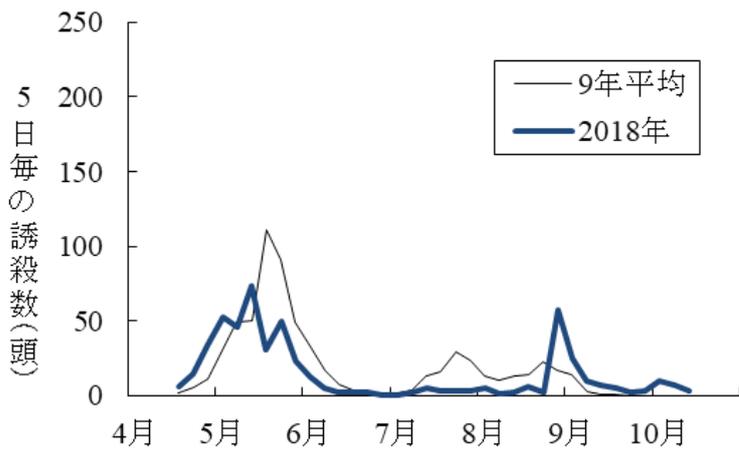
・アカヒゲホソミドリカスミカメ



水田の予察灯におけるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

(b) フェロモントラップでの誘殺状況

・ニカメイガ



(2) 麦類(30年産)

a 生育状況

(a) 播種期

水稻収穫後に定期的な降雨があり、水はけの悪いほ場では、圃場に入れず溝掘り等の播種前作業が遅れた。このため、播種は11月に入ってから始まり、例年と比べると全体的にピークが遅れ気味となった。11月に入ってから比較的天候が安定したことから、11月中に播種されたものは全体の70%程度であった。

(b) 生育期

2月中旬までは、気温が平年よりも低く推移したため、3月までは11月中旬播種で2週間程生育は遅れた。11月下旬以降に播種されたものは、低温に加え、降水量が少なかったことによる出芽の遅れもあり、生育はさらに遅れた。

2月6半旬以降は一転して気温は高く推移し、生育の遅れを取り戻した。

(c) 出穂期

11月中旬播種のほ場の出穂期は平年並みとなった。

(d) 登熟期

その後も気温は高く推移し、登熟期間が短くなり、成熟期は平年よりも早くなった。

播種後の降雨が少なかったことから、湿害は少なく、苗立ちは良好で11月中旬に播種されたほ場の茎数は3月時点ではほぼ平年並みとなった。現地での収穫については、生育進度は例年よりも早かったものの、例年よりも播種時期が遅れたところでは、収穫時期は例年よりもやや遅くなった。

b 病害虫の発生状況

コムギ縮萎病は、耐病性品種の作付けが進められたため、県全体としての発生量は少なかった。

赤かび病については、開花期の降雨により発生が認められたが、発生量は平年並みに少なく抑えられた。

(3) 大豆

a 生育状況

(a) 播種期

播種は6月下旬から始まったが、麦の収穫が6月下旬にずれ込んだこともあり、6月中の播種は少なかった。7月上旬まで雨が多かったが、中旬から5半旬までは雨が少なく、播種のピークは7月13日頃となり、全体的に遅れたものの7月中に80%が播種された。6月下旬から7月上旬にかけて播種したものは、一部で播き直しがあったものの、生育は順調であったが、中旬以降に播種されたものは土壌の乾燥により、出芽が遅れた。

(b) 生育期

台風12号の影響はほとんどなかったが、出芽が遅れ気味であったことに加え、7月中旬、8月上旬は少雨で初期生育は遅れ、生育量は少なくなった。8月中旬の降雨で生育は回復したが、例年より生育量は少ない状況であった。台風20号の強風で軽微な倒伏が見られた。

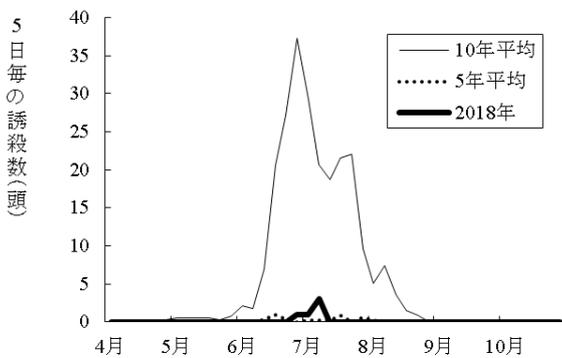
(c) 成熟期

着莢から粒肥大期となる9月の日照時間が平年の65%と少なかったことと、台風21号、24号の強風により、草姿の乱れによる受光態勢が悪くなった圃場や細菌病(葉焼病、斑点細菌病)が発生し、葉が損傷した圃場が認められ、粒の肥大が悪くなった。台風21号の通過後は雨が多く、排水の悪い圃場では湿害の発生が認められた。

10月に入り、天候は安定したものの、一部を除き収量が期待できない状況であった。

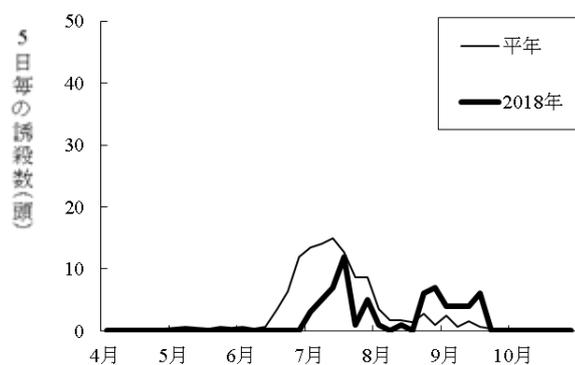
b 病害虫の発生状況

・アオクサカメムシ



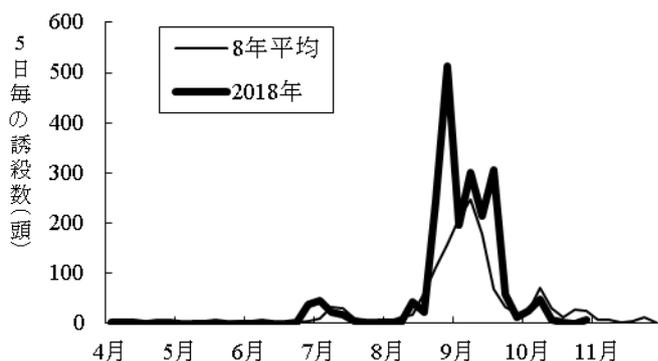
予察灯におけるアオクサカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

・イチモンジカメムシ



畑地の予察灯におけるイチモンジカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

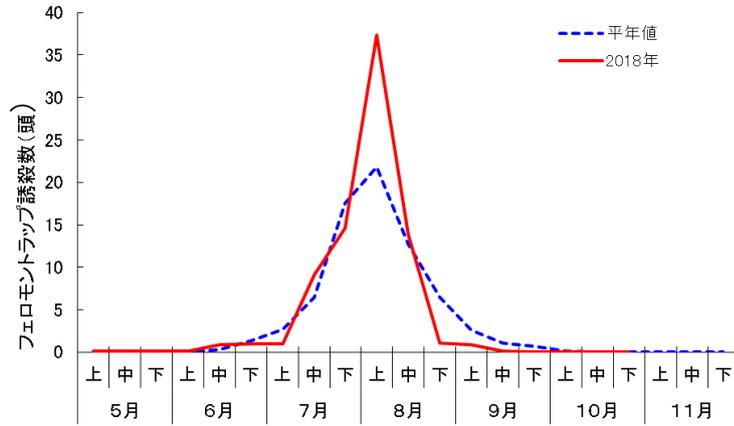
・ミナミアオカメムシ



予察灯におけるアオクサカメムシ誘殺数の推移(松阪市)

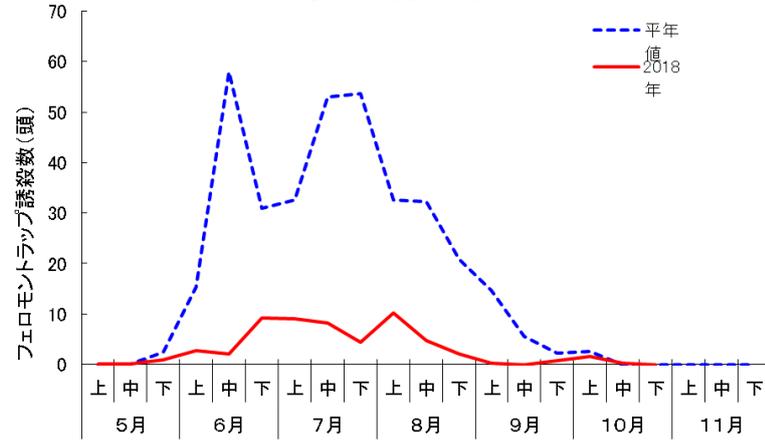
・ヒメコガネ

ヒメコガネのフェロモントラップ誘殺数
(松阪市嬉野川北町)



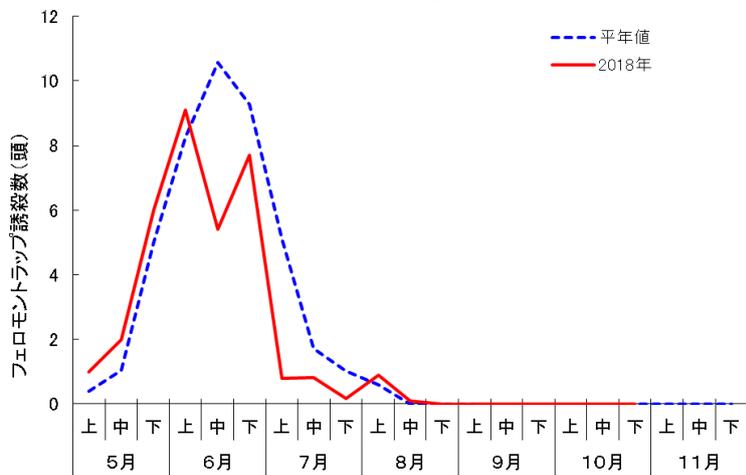
・マメコガネ

マメコガネのフェロモントラップ誘殺数
(松阪市嬉野川北町)



・ドウガネブイブイ

ドウガネブイブイのフェロモントラップ誘殺数
(松阪市嬉野川北町)



(4) 果樹

①生育状況

ア カンキツ

- ・発芽期は、平年に比べて極早生温州では4日、早生温州では2日早かった。
- ・開花盛期は、平年に比べて極早生温州、早生温州で9日早かった。
- ・着花量は、紀州地域では極早生温州、早生温州、普通温州でやや多かった。北勢・中南勢地域では表年傾向でバラツキが大きかった。
- ・果実発育は、横径が極早生温州は1.1mm 平年より小さく、早生温州は2.9mm 平年より大きかった。
- ・果実品質は、糖度については、平年に比べて極早生温州は0.9度低く、早生温州は1.4度低くなった。クエン酸については、極早生・早生温州ともに平年並みだった。

イ ナシ(幸水)

- ・開花盛期は平年より11日早い4月4日であった。収穫盛期は平年より2日早く、8月17日であった。
- ・果実の肥大は良好であり、収穫期における果実は平年より大きく肥大した。
- ・果実品質は平年と比較して果実糖度は平年並み、果実重は上回っていた。

ウ カキ(前川次郎)

- ・開花盛期は10日程度早くなり、5月11日であった。
- ・果実肥大は平年を上回る大きさを推移した。
- ・収穫盛期は平年より2日早い、11月10日であった。
- ・果実品質は平年と比較して果実糖度、果実重ともに上回っていた。

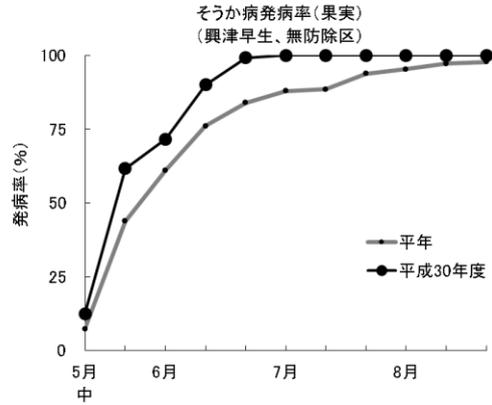
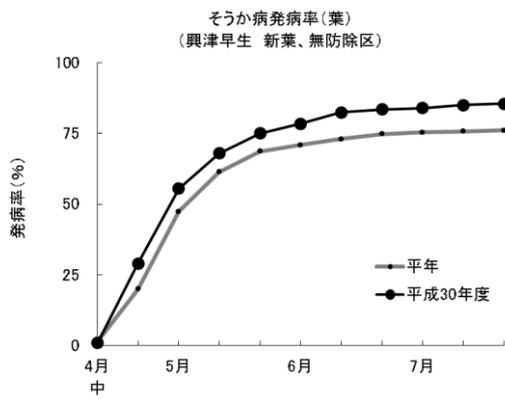
エ ブドウ(巨峰)

- ・春先の高温傾向により発芽直前まで生育は促進されていたが、4月上旬の低温により発芽期は露地栽培で平年より1日遅くなった。その後生育は回復し、開花盛期は平年並みになった。有核栽培の結実は良好であった。
- ・梅雨の時期は7月上旬までの降水量が平年を上回っていたが、7月中旬から日照時間が回復し収穫期は露地栽培で平年よりやや早くなった。果実品質は平年と比較して糖度、果粒重とも同程度であった。

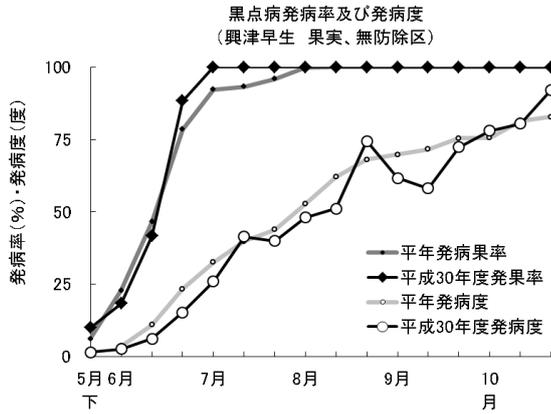
②病害虫の発生状況

ア カンキツ(御浜町 紀南果樹研究室)

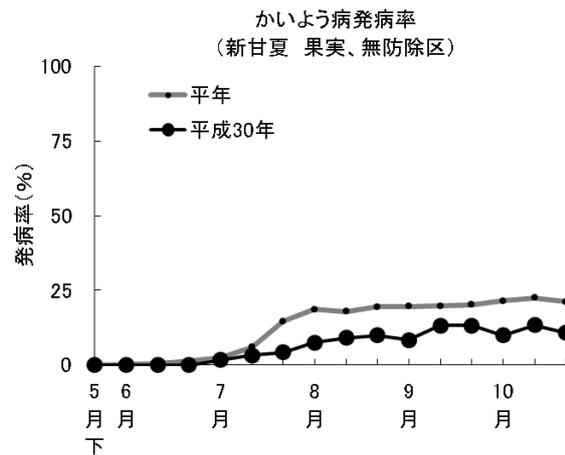
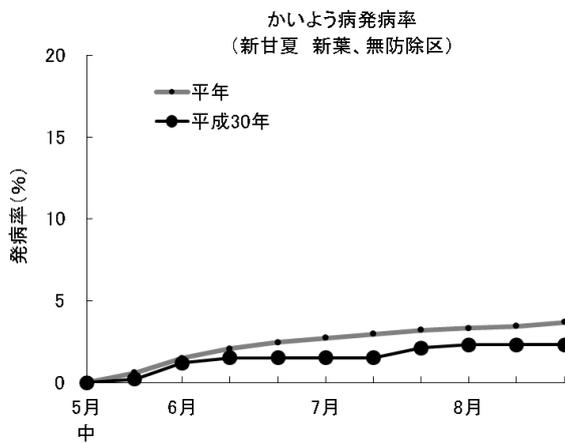
ア) そうか病



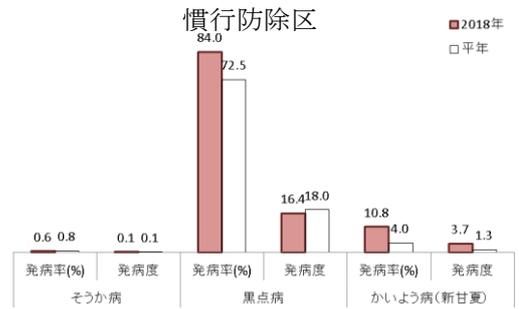
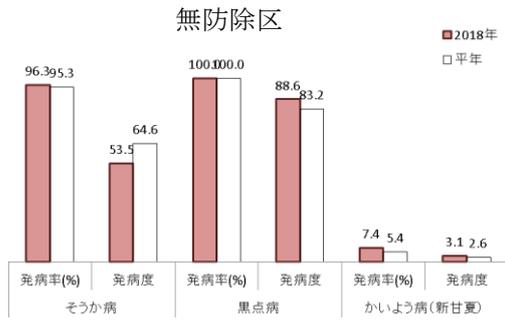
イ) 黒点病



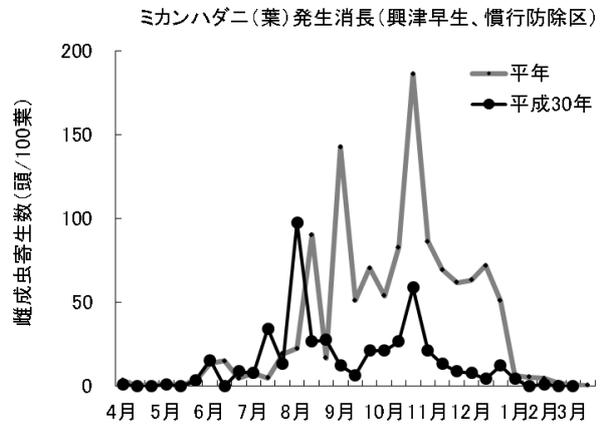
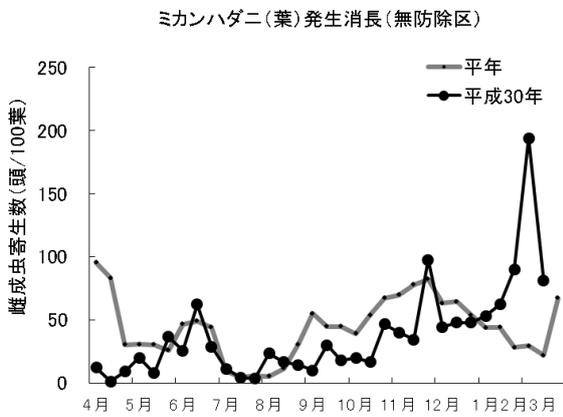
ウ) かいよう病



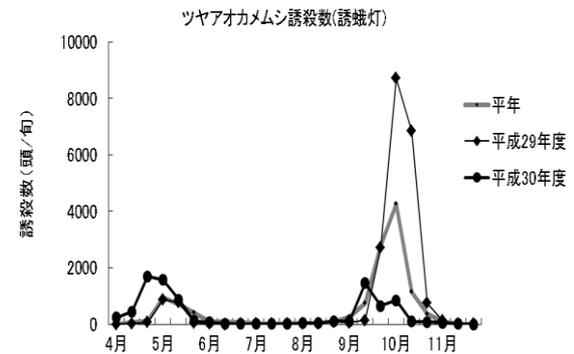
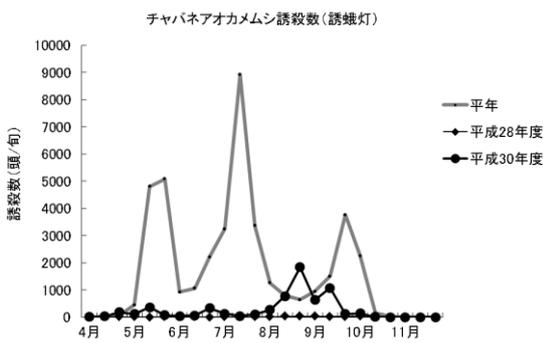
エ) 収穫果実(外観果実調査)



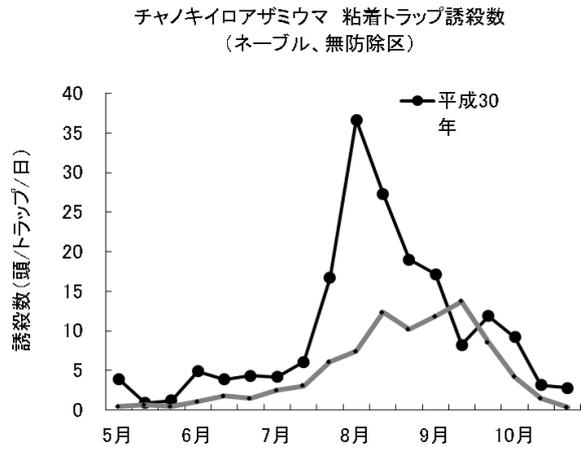
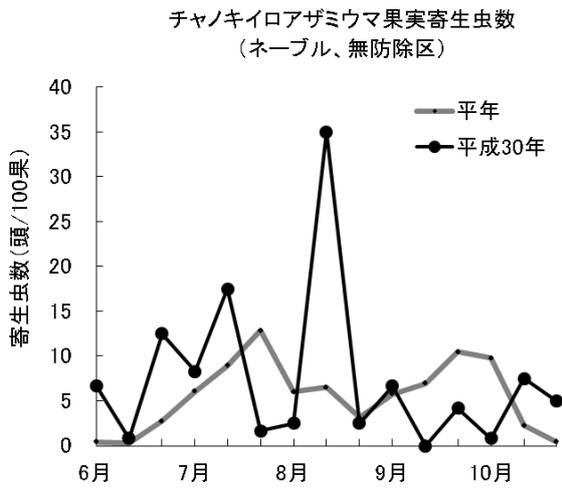
オ) ミカンハダニ



カ) カメムシ類の予察灯への飛来状況

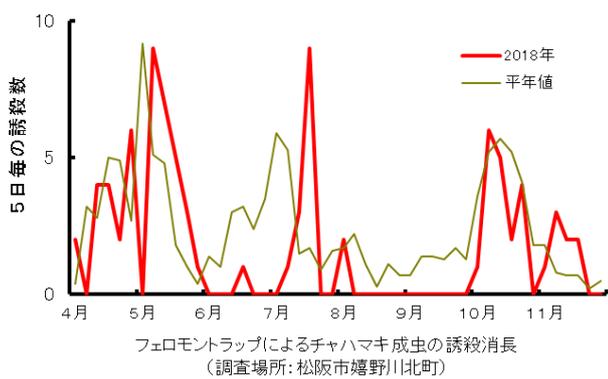
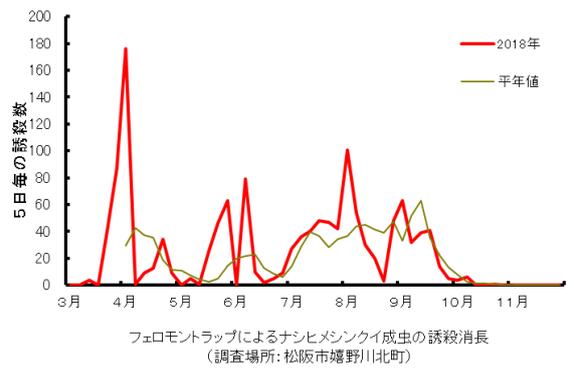
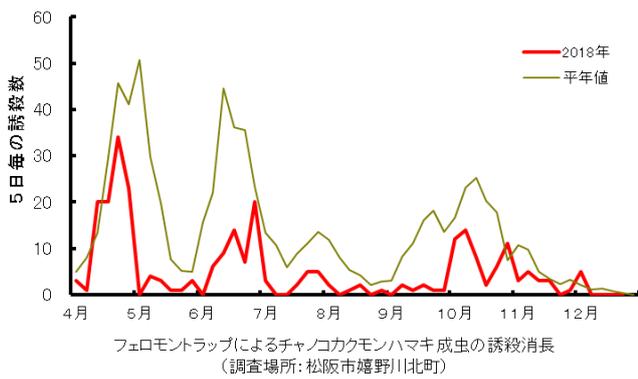


キ) チャノキイロアザミウマ

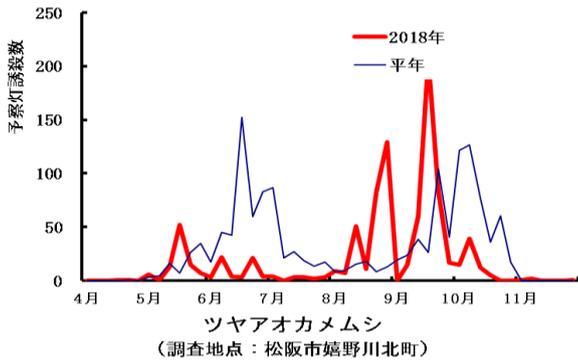
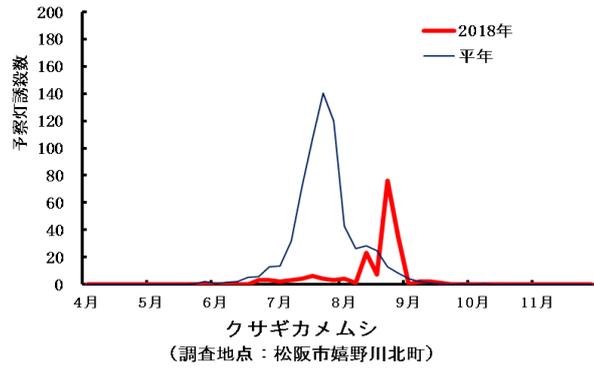
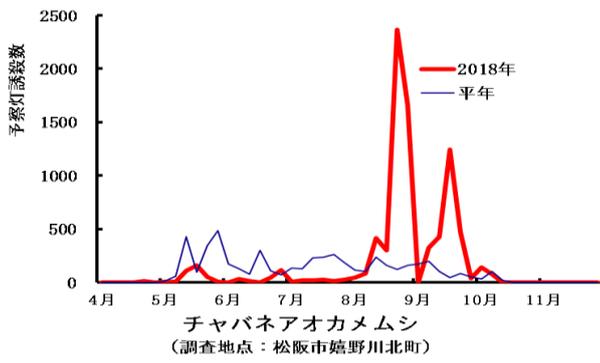


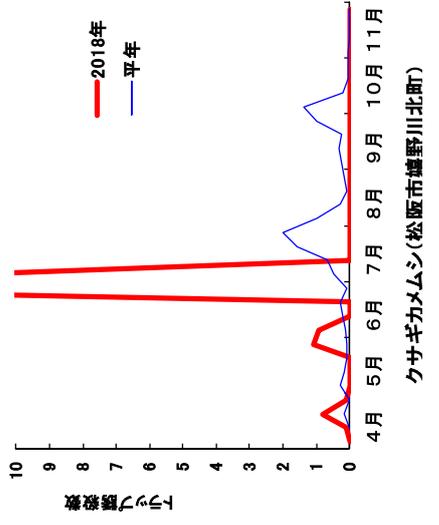
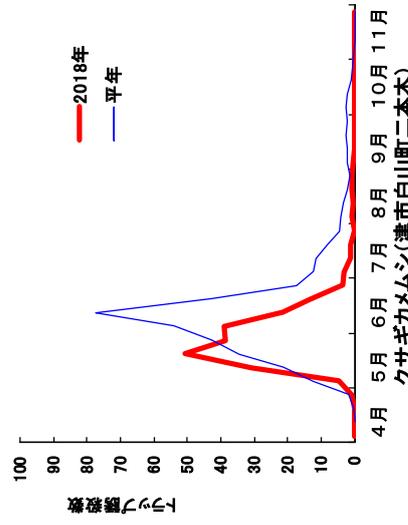
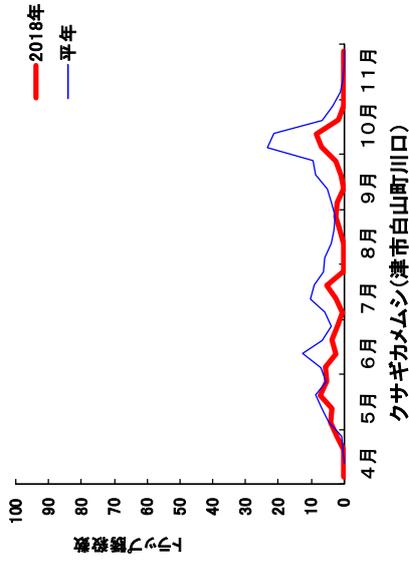
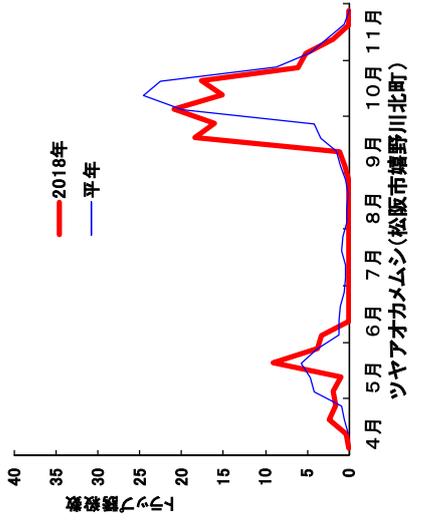
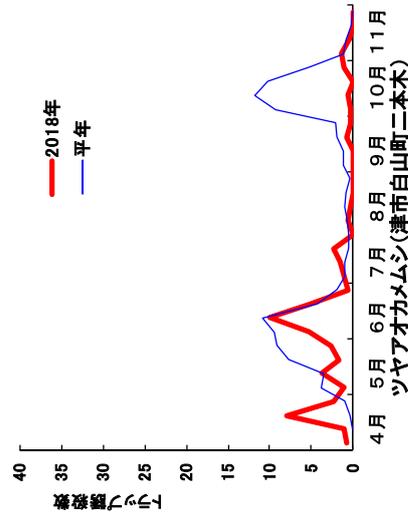
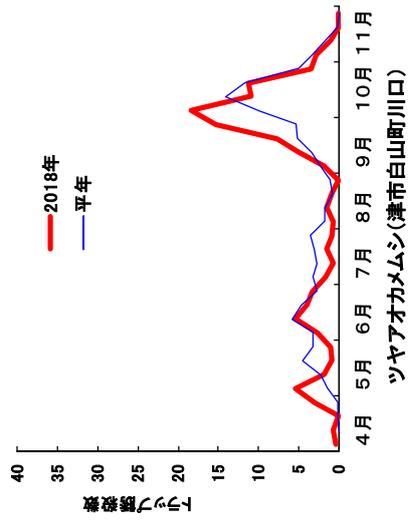
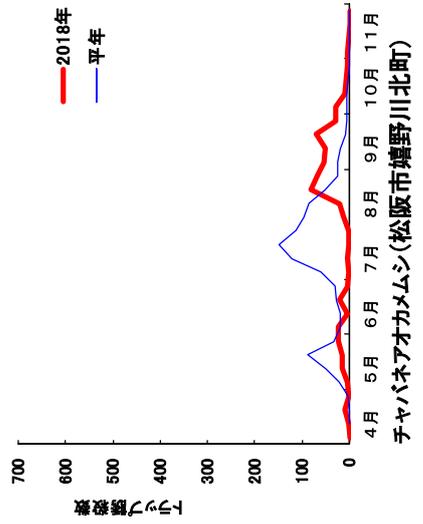
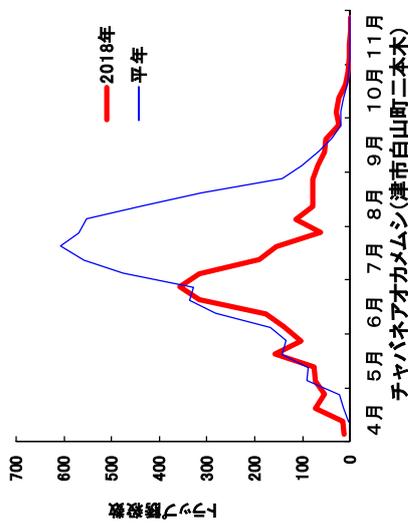
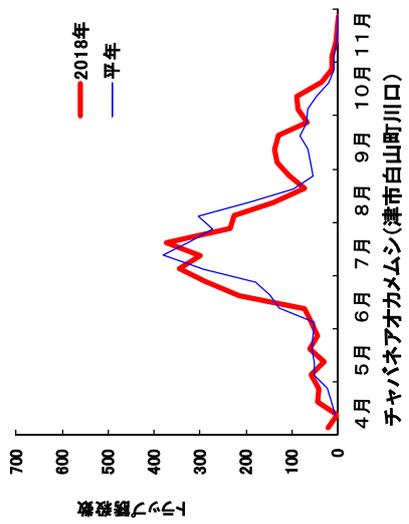
イ ナシ

ア) フェロモントラップでの誘殺状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



イ) カメムシ類の予察灯への飛来状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)





(5) 茶

①生育状況

- ・ 一番茶の摘採時期は平年より早く、収量はやや多かった。
- ・ 二番茶は一番茶後に深刈更新した茶園が多く、収量が少なかった。

(生育に関するデータ)

東海農政局 8月20日発表

一番茶摘採面積 2690ha(前年比 99%)、単収 524kg(前年比 111%)

農業研究所茶業・花植木研究室作況園

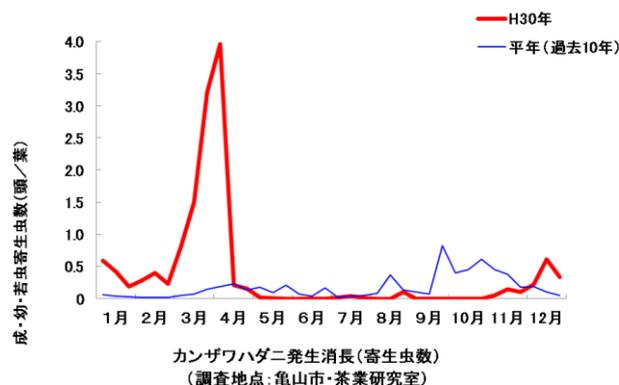
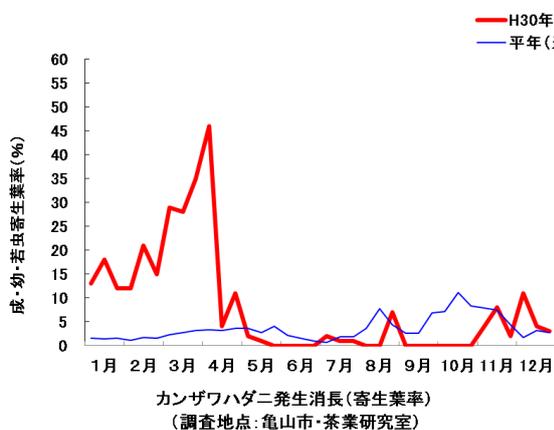
一番茶:摘採時期 4/25(平年 5/7)、単収 577kg(平年 618kg)

二番茶:一番茶深刈更新のためデータなし

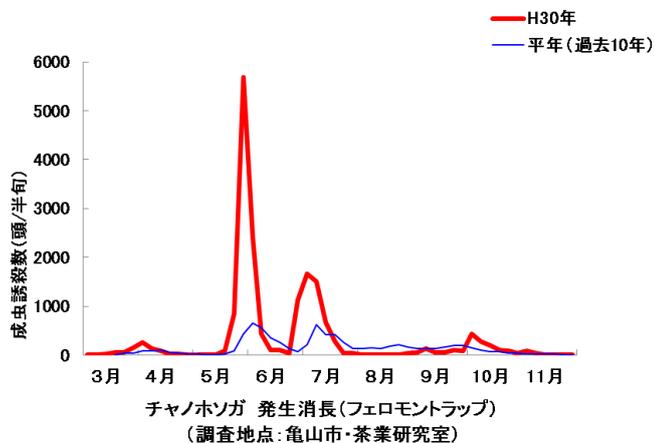
②病虫害発生状況

- ・ 炭疽病等の病害は期間を通じてやや少なく推移した。
- ・ カンザワハダニは一番茶摘採前後まで密度が高かったが、その後やや低く推移した。チャノコカクモンハマキとチャノホソガは平年並であった。チャノホソガは一部で多い茶園が見られたが、二番茶後は少なく推移した。その他の害虫について概ね平年並であった。

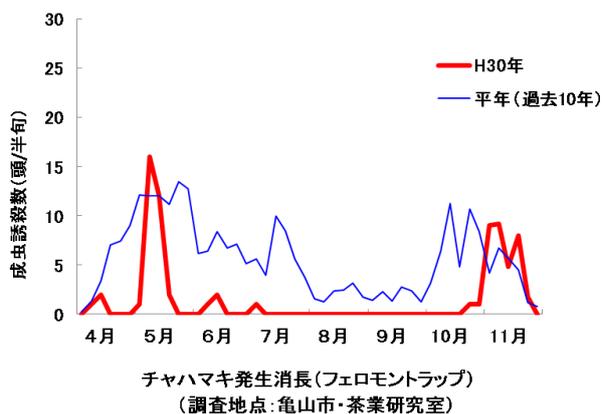
ア) カンザワハダニ



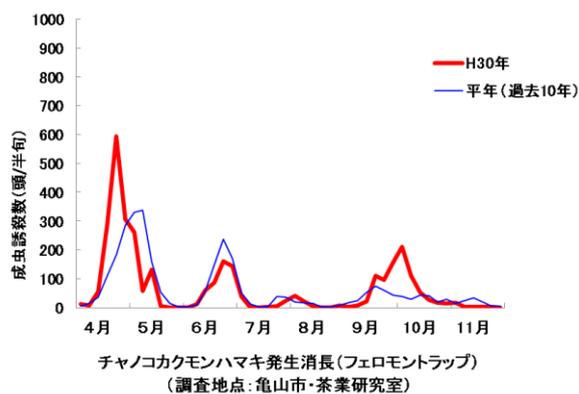
イ) チャノホソガ



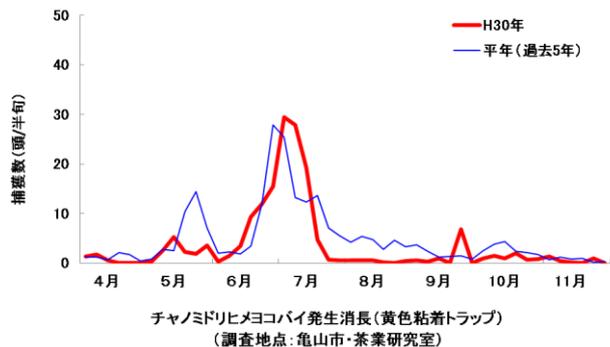
ウ) チャハマキ



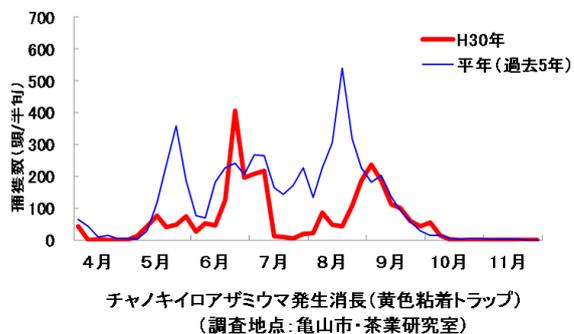
エ) チャノコカクモンハマキ



オ) チャノミドリヒメコバイ



カ) チャノキイロアザミウマ

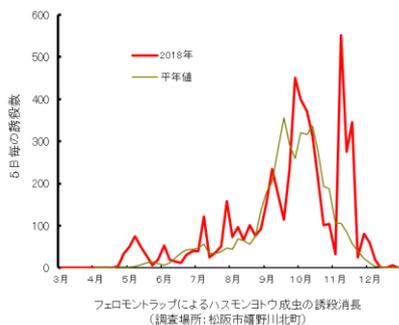
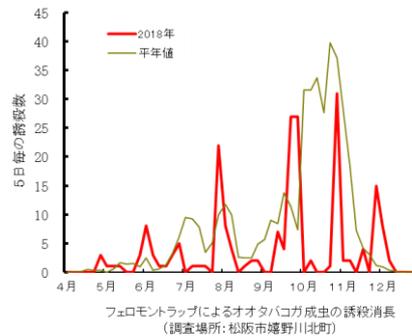
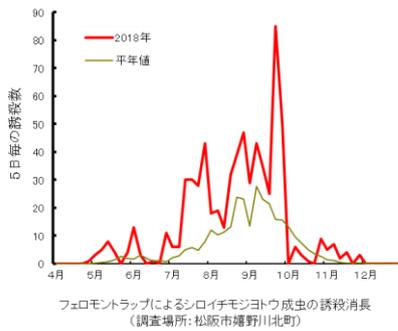
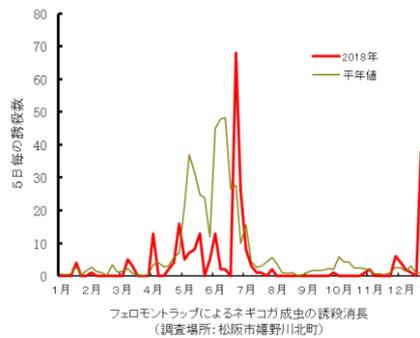
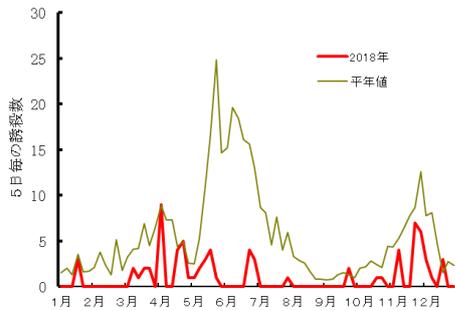


(6) 野菜

a 生育及び病害虫の発生状況

- ・トマトでは、特に北勢地域で黄化葉巻病が多く見られた。
- ・キャベツ、ハクサイなどの露地野菜では、全般的に病害の発生は少なく経過したが、キャベツでは、一部ほ場で菌核病が多く発生したほ場が見られた。
- ・ハクサイでは特に目立った病害虫は見られなかった。
- ・ネギでは、夏の異常高温の影響か、近年多発傾向のネギアザミウマ、ネギハモグリバエが少なく経過した。
- ・イチゴでは、ネギと同様、夏の高温の影響か、期間を通してハダニ類は少なく経過した。アザミウマ類についても少ない傾向であった。灰色かび病は一部ほ場で果実に多く確認された。また、近年、発生は少ないが菌核病も一部で確認された。

b フェロモントラップ



(7) 全作物一覧

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ (早期)	葉いもち	6月中旬～8月上旬 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	育苗期間中および置き苗での発生なし。7月上旬の発生面積、発病程度はともに平年より少なかった。	感染好適条件は5月下旬から7月上旬にかけて、広域で繰り返し出現したが、箱施用や本田防除による予防が行われたこと、前年の穂いもちの発生が少なく感染源の持ち込みが少なかったこと、感染好適条件出現後の高温多照で推移したこと等の要因で発生が抑えられた。	箱施用及び本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第7号(7月13日発表)により、穂いもち対策の予防的防除を注意喚起した。
	穂いもち	7月下旬～8月下旬 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生面積、発病率ともに少ない状況であった。	一部のほ場で、葉いもちの上位葉進展があり、穂いもちの発生が懸念されたが、水稲出穂期に晴天により、発生量は少なかった。	病害虫防除技術情報第7号(7月13日発表)により穂いもち対策の予防的防除を注意喚起した。被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	紋枯病	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7月上旬、8月上旬ともに発生面積、発病株率、発病度は平年並だった。	夏期に高温で推移したが、過繁茂の圃場が少なかったため、全体の発生は平年並みに抑えられた。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	斑点米カメムシ類	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	5月にはコムギやイネ科雑草で発生が確認され、7月まで畦畔雑草での発生が確認された。巡回調査結果では、アカスジカメムシ、アカヒゲホソドリカメムシが多かった。	春先の越冬世代が多かったことに加え、天候が高温少雨で推移し、活動及び増殖に好適な環境であったため、発生がやや多くなったと思われる。	一部圃場で畦畔雑草はからの発生が多かったため、病害虫防除技術情報第5号(6月15日発表)による注意喚起を行った。被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	イネミズノウムシ	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	移植後の5～6月における越冬世代成虫の発生量はやや少なかった。8月上旬における第一世代成虫の発生量は少なかった。	昨年夏の越冬成虫量は平年並、第一世代の発生量はやや少であった。近年の過度な高温によって発生密度は抑制されたと考えられた。	被害の恐れのある圃場では箱施用が行われた。
	ツマグロヨコバイ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	6～8月にかけて発生面積、払い落とし虫数ともに平年並に推移した。	7月から8月にかけて、高温多照の日が多く、発生量は平年並みに推移した。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	セジロウカ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	期間を通じて発生量は、平年より少なくなかった。	東紀州地域を除き、8月上旬まで飛来量が少なかった。	被害の恐れのある圃場では箱施用または本田防除が行われた。
	トビイロウカ	7月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はわずかであった。	飛来量が少なく、本田での発生はほとんどなかった。	本種を対象とした防除は行われていない。
	ヒメビウカ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	6～8月にかけて発生面積・発生量はやや多かった。	7月から8月にかけて、高温多照の日が多かった。	稲葉枯病の発生がなく、本種を対象とした防除は行われていない。
	ニカメイガ	6月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	多くの地域で発生がみられ、一部の圃場では被害が散見された。	7月から8月にかけて、高温多照の日が多かった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	コブノメイガ	7月～9月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	7、8月ともに発生量は平年並に少なかった。	飛来量が少なく、本田での発生量は少なかった。	発生の多い圃場では本田防除が行われた。
	白葉枯病	8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	一部の圃場で発生が確認された。	強風を伴う降雨が少なく、感染の機会は少なかった。	特に防除対応していない。
	もみ枯細菌病 (細菌性苗腐敗症)	4月中旬～5月上旬、8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	育苗期間中に一部で発生があったが、平年並に少ない状況であった。	採種圃において対策が徹底され、健全な種子が供給されていることから、発生が抑えられている。	種子消毒で防除した。
	苗立枯病	4月中旬～5月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	育苗期間中に一部でリゾプス、フザリウムが発生があったが、全体としては平年並に少ない状況であった。	育苗期間の気温は低温傾向だったが、適切に管理された。	床土消毒で防除した。
	ばか苗病	4月中旬～5月上旬、7月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	育苗期間、本田ともに一部圃場で発生が確認された。	発生施設および発生圃場では、保菌種子の混入があり、かつ温湯による種子消毒の操作に不備があったと考えられる。	種子消毒で防除した。採種圃および周辺圃場では対策を徹底し、育苗施設巡回において種子消毒や育苗管理の状況を確認した。
	稲葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は一部圃場を除き確認されていない。	例年、発生が少なく保菌虫率が低かったと考えられる。	特に防除対応していない。
	萎縮病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	イネドロオシムシ	5月中旬～7月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	例年実害は少ない。一部地域では発生の目立つ圃場があった。	例年の発生変動の範囲内である。	箱施用または被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	イネクロカメムシ	5月中旬～9月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	一部地域では6月上旬頃から発生が確認されたが、実害は少なかった。	過去に被害が多発したが、近年は落ち着いた傾向にあり、越冬虫数が少ないと考えられる。	例年被害の出る地域では、箱施用や本田防除が行われた。
イチモンジセセリ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	7～8月の発生量はやや多であった。	夏期に高温で推移したが、台風等の影響により発生密度が抑制されたと考えられた。	本種を対象とした防除は行われていない。	
アワオトウ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	発生はみられたが、実害はなかった。	夏期間の高温傾向により、増加傾向だが、発生量が少なく実害はなかった。	本種を主目的とした防除は行われていない。	
フタオビコヤガ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	6月上旬から圃場内での発生がやや多く確認されたが、7～8月の発生量は少平年並であった。	夏期に高温で推移したが、台風等の影響により発生密度が抑制されたと考えられた。	本種を主目的とした防除は行われていない。	
イナゴ類	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	6月から圃場内、畦畔ともに発生が目立ち、8月まで多い状態で推移したが、実害はなかった。	夏季の高温により近年増加傾向である。	本種を対象とした防除は行われていない。	
イネシンガレセンチュウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんどなかった。	種子更新・種子消毒が徹底された。	種子消毒で防除した。	
小麦	うどんこ病	4月～5月 平年：－前年：－	平年：並 前年：やや少	発生はほとんどなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	赤かび病	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	平年並の発生であった。	4月5月に感染好適日が散見された。	開花期の薬剤防除を実施した。
	さび病類	4月～6月上旬 平年：－前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんどなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	縞萎縮病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生はほとんどなかった。	耐病性品種の作付が増えた。	耐病性品種・播種時期・施肥管理など耕種的に対応した。
	黒穂病類	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生はほとんどなかった。	種子更新により、健全な種子が使用されているため、ほとんど発生はない。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	ムギアカタマバエ	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんどなかった。	連作圃場では発生があるがわずかである。	連作回避で防除した圃場が多い。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	アブラムシ類	4月～6月	平年:並 前年:並	5月上旬の発生量は平年並であったが、実害はなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
大豆	アブラムシ類	8月～9月 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	平年並に発生量はやや少なくなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	ハスモンヨトウ	8月～9月 平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	8月9月の発生量が少なかった。	飛来数は平年並みであるが発生は少ない。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。
	吸食性カメムシ類	8月～9月 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	北勢地域を中心に確認された。	近年ミナミアオカメムシが分布拡大し、発生量が増加した。早期水稲の収穫に伴ってダイズへ飛来が集中した。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。
	紫斑病		平年:やや少 前年:やや少	紫斑粒の発生量はやや少なかった。	前年に紫斑粒が多発した地域では、巡回を実施して薬剤散布を徹底するよう指導された。	健全種子の使用、種子消毒の実施。集団化された圃場では、無人ヘリまたは乗用散布機で防除を実施した。
	コガネムシ類	8月～9月 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	圃場での発生は確認されたが、平年並に少なくなかった。	フェロモントラップの状況から今年の発生量は、平年並に少なかったと思われる。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	シロイチモジマダラメイガ		平年:やや少 前年:並	食害による被害粒の発生量はやや少であった。	例年の発生変動の範囲内である。	種を主目的とした防除は行われていない。
かんきつ	そうか病	春葉 4～7月 平年:並 前年:並 果実 5～9月 平年:やや早 前年:並	平年:並 前年:並	春葉での初発は4月9日(平年4月16日)と平年並で、果実では5月11日(平年5月17日)とやや早かった。発生量は、一部の一般圃場でわずかに散見される程度。	4～6月の降水量は平年並～やや多かったが、防除が的確に行われ、発生が抑制された。	イミベンコナゾール剤、ジチアンノ剤、銅剤、EBI等による発芽期防除が実施されている。
	黒点病	果実 5月～ 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	果実での初発は5月下旬と平年並(県予察圃)。一般圃場では概ね適切に防除できており、発生は夏場を中心に少なくなかった。	4～6月の降水量は平年並～やや多かったが、防除が的確に行われ発生が抑制された。	初期感染時期から降水量に応じてマンゼブ剤、マンネブ剤、ポリカーバメート剤等による防除が実施された。
	かいよう病	春葉 5～9月 平年:やや遅 前年:やや遅 果実 6～9月 平年:遅い 前年:遅い	平年:やや少 前年:やや少	温州みかんでの発生量は期間を通じて平年並に少なかった。中晩柑での発生量は平年並であったが、防除の差が局所的に発生が見られる圃場があった。	中晩柑では銅剤による防除の実施により数年前から発生が抑制されていることが、全体的に発生が抑えられた大きな要因と考えられる。	中晩柑類では定期的に銅剤による防除が実施された。また、降雨の前後には銅剤等による防除が実施された。
	ミカンハダニ	4月～ 平年:並 前年:多	平年:やや多 前年:多	期間を通じて発生はやや少なかった。	発生が増える6月中旬までの降水量が平年並～やや多かったため、ハダニの増加は抑えられた。	マシン油乳剤を主体とした防除が実施されているが、多発時にはアセキソニル剤、シフルトフェン剤、シエノピラフェン・ピリダベンチン等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	5月～ 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	アラニカルブ剤等による防除が実施された。
	褐色腐敗病	8月～ 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	発生は平年並に少ない。	8月は比較的雨少だったため、平年並に少なくなかった。	マンゼブ剤、シノゾファミド剤等で防除が実施された。
	ヤノネカイガラムシ	第1世代 4～7月 第2世代 7～9月 平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	近年全般的に発生量自体少ない。	マシン油乳剤、DMTP剤等による防除が実施された。
	チャノキイロアザミウマ	5月～ 平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	6月～7月に一部は場で果実への寄生が見られたが、全般的に平年並に推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、クロロフェニルピル等による定期防除に加え、追加防除が実施された。
	アブラムシ類	4～9月 平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	期間を通じて平年並に推移した。	発生が増える6月中旬までの降水量が平年並～やや多かったため、アブラムシの増加は抑えられた。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアトキサム剤による防除が実施された。
	ミカンハモグリガ	5～9月 平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	夏秋梢の発生が少なく、発生はやや少なくなかった。防除の差が局所的に発生が見られる圃場があった。	夏秋梢の発生自体が少なかったため、発生はやや少なかった。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアトキサム剤、ネオニコチノイド剤による防除が実施された。
	アカマルカイガラムシ	第1世代 5～6月 第2世代 7～9月 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	紀州地域に限定して発生しており、近年増加傾向。発生ピークは6月下旬。	天候により防除が徹底できなかった圃場であり、発生が確認された。発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	マシン油剤、DMTP剤、プロフェンジェン剤、アラニカルブ剤等による防除が実施された。
	かき	カキノヘタムシガ	7月～ 平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	期間を通じて平年並に少なくなかった。	例年少なからず発生は確認されているが防除により概ねおさえている。
ハマキムシ類		4～9月 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	例年発生は少ない。	IGR剤、フェンプロパリン剤等による防除が実施された。
炭疽病		4～9月 平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	例年発生は少ない。	マンゼブ剤、ミノクタジン剤等による防除が実施された。
うどんこ病		5月～ 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	6月ごろから発生は確認されたが、期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	梅雨明け後の防除により発生が抑制された。	石灰硫黄合剤、テブナゾール剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
カキクダアザミウマ		5月～ 平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	近年、典型的な被害の発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	本害虫を対象とした防除は通常実施されていない。
フジコナカイガラムシ		6月～ 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	期間を通じて発生量は平年並に少なくなかった。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ジノテフラン剤、DMTP剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
なし	黒星病	4～9月 平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	全体的に平年並で推移した。	去年おとしと発生が多い年が続いており、前年の落葉処理が不徹底だった圃場において発生が増えたと考えられる。	発病初期には罹病部の除去が行われた。また、ストロビリン系剤、DMI剤、ジチアンノ剤等による防除が実施された。
	ナシヒメシクイ	4～9月 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	フェロモントラップ(松阪市)では4月上旬に誘殺数が多かった。一般圃場における発生量も防除等による差があったが発生量は概して平年並であった。	場内トラップでは無処理区があるため発生が防ぎきれない。一般圃場ではバラスキはあるものの薬剤防除によって概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、チオジカルブ剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	チャノコカクモンハマキのフェロモントラップ(松阪市)では平年並みの発生動向であった。一般圃場での発生量は平年並に少なくなかった。	一般圃場ではバラスキはあるものの薬剤防除によって概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、MEP剤等による防除が実施された。地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハダニ類	4～9月 平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	期間を通じて発生は少なくなかった。	降雨と防除により抑制されたと考えられる。	エトキサゾール剤、ピフェナゼート剤、ミルベメクテン剤等による防除が実施された。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要	
	赤星病	4～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、放任園地以外ではほとんど見られず、発生密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。	
	うどんこ病	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	イミノクタン剤、EBI剤等による防除が実施された。	
	輪紋病	5～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少なく、病原菌密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤等の散布や休眠期のチオファネートメチルベースト剤塗布による防除が実施された。	
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に推移した。	的確な防除により発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。	
	クワコナガイガラムシ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、梅雨明け後に適期防除ができた。	DMTP剤、ピリフルキナゾン剤等による防除が実施された。	
ぶどう	べと病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	初夏を中心に発生があったが期間を通じて発生量は平年並で推移した。	7月に雨が少なかったこと、適期防除により発生は抑制された。	ジエノファミド剤、ストロビルリン系剤、銅剤等による防除が実施された。	
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	ダイアジン剤等による防除が実施された。	
	晚腐病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年並で推移した。	7月に雨が少なかったこと、適期防除により発生は抑制された。	アゾキシストロビン剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。	
	黒とう病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	発生密度そのものも低いと考えられる。	イミベンコナゾール剤、ベノル剤、トリフルミゾール剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。	
	チャノキイロアザミウマ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	アセフェート剤、ベルメトリン剤等による防除が実施された。	
	クワコナガイガラムシ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	DMTP剤、ダイアジン剤による防除が実施された。	
果樹共通	カメムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	8月上旬まで発生量は少なく推移した。8月中旬以降、台風をきっかけにチャバネアカカメムシを中心とした発生の増加が見られたが、すぐに収束した。	越冬量は多かったが、スキ・ヒノキ産果着生量が多かったため、新成虫の果樹園への飛来は少なかった。しかし8月中旬以降台風が襲ったため、チャバネアカオオカメムシを中心に一時的に増加した。	飛来が確認された園地では、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤、MEP剤等による防除が実施された。秋に発生が増え始めてからは各生産地JAの呼びかけなどにより防除も行われた。	
茶	炭疽病	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じてやや少しく推移した。	摘採残葉における発病葉等の感染源が少なく整枝も前年より進んだためと考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。	
	カンザワハダニ	4月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	4月に多発の園地が見られたが、5月以降は全体的に少発生傾向で推移した。	4月は越冬量ハダニの影響で発生が多くなったが、防除が行われ、5月以降は適度な降雨もあり発生は抑えられたと考えられる。	エトキサゾール剤、シクルメフエン剤等による防除が行われた。	
	チャノコカクモンハマキ	4月～10月 平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：やや多	期間を通し、発生量はほぼ平年並みであった。	越冬世代から飛来数は平年並みで推移し、適期防除により平年並の発生量になったと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。	
	チャハマキ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	期間を通し、発生量はやや少しく推移した。	近年飛来数が少なく、越冬量が多くなかったためやや少ない発生量になったと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。	
	もち病	4月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少しく推移した。	各茶期摘採後の整枝の励行が近年の少発生の要因と考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。	
	輪斑病	4月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じてやや少しく推移した。	夏季の深刈整枝時に降雨が少なかったことが少発生の要因と考えられる。	アゾキシストロビン剤等による防除が行われた。	
	チャノホノガ	4月～9月 平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	一部地域で発生量が多く、やや少～やや多(概ねやや少)で推移した。	一部地域では越冬世代から飛来数も多く発生量が多かったが、その他地域では春先から越冬量が少なく以降も少しく推移したと考えられる。	ミルベメクチン剤等による防除が行われた。	
	チャノミドリヒヨコパイ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	やや少～平年並で推移した。	4月から8月にかけて気温が高かったが、慣行防除により発生が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。	
	チャノキイロアザミウマ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	やや少～やや多で推移した。	4月から8月にかけて気温が高かったが、慣行防除により発生が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤等による防除が行われた。	
	ツマグロアオカシカメ	4月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少しく推移した。	隣接に雑草地が多い圃場に発生がみられた。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤、ジメテラン剤等による防除が行われた。	
	クワシロカイガラムシ	第1世代(5月) 平年：早 前年：並 第2世代(7月) 平年：早 前年：やや早	平年：やや多 前年：並	第1世代幼虫孵化最盛期は5月第3半旬と早、第2世代幼虫は7月第3半旬と早であった。発生量は平年並～やや多であった。	第1世代は、被覆時期のため通常は防除が実施されない。新規薬剤による冬季防除が近年高い効果を示している。被覆栽培の拡大と乗用摘採機の普及が発生拡大を促していると考えられる。	ピリフルキナゾン剤による冬季防除、ピリフルキナゾン剤やプロフェンジェン剤等による幼虫孵化期を中心とした防除が行われた。病害虫防除技術情報第3号(5月8日)および第6号(6月27日)発表。	
	ヨモギエダシヤク	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	平年並～やや多で推移した。	多発要因はなく、平年並に少ない発生であった。	ルフェモロン剤等による防除が行われた。	
	冬春トマト	疫病	4月～5月 10月～3月	平年：並前年：並 並前年：並前	全般的に平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。
		灰色かび病	4～6月 10月～3月	平年：並 前年：並	4～5月の発生は、春先に平年並の発生であったが、5月に防除され、やや少に転じた。冬期間は	換気等によるハウス内環境の改善などがなされた。	薬剤耐性菌発生に配慮した防除がなされた。
アブラムシ類		4月～6月 9月～3月	平年：並 前年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置や薬剤防除により、同時防除された。	
ハスモンヨトウ		9月～10月	平年：やや少 前年：やや少	トマト施設内における発生は、期間を通じて発生量は平年並みに少ない状況であった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいる。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。発生が多い圃場ではフェロモントラップを設置している圃場もある。	
葉かび病		4月～6月 10月～3月	平年：やや少 前年：やや少 平年：やや少 前年：やや少	発生は一部圃場での発生にとどまり、発生に広がりが見られなかった。期間を通じての発生はやや少であった。	近年、葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいるため、発生は少ない状況である。しかし、葉かび病の防除圧が減っているため、逆にすずかび病の発生は増加している。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。抵抗性品種導入圃場では、抵抗性を打破する新レースの出現に注意する必要がある。	
黄化葉巻病		4月～6月 9月～3月	平年：やや多 前年：並	主にコナジラミ類の防除が徹底していない圃場で発生量がやや多くなっている。	一部圃場ではコナジラミの侵入防止用の防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている。	防虫ネットの設置や発病株の除去の徹底を指導している。	
ハモグリバエ類		4月～6月 9月～3月	平年：やや少 前年：やや少 平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量はやや少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。	
コナジラミ類		4月～6月 9月～3月	平年：やや多 前年：並 前年：やや多	一部圃場ではやや多の発生となっている。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるが防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている圃場がある。	薬剤による防除が行われた。	
オオタバコガ		9月～11月	平年：少 前年：多	オオタバコガのフェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)による誘殺数調査によると、全期間(4月～12月末)のオオタバコガの誘殺数は204頭(平均)	侵入を阻止するネットの設置により回避を図っている。	薬剤による防除がなされた。	
秋冬ハクサイ	アブラムシ類	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	一般圃場における発生はやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。	

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要	
	コナガ	9月～12月	平年:やや少 前年:やや少	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。	
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:平年並 前年:やや少	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、9月から11月までで、4,174頭が誘殺された。これは平年3,637.6頭に対して平年並程度であった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。	
	軟腐病	9月～11月	平年:やや多 前年:やや少	生育期間中は発生量はやや少であったが収穫期になるにつれ発生量はやや多となった。	11月上旬の高温、多雨により、一気に発生したとみられる。	薬剤による防除がなされた。	
	白斑病	9月～12月	平年:やや少 前年:やや少	発生は平年より少なかった。近年発生は少ない傾向である。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。	
	べと病	9月～12月	平年:並	発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除がなされた。	
	ヨトウガ	9月～11月	平年:やや少 前年:並	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。	
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:やや少 前年:並	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。	
	冬キャベツ	冬キャベツ	黒腐病	10月～12月	平年:やや少 前年:並	10月以降、台風の影響がなかったため、発生量はやや少であった。	初期防除により発生は抑制された。
			菌核病	11月～12月	平年:やや少 前年:やや少	年内に収穫が終わったものについてはやや少であったが、年明け以降の作型については発生が見られた。	畑地圃場で発生する傾向が見られた。
			コナガ	9月～12月	平年:やや少 前年:並	フェロモントラップによる4月～12月までの誘殺数は28頭(平年80.6頭)と少なく、ほ場での発生量はやや少であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。
			アブラムシ類	9月～11月	平年:やや少 前年:やや少	発生はほとんど見られず、やや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。
			ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:平年並 前年:やや少	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、9月から11月までで、4,174頭が誘殺された。これは平年3,637.6頭に対して平年並程度であった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。
			根こぶ病	11月～2月	平年:並 前年:並	目立った発生は確認されなかった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められた。
			モンシロチョウ	9月～11月	平年:やや少 前年:やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。
			ヨトウガ	9月～11月	平年:やや少 前年:並	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。
	春キャベツ	春キャベツ	菌核病	4月～5月3月	平年:並 前年:やや少 前年:並	発生は平年並の発生量であった。	前年の発生ほ場への作付けを行ったほ場で発生が認められている。
			根こぶ病	4月～5月	平年:並 前年:並	全体的に発生は平年並であった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が確認される程度である。
			コナガ	4月～5月 12月～3月	平年:並 前年:並 前年:やや少	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。
			モンシロチョウ	9月～11月	平年:やや少 前年:やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。
			アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:やや少	発生はほとんど見られず、平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。
秋冬ネギ	さび病	4月～5月10月～3月	平年:やや少 前年:やや少 前年:やや少 前年:やや少	発生は平年並に少なかった。近年発生量は少ない傾向にある。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。	
	アブラムシ類	5月～11月	平年:並 前年:並	期間を通して発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。	
	黒斑病	6月～11月	平年:並 前年:並	発生は平年並である。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。	
	ネギハモグリバエ	5月～11月	平年:やや多 前年:やや少	ネギハモグリバエは発生量が多くなると防除が困難となることが多く、発生量はやや多であった。	ネギハモグリバエは長年のネギの産地では期間を通して発生が見られている。	薬剤による防除が行われた。	
	ネギアザミウマ	5月～11月	平年:やや多 前年:やや多	秋の期間に発生がやや多かった。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向である。	薬剤による防除が行われた。	
	ネギコガ	8月～12月	平年:並 前年:並	フェロモントラップによると8月～12月の誘殺数は55頭(平年60.2頭)と平年並であった。ほ場での発生は平年並に少なかった。	例年、ほ場ではほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。	
	シロイチモジヨトウ	8月～12月	平年:多 前年:多	シロイチモジヨトウのフェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)による誘殺数調査によると、8月から12月の誘殺数は475頭(平年:267.2頭)と多かった。	近年の高温傾向による増加とみられる。	病害虫防除技術情報第8号、シロイチモジヨトウ(8月9日)発表、第10号、シロイチモジヨトウ(10月1日)発表を、2回にわたり防除に関する注意喚起を行った。	
冬春イチゴ	灰色かび病	4月12月～3月	平年:並 前年:やや少 前年:やや多 前年:やや多	4月の発生は並であった。12月以降増加し、発生は平年よりやや多かった。果実での発病果が多かった。	防除の遅れなどによりいったん多発生すると防除困難となり、発生が多くなった。	薬剤による防除、発病部位の除去などが行われた。	
	アブラムシ類	6月～3月	平年:並 前年:やや多	期間を通じて発生量は平年並であった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。	
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:並 前年:やや少	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、9月から11月までで、4,174頭が誘殺された。これは平年3,637.6頭に対して平年並程度であった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。	
	うどんこ病	6月～3月	平年:やや少 前年:やや少	苗床、本圃での発生は、ともにやや少く推移した。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。	
	炭疽病	6月～11月	平年:並 前年:並	育苗時に圃場によっては発生しているが、定植後は平年並で推移した。	主力品種は罹病性の「章姫」であるが、近年は果育性の抵抗性品種「かおり野」の導入が進んでいる。	薬剤による予防防除、発病を軽減する育苗方法の導入(雨かけ育苗、底面給水等)、抵抗性品種(かおり野)の導入、発病株の除去等が行われた。	
	アザミウマ類	4月3月	平年:やや少 前年:やや少 前年:やや少	発生は平年よりやや少なかった。	密度上昇による被害拡大がはいよう、早期発見に努めている。	薬剤による防除が行われた。	
	ハダニ類	6月～3月	平年:やや少 前年:やや少	定植時からやや少なく、その後も少ない状況維持し続けた。	ほ場による差が大きく、定植時に少ない状況であることが重要であるとみられる。	薬剤による防除がなされた。薬剤感受性の低下を防ぐため、天敵資材(カブリダニ)や気門封鎖剤を組み合わせた防除を実施している。	

4. 病害虫の発生面積と防除面積

農作物名	作付面積 Ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
イネ (早期水稲)	27500	葉いもち			221	1882	2103	8987	8987
		穂いもち			221	2325	2546	10163	13161
		紋枯病			443	6974	7417	10163	13161
		イネミズゾウムシ		282	1316	8552	10149	7759	7759
		セジロウンカ				221	221	7766	11105
		トビイロウンカ				0	0	7766	11105
		ヒメトビウンカ				10959	10959	7766	11105
		ツマグロヨコバイ				7860	7860	7766	11105
		ニカメイチュウ第1世代				5203	5203	165	165
		ニカメイチュウ第2世代				4096	4096	0	0
		斑点米カメムシ類		222	1218	6753	8192	11991	11991
		コブノメイガ					0	0	0
		苗立枯病				11	11	26125	26125
		ばか苗病				0	0	1375	1375
		籾枯細菌病				8	8		
		籾枯細菌病(種子消毒)					0	25460	25460
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病				57	57	0	0
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)						26125	26125
		イネドロオイムシ				111	111	0	0
		イネクロカメムシ				4981	4981	129	129
		フタオビコヤガ				775	775	0	0
イチモンジセセリ				111	111	0	0		
アワヨトウ				0	0	0	0		
イネ (普通期 水稲)	1375	葉いもち			12	99	111	473	473
		穂いもち				0	0	535	535
		紋枯病				11	11	535	535
		イネミズゾウムシ		15	69	450	534	408	408
		セジロウンカ				0	0	409	584
		トビイロウンカ				0	0	409	584
		ヒメトビウンカ				773	773	409	584
		ツマグロヨコバイ				945	945	409	584
		ニカメイチュウ第1世代				274	274	9	9
		ニカメイチュウ第2世代				0	0	0	0
		斑点米カメムシ類		172	172	773	1117	631	631
		コブノメイガ				19	19	0	0
		苗立枯病					0	1375	1375
		ばか苗病					0	1375	1375
		もみ枯細菌病					0	0	0
		もみ枯細菌病(種子消毒)					0	1375	1375
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病					0	0	0
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)						1375	1375
		イネドロオイムシ				6	6	0	0
		イネクロカメムシ				262	262	7	7
		フタオビコヤガ				41	41	0	0
イチモンジセセリ				6	6	0	0		
アワヨトウ					0	0	0		
コムギ 30年産	6230	さび病類				0	0	0	
		うどんこ病				0	0	0	
		赤かび病				3461	3461	6230	6230

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha		
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積	
(コムギ続き)		黒穂病類				0	0	0	0	
		縞萎縮病				0	0	0	0	
		アブラムシ類				1731	1731	0	0	
		ムギアカタマバエ				0	0	0	0	
ダイズ	4390	ハスモンヨトウ		0	0	1329	1329	3266	3266	
		吸実性カメムシ類		0	1098	960	2332	1225	1286	
		紫斑病				5	5	4083	8265	
		アブラムシ類				0	0	0	0	
		コガネムシ類				412	412	0	0	
		シロイチモジマダラメイガ				27	27	0	0	
カンキツ	1624	そうか病			7	237	244	1,462	2,923	
		黒点病		10	325	1,180	1,515	1,462	6,943	
		かいよう病		2	14	320	336	1,462	3,654	
		ヤノネカイガラムシ				49	49	1,462	2,558	
		ミカンハダニ		1	239	328	568	1,462	4,750	
		カメムシ類		1	9	160	170	1,462	1,462	
		チャノキイロアザミウマ				2	729	731	1,462	5,846
		ミカンハモグリガ				5	190	195	1,462	1,462
		アブラムシ類					195	195	1,462	1,462
ナシ	155	黒星病			2	47	49	147	1,950	
		赤星病				23	23	147	515	
		うどんこ病				39	39	147	166	
		輪紋病				11	11	147	884	
		ハダニ類			1	25	26	147	442	
		カメムシ類			4	22	26	147	147	
カキ	432	炭疽病				17	17	302	1,285	
		うどんこ病				26	26	302	1,588	
		カキノヘタムシガ				22	22	302	680	
		カメムシ類		2	33	65	100	302	302	
ブドウ	118	べと病			3	50	53	112	897	
		黒とう病				20	20	112	785	
		チャノキイロアザミウマ				7	7	112	411	
		晩腐病			1	29	30	112	524	
チャ	2690	炭疽病				538	538	2341	5619	
		もち病				135	135	1435	2179	
		輪斑病			8	399	407	2421	2690	
		チャノコカクモンハマキ			120	1091	1211	2360	4247	
		チャハマキ				538	538	1641	2098	
		チャノホソガ			14	1439	1453	2265	4625	
		チャノミドリヒメヨコバイ			20	1594	1614	2265	4625	
		カンザワハダニ		9	41	1026	1076	2341	7160	
		チャノキイロアザミウマ		20	158	1302	1480	2360	8023	
		ツマグロアオカスミカメ				619	619	1883	1883	
		クロシロカイガラムシ		5	130	1533	1668	2152	3013	
ヨモギエダシヤク			2	536	538	1345	1614			
冬春トマト	63	疫病				2	2	10	10	
		灰色かび病			2	36	38	63	375	
		アブラムシ類				1	1	3	5	
秋冬ハクサイ	177	軟腐病			3	5	8	82	92	
		白斑病				5	5	156	156	
		べと病				4	4	157	157	
		アブラムシ類				32	32	117	221	
		ヨトウガ				26	26	150	220	
		コナガ				8	8	120	156	
冬キャベツ	231	黒腐病				3	3	218	251	
		菌核病				4	4	133	133	
		モンシロチョウ				18	18	50	64	
		コナガ				9	9	218	264	

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
(冬キャベツ続き)		ヨトウガ				29	29	133	264
		ハスモンヨトウ				21	21	199	199
		アブラムシ類				38	38	133	264
春キャベツ	146	菌核病			3	23	26	43	52
		モンシロチョウ				4	4	23	35
		コナガ				6	6	123	210
		アブラムシ類				25	25	132	260
秋冬ネギ	163	さび病				6	6	36	52
		黒斑病			1	9	10	152	217
		アブラムシ類				2	2	6	6
		ネギハモグリバエ			5	131	136	163	49
		ネギアザミウマ			7	145	152	163	660
		ネギコガ				11	11	36	36
冬春イチゴ	74	炭疽病				31	31	74	34
		灰色かび病			2	40	42	74	345
		うどんこ病				12	12	74	122
		アブラムシ類				14	14	74	225
		ハダニ類				25	25	74	220
		ハスモンヨトウ				7	7	74	95

5. 発行された予察情報

(1) 発生予察情報の一覧

発生予報	第1号 4月19日	第2号 5月24日	第3号 6月21日	第4号 7月19日	第5号 8月23日	第6号 10月25日	第7号 3月20日
------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------

	病虫害名	対象作物
特殊報第1号 平成30年6月20日	トマト黄化病	トマト

	病虫害名	対象作物
技術情報第1号 平成30年4月3日	コムギ赤かび病	コムギ
技術情報第2号 平成30年4月6日	コムギ赤かび病(出穂時期)	コムギ
技術情報第3号 平成30年5月8日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第4号 平成30年5月30日	クビアカツヤカミキリ	ウメ、モモ、カキ、サクラ等
技術情報第5号 平成30年6月15日	斑点米カメムシ類	イネ
技術情報第6号 平成30年6月27日	クワシロカイガラムシ第2世代幼虫	チャ
技術情報第7号 平成30年7月13日	いもち病(葉いもち)	イネ
技術情報第8号 平成30年8月9日	シロイチモジヨトウ	野菜類(果菜類)、花き類
技術情報第9号 平成30年10月9日	果樹カメムシ類(チャパネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	カキ等
技術情報第10号 平成30年10月1日	シロイチモジヨトウ	野菜類(ネギ類、アブラナ科野菜類、果菜類)、ダイズ、花き類
技術情報第11号 平成30年10月9日	ヒサカキワタフキコナジラミ	チャ
技術情報第12号 平成31年3月20日	コムギ赤かび病	コムギ

(2)予報

防除第3号
平成30年4月19日

各位

三重県病害虫防除所長

目次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	10
5. 気象のデータ	11
6. おしらせ	13

平成30年度病害虫発生予報第1号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、イネミズゾウムシの発生時期はやや早、発生量は少と予想されます。

コムギでは、赤かび病の発生量は平年並と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病の発生量は平年並と予想されます。ミカンハダニの発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量はやや多と予想されます。越冬量が多いため、圃場内をよく見回り、早期発見に努めてください。防除は飛来を確認してから実施してください。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。チャノホソガの発生量はやや多と予想されます。病害虫防除所ホームページのフェロモントラップ誘殺状況を参考にしてください。クワシロカイガラムシ、チャノココクモンハマキの発生量は平年並と予想されます。チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、ハダニ類の発生はやや多と予想されます。ほ場の発生状況の確認に努め、早期に防除を行って下さい。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	5月				
								下旬	上旬		中旬	下旬
イネ	イネミズゾウムシ	やや早	少	小	低					1) 近年、発生量が少ないので移植後、発生の状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。		
コムギ	赤かび病	—	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第1号(4月3日発表)、第2号(4月6日発表)。 2) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花最盛期が防除適期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。 3) 出穂および開花状況を把握し、適期防除を行ってください。 4) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。		
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	低					1) 発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。 2) 新葉に病斑が見られる圃場では、その後果実へ感染しますので、幼果期の防除を計画してください。		
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通					1) 越冬病斑が見られる圃場では、新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。 2) 越冬病斑が多い圃場では、伝染源となる発病葉及び発病枝は除去し、圃場外で処分してください。 3) 3~4月に防除を実施していない圃場では、5月に防除を実施してください。		
	ミカンハダニ	—	やや少	小	低					1) 冬期にマシン油乳剤を散布していない圃場では、新梢伸長期に急増することがあるので注意してください。 2) 発生量は圃場によるばらつきがあるので、発生状況をよく観察してください。 3) 成虫が1葉当たり0.5~1.0頭になったら防除を計画してください。		

2

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通					1) 昨年の発生が多かった圃場では、天気予報の降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。 2) 発病が確認されたら追加防除を行ってください。
	赤星病	—	平年並	小	普通					1) カイツカイブキ等の枝葉に生成された病原菌が飛散して、ナシに感染します。 2) 病原菌は雨滴によって飛散し、主に降雨中に感染します。
	ハダニ類	—	平年並	小	普通					1) 発生が見られる圃場では、低密度のうちに防除してください。
	アブラムシ類	—	平年並	小	普通					1) 初期の寄生を見つけることが重要です。 2) 寄生葉付近はアリが活発に活動していることがあるので、発見の目安になります。
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	中	普通					1) 本年は越冬量がやや多く、初夏までの圃場への飛来はやや多いと考えられます。 2) 山林に近い圃場や過去に多数飛来があった圃場では、飛来に注意してください。 3) 果樹カメムシ類は、4月はウメ、5月はナシ、ビワ、モモに飛来します。 4) 防除は圃場及び圃場周辺(街灯への夜間飛来など)への果樹カメムシ類の飛来を確認して行ってください。 5) 一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通					1) 一番茶摘採後圃場を確認して、多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。 2) 葉裏に生息していますので、葉裏に十分かかる様に薬剤をいねいに散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。 4) 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。
	チャノホソガ	—	やや多	小	普通					1) 新芽に産卵します。若齢幼虫の多発が認められた圃場では防除しましょう。 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	低					1) 新芽の葉柄基部や未展開葉の内側などを吸汁加害します。 2) 新芽の伸長と共に発生量が増加します。
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	中	普通					1) 4月13日現在の有効積算温度による予測式では、孵化最盛日は5月16日で平年(亀山10年平年値 5月18日)よりやや早く、防除適期は5月第5半旬頃と予想されます。なお、今後の温度変化により防除適期は変化しますので、ご注意ください。 2) 天敵保護のために、天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。 3) 孵化時期に散水により枝幹を濡らすことで歩行型幼虫の固着を防ぐ効果があります。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		4月		5月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 幼虫は孵化数日後に葉を2~3枚綴るようになるので、葉が効きにくくなります。孵化直後の若齢幼虫を対象に防除してください。 2) 例年、越冬世代成虫の発生最盛期は5月第2半旬です。この7~15日後の幼虫孵化期(5月中下旬頃)が防除適期です。 3) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので参考してください。
イチゴ	ハダニ類	—	やや多	中	普通					1) 圃場によって発生にばらつきがあります。こまめに圃場を観察し、発生状況を確認してください。 2) 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 薬剤散布の際は、収穫前日数と総使用回数を遵守するとともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	やや早	少	要因 1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (発生時期+) 2) 予察灯(4月第1半旬~第3半旬)では、未飛来(平年5月2日初飛来)と平年並 (発生時期±) 3) 予察灯(昨年7月第1半旬~9月第2半旬)では、誘殺数は102頭(平年160.6頭)とやや少 (-) 4) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率4.2%(平年11.8%)と少、払い落ち虫数は0頭(平年0.4頭)と少 (-) 考察: 今後の気象条件から、発生時期は平年よりやや早いと考えられます。また、昨年の予察灯及び巡回調査結果から越冬成虫の予想発生量は少と考えられます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月12日発表)によると、開花期と予想される4月中下旬以降の気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 作況試験田(11月10日播種・品種あやひかり・松阪市)では、出穂期は4月9日(平年4月11日)と平年並 (±) 3) 一般圃場では、播種時期が遅いものは生育が遅れており、適期播種の場合は昨年より出穂始まりが早い (±) 考察: 一般圃場を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、旧葉発病度0.03(平年0.0)と平年並 (±) 3) 一般圃場での発生量は平年並 (±) 考察: 今後の気象条件および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃(中晩柑類)では、発病率率38.9%(平年38.5%)と平年並 (±) 3) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、温州みかんでは旧葉発病度0(平年0.2)と平年並、中晩柑類では旧葉発病度6.0(平年8.9)とやや少 (-) 4) 一般圃場での発生量は平年並 (±) 考察: 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(4月上旬)では、100葉当り雌成虫寄生頭数は、無防除区12.2頭(平年95.1頭)と少、慣行防除区1.1頭(平年3.4頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、寄生葉率2.5%(平年6.1%)と少、寄生虫数/葉は0.14頭(平年0.26頭)とやや少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともにやや少と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、発病芽率0%(平年0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、発病芽率0%(6年平均0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、寄生葉率0%(6年平均0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	アブラムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、寄生枝率0%(8年平均0.3%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町4月1日～10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ6.0頭(平年4.4頭)とやや多、ツヤアオカメムシ241.0頭(平年6.7頭)と多 (+)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市4月第1半旬～第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ0頭(平年0頭)、ツヤアオカメムシ0頭(平年0頭)といずれも平年並 (±)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(御浜町4月1～10日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は2.6頭(平年2.0頭)と平年並、ツヤアオカメムシ1.6頭(平年0.4頭)と多 (+)</p> <p>4) フェロモントラップ(4月1～5日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)55頭(平年6.0頭)と多、中間地(津市白山町二本木)23頭(平年3.4頭)と多、平地地(松阪市嬉野川北町)0頭(平年0.1頭)と平年並 (±)</p> <p>5) 昨年度のフェロモントラップ(平成29年10月1日～11月30日)ではチャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)492頭(平年346.7頭)とやや多、中間地(津市白山町二本木)103頭(平年57頭)と多、平地地(松阪市嬉野川北町)40頭(平年27.1頭)と多 (+)</p> <p>6) チャバネアオカメムシの越冬量は、8.3頭/地点(平年4.6頭)と多、クサギカメムシの越冬量は、52.0頭/地点(平年52.2頭)と平年並 (±)</p> <p>7) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、カンキツ圃場への飛来は未確認 (-)</p> <p>考察: 昨年度秋以降の越冬世代の発生量はやや多と考えられ、越冬量もやや多いことから、今後の圃場への飛来数の予想発生量はやや多と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(4月中旬)では、寄生葉率4.0%(平年3.2%)と平年並、寄生頭数0.21頭/葉(平年0.23頭/葉)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、発生圃場率83.3%(平年33.1%)と多、寄生葉率11.0%(平年3.6%)と多、寄生頭数0.66頭/葉(平年0.11頭/葉)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノホソガ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、萌芽日は4月2日(平年4月8日)と早、初飛来は3月12日(平年3月20日)と早、フェロモントラップ(3月第3半旬～4月第2半旬)では誘殺数665.0頭(平年249.3頭)と多で産卵は未確認 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、新芽への産卵を確認 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃(3月第6～第2半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数 166.5 頭(4年平均 225.77 頭)とやや少の傾向 (-) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、叩き落とし虫数 0 頭(平年 1.8 頭)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生は未確認 (-) 考察: 今後の気象状況、県予察圃の状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、雌成虫寄生株率 9.8%(平年 14.3%)とやや少 (-) 3) 一般圃場では、発生量はやや多 (+) 考察: 今後の気象状況、巡回調査圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第1～第2半旬)では、誘殺数 19.3 頭(平年 19.4 頭)と平年並 (±) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数 0.1 枚/m ² (平年 0.4 枚/m ²)と少 (-) 4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 (±) 考察: 県予察圃および一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	ハダニ類	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月12日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生株率 21.5%(平年 12.8%)と多、寄生程度 14.9%(平年 6.4%)と多 (+) 3) 一般圃場では、発生量は平年並～多(概してやや多) (+) 考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、減少の要因がないことから引き続き予想発生量はやや多と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1か月予報 (平成 30年 4月12日 名古屋地方気象台発表)

東海地方の向こう1か月は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れる日が多い見込みです。期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。

1週目 4月14日～20日	天気は数日の周期で変わり、期間のはじめと中頃には前線や低気圧の影響で雨の降る日がある見込みです。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.1日・4.3日
2週目 4月21日～27日	天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。日本付近には西から暖かい空気が流れ込みやすい見込みです。	同 2.0日・4.3日
3～4週目 4月28日～5月11日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	同 4.6日・8.1日

東海地方週間天気予報 (平成 30年 4月16日 10時33分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 4月17日～4月23日

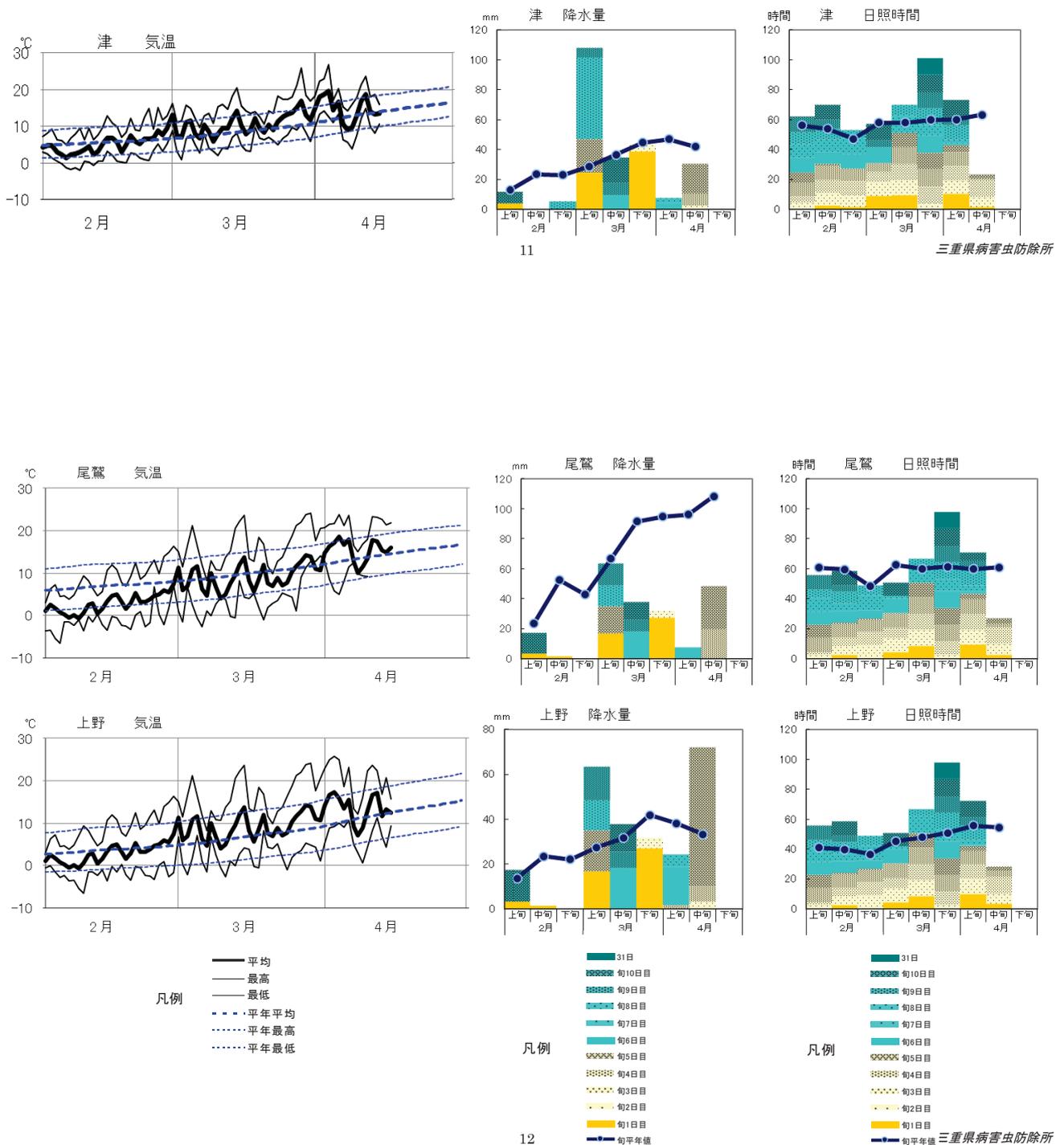
向こう1週間は、17日から18日にかけて日本の南海上の前線の影響で雨が降りますが、その後は高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

最高気温は、おおむね平年より高く、期間の中頃からはかなり高い日もあるでしょう。

最低気温は、期間の前半はおおむね平年並ですが、後半は平年より高い見込みです。

降水量は、平年並でしょう。

気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etm/index.php> から作成) (4月15日まで)



6. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回 4月19日(今回)	第2回 5月24日(木)
第3回 6月21日(木)	第4回 7月19日(木)
第5回 8月23日(木)	第6回 10月25日(木)
第7回 3月20日(水)	

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書 **NEW**

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

13

三重県病害虫防除所

防除第10号
平成30年5月24日
各位
三重県病害虫防除所長

平成30年度病害虫発生予報第2号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもちの発生時期はやや早、発生量は平年並と予想されます。イネクロカメムシの発生量は少、イネミズゾウムシの発生時期は早、発生量は少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、黒点病、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並、ミカンハダニ、かいよう病(温州みかん・中晩柑)の発生量はやや少と予想されず。

ナシでは、黒星病、ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量はやや多と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除を実施してください。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。発生量の多い茶園では薬剤が葉裏に十分かかるよう散布してください。炭疽病、もち病、チャノソコガ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。うどんこ病の発生量はやや少と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量はやや少と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームぺ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.h>

1 農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	5月		6月		
							平年比	平年比	程度		平年比
イネ	葉いもち	やや早	平年並	小	普通	置苗で発生		本田で発生		<ol style="list-style-type: none"> 1) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに除去し、枯死させてください。 2) 本田粒剤による予防は、初発前に行ってください。 3) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)において、感染好適条件の現れた7~10日後に初発が予測されます。 4) プラスタムの最新情報は、病害虫防除所ホームページで随時更新しています。 	
	イネクロカメムシ	—	少	小	低		成虫誘殺数		被害量	<ol style="list-style-type: none"> 1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークになる6月下旬に実施してください。 	
	イネミズゾウムシ	早	少	小	低		成虫誘殺数			<ol style="list-style-type: none"> 1) 株当たり0.5頭以上の成虫が発生していれば、防除してください。 	
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通	葉・枝		果実		<ol style="list-style-type: none"> 1) 梅雨明けまで幼果に感染します。 2) 6月以降は新芽や幼果の病斑から二次感染するので、予防散布が重要です。 	
	黒点病	—	平年並	小	普通		発病密度			<ol style="list-style-type: none"> 1) 生理落果盛期～後期に予防散布を実施してください。 2) 上記薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があったら次の防除を実施してください。 3) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去して下さい。 	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	5月		6月		
							平年比	平年比	程度		平年比
カンキツ	かいよう病	—	温州 やや少	温州 小	温州 低		発病密度			<ol style="list-style-type: none"> 1) 旧葉で越冬病斑が見られる圃場では、感染を助長する降雨等の気象条件に注意し、ボルドー剤による予防防除を実施してください。 2) 越冬病斑が見られない圃場でも、本病に弱い品種(カラ、セミノールなど)では、幼果への感染防止対策として予防散布を実施してください。 3) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起ります。 	
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通		雌ダニ密度			<ol style="list-style-type: none"> 1) 梅雨期は薬剤散布のタイミングが取りにくい時期です。マシン油乳剤等を有効に利用する散布を計画して下さい。 2) 発生密度が高い圃場では、散布ムラのないように十分に薬剤散布してください。 3) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。 	
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通		成虫密度			<ol style="list-style-type: none"> 1) 例年被害の多い圃場では6月上旬～中旬に防除し、その後は30日間隔を目安に次回防除を行ってください。 	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通		発病密度			<ol style="list-style-type: none"> 1) 圃場内をよく観察し、発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。 2) 発病薬は発見次第取り除き、圃場外へ持ち出して処分してください。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため同一系統薬剤の連用を避けてください。 	
	ハダニ類	—	平年並	小	普通		雌ダニ密度			<ol style="list-style-type: none"> 1) 防除の目安は成虫の1葉当り寄生頭数が1頭以上の時です。 2) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。 	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		5月	6月			
						下旬	月上旬	中旬	下旬	
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通					1) 雨が連続と急激に発生が広がります。降雨が予想される時は、早めに予防散布を行ってください。 2) 葉裏をよく観察し、病斑を認めたら直ちに防除を実施してください。 3) 被害葉、被害果穂は発見次第取り除き、圃場外に持ち出し処分してください。
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	中	普通					1) 降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり、圃場を見回るなどして、早期発見に努めてください。 2) 山林に近い圃場では特に注意が必要です。 3) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。 4) 夕刻から活発に飛翔するので朝夕の薬剤散布が効果的です。 5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通					1) 気温が25℃前後で降雨時間が長く湿潤であると多発します。 2) 6月上中旬頃の気象によっては感染が助長されるので注意してください。 3) 旧葉に病斑葉が多いところでは注意してください。 4) 開葉初期に防除してください。
	もち病	—	平年並	小	低					1) 気温が低い(15～22℃)と多発します。 2) 山間地など日陰になりやすいところでは、降雨により感染が多くなります。 3) 萌芽期が防除適期です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		5月	6月			
						下旬	月上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通					1) 世代交代が早く、急増することがあるので、発生密度の低い時期に防除してください。 2) 葉裏に生息していますので丁寧に散布してください。 3) 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノホソガ	—	平年並	中	普通					1) 防除適期は孵化直後の潜葉期(幼虫による絵描き状態)です。 2) 成虫の飛来状況と新芽への産卵状況(水滴状の卵)に注意してください。 3) 成虫の飛来状況は、病害虫防除所のホームページを参考にしてください。
	チャノミドリヒメコバイ	—	平年並	小	普通					1) 成虫で越冬し、新芽の伸長とともに発生が増加します。 2) 新芽を加害し、先端から褐変して落葉することもあります。 3) 二番茶の萌芽期～開葉初期に防除してください。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	小	低					1) 成虫で越冬し、新芽の葉の組織内に産卵し、加害します。 2) 二番茶の萌芽前～開葉初期に防除してください。
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通					1) 今後1か月は感染しやすい時期です。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病葉は適切に処分してください。 2) 育苗圃で発生が多いと本圃でも多発するため、親株の時期から薬剤防除を徹底し、健全苗を育成してください。特にハウスで発生が多くなるので注意して下さい。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		5月		6月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	炭疽病		平年並	中	普通					1) 高温・多湿条件で発生しやすいため、今後の梅雨・高温期にかけては注意が必要です。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。 3) 罹病株は感染源となります。見つけ次第速やかに除去し、圃場外に持ち出して処分してください。 4) 水滴の跳ね返りによって病原菌が広がります。灌水時は、跳ね返った水滴が茎葉に当たらないよう注意してください。
ネギ	ネギコガ		やや少	小	普通					1) 春から秋にかけて4~5回発生します。 2) 幼虫が葉の内部に潜り、表皮を残して食害するため、潜入防止のための早期防除が重要です。
野菜共通	コナガ		やや少	小	普通					1) 近年、大きな被害は見られませんが、繁殖力が旺盛なアブラナ科野菜の重要害虫です。 2) 中・老齢幼虫は殺虫効果が低くなるので、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	やや早	平年並	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が少なく、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(発生時期-、発生量+) 2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、置き苗での発生率0%(平年0%)、本田での発生圃場率0%(平年0%)と、平年並に少(±) 3) 一般圃場では、発生量は無(±) 考察: 今後の気象条件から予想発生時期は平年よりやや早、今後の気象条件、巡回調査結果、一般圃場での発生状況から予想発生量は平年並と考えます。
	イネクロカメムシ	-	少	要因 1) 予察灯(松阪市・昨年8月第2半旬~10月第6半旬)では、誘殺数は水田位置3頭(平年34.8頭)と少、畑位置78頭(平年1161.6頭)と少(-) 考察: 予察灯の状況から越冬成虫数は少ないと考えられるため、予想発生量は少と考えます。
	イネミズゾウムシ	早	少	要因 1) 予察灯(畑・松阪市:4月第1半旬~5月第3半旬)では、越冬成虫の最盛日は5月1日(5年平均5月13日)と早い傾向。誘殺数は43頭(5年平均57.3頭)とやや少ない傾向(発生時期-、発生量-) 2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発生圃場率38.8%(平年59.0%)と少、被害株率17.2%(平年22.8%)と少、株当たり虫数0.03頭(平年0.05頭)と少(-) 3) 一般圃場での発生量は無~やや少(概して少)(-) 考察: 予察灯の状況から幼虫の予想発生時期は早、予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。
カンキツ	そうか病	-	平年並	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(+) 2) 県予察圃(5月17日、無防除)では、新葉発病率68.0%(平年61.4%)とやや多、発病果率12.5%(平年7.4%)と多(+) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病度0(平年0.02)とやや少(-) 4) 一般圃場での発生量は、少からやや少(概してやや少)(-) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(無防除区)では、昨年10月上旬の果実発病度は100.0(平年100.0)で平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場では、昨年10月上旬の果実発病度3.0(平年17.1)と少 (—)</p> <p>4) 感染源となる枯枝は平年並 (±)</p> <p>考察: 平年と比べて大きな増減の要因はなく、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 やや少 中晩柑 やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(5月中旬、新甘夏、無防除)では、新葉発病率0.0%(平年0.0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.1%)と平年並に少、中晩柑類では2.3%(平年7.4%)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(5月17日)では、100葉当り寄生頭数は、無防除区7.8頭(平年30.4頭)と少、慣行防除区0.0頭(平年0.8頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉寄生率0.2%(平年9.2%)と少、寄生頭数0.003頭/葉(平年0.79頭/葉)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少から平年並(概してやや少) (—)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃における5月上旬の黄色粘着トラップ誘殺数3.93頭/日(平年値0.49頭/日)と多 (+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病率0.3%(平年0.5%)とやや少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 巡回調査圃場および一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、寄生率0%(平年0.04%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 巡回調査圃場および一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病率は0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並に少と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町・5月1日～10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ112.0頭(平年443.9頭)と少、ツヤアオカメムシ1563.0頭(平年941.5頭)と多 (±)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:5月1日～20日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ283頭(平年593.6頭)と少、ツヤアオカメムシ72頭(平年30.8頭)と多 (±)</p> <p>3) フェロモントラップ(5月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で86頭(平年49.8頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で101頭(平年89.0頭)と多、平坦地(松阪市嬉野川北町)で4頭(平年49.5頭)と少 (±)</p> <p>4) フェロモントラップ(5月第2週)では、ツヤアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で8頭(平年2.2頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で1頭(平年3.5頭)と少、平坦地(松阪市嬉野川北町)で3頭(平年4.6頭)と少 (±)</p> <p>5) 巡回調査圃場(5月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落とし虫数0頭(平年0.2頭)とやや少 (—)</p> <p>6) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は、種による差が見られるもののやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病虫害名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (+) 2) 県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認 (±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、新葉発病葉数 0.07 葉/m ² (平年 0.13 葉/m ²)とやや少 (-) 考察: 現状の発生量は巡回調査圃場の状況を重視してやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量は平年並と考えます。
	もち病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (+) 2) 県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認 (±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、新葉発病枚数 0 枚(平年 0 枚)と平年並に少 (±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃(5月中旬)では、寄生葉率 1.0%(平年 2.74%)と平年並の傾向、寄生頭数 0.01 頭/葉(平年 0.09 頭/葉)と平年並の傾向 (±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発生圃場率 42.9%(平年 33.4%)と平年並の傾向、寄生葉率 2.9%(平年 3.8%)とやや少、寄生頭数 0.83 頭/葉(平年 0.82 頭/葉)と平年並 (±) 4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+) 考察: 一般圃場の発生状況から予想発生量はやや多と考えます。
	チャノホソガ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃(3月第4半旬~5月第3半旬)では、フェロモントラップ誘殺数 54 頭(平年 143.6 頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、巻葉数 4.4 枚/m ² (7年平均 0.16 枚/m ²)と多の傾向 (+) 4) 一般圃場では、発生量は少 (-) 考察: 県予察圃、巡回調査圃場、一般圃場の発生状況から予想発生量は平年並と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃(4月第4半旬~5月第3半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数 8.1 頭(5年平均 10.3 頭)と平年並の傾向 (±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、叩き落とし虫数 0.4 頭(平年 1.0 頭)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 県予察圃と一般圃場での発生状況を重視して予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病虫害名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃(4月第4半旬~5月第3半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数 29.0 頭(5年平均 59.6 頭)と少の傾向 (-) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、叩き落とし虫数 1.6 頭(平年 3.8 頭)と平年並の傾向 (±) 4) 一般圃場では、発生量は少 (-) 考察: 巡回調査圃場での発生状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概してやや少) (±) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	炭疽病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (+) 2) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ネギ	ネギコガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第5半旬~5月第4半旬)では、誘殺数 53 頭(平年 127.8 頭)とやや少 (-) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、被害葉率 0%(平年 0.03%)と平年並 (±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察: フェロモントラップの誘殺数を重視し、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
野菜共通	コナガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月17日発表)によると、平年に比べ平均気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第5半旬~5月第4半旬)では、誘殺数 16 頭(平年 43.1 頭)と少 (-) 3) 一般圃場では、発生量は少~やや少(概してやや少) (-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅				

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(+)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成30年5月17日 名古屋地方気象台発表)

期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。期間の後半は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。向こう1か月の降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目 5月19日～ 25日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.2日・4.0日
2週目 5月26日～ 6月1日	移動性高気圧と、低気圧が交互に通過して、天気は数日の周期で変わります。	同 1.9日・4.2日
3～4週目 6月2日～ 15日	低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	同 4.5日・7.0日

東海地方週間天気予報(平成30年5月21日16時32分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 5月22日から5月28日まで

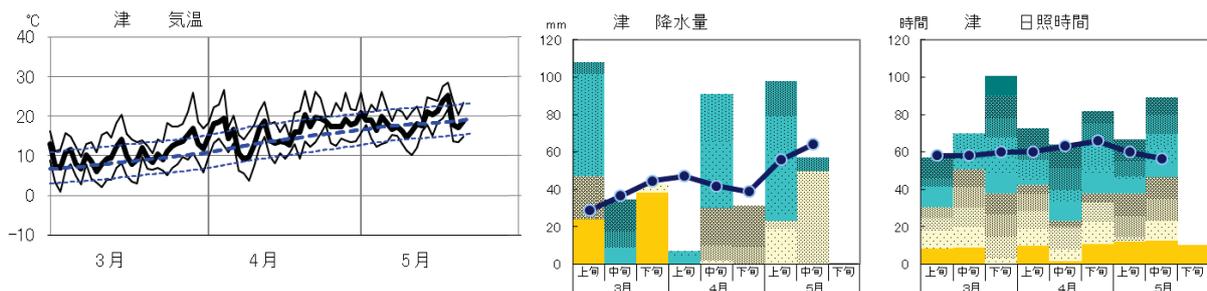
向こう1週間は、天気は数日の周期で変わります。期間のはじめと終わりは低気圧や前線の影響で雨が降る見込みです。

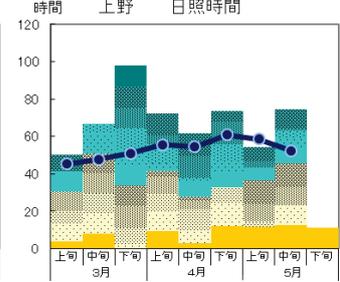
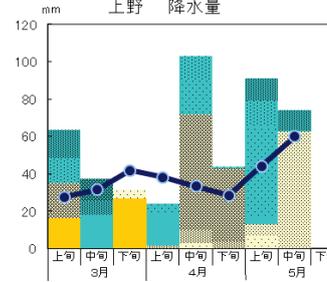
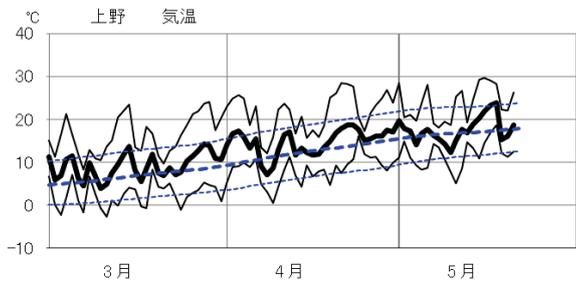
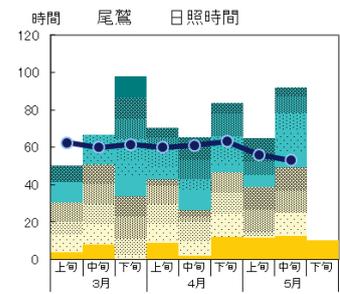
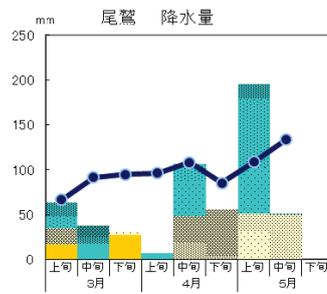
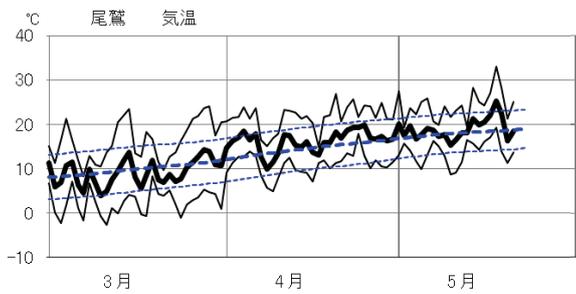
最高気温は、平年並か平年より高いですが、期間のはじめは平年より低い日があるでしょう。

最低気温は、期間のはじめは平年並ですが、その後は平年より高いでしょう。

降水量は、平年より多いでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (5月21日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ● 旬平均値

凡例
 ■ 31日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ● 旬平均値

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 第1回 4月19日(木) (済み) | 第2回 5月24日(木) (今回) |
| 第3回 6月21日(木) | 第4回 7月19日(木) |
| 第5回 8月23日(木) | 第6回 10月25日(木) |
| 第7回 3月20日(水) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各 位

三重県病害虫防除所長

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	8
4. 予察項目の見方	15
5. 気象のデータ	16
6. おしらせ	18

平成 30 年度病害虫発生予報第 3 号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもち、白葉枯病、斑点米カメムシ類の発生量は平年並で、イネクロカメムシは少、ツマグロヨコバイはやや少と予想されます。

穂いもち、紋枯病の発生時期はやや早、発生量は平年並と予想されます。防除適期を逃さないよう注意してください。

セジロウンカの発生時期および発生量は平年並と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、チャノキイロアザミウマの発生量はやや多と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除してください。そうか病、かいよう病(中晩柑)、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。黒点病、かいよう病(温州みかん)の発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、ハダニ類の発生量は平年並、黒星病の発生量はやや少と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、チャノホソガ、クワシロカイガラムシの発生量はやや多と予想されます。適期防除を心掛けてください。クワシロカイガラムシの発生時期は早と予想されます。防除時期をご確認ください。チャノコカモンハマキの発生量は平年並と予想されます。炭疽病、カンザワハダニ、チャノドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、うどんこ病、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。ハダニ類はやや少と予想されます。

ネギ共通では、ネギコガの発生量は、青ネギはやや少、白ネギでは平年並と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								6月	7月			
						下旬	中旬	下旬				
イネ	葉いもち	—	平年並	中	普通					1) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。 3) 感染適温は 24℃で、葉身の「ぬれ」時間が長いほど感染量が多くなります。 4) 雨天が続いた場合、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除をしてください。		
	穂いもち	やや早	平年並	中	普通					1) 上位葉の葉いもち病斑が伝染源となります。 2) 圃場および周辺圃場での葉いもちの発生状況に注意してください。 3) 薬剤散布は出穂始めから穂揃い期に予防的に行ってください。		
	紋枯病	やや早	平年並	小	普通					1) 幼穂形成期頃(穂肥時期)から発生が目立つようになります。 2) 水面に近い茎から茎へ感染します。薬剤散布によって病斑の上位葉への進展を阻止してください。		
	白葉枯病	—	平年並	小	低					1) 深水、冠水、台風によって感染や発病が助長されます。 2) 常発地では台風直後に薬剤散布をしましょう。予防的な薬剤散布が効果的です。 3) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意してください。		
	斑点米カメムシ類	—	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第 5 号(6 月 15 日発表) 2) 畦畔などのイネ科雑草で増殖します。草刈りをごまめに行い、イネ科雑草の穂がつかないように管理してください。 3) 水田内で雑草が多発すると、水田への侵入を助長するため、早めに除去しましょう。 4) 出穂2~3週間前と出穂期の2回除草が効果的です。出穂2~3週間前の1回除草だけでは、水稲の出穂期に、再び畦畔のイネ科雑草の穂がでてカメムシが本田に飛来します。		

2

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	6月		7月		
							発生時期	発生量	発生時期		発生量
イネ	イネクロカメムシ	—	少	小	低	被害量	誘殺数			1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークとなる6月下旬に実施してください。 2) 日中は株元に潜んでいるので、夕方や曇天の日に薬剤散布を行うと効果的です。	
	ツマグロヨコバイ	—	やや少	中	低	成虫密度				1) 萎縮病を媒介しますが、本県での発生は少ないとされています。 2) 当面、防除が必要な密度には達しないと思われます。	
	セジロウムカ	—	やや少	小	低	成虫密度				1) 例年、6月末から7月にかけて海外から飛来します。九州以北では越冬できないとされています。 2) 被害の発生は局所的であることが多いです。 3) 防除不要な年が多いですが、多発時は発生予察情報に従い防除してください。	
カンキツ	そうか病	—	—	小	普通	枝・葉	果実			1) 常発圃場や昨年多発した圃場、幼木園、高接ぎ更新園の温州みかんでは、発生に注意してください。 2) 果実への感染は梅雨末期頃までとされています。	
	黒点病	—	やや少	小	普通	発病密度				1) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 2) 薬剤散布は前回の散布後に積算降水量が200～300mmに達した時を目安に実施してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	6月		7月		
							発生時期	発生量	発生時期		発生量
カンキツ	かいよう病	—	温州 やや少	温州 小	温州 低	発病密度				1) 降雨があると急速に感染が広がるので、発生圃場では雨の合間に防除してください。 2) 発病枝葉、果実は、見つけ次第剪除し処分してください。 3) 幼木や高接樹ではミカンハモグリガの被害部に発病しやすいので、ミカンハモグリガの防除を実施してください。 4) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起きます。	
	ミカンハダニ	—	—	中	普通	ダニ密度				1) 発生密度が高くなると防除が困難になります。1葉当りの雌成虫発生数が0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。	
	チャノキイロアザミウマ	—	やや多	中	普通	成虫密度				1) 寄生果率10%を目安に防除してください。 2) 7月になり果実肥大が進むと果頂部で加害します。 3) 圃場周辺のイヌマキ・サンゴジュ等が発生源となります。	
ナシ	黒星病	—	やや少	小	普通	発病密度				1) 発病果及び発病葉は除去して、圃場外に持ち出し処分してください。 2) 発病が確認される圃場では、すみやかに防除を計画してください。 3) 薬剤散布を実施するときは薬剤をていねいに散布し、同一系統薬剤の連用を避けてください。	
	ハダニ類	—	—	中	普通	ダニ密度				1) 1葉当り寄生数が1～2頭で防除を実施してください。 2) 7～8月に密度が高くなります。徒長枝での発生にも注意してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	6月		7月		
							発生時期	発生量	発生時期		発生量
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通	発病密度				<ol style="list-style-type: none"> 1) 降雨が連続すると病徴が急速に進展するので、葉裏に病斑を認めたら直ちに薬剤を散布してください。 2) 降雨の合間に防除を計画してください。 3) 被害葉及び被害落葉は感染源となるので圃場外に持ち出して処分してください。 4) 同一系統薬剤の連用を避けてください。 	
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	普通		チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ		<ol style="list-style-type: none"> 1) 病害虫発生予察注意報第1号(5月31日発表) 2) 7月後半以降で飛来数が増加する可能性がありますので注意が必要です。 3) ナシ(無袋栽培)、カキでまとまった飛来を確認したら、防除を実施してください。 4) 中山間地や以前多発したことがある地域では、圃場への飛来に注意してください。 	
チャ	炭疽病	—	やや少	小	普通	発病			次の感染	<ol style="list-style-type: none"> 1) 旧葉の病斑が感染源です。新葉の展葉までに毛茸の脱落部分から感染します。 2) 新芽の1葉期前後に感染し易く、潜伏期間の15~20日を経て発病します。 3) 二番茶摘採後に整剪枝を行うことによって、発生が抑制できます。 	
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通	ダニ密度				<ol style="list-style-type: none"> 1) 葉裏に産卵するので、丁寧に散布してください。 2) 天敵が増加する時期なので、天敵に影響が少ない薬剤を選択してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避けてください。 	
	チャノホソガ	—	やや多	小	普通	成虫密度				<ol style="list-style-type: none"> 1) 年間6~7世代発生します。 2) 防除適期は孵化直後の潜葉期(絵描き状態)です。 3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫18)、ジアミド剤(虫28)の使用回数は最大年1回までとさせていただきます。 	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	6月		7月		
							発生時期	発生量	発生時期		発生量
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや少	小	普通	成虫密度				<ol style="list-style-type: none"> 1) 年間5~8回発生し、新芽を加害します。葉先が褐変し、ひどくなると落葉します。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。 	
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	中	普通	成虫密度				<ol style="list-style-type: none"> 1) 年間7~8回発生し、新芽を加害します。萌芽初期に芽の芯から加害し、条痕となります。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。 	
	クワシロカイガラムシ	早	やや多	中	普通				第二世代幼虫孵化	<ol style="list-style-type: none"> 1) 病害虫防除技術情報第3号(5月8日発表) 2) 年3回発生します。孵化最盛期の2~5日後が防除適期です。 3) 有効積算温度による発生消長予測式では、第2世代幼虫の孵化最盛期は平年より早いと予測されます。 4) 歩行型幼虫の発生状況をルーペ等で実際に確認して防除してください。 5) 孵化開始から2週間程度の断続的な散水により孵化抑制及び孵化幼虫の生存率を低下できます。 6) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。 	
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通	第一世代成虫			第二世代成虫	<ol style="list-style-type: none"> 1) 年間4世代発生します。防除適期は誘殺ピークの7~10日後です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップの誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) 交信かく乱剤をまとまった面積に実施することにより、次世代以降の密度を下げるすることができます。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐためジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫18)、ジアミド剤(虫28)の使用回数は最大年1回までとさせていただきます。 	

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		6月		7月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	うどんこ病	-	平年並	中	普通					1) 育苗期の防除を徹底してください。 2) 薬剤防除は予防散布に努めます。葉裏から発生しやすいので、葉液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布してください。 3) 発病を認めたときは、集中的に散布して感染拡大を防いでください。
	炭疽病	-	平年並	中	普通					1) 病原菌は高温多湿条件を好み、梅雨時期以降に発生が多くなるため、十分な注意が必要です。 2) 病原菌(孢子)を含む水の跳ね返りで感染が拡大します。頭上灌水は避け、株を濡らさないようにしてください。 3) 発病株は感染源となるため、周辺株を含めて直ちに除去し、処分してください。 4) 薬剤防除は、葉液が株元まで十分かかるよう丁寧に散布してください。
	ハダニ類	-	やや少	小	普通					1) 作物残渣から歩行によって移動します。葉かき後の残渣は圃場外に持ち出し、速やかに処分してください。 2) 多発すると防除が困難になります。早期発見に努め、発生初期に防除を行ってください。 3) 散布は葉裏を中心に丁寧に行ってください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ共通	ネギコガ	-	青ネギ やや少 白ネギ 平年並	小	普通					1) 春から秋にかけて4~5回発生します。 2) 幼虫は葉の内部に潜り、表皮を残して食害します。潜入防止のため、発生初期から防除を行うことが重要です。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	-	平年並	要因 1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (-) 2) プラスタム(6月18日現在)によると、感染好適条件は5月30~31日、6月7~11日及び15~16日に各地域で出現 (+) 3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、本田における発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少 (±) 4) 一般圃場では、発生量は無であり、一部地域の普通期水稻の育苗施設で苗に発生を確認 (±) 考察: プラスタムによる判定結果および巡回調査圃場、一般圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	穂いもち	やや早	平年並	要因 1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (-) 2) 農業研究所作況試験田(4月24日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は早 (発生時期-) 3) 一般圃場では、生育はやや早~平年並で、概して平年並 (発生時期±) 4) 葉いもち発生量は平年並の予想 (±) 考察: 水稻の生育状況を考慮して予想発生時期はやや早、葉いもちの予想発生量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	紋枯病	やや早	平年並	要因 1) 農業研究所作況試験田(4月24日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は早、茎数はやや少 (発生時期-, 発生量-) 2) 昨年8月の巡回調査圃場では、発生圃場率33.1%(平年29.7%)と平年並、発病度は1.5(平年1.9)と、平年並の傾向 (±) 3) 一般圃場では、生育はやや早~平年並、茎数はやや少~平年並で、概して平年並 (発生時期±, 発生量±) 考察: 水稻の生育状況を考慮して予想発生時期はやや早、同様に水稻の生育状況と感染源となる越冬菌核量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	白葉枯病	-	平年並	要因 1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (±) 2) 県内では4月以降、激しい風を伴う大雨はなし (-) 考察: これまでのところ、激しい風雨による冠水の機会は少ないため、予想発生量は平年並に少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	斑点米カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 水田位置予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数はアカスジカスミカメ3頭(平年13.5頭)と少、アカヒゲホソミドリカスミカメ15頭(平年21.8頭)とやや少(—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる発生地点率は、ホソハリカメムシで5.9%(平年8.7%)と少、クモヘリカメムシで0%(平年0.2%)と平年並にやや少、シラホシカメムシ類で0%(平年4.6%)と少、アカスジカスミカメで36.4%(平年39.7%)と平年並の傾向、アカヒゲホソミドリカスミカメで23.7%(平年9.4%)と多(±)</p> <p>3) 2)の調査で捕獲した成幼虫数は、ホソハリカメムシで0.07頭(平年0.15頭)と少、クモヘリカメムシで0頭(平年0.01頭)と平年並にやや少、シラホシカメムシ類で0頭(平年0.08頭)と少、アカスジカスミカメ2.1頭(平年2.3頭)と平年並の傾向、アカヒゲホソミドリカスミカメで0.5頭(平年0.3頭)とやや多の傾向(±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	イネクロカメムシ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は水田位置2頭(平年6.1頭)と少、畑位置80頭(平年115.9頭)と少(—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率0.8%(平年2.7%)と少、25株当たり成虫数0頭(平年0.02頭)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年0.5頭)、紀北町0頭(平年0頭)、御浜町1頭(平年0頭)、伊賀市(5月第1半旬～6月第2半旬)0頭(平年0頭)とそれぞれ平年並に少、松阪市・畑位置2頭(平年53.8頭)と少(—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成幼虫数0.1頭(平年0.2頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	セジロウンカ	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(松阪市、紀北町、御浜町)では、6月9日現在、伊賀市では6月13日現在、未飛来(松阪市・平年初飛来7月11日、昨年初飛来8月9日)(発生時期±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成虫数は0頭(平年0.002頭)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(±)</p> <p>考察: これまでの飛来状況から発生時期は平年並、現在の飛来状況から当面は密度が大きく上昇することはないと予想されるため、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	そうか病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、春葉発病率78.5%(平年71.0%)とやや多、発病果率71.7%(平年61.1%)とやや多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0.03(平年0.02)とやや多(+)</p> <p>4) 一般圃場のうち、紀州地域では発生量は少、それ以外ではやや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	黒点病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、果実発病率18.3%(平年22.9%)とやや少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0(平年1.3)とやや少の傾向(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少)(—)</p> <p>5) 感染源となる枯枝量は平年並(±)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 やや少 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想(+)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、新甘夏、無防除)では、春葉発病率1.2%(平年1.5%)と平年並、発病果率0%(平年0.3%)と平年並に少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.1%)と平年並に少、中晩柑では6.3%(平年3.2%)と多(±)</p> <p>4) 中晩柑類の一般圃場での発生量は少～平年並(概してやや少)(—)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。中晩柑類では、一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想(+)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数は無防除区25.6頭/100葉(平年46.7頭/100葉)とやや少、慣行防除区15.6頭/100葉(平年13.8頭/100葉)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週:調査日)では、春葉寄生率0.5%(平年10.7%)と少、寄生頭数0.005頭/葉(平年0.43頭/葉)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月上旬、無防除)では、誘殺数4.9頭/日(平年1.0頭/日)と多 (+)</p> <p>3) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、寄生虫数6.7頭/100果(平年0.4頭/100果)と多 (+)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害果率0%(平年0.5%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果および一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや多と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病葉率0.6%(平年2.2%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生葉率0.3%(平年0.02%)と多、寄生頭数0.003頭/葉(平年0.0002頭/葉)と平年並 (+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病葉率0%(平年0.05%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町6月上旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ128頭(平年92.7頭)とやや多、チャバネアオカメムシは71頭(平年920.6頭)と少 (±)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:6月第2半旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ22頭(平年44.7頭)とやや少、チャバネアオカメムシ30頭(平年131頭)と少 (-)</p> <p>3) フェロモントラップ(6月第1週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、平坦地(松阪市嬉野川北町)で19.2頭(平年19.2頭)と平年並、中間地(津市白山町二本木)で166.1頭(平年166.2頭)と平年並、山地(津市白山町川口)で37.9頭(平年51頭)とやや少 (±)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落としたり見取り調査による飛来は0頭(平年0.07頭)と平年並の傾向 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率5.6%(平年9.9%)と少、発病葉数0.1枚/m²(平年0.2枚/m²)とやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数0頭/葉(平年0.07頭/葉)と少、寄生葉率0%(平年2.2%)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率50.0%(平年33.1%)と多、寄生葉率2.2%(平年3.3%)とやや少、寄生頭数0.04頭/葉(平年0.07頭/葉)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 県予察圃と巡回調査圃場の発生状況を重視して現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮し、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノホソガ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、誘殺数9,456頭(平年1,747頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、巻葉数0.67枚/m²(平年0.22枚/m²)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 県予察圃を含む一部地域で多発している状況であり、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、捕殺数14.9頭(平年19.4頭)とやや少の傾向 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数2.4頭(平年1.8頭)とやや多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 県予察圃および一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、捕殺数318頭(平年520頭)とやや少の傾向 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数1.4頭(平年10.1頭)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 県予察圃および一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	クワシロカイガラムシ	早	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 有効積算温度による予測式では、第2世代幼虫孵化最盛日は7月11日頃(平年7月21日頃) (発生時期-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、雌寄生株率6.6%(平年6.9%)と平年並、雄繭発生株率14.7%(平年7.6%)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。予想発生時期は早と考えます。</p>
	チャノココクモンハマキ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、誘殺数152頭(平年241頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数0.44枚/m²(平年0.55枚/m²)とやや少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生状況は一般圃場の状況を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病		平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率5.6%(平年5.7%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	炭疽病		平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は、平年並に少と考えられ、気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類		やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生株率9.3%(平年7.0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
青ネギ	ネギコガ		やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、誘殺数は35頭(平年201.7頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害率率0%(平年0.3%)と平年並に少 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
白ネギ	ネギコガ		平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月14日発表)によると、降水量は平年に比べ少なく、気温は平年並か高い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、誘殺数は35頭(平年201.7頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害率率6.7%(前年0.0%)と前年に比べて多の傾向 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成30年6月14日 名古屋地方気象台発表)

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。期間の後半は梅雨前線の影響を受けにくい時期があります。向こう1か月の気温は平年並か高い見込みですが、期間のはじめは冷涼な空気に覆われて気温の低い時期があるでしょう。

1週目 6月16日～22日	高気圧に覆われて晴れる日もありますが、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.7日・3.2日
2週 6月23日～29日	平年と同様に、梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。	同 2.4日・3.2日
3～4週目 6月30日～7月13日	梅雨前線の影響を受けにくい時期がある見込みです。平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。	同 5.6日・5.6日

東海地方週間天気予報

(平成30年6月18日16時32分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 6月19日～6月25日

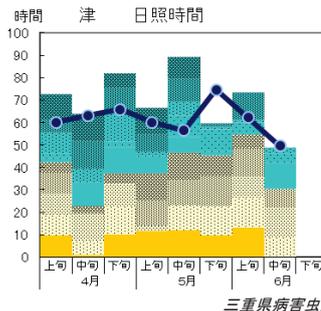
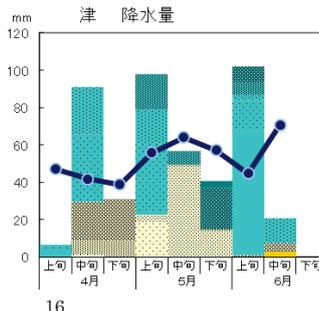
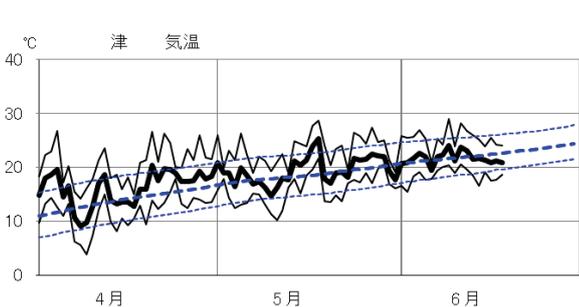
向こう一週間は、前線や湿った空気の影響で雨の降る日が多い見込みです。

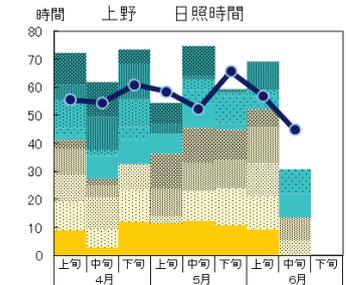
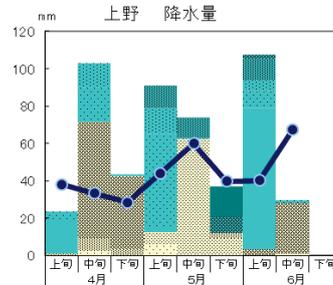
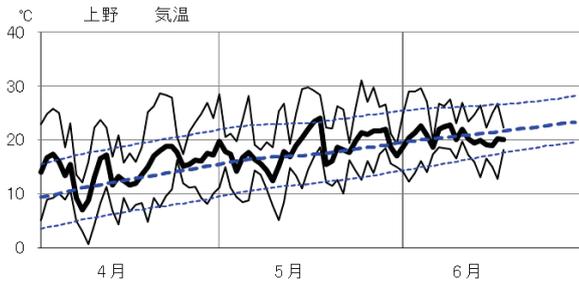
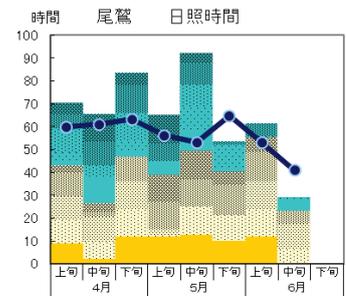
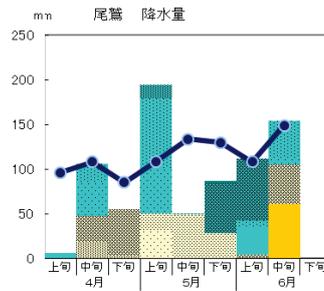
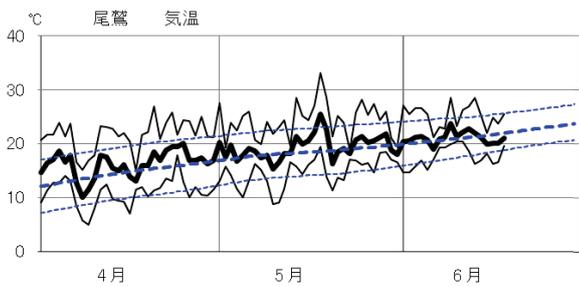
20日から21日頃は、梅雨前線の活動の程度によっては、大雨となるおそれがあります。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高いでしょう。

降水量は、平年より多く、かなり多くなる所もある見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (6月18日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬年値

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|------------------|
| 第1回 4月19日(木)(済み) | 第2回 5月24日(木)(済み) |
| 第3回 6月21日(木)(今回) | 第4回 7月19日(木) |
| 第5回 8月23日(木) | 第6回 10月25日(木) |
| 第7回 3月20日(水) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気付きにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各位

三重県病害虫防除所長

目次

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	13
5. 気象のデータ	14
6. お知らせ	16

平成30年度病害虫発生予報第4号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、紋枯病、白葉枯病、斑点米カメムシ類の発生量は平年並と予想されます。穂いもちの発生量はやや少と予想されます。イネクロカメムシ、ツマグロコバエ、セジロウカ、トビロウカの発生量は少と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意してください。コガネムシ類の発生量は平年並と予想されます。紫斑病の発生量はやや少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、チャノキイロアザミウマの発生量はやや多と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除してください。かいよう病(温州、中晩柑)、黒点病、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、炭疽病、チャノミドリヒメコバエ、チャノキイロアザミウマ、チャノココクモンハマキの発生量は平年並と予想されます。カンザワハダニの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴの炭疽病は、やや少と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/bvogai/hp/index.h>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	7月				
								下旬	中旬		下旬	下旬
イネ	穂いもち	—	やや少	中	普通	出穂	発生密度			1) 病害虫防除技術情報第7号(7月13日発表)。 2) 葉いもちが上位葉で発生している圃場では、感染の恐れがあります。発生状況に注意してください。 3) これから出穂期となる圃場において、薬剤散布する場合は、出穂始めから穂揃い期に実施してください。		
	紋枯病	—	平年並	中	普通	出穂	発生密度			1) 高温多湿条件で発病が助長されます。 2) 多肥、過繁茂の圃場では発生しやすくなります。 3) 薬剤散布は出穂7~10日前に実施してください。		
	白葉枯病	—	平年並	小	低		発生密度			1) 常発地では、台風や集中豪雨の遭遇後に薬剤散布してください。 2) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意が必要です。		
	斑点米カメムシ類	—	平年並	中	普通	アカヒゲホソミドリカメムシ	アカスジカメムシ	発生密度		ホフハリカメシタモヘリカメムシ	1) 病害虫防除技術情報第5号(6月15日発表) 2) 薬剤散布は穂揃い期に実施してください。広域での一斉防除が効果的です。 3) 中山間など山沿いの地域では、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 4) 平坦地域においても、防除後に発生が確認された場合は、2回目の防除を実施してください。 5) 周囲よりも出穂の早い水田および遅い水田では、被害が集中するので防除を徹底してください。	
	イネクロカメムシ	—	少	小	低	被害量	発生密度		誘殺密度	1) 発生圃場では、今後出すくみ穂や白穂被害が目立つようになります。 2) 常発地で薬剤散布する場合は、株元までかかるように行ってください。		

2

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		7月	8月				
						7月	8月	8月	8月		
発生量	程度	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量				
イネ	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低	成虫密度					1) 9月上旬までに収穫する圃場では、実害はほとんどありません。
	セジロウンカ	—	少	小	低	成虫密度					1) 本年は多飛来がありません。
	トビイロウンカ	—	少	小	低	成虫密度					1) 本年は多飛来がありません。
ダイズ	紫斑病	—	やや少	小	普通	発病密度					1) これから播種する圃場では、種子消毒を徹底してください。 2) 莢が形成され始めたら、薬剤散布をしてください。
	コガネムシ類	—	平年並	中	普通	成虫密度					1) 通常は防除の必要はありませんが、多発する場合は加害初期に防除してください。 2) ヒメコガネとドウガネブイブイは夜行性の種のため、夕方に薬剤散布すると効果的です。
	ハスモンヨトウ	—	やや多	中	普通	被害量					1) 白変葉を目印に早期発見に努め、若齢幼虫期に防除して下さい。 2) 発生量が急増することがありますので、防除所ホームページにおいて、フェロモントラップでの誘殺状況に注意してください。

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		7月	8月				
						7月	8月	8月	8月		
発生量	程度	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量				
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	やや多	中	普通			開花 ↓			1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花 20 日後・莢伸長期)と 10 月上旬(開花 40 日後・子実肥大中期)の 2 回散布が効果的です。 3) 遅くとも、9 月下旬(開花 30 日後・子実肥大初期)までに 1 回目の薬剤散布をしてください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	—	平年並	小	普通	発病密度					1) 薬剤散布を定期的実施し、8 月下旬まで感染防止に努めてください。 2) 梅雨明け後は感染源となる枯枝が増加するので、切除に努めてください。 3) 薬剤散布後、積算で 200mm 以上の降雨があれば 2 回目の防除を実施してください。
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度					1) 果実・夏枝に病斑が見られる圃場では、発病した枝・葉・果実を除去し、薬剤防除を行ってください。 2) 防風対策に努め、台風の影響が予想される場合には、直前に防除してください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も徹底してください。
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	成ダニ密度					1) 1 葉当たりの雌成虫寄生数が 0.5~1.0 頭程度を目安に防除してください。 2) 高温により活動が停滞する時期ですが、圃場での発生状況をよく確認し、多発している場合は防除してください。 3) 薬剤散布は葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月		8月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	—	やや多	中	普通					1) 寄生果率 10% になった時を防除の目安にしてください。 2) 7 月以降は寄生部位が果頂部に移ります。
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低					1) 圃場内を観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。 2) 圃場(特にナシ、カキ)によっては局所的に飛来してることがあります。過去に発生が多かった圃場周辺では注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあります。
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通					1) 感染源は旧葉、感染するのは新芽の上位葉で、新芽生育期に降雨が続くと発生が多くなります。 2) 防除時期は 1～2 葉展開期です。 3) 整枝による病斑葉の刈り落としも防除効果があります。ただし、葉層の確保充実も考慮してください。 4) 耐性菌が出現しやすいため同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通					1) 発生が少なければ防除の必要はありません。 2) 抵抗性の発達を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノミドリヒメコバエ	—	平年並	小	普通					1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育が停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月		8月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の萌芽～開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 第 2 世代成虫発生時期は、平年並と予想されます。 2) 若齢幼虫期に防除してください。防除適期は成虫発生ピークから 7 日～10 日後頃です。 3) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
イチゴ	炭疽病	—	やや少	小	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌が出現しやすいため同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう、丁寧に灌水を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	穂いもち	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ないの予想 (—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、葉いもちの発生圃場率8.1%(平年16.3%)と少、発病度0.5(平年1.7)と少、発病株における上位葉への進展率12.1%(平年3.1%)と多 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、葉いもちの発生量は少～やや少(概してやや少)。 (—)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	紋枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ないの予想 (—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率4.2%(平年5.9%)とやや少、発病株率0.4%(平年0.6%)とやや少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～やや少(概して少) (—)</p> <p>考察: 今後の気象条件を重視して、予想発生量は平年並と考えます</p>
	白葉枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は無 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。:</p>
	斑点米カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月13日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ないの予想 (—)</p> <p>2) 予察灯(松阪市・6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数はアカスジカメムシ12頭(平年52.0頭)と少、アカヒゲホソミドリカメムシ23頭(平年75.8頭)と少、クモヘリカメムシ1頭(平年0.1頭)と多 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる、アカスジカメムシの発生地点率42.4%(平年33.5%)と多、すくい取り成虫数2.2頭(平年3.8頭)と少、アカヒゲホソミドリカメムシの発生地点率11.8%(平年8.6%)と多、すくい取り成虫数0.2頭(平年0.3頭)と少、ホソハリカメムシの発生地点率11.0%(平年23.1%)と少、すくい取り成虫数0.2頭(平年0.5頭)と少、クモヘリカメムシ発生地点率5.1%(平年7.0%)と少、すくい取り成虫数0.1頭(平年0.5頭)と少、シラホシカメムシ類の発生地点率3.4%(平年11.3%)と少、すくい取り成虫数0.04頭(平年0.17頭)と少 (—)</p> <p>4) 広域病害虫防除員調査(7月2日～10日)では、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類のすくい取り成虫数がそれぞれ、0.36頭(平年0.41頭)と平年並の傾向、1.22頭(平年0.35頭)と多、0.06頭(平年0.08頭)と平年並の傾向 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少～中(概して少) (—)</p> <p>考察: 今後の気象条件、広域防除員調査を重視して、現状の発生量が平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

7

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネクロカメムシ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は水田位置2頭(平年10.4頭)と少、畑位置108頭(平年221.1頭)と少 (—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率19.9%(平年18.7%)と平年並、被害株率0.9%(平年2.3%)と少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～やや多(概して少) (—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年2.3頭)とやや少、松阪市・畑位置344頭(平年2,267頭)と少、伊賀市0頭(平年19.3頭)とやや少、紀北町2頭(平年3.1頭)とやや少、御浜町2頭(平年3.8頭)とやや少 (—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率12.7%(平年28.7%)と少、払い落とし成虫数0.5頭(平年1.5頭)と少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無) (—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	セジロウンカ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(5月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年1.0頭)と平年並、松阪市・畑位置0頭(平年11.0頭)とやや少、伊賀市0頭(平年1.2頭)と平年並、紀北町0頭(平年4.0頭)と平年並、御浜町23頭(平年21.7頭)と平年並 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、紀州地域では、発生圃場率6.3%(平年19.8%)と少、払い落とし成虫数0.13頭(平年0.32頭)と少、県全体では、発生圃場率0.4%(平年3.1%)と少、払い落とし成虫数0.01頭(平年0.04頭)と少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>4) 九州各県の病害虫防除所情報では、7月上旬まで多飛来の報告はなし (—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	トビイロウンカ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(5月第1半旬～6月第6半旬)では、4か所ともに未飛来(平年7月上旬まで未飛来) (—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週)では、発生圃場率0%(平年0.06%)と少、払い落とし成虫数0頭(平年0.0006頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無) (—)</p> <p>4) 九州各県の病害虫防除所情報では、7月上旬まで多飛来の報告はなし (—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量は少と考えます。</p>

8

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	紫斑病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想(±) 2) 巡回調査圃場(昨年11月)では、紫斑粒の発生率0.0%(平年0.45%)と少(—) 考察: 今後の気象条件、昨年の紫斑粒発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	コガネムシ類	—	平年並	要因 1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬～7月第2半旬)では、誘殺数はドウガネブイブイ178頭(平年188.1頭)と平年並、ヒメコガネ51頭(平年47.1頭)と平年並(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(5月上旬～7月上旬)では、誘殺数はマメコガネ25頭(平年139.3頭)と少、ドウガネブイブイ32頭(平年39.2頭)とやや少、ヒメコガネ3頭(平年4.5頭)とやや少(—) 考察: 予察灯の誘殺状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想(+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(6月第4半旬～7月第2半旬)では、誘殺数は245頭(平年224.3頭)と平年並(±) 考察: 今後の気象条件、フェロモントラップの誘殺状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	吸実性カメムシ類	—	やや多	要因 1) 予察灯(松阪市・6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数はイチモンジカメムシ0頭(平年23.2頭)と少、ミナミアオカメムシ水田位置3頭(7年平均1.4頭)と多の傾向、畑位置41頭(平年11.8頭)と多、クサギカメムシ6頭(平年28.1頭)とやや少(+) 考察: 予察灯の誘殺状況から、予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	黒点病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想(±) 2) 県予察圃(7月上旬)では、果実発病度26.0(平年32.5)と平年並の傾向(±) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、果実発病度0(平年1.3)とやや少の傾向(—) 4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並)(±) 5) 感染源となる枯枝は平年並(±) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想(±) 2) 県予察圃(7月上旬、新甘夏)では、発病率1.5%(平年2.7%)とやや少、発病率1.7%(平年2.4%)とやや少(—) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、温州みかんは発病率0%(平年0.2%)と平年並に少の傾向、発病率0%(平年0.09%)と平年並に少、中晩柑は発病率12.3%(平年7.9%)とやや多の傾向、発病率1.3%(平年2.7%)とやや少(温州±、中晩柑±) 4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並)(±) 考察: 現状の発生量は、温州みかんは平年並に少、中晩柑は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べて気温は高く、降水量は平年並または少ない予想(+) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区で11.1頭(平年9.7頭)と平年並、慣行防除区で7.8頭(平年7.9頭)と平年並(±) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、新葉における寄生率3.7%(平年9.2%)と少、寄生頭数0.07頭/葉(平年0.36頭/葉)と少(—) 4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並)(±) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや多	要因 1) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月上旬)では、誘殺数4.2頭/日(平年2.5頭/日)とやや多の傾向(+) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100果当り寄生虫数8.3頭(平年6.1頭)とやや多(+) 3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、被害率0%(平年1.0%)とやや少の傾向(—) 4) 一般圃場では、発生量はやや多(+) 考察: 一般圃場での発生状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町:6月21日～6月30日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 326.0 頭(平年 2,218.2 頭)と少、ツヤアオカメムシ 13 頭(平年 66.1 頭)とやや少 (—)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:6月第3半旬～7月第2半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 206 頭(平年 819.0 頭)と少、ツヤアオカメムシ 36 頭(平年 445.6 頭)と少、クサギカメムシ 11 頭(平年 71.6 頭)と少 (—)</p> <p>3) フェロモントラップ(6月第2週～7月第1週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で 723.3 頭(平年 746.9 頭)と平年並、中間地(津市白山町二本木)で 1,025.7 頭(平年 1,421.5 頭)と少、平地(松阪市嬉野川北町)で 28.7 頭(平年 136.0 頭)と少 (—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(7月第2週)では、カンキツ圃場での叩き落とし虫数 0 頭(平年 0.03 頭)と平年並に少、カキ圃場での被害果率 0%(平年 0.8%)と平年並に少 (—)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 一般圃場での発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャ	炭疽病	—	平年並
	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(6月中旬～7月上旬)では、寄生葉率 2.0%(平年 3.1%)とやや少、寄生頭数 0.02 頭/葉(平年 0.22 頭/葉)と少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、寄生葉率 0.7%(平年 1.1%)とやや少、寄生頭数 0.01 頭/葉(平年 0.07 頭/葉)とやや少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
	チャノミドリヒメコバエ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第3半旬～7月第2半旬)では、捕殺数 97.2 頭(5年平均 88.4 頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、叩き落とし虫数 1.8 頭(平年 2.2 頭)とやや少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は巡回調査圃場の発生量を重視してやや少と考えられ、気象状況を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第3半旬～7月第2半旬)では、捕殺数 1197.4 頭(5年平均 1,389 頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、叩き落とし虫数 2.5 頭(平年 16.5 頭)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場の発生量を重視してやや少と考えられ、気象状況を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(6月第3半旬～7月第2半旬)では、誘殺数 488.9 頭(平年 676.3 頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数 0.06 枚/m²(平年 0.12 枚/m²)とやや少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は県予察圃と巡回圃場の発生量を重視してやや少と考えられ、気象状況を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月12日発表)によると、平年に比べ気温が高く、降水量は平年並または少ない予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第2週、親株)では、発病株率 0%(平年 0.2%)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成30年7月12日 名古屋地方気象台発表)

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

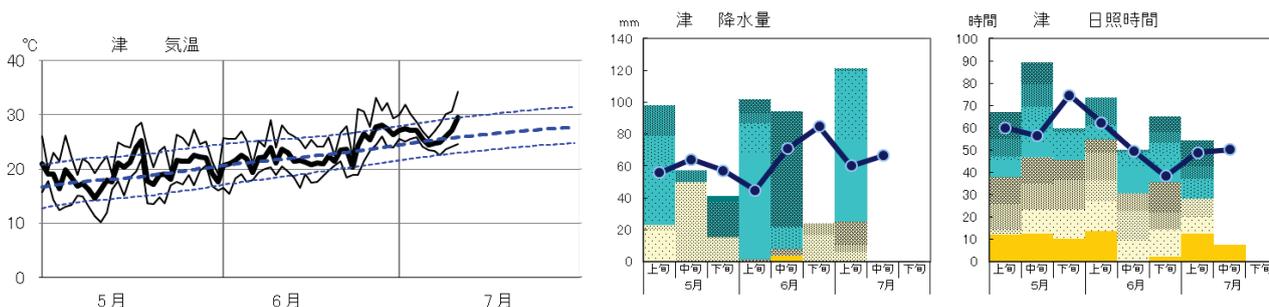
1週目 7月14日～ 20日	おおむね晴れますが、期間の後半は雲の広がりがやすい日もある見込みです。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.7日・3.5日
2週目 7月21日～ 27日	平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	同 2.2日・4.3日
3～4週目 7月28日～ 8月10日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 3.9日・9.5日

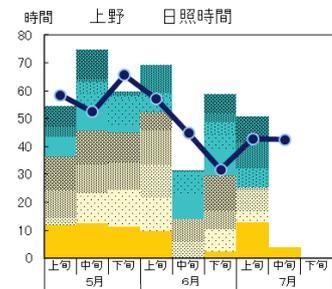
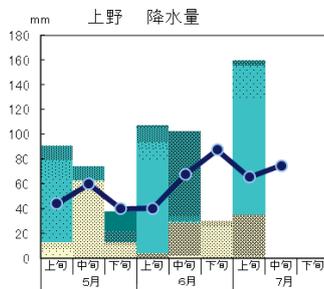
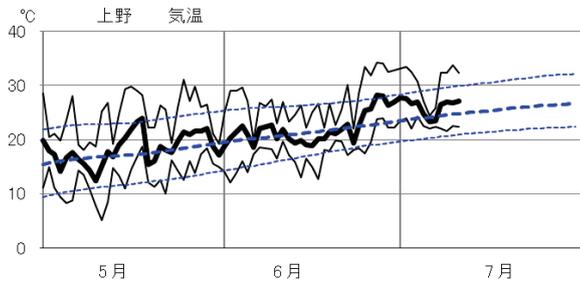
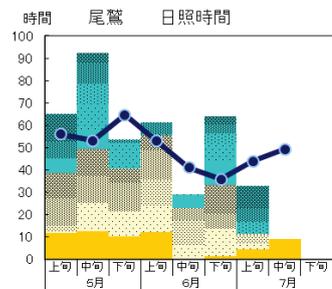
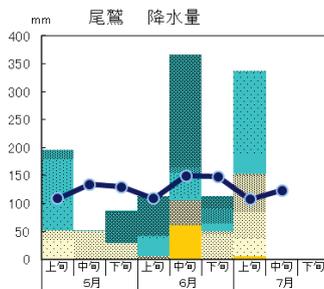
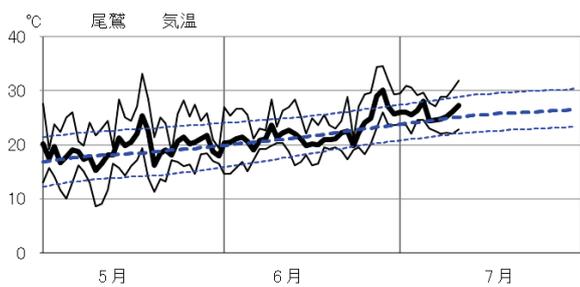
東海地方週間天気予報(平成30年7月13日16時32分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 7月14日～7月20日

向こう一週間は、高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間の後半は湿った空気や上空の気圧の谷の影響で雲の広がりがやすい日もある見込みです。
最高気温と最低気温はともに、平年よりかなり高い日が多いでしょう。
なお、期間をとおして最高気温が35度以上となる所がある見込みですので、熱中症対策など健康管理に注意してください。
降水量は、平年より少ないでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (7月12日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 ····· 平年最高
 ····· 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平年値

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月19日(木)(済み) 第2回 5月24日(木)(済み)
- 第3回 6月21日(木)(済み) 第4回 7月19日(木)(今回)
- 第5回 8月23日(木)
- 第6回 10月25日(木)
- 第7回 3月20日(水)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各位

三重県病害虫防除所長

平成 30 年度病害虫発生予報第 5 号

目次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	11
5. 気象のデータ	12
6. おしらせ	14

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネ(普通期)では、斑点米カメムシ類およびトビイロウンカの発生量は平年並と予想されます。ツマグロヨコバイの発生量は少と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウ発生量はやや多と予想されます。早期発見、早期防除に努めてください。吸実性カメムシ類の発生量は平年並と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、クワシロカイガラムシの発生時期は早、発生量はやや多と予想されます。発生状況は圃場によってばらつきがありますので、圃場を観察してご確認ください。炭疽病、カンザワハダニ、チャノミドリヒメコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。チャノホソガの発生時期は早、発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量はやや多と予想されます。ほ場をよく観察し、発生初期の防除に努めて下さい。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.h>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			平年比	平年比	程度		平年比	8月				
								下旬	中旬	下旬		下旬
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	平年並	中	普通	被害量					1) 病害虫防除技術情報第 5 号(6 月 15 日発表) 2) 周辺で収穫作業がある時は圃場への侵入に注意し、穂揃い期に薬剤散布は実施してください。 3) 防除後も侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の 7~10 日後に 2 回目の防除をしてください。 4) 薬剤散布する場合は、周辺圃場の収穫状況を考慮してください。	
	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低	成虫密度					1) 発生量が少ないので、実害は少ないと思われます。	
	トビイロウンカ	—	平年並	小	低	成虫密度					1) 多飛来が確認されていないので、防除の必要はありません。	
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	中	普通	被害量					1) 一部の圃場では、既に発生が確認されています。圃場を見回り、白変葉を目印として、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 薬剤散布は若齢幼虫期に行ってください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		8月	9月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	平年並	中	普通	成虫密度		1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3) 1回散布の場合は、9月下旬頃(開花30日後・子実肥大初期)に散布してください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。		
カンキツ	黒点病	—	平年並	中	普通	発病密度		1) 乾燥が続くと樹勢の衰弱により枯枝が増加します。感染源となる枯枝の除去に努めてください。 2) 9月は後期感染の時期なので、果実への感染防止に努めてください。		
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度		1) 発病した夏秋梢や果実等の除去に努めてください。 2) 防風対策を行うとともに、台風の接近が予想される場合は防除をしてください。 3) ミカンハモグリガの被害痕から菌が侵入しやすいため、高接樹や幼木はミカンハモグリガの防除も実施してください。		
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	ダニ密度		1) 秋になって急増することがあるので、発生状況をよく観察してください。 2) 1葉当りの雌成虫寄生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けてください。		
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通	成虫密度		1) この時期の被害発生部位は果頂部で、果実肥大が緩慢になり被害が判りにくくなるため、丁寧な観察が必要です。 2) イヌマキ、サンゴジュ等の防風垣に隣接した樹で、被害が多くなることがあります。		

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		8月	9月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低	チャバネアオカメムシ ツヤアオカメムシ		1) 例年飛来が多く見られる圃場では、圃場内の観察をきめ細かく行ってください。 2) 大雨、強風などの後に、急に圃場へ多数飛来することがあります。カンキツやカキ圃場等では、発生状況に十分に注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると、袋の上から加害されることがあるので注意してください。		
チャ	炭疽病	—	やや少	小	普通	発病		1) 防除時期は秋芽1~2葉開葉期です。 2) 三番茶期から秋番茶期にかけて増加します。 3) 降雨が続くと感染しやすくなります。降雨の前は予防剤で、降雨の後は治療剤で防除してください。 4) 治療剤(EBI剤など)は耐性菌が出現しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。		
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通	ダニ密度		1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しています。 2) 寄生率が高い場合は丁寧に薬剤散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。		
	チャノソゾガ(第4世代幼虫)	早	やや少	小	普通	成虫誘殺数		1) 新芽開葉初期の孵化幼虫(潜葉期、絵描き状態)を対象に防除してください。 2) 今年の発生時期は、平年より早くなっていますので注意してください。病害虫防除所のホームページにフェロモントラップによる誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫 18)、ジアミド剤(虫 28)の使用回数は最大年1回までとしましょう。		
	チャノミドリヒメコバエ	—	やや少	小	普通	成虫誘殺数		1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し生育停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。		

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		8月		9月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の萌芽期～開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。
	クワシロカイガラムシ	早	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第6号(6月28日発表) 2) 有効積算温度による予測式では第3世代幼虫孵化最盛日は早(予測日は予報根拠を参照)と予想されます。 3) 防除適期は孵化最盛日から2～4日後頃です。 4) この時期はばらつきが大きくなるため圃場で幼虫の孵化を確認してから防除してください。 5) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう丁寧に灌水を行ってください。 3) 薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 4) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第8号(8月9日発表) 2) 幼虫の発生は8～10月に多くなります。 3) 幼虫は老齢になるに従って薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	平年並	要因 1) 予察灯(8月第1半旬～第3半旬・松阪市)では、クモヘリカメムシ誘殺数は水田位置で9頭(平年6.0頭)と多、畑位置で28頭(平年74.9頭)と少、ミナミアオカメムシ誘殺数は水田位置で24頭(8年平均6.4頭)と多の傾向、畑位置で47頭(平年26.8頭)とやや多(+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、斑点米カメムシ類の発生圃場率68.6%(平年40.1%)と多、すくい取り虫数1.2頭(平年1.8頭)と少(±) 3) 一般圃場では、発生量は少～中(概して平年並)(±) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	ツマグロヨコバイ	—	少	要因 1) 予察灯(7月第3半旬～8月第2半旬・松阪市)では、誘殺数は水田位置で3頭(平年3.2頭)と平年並、畑位置で521頭(平年2,660頭)と少(-) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率30.1%(平年39.1%)と少、払い落とし成幼虫数4.5頭(平年4.9頭)と平年並、すくい取り成幼虫数3.9頭(平年15.3頭)と少(-) 3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少)(-) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。
	トビイロウンカ	—	平年並	要因 1) 予察灯(5月第1半旬～8月第3半旬・松阪市)では、水田位置で2頭(平年0頭)と多(+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率0%(平年0.1%)とやや少、払い落とし成虫数0頭(平年0.001頭)とやや少(-) 3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(±) 考察: 現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) フェロモントラップ(7月第3半旬～8月第2半旬)では、松阪市嬉野川北町で441頭(平年269.3頭)とやや多の傾向(+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、葉食害度0(平年0.19)と少、1a当り白変か所数0.13か所(平年0.44か所)とやや少(-) 3) 一般圃場では、発生量は無～やや少(概して少)(-) 考察: フェロモントラップの状況から、予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(7月第3半旬～8月第2半旬・松阪市)では、誘殺数はミナミアオカメムシ水田位置 22 頭(8年平均 6.1 頭)と多の傾向、畑位置 33 頭(平年 52.4 頭)とやや少、イチモンジカメムシ 26 頭(平年 50.3 頭)と少、ホソヘリカメムシ 10 頭(平年 43.7 頭)と少 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、25 株当り寄生虫数 0 頭(平年 0.01 頭)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 水稲巡回調査圃場(8月第1週)では、ミナミアオカメムシ発生圃場率 0.4%(8年平均 1.9%)と少の傾向、すくい取り虫数 0.01 頭(8年平均 0.04 頭)と少の傾向 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (—)</p> <p>考察: 予察灯の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、果実発病度 48.1(平年 52.7)とやや少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、果実発病度 0.06(平年 5.4)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>5) 感染源となる枯枝の量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般ほ場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、新甘夏、無防除)では、発病率 2.3%(平年 3.3%)とやや少、発病率 7.5%(平年 18.7%)と少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、温州みかんでは春葉発病度 0(平年 0.04)と平年並に少、果実発病度 0(平年 0.006)と平年並に少 (—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、中晩柑では春葉発病度 2.8(平年 3.1)と平年並、果実発病度 2.1(平年 3.8)とやや少 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は、温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬)では、100 葉当り寄生頭数は慣行防除区で 97.7 頭(平年 22.5 頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、春葉における寄生率 0.77%(平年 6.4%)と少、寄生虫数 0.04 頭/葉(平年 0.35 頭/葉)と平年並に少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現在の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬)では、100 葉当り寄生頭数は慣行防除区で 16.7 頭/日(平年 6.1 頭)と多 (+)</p> <p>3) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、100 果当り寄生虫数 2.5 頭(平年 6.0 頭)と少 (—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、被害率 0.3%(平年 1.1%)とやや少の傾向 (—)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現在の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町:7月下旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 107 頭(平年 3,366 頭)と少、ツヤアオカメムシ 9 頭(平年 19.4 頭)とやや少 (—)</p> <p>2) 予察灯(松阪市:7月第4半旬～8月第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 221 頭(平年 1,131 頭)と少、ツヤアオカメムシ 27 頭(平年 95.3 頭)と少 (—)</p> <p>3) フェロモントラップ(7月17日～8月16日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で 946.3 頭(平年 1,089.4 頭)と平年並、中間地(津市白山町二本木)で 391 頭(平年 2,162.1 頭)と少、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 20.9 頭(平年 444.7 頭)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (—)</p> <p>考察: 予察灯、フェロモントラップ、巡回調査の結果を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、二番茶期の病葉数 3.2 枚/m²(9年平均 0.2 枚/m²)と多の傾向 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発病率 0 枚/m²(平年 1.4 枚/m²)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 一般圃場の結果を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬)では、寄生葉率0%(平年3.6%)と少、寄生頭数0頭/葉(平年0.09頭/葉)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、寄生葉率0.2%(平年1.5%)と少、寄生頭数0.00頭/葉(平年0.03頭/葉)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノホソガ (第4世代幼虫)	早	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃では、第2世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは7月第1半旬(平年7月第3.5半旬)と早(発生時期—)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(7月第2半旬~8月第1半旬)では、誘殺数2,529頭(平年1,975.7頭)とやや多(+)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、巻葉数0.1枚/m²(平年1.1枚/m²)と少(—)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 発生時期は早、現状の発生量は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月第2半旬~8月第1半旬)では、捕殺数53.5頭(5年平均56.0頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、叩き落とし虫数0.3頭(平年1.4頭)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月第2半旬~8月第1半旬)では、捕殺数286.8頭(5年平均1105.7頭)と少の傾向(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、叩き落とし虫数2.3頭(平年7.2頭)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	クワシロカイガラムシ	早	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 有効積算温度による発生消長予測式では、亀山市における第3世代幼虫孵化最盛予測日は9月10日(平年9月16日)と早(発生時期—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、雄雌寄生株率7.3%(平年5.4%)と多、雌成虫寄生株率8.7%(平年7.4%)とやや多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 発生消長予測式から、予想発生時期は早と考えます。現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月16日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並が多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(8月第1週、育苗床)では、発病株率0%(平年0.6%)とやや少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、少~やや少(概してやや少)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられるが、気象要因を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ネギ	シロイチモジヨトウ	—	やや多

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成30年8月16日名古屋地方気象台発表)

1週目 8月18日～24日	期間のはじめは湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日もありますが、中頃から高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.0日・4.6日
2週目 8月25日～8月31日	太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れる日が多いですが、南からの湿った空気の影響を受ける日もある見込みです。	同 1.9日・4.5日
3～4週目 9月1日～14日	太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れる日が多いでしょう。	同 4.6日・8.1日

東海地方週間天気予報(平成30年8月22日 10時34分名古屋地方気象台発表)

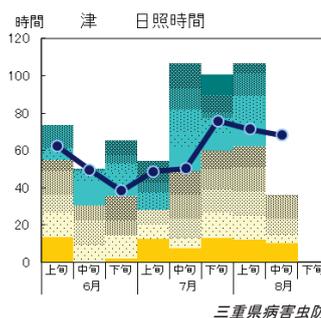
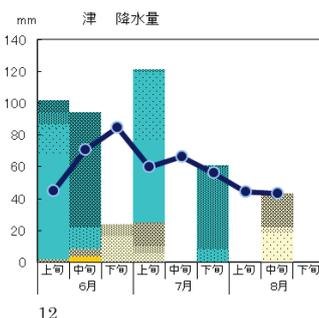
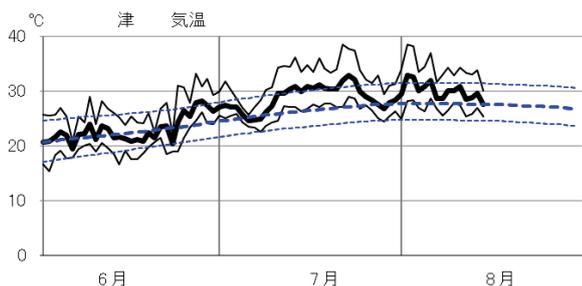
予報期間 8月23日～8月29日

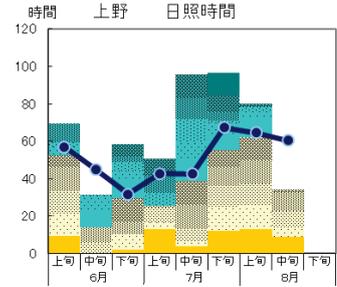
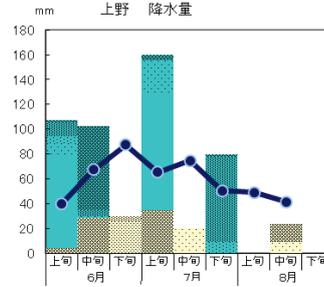
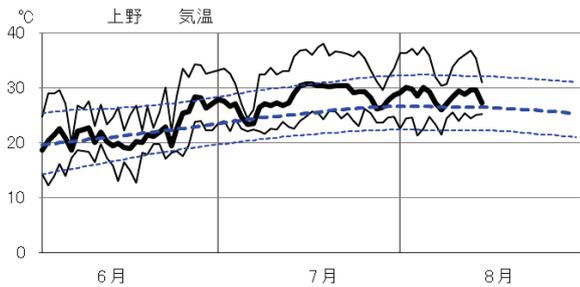
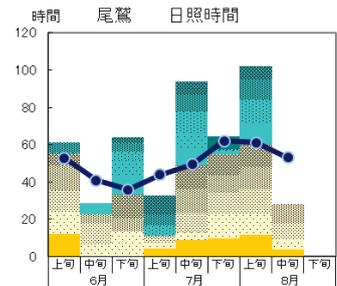
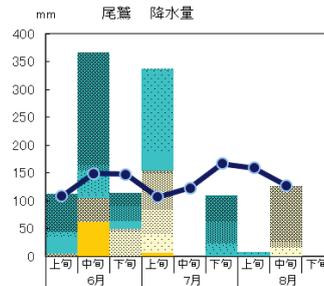
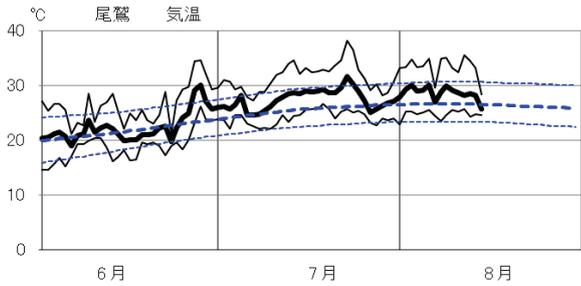
向こう一週間は、湿った空気や台風第20号の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。特に、23日から24日にかけては、台風第20号の影響で、大雨や大荒れの天気となり、海上では大しけとなる見込みです。期間の終わりには、高気圧に覆われて晴れる日もあるでしょう。

最高気温は、期間の前半は平年並か平年より低く、後半は平年より高い見込みです。最低気温は、平年並か平年より高いでしょう。

降水量は、平年より多く、かなり多くなる所もある見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctm/index.php> から作成) (8月16日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ● 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ● 旬平年値

13

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|------------------|
| 第1回 4月19日(木)(済み) | 第2回 5月24日(木)(済み) |
| 第3回 6月21日(木)(済み) | 第4回 7月19日(木)(済み) |
| 第5回 8月23日(木)(今回) | 第6回 10月25日(木) |
| 第7回 3月20日(水) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000779954.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各 位

三重県病害虫防除所長

目 次

	ページ
1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. おしらせ	11

平成 30 年度病害虫発生予報第 6 号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1)) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量はやや多と予想されます。早期防除に努めて下さい。ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

野菜共通では、コナガ、ハスモンヨトウの発生量はやや少と予想されず。

2) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや少と予想されます。

3) 野菜

トマトでは、疫病の発生量は平年並と予想されます。

イチゴでは、炭疽病の発生量はやや多と予想されます。発病株は早めには場外へ持ち出し処分して下さい。うどんこ病、ハダニ類の発生量はやや少と予想されます。

ハクサイでは、白斑病の発生量はやや少と予想されます。

キャベツでは、黒腐病の発生量は平年並と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.h>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用して下さい。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	11月				
								下旬	中旬		下旬	下旬
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	成ダニ密度					1) 1葉当りのハダニ成虫数が、0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 中晩柑類で袋かけをする品種では、作業前に必ず発生状況を確認し、必要に応じて防除を行ってください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通	成ダニ密度					1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しているので、丁寧に薬剤散布してください。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
トマト	疫病	—	平年並	小	普通	発病密度					1) 病徴の進展が非常に早いので、初発生を確認した場合には集中的に薬剤散布をしてください。 2) 20℃ぐらいの温度で多湿条件の時に発生が多くなります。 3) 病原菌は被害植物の残渣とともに土中に残り、伝染源となります。発病株は圃場外に持ち出し処分してください。	
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通	発病密度					1) ビニールの被覆後、発生が増加します。 2) 予防防除に重点をおいて薬剤散布をしてください。 3) 発病を認めたときは、葉裏に葉液がかかるよう、下葉を除去して丁寧に防除してください。	
	炭疽病	—	やや多	中	普通	発病密度					1) 感染した苗は、本圃定植後に発病します。 2) 発病株は除去し、圃場外へ持ち出して適切に処分してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	10月				
								下旬	上旬		中旬	下旬
イチゴ	ハダニ類	—	やや少	小	普通	成ダニ密度					1) 天敵を利用する場合は、発生密度の低いうちに導入し、農薬は天敵への影響を考慮して使用してください。 2) 薬剤防除では、発生を確認したら、できるだけ早期に防除してください。 3) 薬剤をかかりやすくするため下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
	白斑病	—	やや少	小	低	発病密度					1) 秋から初冬にかけて、雨が多いと多発する傾向があります。 2) 肥料切れすると発病を助長します。 3) 発病初期の薬剤防除を徹底してください。	
キャベツ	黒腐病	—	平年並	小	普通	発病密度					1) 土壌中の病原菌が雨滴で葉に飛散し、感染します。大雨後や特に冠水したときは、速やかに薬剤防除をしてください。 2) 発病株は翌年の伝染源となるので、圃場外に持ち出して処分してください。	
ネギ	ネギコガ	—	やや少	小	普通	幼虫密度					1) 幼虫が葉の内部に潜るので、潜入防止のため、発生初期から防除をしてください。	
	シロイチモジヨトウ	—	やや多	中	普通	幼虫密度					1) 病害虫防除技術情報第10号（10月1日発表） 2) 若齢幼虫から葉の内部に侵入し、内側から表皮を残して食害します。 3) 老齢幼虫ほど薬剤の効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	10月				
								下旬	上旬		中旬	下旬
野菜共通	コナガ	—	やや少	小	低	幼虫密度					1) 冬でも生育を続けて加害します。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
	ハスモンヨトウ	—	やや少	中	普通	幼虫密度					1) 老齢幼虫は防除効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。 2) 新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きいため、適期防除に努めてください。 3) 施設ではハウスのパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。	

4

三重県病害虫防除所

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(10月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区20.0頭(平年39.2頭)とやや少、慣行防除区21.1頭(平年53.9頭)とやや少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生率率1.5%(平年4.9%)とやや少の傾向、寄生頭数0.05頭/葉(平年0.12頭/葉)と平年並の傾向 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し、予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(10月中旬)では、寄生率率0%(平年11.0%)と少、寄生頭数0頭/m²(平年0.45頭/m²)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生率率0.1%(平年1.5%)と少、寄生頭数0.001頭/葉(平年0.03頭/葉)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
トマト	疫病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、大きな増加要因がないので、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.2%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～やや少 (-)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	炭疽病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.4%)と平年並の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並～やや多 (+)</p> <p>考察:一般ほ場での発生量を重視し、予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	ハダニ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生率率0%(平年6.8%)と少、寄生程度0(平年2.6)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して少) (-)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、気象条件等を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
ハクサイ	白斑病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年3.6%)、発病程度0(平年0.9)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少 (-)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
キャベツ	黒腐病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0.8%(平年0.3%)、発病程度0.2(平年0.08)とやや多の傾向 (+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して平年並) (-)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第5半旬～10月第4半旬)では、誘殺数1頭(平年21.1頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、被害率率1.7%(平年0.05%)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概してやや少) (-)</p> <p>考察:現状のほ場発生量にはほ場間差が大きいですが、フェロモントラップの誘殺状況から予想発生量はやや少と考えます。</p>
	シロイチモジヨトウ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第5半旬～10月第4半旬)では、誘殺数145頭(平年66.8頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、被害率率30%(平年2.7%)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無～やや多(概してやや多) (+)</p> <p>考察:フェロモントラップの誘殺状況等は多であるが、今後の気温低下を考慮してほ場での予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
野菜 共通	コナガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第5半旬～10月第4半旬)では、誘殺数3頭(平年11.7頭)とやや少 (-) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、ハクサイの寄生株率0%(平年0.2%)と平年並の傾向、キャベツの寄生株率0%(平年1.3%)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (-) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、フェロモントラップの誘殺状況から予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(10月18日発表)によると、気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第5半旬～10月第4半旬)では、誘殺数1,979頭(平年1,801.9頭)と平年並 (+) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、イチゴの寄生株率0.5%(平年2.3%)とやや少の傾向、ハクサイの寄生株率0%(平年0.6%)と少、キャベツの寄生株率0%(平年4.2%)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は無～やや少(概してやや少) (-) 考察:フェロモントラップの誘殺状況等は平年並であるが、一般ほ場での発生量や今後の気温低下を考慮してほ場での予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早		平年並				やや遅			遅			

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

			平年値			
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報 (平成 30 年 10 月 18 日 名古屋地方気象台発表)

低気圧や前線の影響を受けにくく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の気温は平年並か高い見込みです。

向こう 1 か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。

1 週目 10 月 20 日～ 26 日	期間の前半は、高気圧に覆われて晴れるでしょう。後半は、気圧の谷や湿った空気の影響で雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 1.7 日・ 4.3 日
2 週目 10 月 27 日～ 11 月 2 日	天気は数日の周期で変わるでしょう。低気圧や前線の影響を受けにくく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	同 1.6 日・ 4.3 日
3～4 週目 11 月 3 日～ 16 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 3.0 日・ 8.8 日

東海地方週間天気予報 (平成 30 年 10 月 23 日 16 時 31 分 名古屋地方気象台発表)

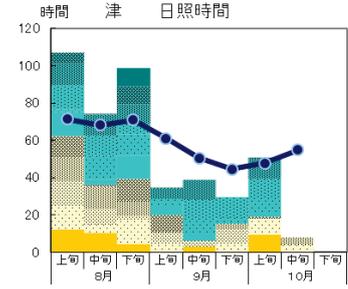
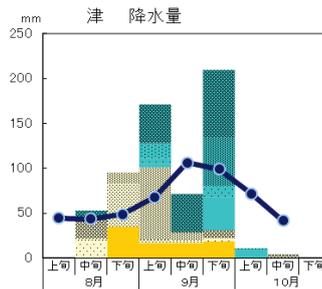
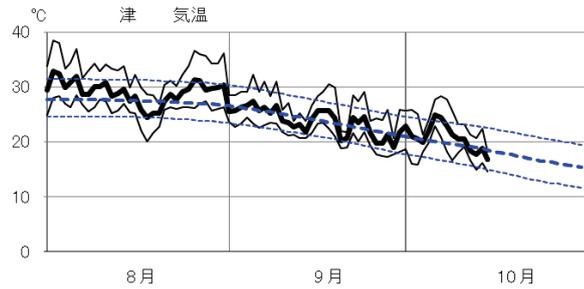
予報期間 10 月 24 日～10 月 30 日

向こう一週間は、天気は数日の周期で変わり、24日と27日頃は前線や気圧の谷の影響で雨が降るでしょう。

最高気温と最低気温はともに、期間の前半は平年より高い日が多く、後半は平年並でしょう。

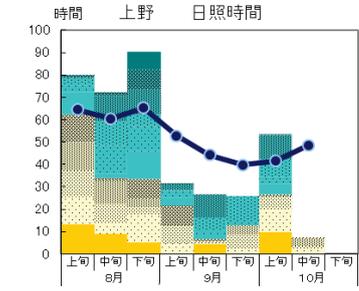
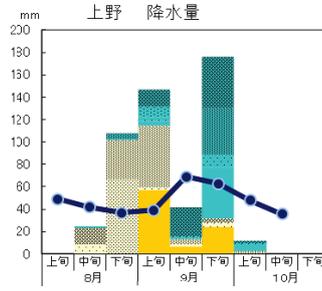
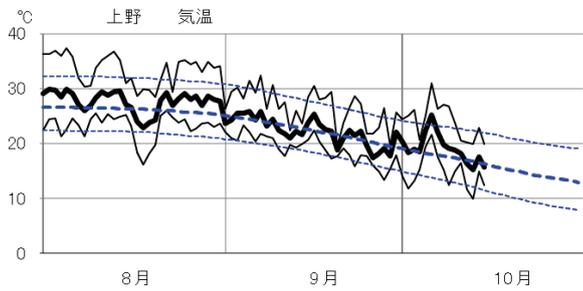
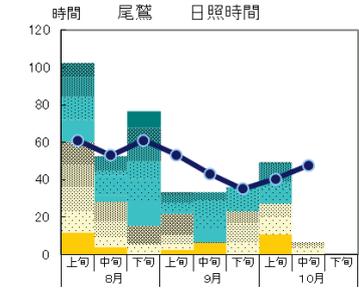
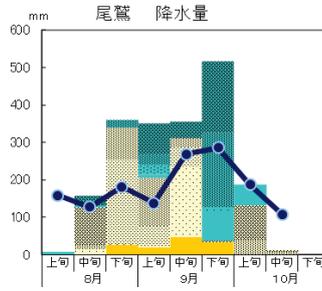
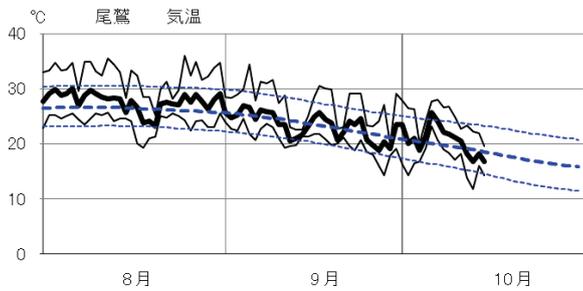
降水量は、平年並の見込みです。

気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctm/index.php> から作成) (10 月 15 日まで)



9

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例

■ 31日
 ■ 10/10日
 ■ 10/9日
 ■ 10/8日
 ■ 10/7日
 ■ 10/6日
 ■ 10/5日
 ■ 10/4日
 ■ 10/3日
 ■ 10/2日
 ■ 10/1日
 ■ 旬平年値

10

凡例

■ 31日
 ■ 10/10日
 ■ 10/9日
 ■ 10/8日
 ■ 10/7日
 ■ 10/6日
 ■ 10/5日
 ■ 10/4日
 ■ 10/3日
 ■ 10/2日
 ■ 10/1日
 ■ 旬平年値

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回 4月19日(木)(済み)	第2回 5月24日(木)(済み)
第3回 6月21日(木)(済み)	第4回 7月19日(木)(済み)
第5回 8月23日(木)(済み)	第6回 10月25日(木)(今回)
第7回 3月20日(水)	

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000779954.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

11

三重県病害虫防除所

防除第43号
平成31年3月20日

各位

三重県病害虫防除所長

平成30年度病害虫発生予報第7号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネ(注1)では、イネミズゾウムシの発生量はやや少と予想されます。

コムギ(注2)では、赤かび病の発生量は平年並と予想されます。

注1:4月中旬までに移植する圃場を対象。

注2:11月下旬までに播種した圃場を対象。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(温州みかん、中晩柑)、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病の発生量は平年並と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に務めてください。チャノホソガの発生時期は早と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、灰色かび病の発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除につとめてください。ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。うどんこ病の発生量は少と予想されます。

キャベツでは、菌核病の発生量は平年並と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		3月				
						下旬	中旬	下旬	下旬	
イネ	イネミズゾウムシ	—	やや少	小	低				成虫誘殺数	<ul style="list-style-type: none"> 1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。
	コムギ	—	平年並	小	普通				出穂期 開花期 感染 発病	<ul style="list-style-type: none"> 1) 圃場ごとに出穂及び開花状況を把握し、開花始めから開花盛期に予防散布してください。
	そうか病	—	平年並	小	普通				葉枝の発病 発芽	<ul style="list-style-type: none"> 1) 昨年に果実での発病がみられた圃場では、発芽期防除を実施してください。 2) 春葉が感染する期間は発芽直後から伸長停止期までです。 3) 越冬病斑の見られる枝葉は剪除して、圃場より持ち出して処分してください。
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並	温州 小	温州 低				発病密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 越冬病斑が認められる中晩柑圃場では、発芽前防除を実施してください。 2) 夏秋梢等の発病枝葉は早く剪除し、圃場より持ち出してください。 3) ボルドー液とマシン油乳剤の近接散布による葉害に注意してください。
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通				成ダニ密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 成虫が1葉当り1頭前後になったら防除してください。 2) マシン油乳剤を散布していない圃場や現在発生が認められる圃場では、今後の増加に注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		3月				
						下旬	中旬	下旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通				発病密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) りん片や新梢基部に発病が確認されたら、すぐに防除を実施してください。なお、発病したりん片は、基部から切除して圃場外で処分してください。 2) 例年発生が多い圃場では、早くから樹体の観察を怠らないようにしてください。
	赤星病	—	平年並	小	普通				ビャクシン類の冬胎子発芽	<ul style="list-style-type: none"> 1) 赤星病の防除時期は、黒星病の防除適期と重なります。 2) 特に開花期前後の防除が重要なので、各薬剤の特性を理解して両方に登録のある薬剤を使用してください。
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通				成ダニ密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 2月下旬～3月上旬に産卵します。 2) 裾葉裏に生息しているので、薬剤が付着するよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤使用は年1回に止めてください。
	チャノホソガ	早	—	—	—				成虫密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 新芽の葉裏に産卵します。 2) 萌芽は例年4月上旬です。萌芽後は新芽への産卵や幼虫発生に注意してください。
イチゴ	灰色かび病	—	やや多	中	普通				発病密度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。 2) 20℃前後の温度と多湿条件で発生が多くなります。ハウス内の温度・湿度管理に注意してください。 3) 発病部位は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し適切に処分してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		3月		4月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	うどんこ病	—	少	小	低					1) 軟弱徒長すると発生が多くなります。適切な温湿度管理、灌水管理に努めてください。 2) 発病部位は伝染源となるため、見つけ次第速やかに取り除いてください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハダニ類	—	平年並	中	普通					1) 薬剤がかかりやすくなるよう下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 2) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。また、抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用してください。 3) 薬剤散布では、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。
キャベツ	菌核病	—	平年並	小	普通					1) 発病株は伝染源となるため、菌核が形成される前に抜き取って圃場外へ持ち出し、処分してください。 2) 葉の傷口や生育の衰えた下葉から病原菌が感染し、結球期頃から発生が目立ち始めます。結球始期の予防散布を基本としてください。 3) 薬剤散布は、初発部位である株元を中心に丁寧に行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの予想 (+) 2) 県予察灯(平成30年7月第1半旬~9月第2半旬 松阪市水田位置)では、誘殺数は99頭(平年165.3頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場(平成30年8月)では、発生圃場率1.3%(平年11.0%)と少、払い落とし虫数0.02頭(平年0.21頭)と少 (-) 考察: 昨年の子察灯の誘殺数と巡回調査の結果から、越冬虫数は少ないと考えますが、今後の気象条件を加味し、予想発生量はやや少と考えます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの予想 (+) 2) 農業研究所作況試験田(11月14日播種・あやひかり)によると、葉齢の進展は平年並 (±) 3) 生育予測システム(11月10日播種・あやひかり・松阪市嬉野3月11日現在)によると、予想出穂期は4月4日頃(平年4月12日)と早 (-) 考察: 今後の気象条件および現在の生育状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+) 2) 県予察圃(無防除圃場)では、昨年7月上旬の春葉発病率84.0%(平年75.4%)と平年並 (±) 考察: 県予察圃の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+) 2) 県予察圃(無防除圃場、中晩柑、2月15日調査)では、越冬病斑の発病率25.5%(平年29.1%)とやや少の傾向、発病度4.8(平年6.5)とやや少の傾向 (-) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、温州みかん旧葉での発病率0%(平年0.1%)と平年並に少、発病度0(平年0.02)と平年並に少、中晩柑類旧葉での発病率8.3%(平年8.2%)と平年並、発病度3.5(平年3.7)と平年並 (±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 温州みかん、中晩柑類では、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(3月上旬)では、寄生頭数は無防除区 81.1 頭/葉(平年 21.9 頭/葉)と多、慣行防除区 0 頭/葉(平年 0.8 頭/葉)とやや少 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生頭数 0.15 頭/葉(平年 0.14 頭/葉)と平年並、寄生率率 3.4%(平年 4.4%)と平年並の傾向 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場では、昨年9月の発病率率 0.3%(平年 1.4%)とやや少の傾向 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、昨年10月の発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 昨年秋の調査結果はやや少であるが、今後の気象条件等を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
ナシ	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場では、昨年6月の発病率率 0%(平年 0.3%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では昨年5月の発生量は少 (-)</p> <p>考察: 昨年の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(3月上旬)では、寄生率率 1.0%(平年 5.1%)と平年並の傾向、寄生頭数 0.03 頭/葉(平年 0.12 頭/葉)と平年並の傾向、産卵確認は2月15日 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発生圃場率 50.0%(平年 34.3%)と多、寄生率率 3.2%(平年 1.5%)と多、寄生頭数 0.15 頭/葉(平年 0.04 頭/葉)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査圃場、一般圃場の状況から、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノホソガ	早	—	<p>要因</p> <p>1) 県予察圃フェロモントラップでは、初飛来は3月1日(平年の初飛来は3月19日) (発生時期-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、成虫は未確認 (発生時期±)</p> <p>考察: フェロモントラップ調査結果を重視して予想発生時期は早と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	灰色かび病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 4.7%(平年 3.0%)と多、発病果率 1.6%(平年 0.7%)と多 (+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや多～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられるが、今後の気象条件を考慮して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	うどんこ病	—	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0%(平年 0.3%)とやや少、発病果率 0%(平年 0.04%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生株率 6.2%(平年 15.4%)と少、発生程度 2.7%(平年 7.2%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少～多(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
キャベツ	菌核病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月14日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0.3%(平年 1.0%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅				

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成31年3月14日 名古屋地方気象台発表)

高気圧と低気圧が交互に通って天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高い見込みですが、期間のはじめは気温の変動が大きいです。

1週目 3月16日～ 22日	短い周期で日本付近を低気圧が通過するため、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。また、期間の前半は気温の低い日がありますが、後半にはかなり高くなる日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.4日・4.2日
2週目 3月23日～ 29日	高気圧と低気圧が交互に通って天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 2.5日・4.0日
3～4週目 3月30日～ 4月12日	高気圧と低気圧が交互に通って天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 4.4日・8.4日

東海地方週間天気予報(平成31年3月18日10時32分名古屋地方気象台発表)

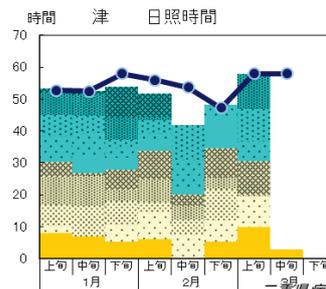
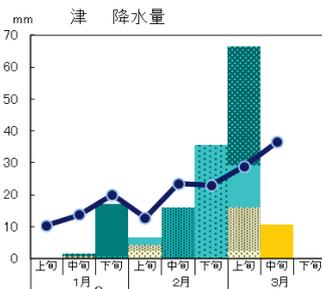
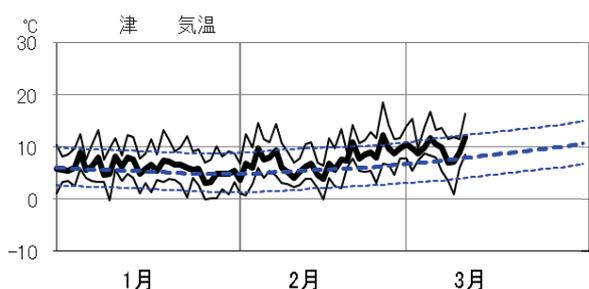
予報期間 3月19日～3月25日

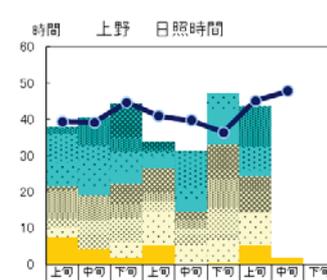
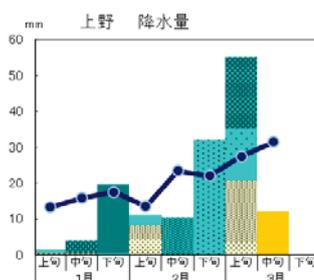
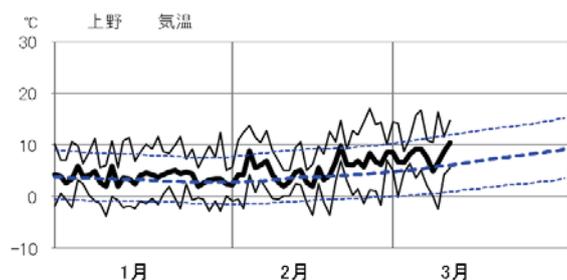
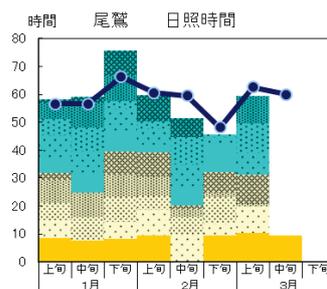
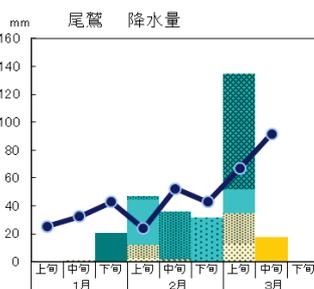
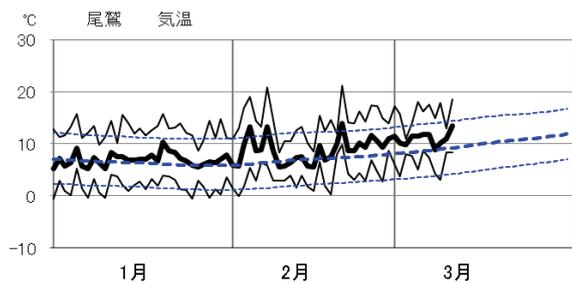
向こう一週間は、日本付近を気圧の谷や低気圧が通過するため曇りの日が多く、21日頃は雨が降る見込みです。

最高気温と最低気温はともに、期間の前半は平年より高く、後半は平年並となるでしょう。

降水量は、平年並の見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctm/index.php> から作成) (3月11日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 年平均
 - - - 年最高
 - - - 年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬年値

三重県病害虫防除所

6. お知らせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 第1回 4月19日(木) (済み) | 第2回 5月24日(水) (済み) |
| 第3回 6月21日(木) (済み) | 第4回 7月19日(木) (済み) |
| 第5回 8月23日(木) (済み) | 第6回 10月25日(木) (済み) |
| 第7回 3月20日(水) (今回) | |

3) 利用方法 **NEW**

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。
 病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書 **NEW**

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000625689.pdf>

5) メール配信サービス **NEW**

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

(3)特殊報

病害虫発生予察特殊報第1号

平成30年 6月20日
三重県病害虫防除所

本県のトマトにおいて、トマト黄化病が確認されましたので、特殊報として発表します。

トマト黄化病の発病予防のため、媒介虫のコンナジラミ類の防除が重要です。

- 病害虫名：トマト黄化病
病原ウイルス名：トマト退緑ウイルス (Tomato chlorosis virus: ToCV)
- 発生確認作物：トマト
- 発生確認地域：三重県北勢地域
- 発生確認の経過
平成29年12月27日、三重県北勢地域のトマト生産ほ場において、黄化症状が見られ、三重県農業研究所による診断の結果、トマト黄化病であることが疑われた。このため、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門へ同定を依頼したところ、トマト黄化病であることが確認された。
トマト黄化病は、これまでに県内で発生が確認されていない。
また、全国では、これまでに九州、関東、中部、四国地域を中心に発生が確認されており、19都県から特殊報が発表されている。
- 本病の特徴および伝搬方法
病原ウイルスはクリニウイルス属のウイルスで、タバココナジラミ(バイオタイプB及びQ)及びオンシツコナジラミによって半永続伝搬により媒介するとされている。
なお、クリニウイルス属のウイルスは、経卵伝染、汁液伝染、土壌伝染及び種子伝染しないことが知られおり、伝染方法はコナジラミ類による媒介に限られている。
- 病徴および被害
(1) 下位葉から中位葉へと症状が進展し(図1)、発病の初期には、葉の葉脈間が退緑黄化し、斑状の黄化葉となる(図2)。
(2) 症状が進展すると、葉脈に沿った部分を残して葉全体が黄化する。
(3) 症状は苦土欠乏による生理障害に似ている。しかし、本病は施設の開口部付近などで発生が多い傾向がみられ、生理障害のようにほ場内全体に発生することは少ない。

- ことは少ない。
(4) 発病株は、症状の進展に伴う生育抑制により、収量が減少すると言われている。
(5) 本病はミニトマトでも発生することが知られている。



(図1) 下位葉から中位葉の黄化症状 (図2) 葉の退緑黄化

- 7 防除対策及び注意事項
(1) ウイルスを媒介するタバココナジラミおよびオンシツコナジラミを対象とした防除が対策の中心となります。
(2) 施設の開口部(サイド、換気部など)は、必ず目合い 0.4mm 以下の防虫ネットで被覆し、媒介虫となるコナジラミ類の施設内への侵入を防止してください。
(3) 黄色粘着板へのコナジラミ類の付着がないかをよく観察するようにし、付着が確認された場合は、コナジラミ類の薬剤防除を行ってください。
なお、トマトとミニトマトは農業登録上、別の作物であるので注意してください。
(4) 発病株は直ちに抜き取り、ほ場外に持ち出して適切に処分してください。
(5) ほ場周辺やほ場内の雑草はコナジラミ類の発生源となるので除草してください。
(6) 栽培を終了したハウスにおいて、密閉処理により作物を完全に枯死させ、コナジラミ類の移動を防止するようにしてください。

- 8 問い合わせ先
三重県病害虫防除所 電話番号：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1 / 2

2 / 2

(4)注意報

病害虫発生予察注意報第1号

平成 30年 5月 31日
三重県病害虫防除所長

**果樹カメムシ類の誘殺数が近年より多くなっています。
園場の見回りで飛来を確認したら防除を実施してください。**

- 対象作物：ナシ、カキ等
- 対象病害虫名：果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
- 発生地域：県内全域
- 発生時期：5月下旬～6月下旬
- 発生量：多
- 注意報発令の根拠
1) 越冬量調査では、チャバネアオカメムシの越冬量が過去10年間で3番目と多く(図1)、クサギカメムシの越冬量は近年並ですが、2016年、2017年と比べると3倍程度多くなっています(図2)。
2) 予察灯(松阪市福野川北町)への5月第1半旬～第4半旬の誘殺数は、ツヤアオカメムシが72頭(平均30.8頭)と多くなっています(図3)。
3) 東紀州地域では、予察灯(御浜町志原)への5月第1半旬～第2半旬の誘殺数は、ツヤアオカメムシが1563.0頭(平均941.5頭)と多くなっています。
4) フェロモントラップ(多気町矢田)への5月1日～24日の誘殺数は、ツヤアオカメムシが330頭(平均200.7頭)、クサギカメムシが78頭(平均50.9頭)と多くなっています(図4)。

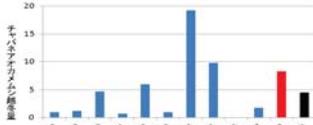


図1. チャバネアオカメムシ越冬量

※1地点あたり1㎡範囲内の落葉を3カ所採取、捕獲した数を計測。※調査地点は津市白山町2地点、松阪市2地点の4地点。

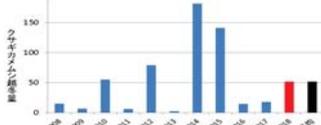


図2. クサギカメムシ越冬量

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。※調査地点は津市白山町2地点、南伊勢町、御浜町の4地点。

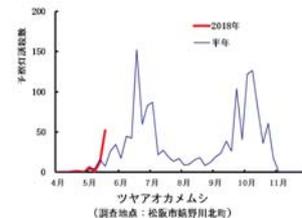


図3. 予察灯(松阪市福野川北町)へのツヤアオカメムシ誘殺数の推移

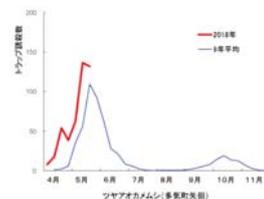


図4. フェロモントラップ(多気町矢田)へのツヤアオカメムシ誘殺数の推移

- 7 防除上の注意事項
1) 気温の上昇に伴い活発に飛翔するので、夜温が高く、風が弱い日に飛来が多くなります。夜間の照明等への飛来を参考にし、園場の見回りで飛来を確認したら防除を実施してください。
2) 飛来数は山林に近いところが多く、園場による差が大きい傾向があります。また、過去に飛来が多かった園場では特に注意してください。
3) 果樹カメムシ類は夕刻から早朝まで活発に飛翔するので、朝夕の薬剤散布が効果的です。また、近隣園場と同時に広い範囲で散布日を含わせて一斉防除すると効果が高くなります。
4) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

(5)技術情報

病害虫防除技術情報第1号

平成30年4月3日
三重県病害虫防除所

**コムギ赤かび病の防除は、開花始めから開花盛期に行いましょう！
出穂および開花状況とともに、今後の天候に注意してください！**

1. 対象作物：コムギ
2. 対象病害虫名：コムギ赤かび病
3. 生育状況と出穂期の予測

本年のコムギの生育は冬場の気温が低く春先の気温が高く推移したことから、**出穂期は平年並からやや遅く、開花始めは伊勢平野部で4月中下旬以降となる見込み**です。播種から出穂まで長期間を要した圃場は予測より生育速度が遅い場合があります。圃場の観察を行い、防除の準備をしてください。
1か月予報(3月29日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べ、向こう1か月の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。出穂および開花状況とともに、今後の天候には注意してください。

赤かび病は、開花後に降雨があり、気温が高いと感染し発生しやすくなります。

4. 防除対策
 - (1) **防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。**
 - (2) 下表の予測を目安として、播種時期ごとに**出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。**コムギの開花は出穂期の約7~10日後です。
 - (3) 薬剤散布後も、開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は追加防除を行います。

表 コムギの出穂期予測および防除適期予測

播種日 H29年	伊勢平野部		伊賀地域 タマイズミ			
	あやひかり・さとのそら 出穂期	ニシノカオリ 防除適期	出穂期	防除適期		
11/10	4/16	4/20~4/29	4/12	4/18~4/27	4/25	4/30~5/9
11/20	4/20	4/24~5/3	4/17	4/21~4/30	4/30	5/5~5/14
11/30	4/23	4/27~5/6	4/19	4/23~5/2	5/2	5/7~5/16
12/10	4/25	4/30~5/9	4/21	4/27~5/6	—	—

生育予測システム ver.2.2(三重県農業研究所)により出穂期および開花盛期を推定(4/2現在)。
開花盛期の3日前を開花始期、開花始期から10日間を防除適期とした。
伊勢平野部は津、伊賀地域は上野アゲダス気温データから算出。気温データ入力最終日以降は、平年値('01~'10)による予測。気温設定:3~4月「高い」、5月「やや高い」。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第2号

平成30年4月6日
三重県病害虫防除所

**コムギの出穂が予測より早まっています！
赤かび病の防除時期をご注意ください！**

1. 対象作物：コムギ
2. 対象病害虫名：コムギ赤かび病
3. 生育状況

4月6日巡回調査(松阪市藤の木、多気町兄国)において、11月上旬播種コムギの出穂開始を確認しました。技術情報第1号で行った出穂期予測日(11月10日播種 伊勢平野部 あやひかり)で出穂期4月16日より、出穂期が早くなります。

(1) 本年は3月以降の高温により、予測(生育予測システム ver.2.2)した防除適期に比較して、**実際の防除適期は早くなると思われます。圃場の出穂・開花状況を観察して防除時期を決定してください。**

(2) 防除適期は開花始めから開花盛期です。

コムギの開花は出穂期の約7~10日後です。開花の3日前を開花始期とし、開花始期から10日間を防除適期とします。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。



図 4月6日松阪市藤の木に於いてコムギ(11月10日播種 あやひかり)の出穂が開始

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第3号

平成30年5月8日
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシの第一世代孵化時期です。

1. 対象作物：チャ
2. 対象病害虫名：クワシロカイガラムシ
3. 発生時期：早い
4. 発生状況：平年並
 - 1) 1か月予報(5月3日発表)によると、天気は平年に比べ晴れる日が少なく、平均気温は高い見込みです。
 - 2) 有効積算温度による予測(5月7日)では、発生時期は早いと予想されます(表)。
 - 3) 本年4月の巡回調査圃場では、雌成虫寄生株率9.8%(平年14.3%)とやや少の状況でした。
 - 4) 一般圃場(4月)では、発生量はやや多でした。
 - 5) 県予察圃場(亀山市)における本年度第一世代孵化卵塊率は、5月4日現在で4.9%に達しています。

5. 防除対策
 - 1) 防除適期は幼虫孵化最盛日の2日後から3日程度です。歩行型幼虫が固着して白色のロウ物質に覆われると薬剤の効果が著しく低下します。
 - 2) 実際の孵化状況に関する情報や、自圃場の孵化状況をルーペ等で確認して適期に防除しましょう。
 - 3) 葉液を十分用意して、樹冠内の枝幹にかかるよう丁寧に散布してください。
 - 4) 防除の実施にあたっては、周辺の一番茶未摘採圃へのドリフトに十分注意して行ってください。

表 有効積算温度による第一世代幼虫孵化最盛期予測日
(計算日:5月7日)

年度	地点	予測日	亀山実測	防除適期
H29	亀山	—	5月18日	—
H30	四日市	5月12日	—	5月14~16日
	亀山	5月10日	—	5月12~14日
	粥見	5月11日	—	5月13~15日
平年(10年平均)			5月18日	

※ 第一世代幼虫孵化期に防除できない場合は、第二世代幼虫孵化期に防除を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第4号

平成30年5月30日
三重県病害虫防除所

**クビアカツヤカミキリが周辺都府県で発生しています
幼虫を発見し侵入を防ぐのは今！警戒を徹底しましょう**

1. 対象作物 ウメ、モモ、カキ、サクラ等
2. 対象病害虫名 クビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*)
3. 全国の発生状況等
平成24年以降、ウメ、モモなどの果樹やサクラなどを食害する侵入害虫のクビアカツヤカミキリが、大阪府、東京都、愛知、徳島、栃木、群馬、埼玉県で確認されています。
三重県内ではこれまで発生を確認していませんが、万一発見した場合は、病害虫防除所(電話:0598-42-6365)までご連絡ください。幼虫を発見しやすい5~6月に、十分な警戒をお願いします。

4. 生態と被害状況
 - (1) 上記のバラ科木本植物が主要な寄主です。しかし、海外ではカキ、クワ、オリーブ、ヤナギに寄生した報告があります。
 - (2) 幼虫は4月上旬頃に摂食を始め、5~6月に摂食活動が最も盛んになります。1~3年かけて樹の内部を食害して成長します。
 - (3) 6月下旬頃に繭になり、成虫は6~8月頃に出現します。成虫は7月下旬から幹や樹皮の割れ目に産卵し、8~9日後に卵が孵化します。

- (4) 被害の特徴
孵化した幼虫は樹皮下に穿孔して形成層を食害し、成長すると樹皮表面に排糞孔を開けてフラス(糞、木くず、樹脂の混合物)を排出します。フラスが堅く(脆い)細長いのが特徴ですが、春先や枯木では固まらずに粉状になることもあります。被害量が多いと株もとはフラスの山で覆われます。
摂食活動とフラスの排出が盛んな5~6月が、最も幼虫を発見しやすいため、この時期の警戒が効果的な被害防止につながります。
 - 細長い(かりんとう状)、堅く脆いフラス = クビアカツヤカミキリの疑い
 - 粒状(球状)、粉状のフラス = その他の昆虫

5. 防除対策
 - (1) 早期発見による拡散防止
フラスを見つけて幼虫のうちに防除することが、成虫が飛翔し被害が拡大することを防ぐために重要です。本種と思われるフラス発見した場合は、病害虫防除所までご連絡ください。

病害虫防除技術情報第5号

平成30年6月15日

三重県病害虫防除所

畦畔の2回連続草刈りが、斑点米カメムシ防除に効果的です

1. 対象作物 水稲
2. 対象病害虫名 斑点米カメムシ類
3. 発生状況等
米の品質低下への被害が大きい、斑点米カメムシ類が多く発生しています。米の品質を低下するアカヒゲホソドリカメムシやアカスジカメムシの発生が多いことが、本年の特徴です。

農圃周辺の雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況(2018年6月)

地区	調査月日	調査地点数	ホソドリカメムシ類発生		クモ〜ツカメムシ類発生		シツボシカメムシ類発生		アカスジカメムシ類発生		アカヒゲホソドリカメムシ類発生	
			発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数
桑名	6.4	16	6.3	0.1	0	0	0	37.5	3.0	18.8	0.5	
四日市鈴鹿	6.5	24	12.5	0.5	0	0	0	45.8	4.4	45.8	1.1	
津	6.7	16	0	0	0	0	0	33.3	0.7	33.3	0.4	
松阪	6.8	18	11.1	0.1	0	0	0	44.4	2.1	11.1	0	
伊勢志摩	6.4.8	20	0	0	0	0	0	35.0	1.5	25.0	0.5	
伊賀	6.6	14	0	0	0	0	0	7.1	0.1	0	0	
紀州	6.5	8	12.5	0.1	0	0	0	50.0	2.1	25.0	0.3	
県全体	6.6	116	5.9	0.1	0	0	0	36.4	2.1	23.7	0.5	
10年平均			8.7	0.2	0.2	0.01	4.6	0.1	39.7	2.3	9.4	0.3

※畦畔、のり面、休耕地等における20回振りすくい取り調査

4. 生態と被害
斑点米カメムシ類は、水田畦畔に多く繁殖しているイネ科雑草の穂をエサにして繁殖し、イネの出穂とともに水田に侵入し斑点米被害を引き起こします。

特に小型のアカヒゲホソドリカメムシ等は、イネ科雑草の繁茂や高温少雨で増加する傾向が高い米の収量よりも、品質における加害能力が高い斑点米カメムシとして、注意が必要です。
斑点米(着色粒)が1,000粒中に1粒以上混入すると、それだけで米の等級が2等以下に下がります。

5. 防除対策
(1)畦畔を斑点米カメムシのエサ場にならない
畦畔の草刈りをする、次にイネ科雑草の穂がでるまで2〜3週間かかります。そのため、本田の水稲の出穂2〜3週間前と出穂期の2回除草が効果的です。出穂2〜3週間前の1回除草だけでは、水稲の出穂期に、再び畦畔のイネ科雑草の穂がでてカメムシが本田に飛来します。
また、出穂期の1回除草だけでは、本田にカメムシを追い込んでかえって被害が大きくなります。

病害虫防除技術情報第6号

平成30年6月27日

三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシ第2世代幼虫を防除しましょう。

孵化最盛期が平年より早まる予想です、ご注意ください。

1. 対象作物：チャ
2. 対象病害虫名：クワシロカイガラムシ第2世代幼虫
3. 発生状況
有効積算温度による第2世代幼虫孵化最盛予測日(6月27日予測)は、四日市では7月13日(平年7月20日)、亀山市では7月12日(平年7月21日)、松阪市飯南町粥見では7月15日(平年7月24日)と予想されます(表)。
4. 防除対策
(1) 孵化最盛日から2日〜4日後頃が防除適期です。枝幹につく歩行型幼虫を確認して防除してください。
(2) この時期は土着天敵の活動が盛んになる時期ですので、天敵に影響の小さい薬剤を選択してください。

表 クワシロカイガラムシ第2世代幼虫孵化最盛予測日と防除適期(6月27日予測)

	孵化最盛予測日	平年比(日)	防除適期
四日市	7月13日	-7	7月15〜17日
亀山	7月12日	-9	7月14〜16日
粥見	7月15日	-9	7月17〜19日

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

(2)防除方法

食入孔に針金を差し込み幼虫を刺殺し、食入孔の内部のフラスを針金等で取り除いたうえで、ノズルを差し込み登録薬剤(カミキリムシ類)を噴射します。

食入孔のある樹幹にネット(目合い4mm以下)を巻きつけて成虫の移動を防ぎ、成虫は見つけ次第捕殺します。被害が大きい樹は伐採します。

表1 クビアカツカミキリに登録のある薬剤例(平成30年5月29日時点)

農薬の種類	作物名	適用病害虫名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンプロパトリンを含む農薬の総使用回数
フェンプロパトリンシエアゾル	果樹類※	カミキリムシ類	収穫前日まで	2回以内	樹幹・樹枝の食入孔に「ノズル」を差し込み噴射	2回以内
	うめ					5回以内(噴射は2回以内、散布は3回以内)
	かき					7回以内(噴射は2回以内、散布は5回以内)
	もも					6回以内
	さくら	クビアカツカミキリ	—	6回以内		

※かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちじく、(種子)、くり、ペカン、アモンド、くるみ、食用つばき(種子)を除く。



農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

(2)薬剤防除

共同防除により広域でカメムシを防除することが最適ですが、個人防除の地域では出穂期以後の薬剤防除の準備をお願いします。

特にアカヒゲホソドリカメムシが多い場合は、乳熟期(出穂7〜10日後)、特に穂ぞろい期にカメムシ類が多い場合は、糊熟期(出穂10〜20日後)に適用のある薬剤で防除してください。

粒剤は乳熟期に散布してください。田面を露出させない程度に灌水してから散布してください。薬剤成分は10%、稲株に吸収されて効果的です。

水稲出穂期の目安と除草時期(コシヒカリ(松阪市嬉野)の場合)

移植日	幼穂形成期	除草(1回目)	出穂期予測(除草2回目)	成熟期予測
4月20日	6月20日	6月下旬	7月16日	8月19日
5月1日	6月28日	7月上旬	7月23日	8月26日
5月10日	7月4日	7月上旬	7月28日	8月31日

アカヒゲホソドリカメムシ(左)とアカスジカメムシ(右)の写真(体長:5mm)



農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第7号

平成30年7月13日
三重県病害虫防除所

**県内多数の地域で、葉いもちの感染好適日がありました。
今後、多雨や少日照の場合、穂いもちに注意してください。**

- 対象作物 水稲
- 対象病害虫名 いもち病

3. 発生状況
5月下旬からこれまで、県内多くの地域で葉いもちの感染好適日が確認されました。梅雨明け以降、地域全体では本田における葉いもちの発生が、減少傾向にありますが、中山間や谷内田(やちだ)等の発生しやすいほ場では、葉いもちが発生しています。葉いもちは穂に伝染し(穂いもち)、収量や品質が低下します。穂いもちは穂ばらみ期以降の多雨、少日照の場合に多発します。特に、いもち病に弱い品種や、窒素肥料の施用量が過多であるほ場では今後、穂いもちの発生予防を徹底しましょう。

- 4. 防除対策**
- 穂いもち対策として、必ず出穂始め～穂揃期に、予防的に薬剤を散布します。
 - 多発時は、使用時期に注意して追加防除を行います。
 - 今後の感染好適日の状況については、三重県病害虫防除所のホームページ(<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>)を参照してください。

- 5. 防除上注意すべき事項**
- Qoi 剤耐性イネいもち病菌の発生が確認されているので、Qoi 剤は同一作期内の連用を避けましょう。
 - 防除に当たっては、農業使用基準(使用時期、使用回数)を守りましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

6. アメダス気象データを利用した水稲いもち病の発生予測について

いもち病発生予測支援システム(プラスタム)は、気象庁のアメダスのデータをもとに、葉いもちの発生時期を地域ごとに予測するプログラムです。病害虫防除所のホームページで公開しています。ご活用ください。

平成30年	桑名	亀山	津	上野	新見	小浜	南伊勢	紀伊長島	尾鷲	熊野新宮	伊勢	桑名	亀山	津	上野	新見	小浜	南伊勢	紀伊長島	尾鷲	熊野新宮	伊勢		
521												8.16												
522												8.17												
523												8.18												
524												8.19												
525												8.20												
526												8.21												
527												8.22												
528												8.23												
529												8.24												
530												8.25												
531												8.26												
601												8.27												
602												8.28												
603												8.29												
604												8.30												
605												9.01												
606												9.02												
607												9.03												
608												9.04												
609												9.05												
610												9.06												
611												9.07												
612												9.08												
613												9.09												
614												9.10												
615												9.11												
												9.12												

- : 葉面の湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が十分で、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある
- △: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満。
- ▲: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上。
- : 湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温が15~20℃の範囲外。
- ◎: 湿潤時間が、湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い。
- : 上記のいずれにも該当しない場合。

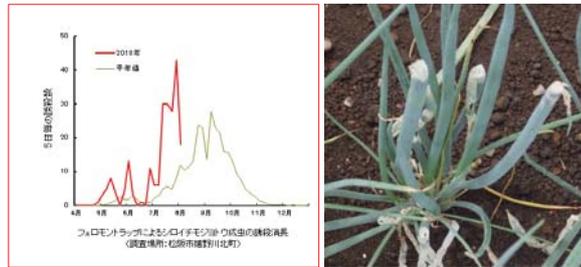
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報 第8号

平成30年8月9日
三重県病害虫防除所

**シロイチモジトウの発生量が多く、特にネギ類では注意が必要です。
発生を確認したら防除をしましょう。**

- 対象作物: 野菜類(ネギ類、果菜類)、花き類
- 対象病害虫名: シロイチモジトウ
- 発生状況
 - シロイチモジトウのフェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)による誘殺数調査によると、7月第1半分から7月第6半分のシロイチモジトウ雄成虫の誘殺数は143頭(平均:28.8頭)と平均のおよそ5倍にあたる誘殺数です。(図1)
 - 1ヶ月予報(名古屋地方気象台 8月2日発表)によると、気温が高い状態が続くと予報されており、今後の発生も増加する見込みです。
 - 病害虫防除所の8月巡回調査結果では、県内のネギ類の生産ほ場におけるシロイチモジトウの発生ほ場率は43%でした。



(図1) シロイチモジトウ誘殺数 (図2) ネギでの被害状況

- 4. 防除対策**
- 老齢幼虫になるに従って薬剤の防除効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除するとともに、同一系統の薬剤の連続使用は避けてください。
 - 野菜類では、果菜類の果実内部やネギ類では葉身内部に侵入し食害されると防除が困難になるとともに、被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
 - 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、農業の適用に従って防除してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報 第9号

平成30年10月9日
三重県病害虫防除所

**果樹カメシ類の誘殺数が局所的に平年より多くなっています。
園場の見回りで飛来を確認したら防除を実施してください。**

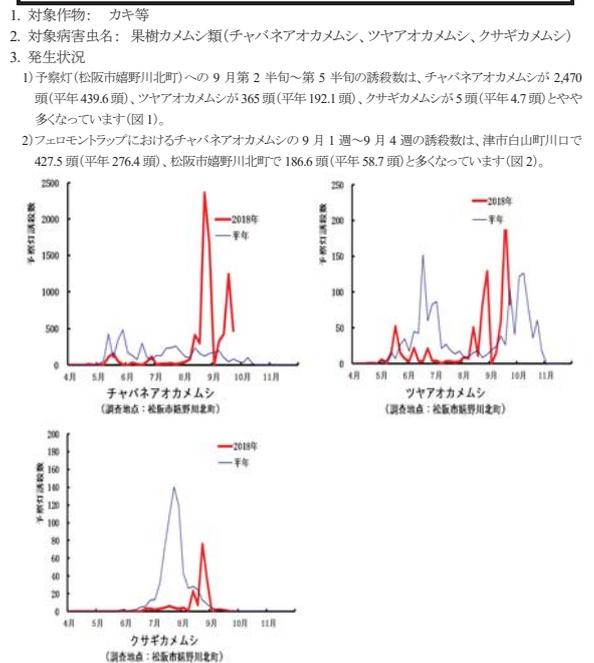


図1. 子寮灯(松阪市嬉野川北町)への果樹カメシ類誘殺数の推移
チャバネアオカメシ(左)、ツヤアオカメシ(中)、クサギカメシ(右)

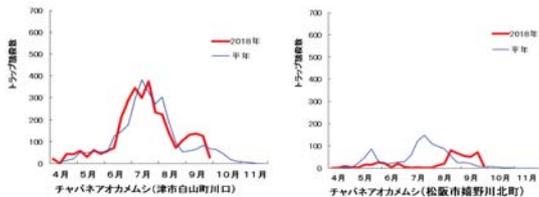


図2. フェロモントラップへのチャバネアオカメシ誘殺数の推移
津市白山町川口(左)、松阪市嬉野川北町(右)

7. 防除上の注意事項

- 1) 飛来数は山林に近いところが多く、圃場による差が大きい傾向があります。台風など気象の変動をきっかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。
- 2) 気温の上昇に伴い活発に飛翔するので、夜温が高く、風が弱い日に飛来が多くなります。夜間の照明等への飛来を参考にし、圃場の見回りで飛来を確認したら防除を実施してください。
- 3) 過去に飛来が多かった圃場では特に注意してください。
- 4) 近隣圃場と同時に広い範囲で散布日を含ませて一斉防除すると効果が高くなります。
- 5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

シロイチモジトウの誘殺数が急増しています。
特にネギ類では注意が必要です。

1. 対象作物： 野菜類（ネギ類、アブラナ科野菜類、果菜類）、ダイズ、花き類
2. 対象病害虫名： シロイチモジトウ
3. 発生状況
 - (1) フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）の調査によると、9月第5半旬の誘殺数は85頭（平均：15.9頭）と急増しました。これは平均のおよそ5.3倍にあたる誘殺数です。（図1）
 - (2) 病害虫防除所の9月巡回調査結果では、ネギほ場におけるシロイチモジトウの発生は発生率は約50%でした。
 - (3) 1ヶ月予報（名古屋地方気象台 9月27日発表）によると、気温が高い見込みと予報されており、今年よりもシロイチモジトウの発生に好適条件となる事が予想されます。

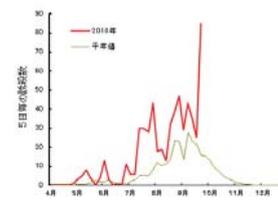


図1 フェロモントラップによるシロイチモジトウの誘殺数の推移
（調査圃場：松阪市嬉野川北町）



図2 ネギでの被害状況

4. 防除対策

- (1) 老齢幼虫になるに従って薬剤の防除効果が劣ります。若齢幼虫のうち防除するとともに、同一系統の薬剤の連続使用は避けてください。
- (2) 野菜類では、果菜類の果実内部やネギ類では葉身内部に侵入し食害されると防除が困難になるとともに、被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (3) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、農薬の適用に従って防除してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

県内の茶園で発生が確認されたヒサカキワタフキコナジラミについて

1 発生経過及び状況

平成30年4月5日、北勢地域の茶園において、茶株内の地面に近い枝の茶葉裏面に白い綿状物質に覆われた種不明なコナジラミ類幼虫の寄生が確認された。三重県病害虫防除所で飼育したところ、コナジラミ類成虫が羽化したため、同虫の同定を農林水産省名古屋植物防疫所に依頼し、5月30日にヒサカキワタフキコナジラミ (*Pealius euryae* (Takahashi)) と同定された。

2 国内での発生状況

チャでの寄生は、平成27年10月に埼玉県で初めて確認され、平成29年7月に静岡県、平成29年10月に愛知県においても確認が報告された。

茶園における生息場所は、地面に近い葉に限られるため、茶生産における被害は報告されていない。本種は、ヒサカキ及びチャに寄生する。

3 県内での発生状況

平成30年6月25日に分布調査を行ったところ、北勢及び南勢地域の主要茶産地茶園において発生が確認された。

4 形態及び生態

成虫の体長は1.0mm、体色は白色である(図1)。幼虫は小判状で淡黄緑色をしており、周囲に長い糸状の白色綿状物質をもつ(図2、図3)。終齢幼虫の体長は成虫とほぼ同じである。成虫は茶株内の新芽や新葉に生息し、大量の卵を葉の裏側に産卵する。幼虫は茶株内の葉裏に生息して白い綿状の分泌物を出し、葉裏全体を覆うようになる。

成虫、幼虫ともに、茶株地際の直射日光が当たらない葉に好んで生息する(図4)。

現在のところ、茶株内の摘採面上における新芽・新葉への寄生は確認されていない。

5 被害

長期遮光を伴う栽培では摘採面にも発生する可能性があるが、茶生産における被害は現在のところ報告されておらず、茶生産への実害は生じないことが推察される。



図1 ヒサカキワタフキコナジラミ成虫



図2 葉裏の幼虫



図3 葉裏の幼虫



図4 生息部位

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

**本年はコムギの開花が早まる予想です。
コムギ赤かび病の防除は、開花始めから開花盛期に行いましょう！**

1. 対象作物：コムギ
2. 対象病害虫名：コムギ赤かび病
3. 生育状況と出穂期の予測

本年のコムギの生育は昨年から気温が高く推移したことから、**出穂期は平年より早く、11月上旬播種のもの、出穂期が特に早く予想されています。**

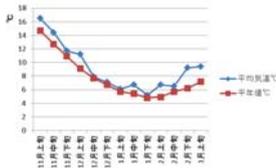


図 旬平均気温の推移(津)

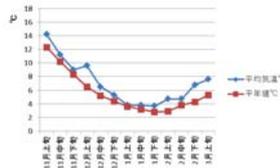


図 旬平均気温の推移(上野)

1 か月予報(3月14日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べ、向こう1か月の平均気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。出穂および開花状況とともに、今後の天候に注意してください。

赤かび病は、開花期に降雨があり、気温が高いと感染しやすくなります。

4. 防除対策
 - (1) 防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。
 - (2) 圃場をよく観察して、播種時期ごとに出土および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。コムギの開花は出穂期の約7～10日後です。
 - (3) 薬剤散布後も、開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、追加防除を行いましょう。

(参考)「明和町において、11月1日播種のニシノカオリが3月11日に出土始め」
(3月14日病害虫発生予察情報会議コメントより)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

IV 事業関係の試験成績

1. 診断対策

(1) 灰色かび病の薬剤感受性検定

2018年度調査結果

三重県農業研究所農産物安全安心研究課
採取作物 トマト、イチゴ、キュウリ、ナス

FRAC コード	農薬名	検定結果	検定方法	防除効果	備考
2	イブロジオン剤 (ジカルボキシイミド系)	中程度耐性菌 30.2% 感受性菌 69.8%	5ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃48時間培養後に菌そう生育があれば中程度耐性菌、無処理比80%以上の菌そう生育があれば高度耐性菌として判定した。	感受性菌が多いものの中程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	8地域44地点における果実・茎・葉の標微部から分離した163菌株の検定結果
12	フルジオクソニル剤 (フェニルピロール系)	感受性低下菌 3.7% 感受性菌率 95.7% 再検定 0.6%	0.2ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、25℃48時間培養後に菌そう生育の有無により判定した。生育が認められた菌株について生物検定を行った。実用濃度の1/10の濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を感受性低下菌と判定した。	わずかに感受性低下菌が検出されたが即座に防除効果への影響はないと考えられる。	8地域44地点における果実・茎・葉の標微部から分離した164菌株の検定結果
11	アゾキシストロビン剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 73.6% 感受性菌 26.4%	100ppmの薬剤とSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃72時間培養後の菌糸生育抑制率80%未満の菌株を耐性菌として判定した。	耐性菌が高頻度で検出されたので、防除には特に注意が必要である。	8地域44地点における果実・茎・葉の標微部から分離した163菌株の検定結果
	ビリベンカルブ剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 6.7% 弱耐性菌 50.6% 感受性菌 42.1% 再検定 0.6%	アゾキシストロビン剤耐性菌であり、かつビリベンカルブ100ppmとSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃72時間培養後の菌糸生育抑制率80%未満の菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満を耐性菌、アゾキシストロビンの菌糸生育抑制率50%未満を弱耐性菌とした。	耐性菌、弱耐性菌が検出されたことから、防除には注意が必要である。	
9	メパニピリム剤 (アニリノピリミジン系)	耐性菌 14.6% 感受性菌 84.8% 再検定 0.6%	3ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
17	フェンヘキサミド剤 (ヒドロキシアニリド系)	耐性菌 9.8% 感受性菌 90.2%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	8地域44地点における果実・茎・葉の標微部から分離した164菌株の検定結果
7	ボスカリド剤 (SDHI系)	耐性菌 35.4% 感受性菌 63.4% 再検定 1.2%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	
	ペンチオピラド剤 (SDHI系)	耐性菌 14.0% 感受性菌 83.5% 再検定 2.5%		耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
防除対策 前提条件					①換気、暖房、循環扇等を利用し、湿度を高めないことで、感染に適した環境にしない ②着果後の花卉の除去、わき芽かきの傷跡を大きくしない、葉先枯れする管理をしない等、感染場所をつくらない ③被害茎葉や果実を施設外に出すことで、施設内の伝染源を徹底除去する（多発後困難、初発前に行なう）
薬剤防除					①耐性菌の確認されていない薬剤を使用する ②耐性菌の出現を避けるため、薬剤の選定にあたっては、系統の異なるものをローテーション散布する ③灰色かび病の発生前から予防的に散布する ④初発がみられたら直ちに散布する ⑤葉かび、すすかび病発生の予測される場合は、葉かび、すすかび病に登録のある薬剤を散布する ⑥生物農薬（バチルスズブチリス）のダクト散布は発病予防を期待するものであり、発病時は化学農薬を散布する

表 1 供試薬剤別 地域ごとの感受性検定の結果

FRAC コード	供試薬剤	判定	木曽岬	長島	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	全体	【2017年】
2	イブロジオン剤	MR	27.3%	21.6%	0%	62.5%	27.8%	55.0%	33.3%	33.3%	30.2%	22.2%
		S	72.7%	78.4%	100%	37.5%	72.2%	45.0%	66.7%	66.7%	69.8%	77.8%
検定菌株数			44	37	8	8	36	20	3	7	163	171
12	フルジオキシニル剤	LS	0%	0%	0%	0%	5.6%	20.0%	0%	0%	3.7%	0.0%
		再	0%	0%	0%	0%	2.8%	0%	0%	0%	0.6%	0.6%
		S	100%	100%	100%	100.0%	91.7%	80.0%	100%	100%	95.7%	99.4%
検定菌株数			44	37	8	8	36	20	4	7	164	171
11	アゾキシストロピン剤	R	69.8%	43.2%	100%	100%	83.3%	100%	100%	57.1%	73.6%	42.1%
		S	30.2%	56.8%	0%	0%	16.7%	0%	0%	42.9%	26.4%	57.9%
	ビリベンカルブ剤	R	7.0%	0%	0%	0%	11.1%	20.0%	0%	0%	6.7%	1.2%
		WR	44.2%	29.7%	62.5%	100.0%	50.0%	70.0%	100.0%	57.1%	50.6%	34.5%
		再検定	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.6%	0.6%
		S	48.8%	70.3%	37.5%	0%	38.9%	10.0%	0%	42.9%	42.1%	63.7%
検定菌株数			43	37	8	8	36	20	4	7	163	171
9	メバニピリム剤	R	6.8%	0%	0%	0%	36.1%	30.0%	50.0%	0%	14.6%	2.3%
		再検定	0%	0%	0%	12.5%	0%	0%	0%	0%	0.6%	1.8%
		S	93.2%	100%	100%	87.5%	63.9%	70.0%	50.0%	100%	84.8%	95.9%
17	フェンヘキサミド剤	R	0%	8.1%	0%	37.5%	19.4%	15.0%	0%	0%	9.8%	10.5%
		S	100%	91.9%	100%	62.5%	80.6%	85.0%	100%	100%	90.2%	87.7%
	ボスカリド剤	R	25.0%	29.7%	50.0%	87.5%	25.0%	55.0%	25.0%	57.1%	35.4%	30.0%
		再検定	2.3%	0%	0%	0%	0%	0%	25.0%	0%	1.2%	0.6%
		S	72.7%	70.3%	50.0%	12.5%	75.0%	45.0%	50.0%	42.9%	63.4%	69.4%
7	ベンチオピラド剤	R	13.6%	16.2%	0%	12.5%	11.1%	30.0%	0%	0%	14.0%	12.9%
		再検定	2.3%	2.7%	0%	12.5%	0%	0%	25.0%	0%	2.5%	0.6%
		S	84.1%	81.1%	100.0%	75.0%	88.9%	70.0%	75.0%	100%	83.5%	86.5%
	イソピラザム剤	R	9.1%	5.4%	0%	37.5%	8.3%	35.0%	25.0%	0%	12.2%	-
		再検定	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.0%	-
		S	90.9%	94.6%	100%	62.5%	91.7%	65.0%	75.0%	100%	87.8%	-
検定菌株数			44	37	8	8	36	20	4	7	164	171

※R：耐性菌 MR：中程度耐性菌 WR：弱耐性菌 LS：感受性低下菌 S：感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、WR、LSは実用上問題ないが今後注意が必要、Sは問題なし

※再検定：薬剤添加培地で生育したが、生物検定で感受性程度の判定ができなかった菌(感受性低下の可能性あり)

表2 供試薬剤別 作目ごとの感受性検定の結果

FRAC コード	供試薬剤	判定	トマト	イチゴ	ナス	キュウリ	全体	【2017年】
2	イプロジオン剤	MR	19.6%	44.2%	62.5%	100%	30.2%	22.2%
		S	80.4%	55.8%	37.5%	0%	69.8%	77.8%
検定菌株数			108	43	8	4	163	171
12	フルジオキシニル剤	LS	2.8%	6.8%	0%	0%	3.7%	0.0%
		再	0%	0%	0%	0%	0.6%	0.6%
		S	97.2%	93.2%	100%	100%	95.7%	99.4%
検定菌株数			108	44	8	4	164	171
11	アゾキシストロピン剤	R	63.6%	90.9%	100%	100%	73.6%	42.1%
		S	36.4%	9.1%	0%	0%	26.4%	57.9%
	ピリベンカルブ剤	R	4.7%	9.1%	12.5%	25.0%	6.7%	1.2%
		WR	40.2%	72.7%	75.0%	50.0%	50.6%	34.5%
		再検定	0%	0%	0%	0%	0.6%	0.6%
	S	55.1%	18.2%	12.5%	25.0%	42.1%	63.7%	
	検定菌株数			107	44	8	4	163
9	メパニピリム剤	R	0.9%	38.6%	37.5%	75.0%	14.6%	2.3%
		再検定	0%	2.3%	0%	0%	0.6%	1.8%
		S	99.1%	59.1%	62.5%	25.0%	84.8%	95.9%
17	フェンヘキサミド剤	R	2.8%	29.5%	12.5%	0%	9.8%	10.5%
		S	97.2%	70.5%	87.5%	100%	90.2%	87.7%
	ボスカリド剤	R	34.3%	38.6%	0%	100%	35.4%	30.0%
		再検定	0.9%	2.3%	0%	0%	1.2%	0.6%
		S	64.8%	59.1%	100%	0%	63.4%	69.4%
7	ベンチオピラド剤	R	13.8%	11.4%	0%	75.0%	14.0%	12.9%
		再検定	1.9%	4.5%	0%	0%	2.5%	0.6%
		S	84.3%	84.1%	100%	25.0%	83.5%	86.5%
	イソピラザム剤	R	8.3%	15.9%	0%	100%	12.2%	-
		再検定	0%	0%	0%	0%	0%	-
		S	91.7%	84.1%	100%	0%	87.8%	-
検定菌株数			108	44	8	4	164	171

※R：耐性菌 MR：中程度耐性菌 WR：弱耐性菌 LS:感受性低下菌 S：感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、WR、LSは実用上問題ないが今後注意が必要、Sは問題なし

※再検定：薬剤添加培地で生育したが、生物検定で感受性程度の判定ができなかった菌(感受性低下の可能性あり)

(2)ミカンハダニの薬剤感受性検定

担 当: 三重県農業研究所紀南果樹研究室

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死虫率(%)	
			紀南果樹	熊野A園
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	85	100
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	100	96
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	61	44
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	2.4	42
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	100	64
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	100	100
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	96	69
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	-9	49
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	100	100
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	34	93

ミカンハダニ卵の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死卵率(%)	
			紀南果樹	熊野A園
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	95	100
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	26	100
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	95	100
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	100	100
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	1	100
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	100	33
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	44	-128
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	82	14
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	95	80
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	51	-72

※熊野A園の殺卵は蒸留水区多死により、判定不可

※補正死虫率 = (蒸留水区の生存虫率 - 処理区の生存虫率) / 蒸留水区の生存虫率 × 100
 補正死卵率 = (蒸留水区のふ化卵率 - 処理区のふ化卵率) / 蒸留水区のふ化卵率 × 100

※調査日

<紀南果樹研究室場内>

実用濃度; 10/19(薬剤処理24時間後)

殺卵試験; 9/22(9/14に産卵された卵に9/15に薬剤処理し、7日後)

<熊野A園>

実用濃度; 9/1(薬剤処理24時間後)

殺卵試験; 9/12(9/4に産卵された卵に9/5に薬剤処理し、7日後)

<試験方法概要>

<p>サンプル採取場所</p>	<p>三重県紀南果樹研究室圃場9号、12号圃(普通温州、早生温州慣行) 熊野A園 11地区(興津早生、慣行)</p>
<p>方 法</p>	<p>成虫感受性 寒天培地の上に、約3cm角に切ったカンキツの葉(無防除区)を乗せ、周囲に逃亡防止の蒸留水を薄く撒いた。そこに、露地慣行区から採取した雌成虫を20頭接種して薬剤を散布し、25℃、16時間明期・8時間暗期(高温長日条件)で飼育した。24時間後に生存・苦悶・死亡虫数を調査した。</p> <p>卵感受性 成虫感受性試験と同様にディスクを作り、露地慣行区から採取した雌成虫を20匹接種して高温長日条件で飼育し産卵させた。24時間後に雌成虫を取り除いて薬剤を散布し、同様の条件下で飼育した。7日後に幼虫数と死卵数を調査した。</p>

V 農薬の指導に関する業務

1. 農薬危害防止対策

農薬の適正な使用を促すとともに使用に係る事故を防止するため、農薬危害防止運動の実施と農薬取締法に基づきゴルフ場等農薬使用者に対して農薬安全使用パトロール等を実施し、農薬の適正使用と使用簿、施錠、保管管理の徹底等について指導した。

農薬取扱業者に対しては、農薬管理指導士の育成と資質向上を図るため、農薬管理指導士特別研修会を開催し農薬を取り巻く法律、情勢、安全使用の基本的事項について解説した。また、県内外農薬関係者、農業者等を対象として、植物防疫技術研修会を開催し三重県農業における病害虫発生に関するトピックスを講演し、農薬使用を含めた効率防除について啓発を行った。

農薬の危害防止、農薬使用の適正指導、総合防除の推進を図るため、正確かつ適正な情報を、農薬使用の指導者向けに提供するため、指導機関向けに「三重県病害虫防除の手引き」を作成配布提供した。農水省植物防疫課、日本植物防疫協会から提供される使用制限のある変更登録情報は、電子メール、FAXにより県内の農薬流通業者へ提供するとともに、県庁内関係者には、病害虫防除所イントラネットホームページに掲載し、最新の登録情報とともに情報共有を図った。

(1) 農薬危害防止運動の実施

①実施期間 平成30年6月1日～8月31日までの3か月間

②実施内容 「三重県農薬適正使用啓発強化運動」として、各市町等の関係機関に「農薬の適正使用」についてのパンフレット等を配布し、本運動の啓発宣伝を行った。農薬取扱者へは農薬の保管管理方法及びポジティブリスト制度に伴う危被害防止について、研修会、講習会で啓発した。

(2) 農薬安全使用講習会の開催状況

項目	時期 開催場所	内容	対象者
農薬安全使用等講習会	平成30年 11/26 津市	本年度の病害虫発生概況について	農薬販売者等
農薬管理指導士 特別研修(新規)	平成30年 12/10～11 津市	関係法令、農薬安全使用、危害防止等	農薬販売者、農薬使用者、 農薬管理責任者
植物防疫技術研修会	平成31年 2/25 松阪市	畑の健康診断「ヘソディム」によるアブラナ科野菜根こぶ病の防除対策について 本年度の病害虫の発生状況について 三重県農薬情報システムの概要について	病害虫防除員等

(3) ゴルフ場の調査点検実施状況

ゴルフ場の維持管理に関する指導要綱及びゴルフ場の調査・点検・パトロール実施要領に基づき、下記ゴルフ場における農薬使用状況や保管管理状況等について、調査・点検を行った。

調査・点検年月日	ゴルフ場名	所在地
平成30年11月19日	伊賀ゴルフコース セントレイクゴルフ倶楽部 アリジカントリークラブ花垣コース グリーンハイランドカントリー倶楽部	伊賀市比土 4167-3 伊賀市上郡大峯 1338 伊賀市大滝 1258 名張市薦生大峯 1116-3
平成30年11月27日	ルート25ゴルフクラブ 名阪ロイヤルゴルフクラブ 随縁カントリークラブキャニオン上野コース 島ヶ原カントリークラブ	伊賀市愛田口北谷 2280 伊賀市西之沢 1598 伊賀市西山 3008 伊賀市島ヶ原 8300 番地
平成30年11月28日	伊勢カントリークラブ 富士 OGM エクセレントクラブ伊勢二見コース	度会郡玉城町世古 1362 伊勢市朝熊町字鴨谷 4383-82

(調査・点検項目)

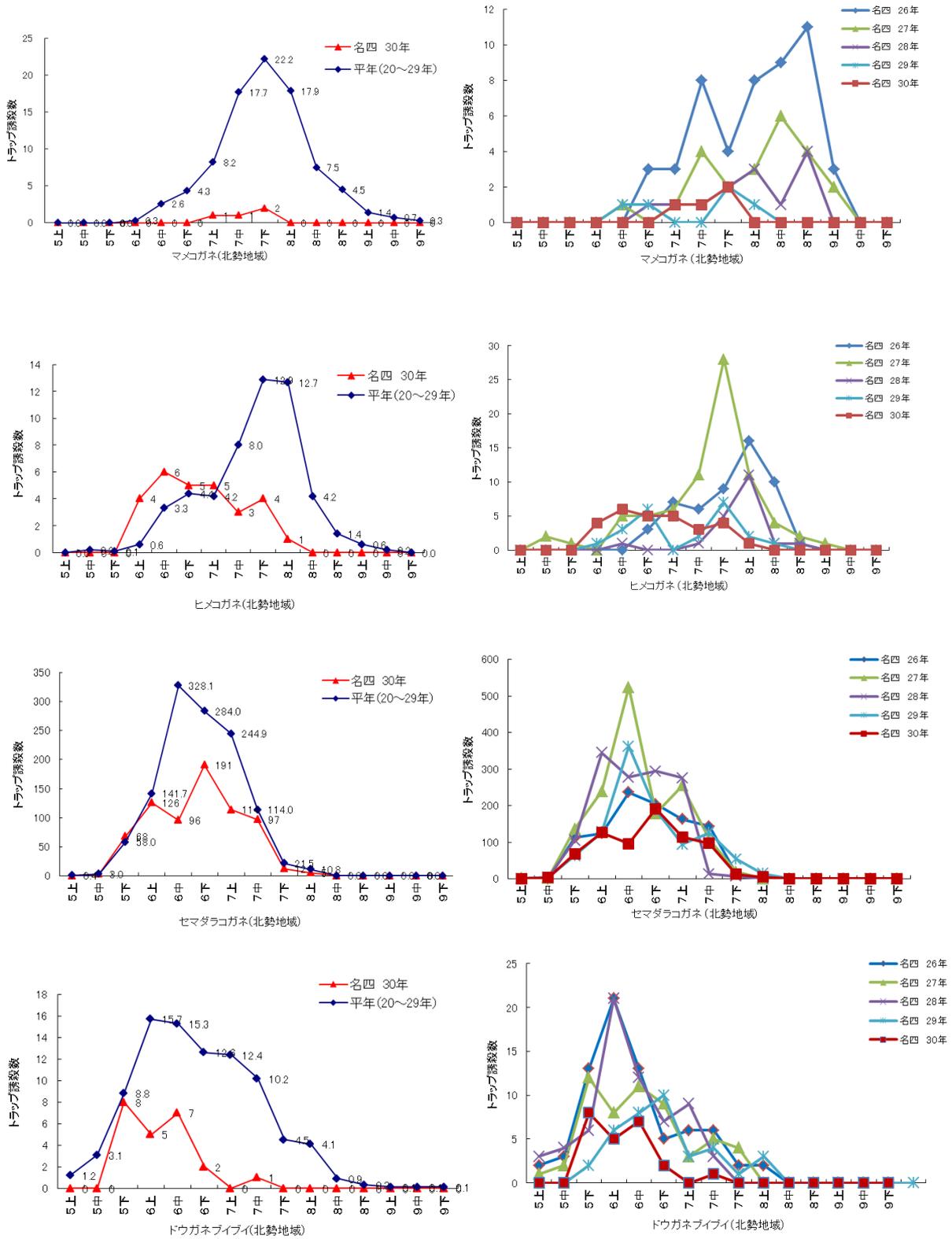
- 1.帳簿(作業日報、農薬台帳等)の整理状況
- 2.農薬の使用状況
- 3.危害防止対策、
- 4.病虫害雑草安全防除指針の遵守状況
- 5.農薬の保管管理の状況

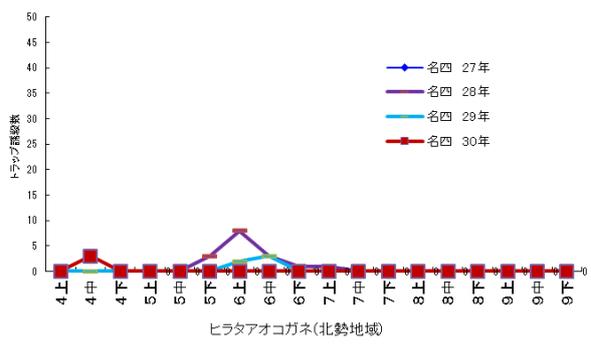
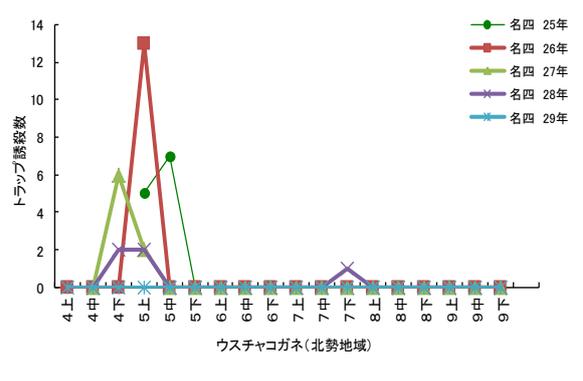
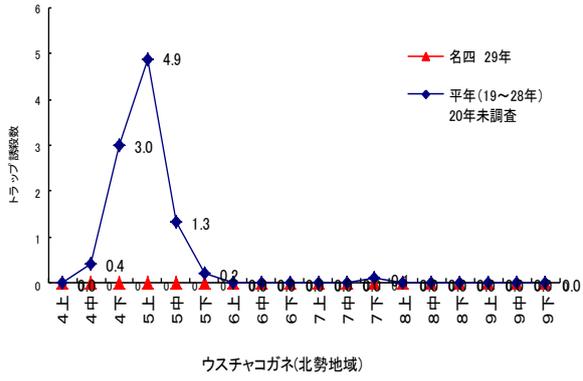
(調査・点検結果の概要)

農薬台帳の在庫量(農薬注文量)よりと実際の在庫量が多いゴルフ場があり、注文量より多くの農薬を搬入しないよう指示した。その他、期限切の農薬が保管されたままになっているなどの若干の不備は認められたものの、概ね適正に管理されていた。

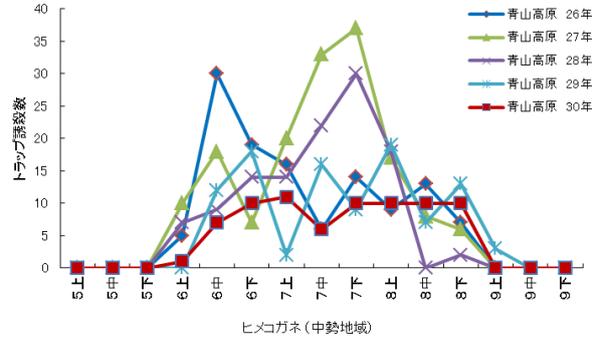
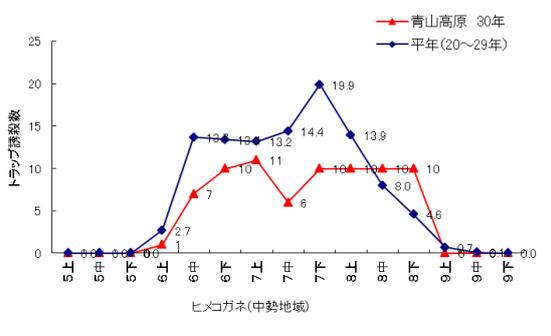
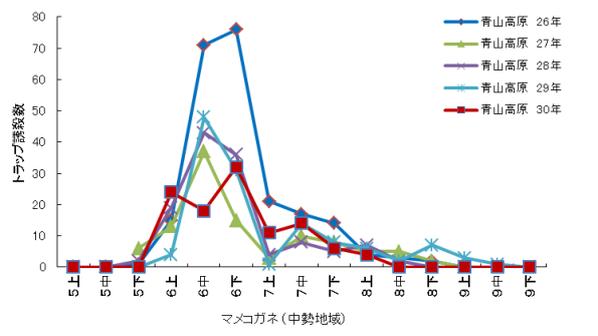
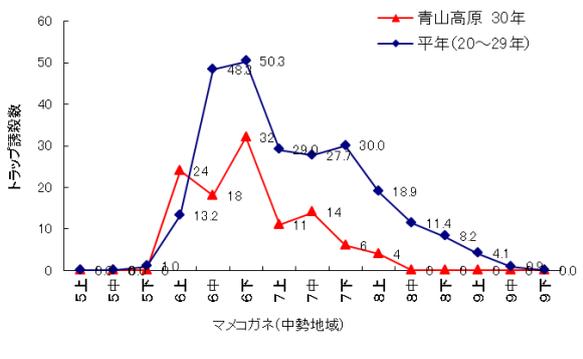
(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況

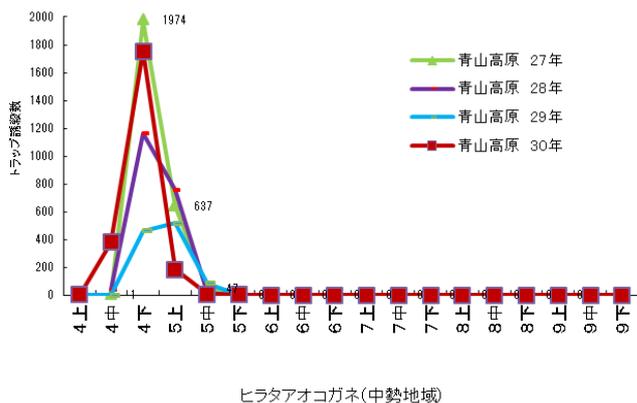
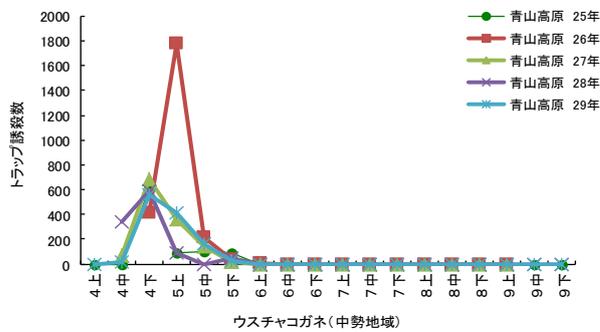
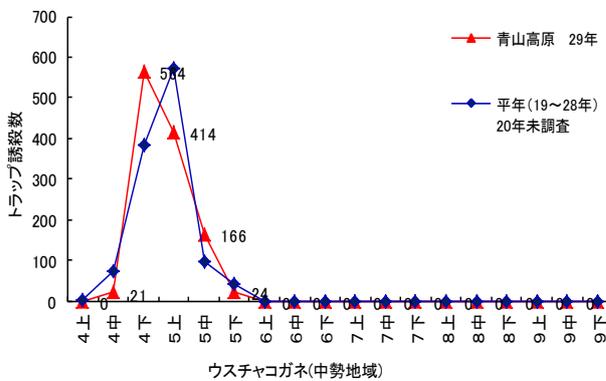
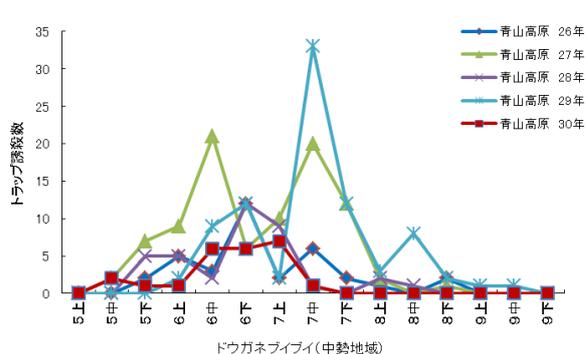
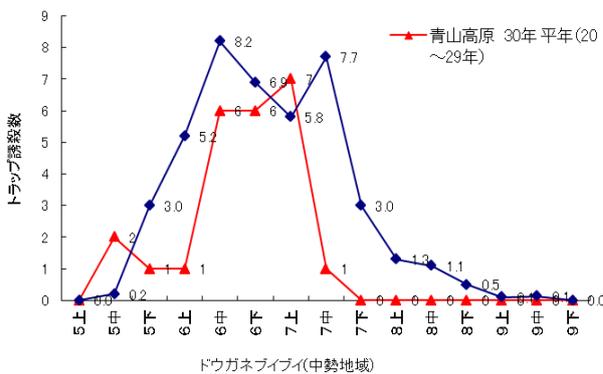
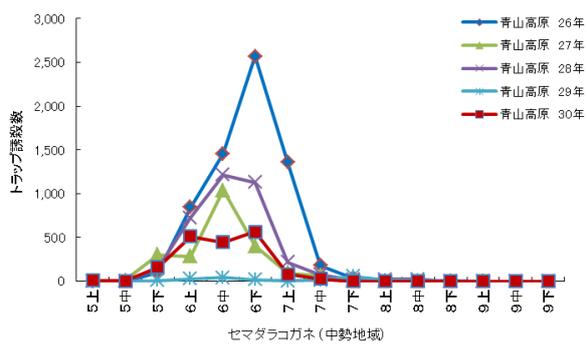
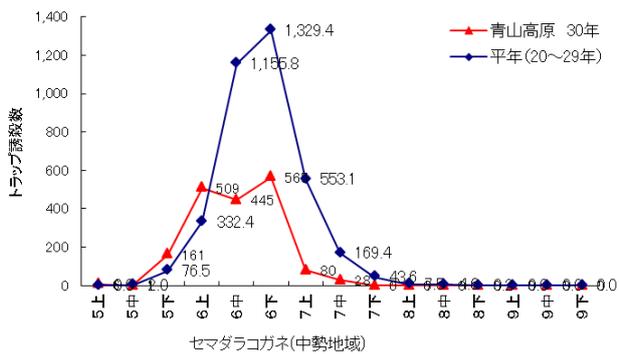
北勢地域





中勢地域





2. 無人航空機による空中散布の実施状況 平成30年度

防除内容	総散布面積(ha)	
		合計
水稲	前年実績	10013
	前年対比(%)	102.1
	合計	2222
麦類	前年実績	2022
	前年対比(%)	109.9
	合計	1125
大豆	前年実績	1204
	前年対比(%)	93.4
	合計	73
その他	前年実績	104
	前年対比(%)	70.2
	合計	13646
合計	前年実績	13342
	前年対比(%)	102.3

VI 各種データ

1.トラップ等データ

(1)予察灯

a 県予察灯・水田設置（松阪市嬉野川北町； 60ワット白熱灯）

水田 2018年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2018年	ツマ グロ ヨコ バイ	イナ ズマ ヨコ バイ	ヒメ トビ ウン カ	セジ ロウ ンカ	トビ イロ ウン カ	イネ ミズ ゾウ ムシ	ホソ ハリ カメ ムシ	シラ ホシ カメ ムシ	イネ カメ ムシ	イネ クロ カメ ムシ	クモ ヘリ カメ ムシ	アカ ヒゲ ホソ ミドリ カスミ カメ	アカ スジ カスミ カメ	ニカ メイ ガ	コブ ノメイ ガ	フタ オビ コヤ ガ	アワ ヨト ウ	イチ モン ジカ メムシ	クサ ギカ メムシ	ホソ ヘリ カメ ムシ	チャ バネ アオ カメ ムシ	ツヤ アオ カメ ムシ
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
29日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	17	0	0	0	0	1	0	0	2	0
26日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2018年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモハリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	4	0	0	7	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	1	0	0	14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11日	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	5	0	0	2	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	2	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	2	25	2	0	2	0	0	0	0	0	1
19日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
20日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	2	0	0	5	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	8	0	0	1	1	0	4	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
26日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
30日	0	0	3	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月1日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0
2日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
11日	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	6	0
13日	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0
20日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
21日	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
22日	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0
26日	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	5	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	2	0	0	3	0	0	0	0	4	1
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	4	2
31日	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0

水田 2018年	ツマ グロヨコ バイ	イナズ マヨコ バイ	ヒメト ビウン カ	セジロ ウンカ	トビイ ロウン カ	イネミ ズゾウ ムシ	ホソハ リカメ ムシ	シラホ シカメ ムシ	イネカ メムシ	イネク ロカメ ムシ	クモハ リカメ ムシ	アカヒ ゲホソ ミドリ カスミ カメ	アカス ジカス ミカメ	ニカメ イガ	コブノ メイガ	フタオ ビコヤ ガ	アワヨ トウ	イチモ ンジカ メムシ	クサギ カメム シ	ホソハ リカメ ムシ	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ
9月1日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	4	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6日	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1	1	0	5	0	0	0	8	0
7日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	1	0	0	1	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	1	0
14日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	11	1
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	4	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	3	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b 県予察灯・畑地設置（松阪市嬉野川北町； 100ワット水銀灯）

畑地 2018年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	クロコガネ	ピロウドコガネ類	コフキコガネ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ヒメサクラコガネ	サクラコガネ	イチモンジカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモハリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ヒメホソミドリカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イナズマヨコバイ	イネミズゾウムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
22日	0	17	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
23日	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8
5月1日	0	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
2日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6日	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
12日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	108	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16日	0	14	15	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0
17日	0	22	13	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	121	24	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	45	12	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

畑地 2018年																													
	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	クロコガネ	ビロウドコガネ類	コフキコガネ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ヒメサクラコガネ	サクラコガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ヒメホソミドリカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イナズマヨコバイ	イネミズゾウムシ
6月1日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	1	1	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
7日	0	0	8	0	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
8日	0	28	11	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
9日	0	2	1	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
10日	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
11日	0	11	1	0	4	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
12日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
14日	0	2	3	0	5	0	0	0	2	2	3	0	0	0	0	8	0	0	0	10	1	0	79	0	0	0	0	0	
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
17日	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
18日	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	6	0	1	0	0	0	0	0	
19日	0	0	0	0	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	2	0	0	0	0	0	
20日	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	5	0	12	0	0	0	0	0	
21日	0	6	6	1	4	0	2	1	2	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	11	1	0	0	0	0	
22日	0	10	9	0	14	12	2	0	3	4	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
23日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
24日	0	8	1	1	7	4	1	1	3	6	0	1	0	0	0	3	1	0	0	2	1	0	17	0	0	0	0	0	
25日	0	25	5	1	8	0	0	0	2	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	10	12	0	39	0	0	0	0	0	
26日	0	67	0	0	10	7	1	0	13	0	0	3	0	1	2	2	11	0	0	11	30	0	43	0	0	0	0	1	
27日	0	32	2	1	12	1	1	0	3	14	0	5	0	0	1	0	0	23	0	0	14	46	0	115	0	0	0	0	
28日	0	3	1	0	8	3	0	0	0	6	0	2	0	0	0	0	2	0	0	1	4	0	7	0	0	0	0	1	
29日	0	9	1	2	7	0	0	0	2	11	0	4	0	1	1	0	0	4	0	8	21	0	12	0	0	0	0	0	
30日	1	2	0	0	4	1	0	0	1	8	0	1	0	0	0	1	8	0	0	4	6	0	1	1	0	0	0	0	
7月1日	1	0	0	0	8	1	1	0	1	17	0	2	0	0	0	1	9	0	0	2	3	0	0	2	0	0	0	0	
2日	0	1	2	1	9	3	0	0	1	8	0	3	0	0	0	0	8	0	0	7	11	0	5	11	0	0	0	0	
3日	0	3	0	1	4	0	1	0	1	10	0	1	1	0	0	0	7	0	0	3	4	0	4	5	0	0	0	0	
4日	0	1	2	0	2	3	0	0	2	7	0	2	2	0	0	0	0	15	0	0	22	28	0	21	50	0	0	30	
5日	0	2	0	0	3	2	1	0	1	16	0	2	0	1	0	0	7	0	0	64	36	0	20	117	0	0	0	4	
6日	1	7	0	0	1	3	4	0	0	9	0	1	1	0	0	0	9	1	0	18	14	0	8	7	0	0	0	8	
7日	0	3	0	0	1	2	0	0	3	13	0	0	0	0	0	0	4	0	0	38	20	0	1	51	0	0	0	2	
8日	2	6	0	0	9	1	3	1	3	14	0	0	1	0	0	1	0	5	0	11	18	0	6	9	0	0	1	211	
9日	0	4	0	0	8	2	0	0	2	14	0	1	1	1	0	0	0	4	1	0	14	20	0	7	14	0	0	0	71
10日	0	2	0	3	18	2	1	0	7	19	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	10	
11日	0	7	0	1	18	2	1	1	3	20	0	1	1	1	0	0	0	4	0	12	9	0	2	5	0	0	0	8	
12日	0	3	0	0	13	0	0	0	3	16	0	2	2	0	0	0	0	5	0	15	9	0	5	5	0	0	0	6	
13日	0	7	0	0	9	0	0	1	2	23	0	1	2	0	0	0	0	5	0	4	2	0	3	3	0	0	0	0	
14日	0	0	1	1	11	0	2	0	0	20	2	6	0	0	0	0	1	2	0	5	12	0	61	6	0	0	0	15	
15日	0	5	2	2	10	2	2	1	7	17	0	1	2	0	0	0	0	2	0	7	0	0	5	4	0	0	0	7	
16日	0	10	0	2	10	4	0	1	9	22	0	0	6	5	0	0	1	4	0	5	6	0	60	10	0	0	0	13	
17日	0	11	2	3	7	0	0	0	16	26	0	1	2	2	0	0	1	1	0	16	15	0	22	8	0	0	0	9	
18日	0	2	1	0	4	4	0	0	8	12	0	0	4	0	1	0	0	0	0	1	4	0	9	0	0	0	0	2	
19日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	8	7	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	16	0	0	0	0	
20日	0	1	0	1	6	0	0	0	7	8	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	6	7	0	7	3	0	0	0	
21日	0	4	0	1	6	0	0	0	1	11	0	15	0	0	0	0	2	0	0	1	8	0	64	0	0	0	0	0	
22日	0	1	1	0	9	1	0	0	10	13	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	7	0	25	6	0	0	0	0	
23日	0	6	0	2	8	2	0	0	12	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	2	0	9	0	0	0	0	0	
24日	0	4	1	1	6	0	0	0	27	10	0	2	0	1	0	0	1	1	0	8	1	0	18	4	0	0	0	3	
25日	0	1	0	0	3	0	0	0	14	5	0	0	0	0	0	1	0	0	2	20	8	0	113	0	0	0	0	0	
26日	0	1	0	1	3	0	0	0	3	4	0	0	1	1	1	0	1	1	0	3	5	0	23	26	0	0	0	6	
27日	0	4	0	1	3	0	0	0	7	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	6	0	0	7	13	0	0	0	5	
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
29日	0	2	0	0	2	0	0	0	14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	
30日	0	15	2	1	10	0	2	0	31	7	0	0	3	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	33	0	0	0	22	19
31日	0	7	1	0	10	0	0	0	15	21	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	12	6	0	0	0	0	

c 地区予察灯 (60ワット白熱灯)

地区 2017年	ウンカ・ヨコバイ類										カメムシ類													
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
2日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
3日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
4日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
5日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
6日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
7日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
8日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
9日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
10日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
11日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
12日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
13日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
14日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
15日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
16日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
17日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
18日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
19日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
20日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
21日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
22日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
23日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
24日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
25日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
26日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
27日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
28日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
29日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
30日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区 2017年	ウンカ・ヨコバイ類											カメムシ類												
	紀北町				御浜町				伊賀市			紀北町				御浜町			伊賀市					
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
30日	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
7月1日	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
2日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	3	1	0	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	1	2	0	1	2	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
14日	0	0	0	2	1	0	0	6	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	2	0	0	3	7	1	0	2	0	0	3	16	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	3	0	0	2	2	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	1	0	0	5	1	1	0	0	0	0	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
18日	1	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	2	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
20日	1	0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
21日	2	0	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	2	0	0	3	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
24日	1	0	0	2	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
27日	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	3	0	0	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	2	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区 2017年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
8月1日	3	0	0	13	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
2日	4	0	1	7	0	0	0	1	0	0	1	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	3	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4日	2	0	2	26	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
5日	2	0	2	6	1	0	0	0	0	0	1	10	0	5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	
6日	3	0	1	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	
7日	3	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8日	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9日	1	0	2	5	0	1	0	0	0	3	4	7	0	5	0	0	5	0	0	0	1	1	0	
10日	2	0	0	3	0	0	0	1	0	3	3	3	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
11日	3	0	2	3	0	0	0	0	0	0	3	12	0	5	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
12日	3	0	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
13日	2	0	3	3	1	1	0	2	0	5	4	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14日	2	0	3	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	8	0	0	0	1	0	
15日	2	0	1	3	3	2	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	
16日	2	0	3	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
17日	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18日	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
19日	2	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
20日	2	0	2	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
21日	1	0	2	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	
22日	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	
23日	0	0	0	0	5	3	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
24日	2	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8	0	0	1	0	
25日	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
26日	3	0	7	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
27日	4	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28日	3	0	3	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
29日	5	0	5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
30日	6	0	3	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
31日	3	0	4	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月1日									0	0	0	0									0	0	0	
2日									0	0	0	0									0	1	0	
3日									0	0	0	0									0	0	0	
4日									0	0	0	0									0	0	0	
5日									0	0	0	0									0	0	0	
6日									0	0	0	3									0	1	0	
7日									0	0	0	2									0	0	0	
8日									1	0	0	0									0	0	0	
9日									0	0	1	0									0	0	0	
10日									0	0	0	0									0	0	0	
11日									0	0	0	0									0	0	0	
12日									0	0	0	0									1	0	0	
13日									0	0	0	0									0	0	0	
14日									0	0	1	0									0	0	0	
15日									0	0	2	0									0	0	0	
16日									0	1	2	4									0	0	0	
17日									0	0	0	0									0	0	0	
18日									0	0	0	0									0	0	0	
19日									0	0	0	0									0	0	0	
20日									0	0	0	0									0	0	0	
21日									1	0	0	0									0	0	0	
22日									1	1	0	0									0	0	0	
23日									0	0	0	0									0	0	0	
24日									0	0	0	0									0	0	0	
25日									11	2	0	0									0	0	0	
26日									0	2	0	0									0	0	0	
27日									0	0	0	0									0	0	0	
28日									0	0	0	0									0	0	0	
29日									0	0	0	0									0	0	0	
30日									0	0	0	0									0	0	0	

d 県予察灯・畑地設置 (南牟婁郡御浜町農業研究所紀南果樹研究室； 100ワット水銀灯)

畑地 2018年	ア オク サカ メム シ	ミ ナ ミ ア オカ メム シ	チ ヤ バ ネ ア オカ メム シ	ツ ヤ ア オカ メム シ	ク サ ギ カ メム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
4月1日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
3日	0	0	1	54	0	0	0	0	0
4日	0	0	5	139	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	13	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	25	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	1	0	0	1	0	0
10日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
11日	0	0	3	245	0	1	1	0	0
12日	0	0	2	13	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
14日	0	0	2	124	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	5	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	23	0	0	0	0	0
20日	0	0	21	39	0	1	1	0	0
21日	0	0	39	94	0	0	0	0	0
22日	0	0	34	301	2	0	0	0	0
23日	0	0	92	942	4	0	1	0	0
24日	0	0	5	105	0	0	0	0	0
25日	0	0	2	27	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	79	0	1	0	0	0
27日	0	0	0	38	0	1	1	0	0
28日	0	0	1	17	0	0	0	0	0
29日	0	0	1	64	0	0	0	0	0
30日	0	0	2	33	0	0	1	0	1
5月1日	0	0	55	316	1	1	0	0	0
2日	0	0	23	289	0	0	0	0	0
3日	0	0	10	98	0	0	0	0	0
4日	0	0	2	55	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	0	2	100	0	0	2	0	0
7日	0	0	19	696	0	0	2	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	1	8	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	14	0	0	0	0	0
12日	0	0	5	93	0	0	0	0	0
13日	0	0	6	81	0	0	4	0	0
14日	0	0	38	86	0	0	0	0	0
15日	0	0	33	120	0	0	0	0	0
16日	0	0	67	152	3	0	0	0	0
17日	0	0	92	178	7	0	0	0	0
18日	0	0	121	148	4	0	0	0	0
19日	0	0	2	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	9	0	1	0	0	0
23日	0	0	0	3	0	0	1	0	0
24日	0	0	21	36	3	0	0	0	0
25日	0	0	31	7	0	3	0	0	0
26日	0	0	8	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	4	16	0	0	0	0	0
28日	0	0	2	24	0	3	1	0	1
29日	0	0	5	33	1	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	3	0	0

畑地 2018年	ア オク サカ メム シ	ミ ナ ミ ア オカ メム シ	チ ヤ バ ネ ア オカ メム シ	ツ ヤ ア オカ メム シ	ク サ ギ カ メム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
6月1日	0	0	1	6	0	0	2	0	0
2日	0	0	1	1	0	2	0	0	0
3日	0	0	5	7	0	0	7	0	0
4日	0	0	0	1	0	0	4	0	0
5日	0	0	0	1	0	0	4	0	0
6日	0	0	0	1	0	1	2	0	0
7日	0	0	4	5	0	1	2	0	0
8日	0	0	4	9	1	0	4	0	0
9日	0	0	21	32	0	5	6	0	0
10日	0	0	2	0	0	0	1	0	0
11日	0	0	33	11	2	1	3	0	0
12日	0	0	19	9	1	0	1	0	0
13日	0	0	1	6	0	0	1	0	0
14日	0	0	4	2	0	2	4	0	0
15日	0	1	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	2	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	9	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	6	2	1	0	0	0	0	0
19日	0	3	1	0	1	5	0	0	0
20日	0	28	2	0	1	3	0	0	0
21日	0	28	2	1	0	0	0	0	0
22日	0	1	12	1	0	0	8	0	1
23日	0	1	34	2	2	0	2	0	0
24日	0	0	55	0	1	0	2	0	0
25日	0	0	62	0	2	0	4	0	0
26日	0	0	63	5	5	2	3	0	0
27日	0	0	36	1	6	0	0	0	0
28日	0	0	62	3	4	0	5	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月1日	0	0	55	0	1	0	1	0	0
2日	0	0	32	1	1	0	3	0	0
3日	0	0	6	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	5	0	0	0	7	0	0
5日	0	0	5	0	0	0	2	0	0
6日	0	0	7	1	0	0	9	0	0
7日	0	0	3	0	0	1	1	0	0
8日	0	0	3	2	1	0	5	0	0
9日	0	0	2	0	2	0	3	0	0
10日	0	0	5	0	3	0	4	0	0
11日	0	0	2	0	1	0	1	0	0
12日	0	0	3	1	3	0	0	0	0
13日	0	0	2	0	6	2	0	0	0
14日	0	0	1	0	5	1	8	0	0
15日	0	1	3	0	6	0	3	0	0
16日	0	0	9	1	11	0	3	0	1
17日	0	0	5	0	4	1	3	0	0
18日	0	0	14	1	7	0	1	0	0
19日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
20日	0	0	2	0	4	0	0	0	0
21日	0	0	2	2	4	0	0	0	0
22日	0	0	3	2	6	0	0	0	0
23日	0	0	8	0	6	0	0	0	0
24日	0	1	4	1	7	0	0	0	0
25日	0	0	3	0	16	0	0	0	0
26日	0	0	2	0	10	0	0	0	0
27日	0	0	3	0	6	0	0	0	0
28日	0	0	31	1	3	1	0	0	0
29日	0	0	13	2	2	1	0	0	0
30日	0	0	26	0	4	0	1	0	0
31日	0	0	12	1	3	0	1	0	0

畑地 2018年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ																					
										8月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
8月1日	0	0	19	3	4	0	0	0	0																					
2日	0	0	14	2	1	0	0	0	0																					
3日	0	0	26	3	3	0	0	0	0																					
4日	0	0	40	7	11	2	3	0	0																					
5日	0	0	25	2	9	0	1	0	0																					
6日	0	0	25	3	8	2	2	0	0																					
7日	0	0	10	3	4	0	1	0	0																					
8日	0	0	21	6	7	2	0	0	0																					
9日	0	0	29	2	5	0	5	0	0																					
10日	0	0	52	5	15	0	0	0	0																					
11日	0	1	46	4	20	0	0	0	0																					
12日	0	0	53	2	15	2	0	0	0																					
13日	0	1	53	6	6	0	1	0	0																					
14日	0	0	99	2	9	0	0	0	0																					
15日	0	0	85	4	10	1	0	0	0																					
16日	0	0	86	5	17	0	0	0	0																					
17日	0	0	107	4	7	0	0	0	0																					
18日	0	0	53	4	1	0	0	0	0																					
19日	0	1	35	2	1	0	2	0	0																					
20日	0	1	138	10	2	1	0	0	0																					
21日	0	0	306	3	8	0	0	0	0																					
22日	0	3	440	18	16	0	0	0	0																					
23日	0	2	95	1	0	0	0	0	0																					
24日	0	1	80	10	24	0	0	0	0																					
25日	0	0	184	25	22	0	0	0	0																					
26日	0	0	91	6	9	0	0	0	0																					
27日	0	3	165	6	10	0	0	0	0																					
28日	0	0	195	12	19	0	0	0	0																					
29日	0	2	165	11	26	0	0	0	0																					
30日	0	0	60	6	12	0	0	0	0																					
31日	0	1	58	8	10	0	2	0	0																					
9月1日	0	0	104	10	4	0	1	0	0																					
2日	0	0	51	9	7	0	0	0	0																					
3日	0	0	121	26	11	0	0	0	0																					
4日	0	0	46	8	6	0	1	0	0																					
5日	0	0	97	10	3	0	2	0	0																					
6日	0	0	23	9	2	0	0	0	0																					
7日	0	0	41	11	0	0	0	0	0																					
8日	0	0	34	12	3	0	3	0	0																					
9日	0	0	29	13	4	2	2	0	0																					
10日	0	0	82	3	0	0	0	0	0																					
11日	0	1	208	36	0	0	1	0	0																					
12日	0	0	10	16	0	0	0	0	0																					
13日	0	0	27	52	1	0	0	0	0																					
14日	0	0	16	58	0	0	0	0	0																					
15日	0	1	296	759	7	0	0	0	0																					
16日	0	0	350	337	6	0	0	0	0																					
17日	0	0	122	32	0	0	0	0	0																					
18日	0	0	22	18	2	0	0	0	0																					
19日	0	0	8	7	0	0	2	0	0																					
20日	0	0	8	140	0	0	0	0	0																					
21日	0	0	6	77	0	0	0	0	0																					
22日	0	3	23	19	0	0	0	0	0																					
23日	0	0	17	31	1	0	0	0	0																					
24日	0	0	36	68	0	1	0	0	0																					
25日	0	0	8	33	0	0	0	0	0																					
26日	0	0	1	81	0	0	0	0	0																					
27日	0	0	13	217	0	0	2	0	0																					
28日	0	0	2	13	0	0	0	0	0																					
29日	0	0	3	98	0	0	0	0	0																					
30日	0	0	0	6	0	0	0	0	0																					

畑地 2018年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ																					
										10月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
10月1日	0	0	11	27	0	0	0	0	0																					
2日	0	0	4	23	0	0	0	0	0																					
3日	0	0	9	77	0	0	0	0	0																					
4日	0	0	7	58	0	0	2	0	0																					
5日	0	0	15	91	0	0	0	0	0																					
6日	0	0	48	379	0	0	1	0	0																					
7日	0	0	31	99	0	0	0	0	0																					
8日	0	0	9	29	1	0	0	0	0																					
9日	0	0	2	32	0	0	0	0	0																					
10日	0	0	4	34	0	0	0	0	0																					
11日	0	0	1	25	0	0	0	0	0																					
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
13日	0	0	0	31	0	0	1	0	0																					
14日	0	1	1	10	0	0	1	0	0																					
15日	0	0	0	8	0	0	0	0	0																					
16日	0	0	0	2	0	0	0	0	0																					
17日	0	0	0	3	0	0	1	0	0																					
18日	0	0	0	3	0	0	0	0	0																					
19日	0	0	0	8	0	0	1	0	0																					
20日	0	0	0	2	0	0	0	0	0																					
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
22日	0	0	1	11	0	0	0	0	0																					
23日	0	0	0	28	0	0	0	0	0																					
24日	0	0	0	6	0	0	0	0	0																					
25日	0	0	0	22	0	0	0	0	0																					
26日	0	0	0	18	0	0	0	0	0																					
27日	0	0	0	2	0	0	0	0	0																					
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
2日	0	1	0	4	0	0	0	0	0																					
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
4日	0	0	0	1	0	0	1	0	0																					
5日	0	0	0	5	0	0	1	0	0																					
6日	0	0	0	6	0	0	0	0	0																					
7日	0	0	0	6	0	0	0	0	0																					
8日	0	0	0	15	0	0	0	0	0																					
9日	0	0	0	11	0	0	1	0	0																					
10日	0	0	0	3	0	0	0	0	0																					
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
12日	0	0	0	2	0	0	0	0	0																					
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
17日	0	0	0	1	0	0	0	0	0																					
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					

(2)フェロモントラップ

a ガ類(フェロモントラップ) ハスモンヨトウ以外は粘着板式

2018年

月	半旬	ハスモンヨトウ (箱式)	コナガ	ネギコガ	オオタバコガ	シロイチモジ ヨトウ	チャノコカク モンハマキ	チャハマキ	ナシヒメ シンクイ
1月	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
2月	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
3月	1								0
	2								0
	3								4
	4								0
	5								40
	6								87
4月	1						3	2	176
	2						1	0	1
	3						20	4	9
	4						20	4	13
	5						34	2	34
	6						23	6	9
5月	1						0	0	0
	2						4	9	5
	3						3	7	1
	4						1	5	26
	5						1	3	46
	6						3	1	63
6月	1						0	0	0
	2						6	0	79
	3						9	0	10
	4						14	1	2
	5						7	0	5
	6						20	0	9
7月	1						3	0	27
	2						0	1	36
	3						0	3	40
	4						2	9	48
	5						5	0	47
	6						5	0	42
8月	1						2	2	101
	2						0	0	54
	3						1	0	30
	4						2	0	20
	5						0	0	3
	6						1	0	48
9月	1						0	0	63
	2						2	0	32
	3						1	0	39
	4						2	0	41
	5						1	0	14
	6						1	0	5
10月	1						12	1	4
	2						14	6	6
	3						8	5	0
	4						2	2	0
	5						6	4	1
	6						11	0	0
11月	1						3	1	0
	2						5	3	0
	3						3	2	0
	4						3	2	0
	5						0	0	0
	6						1	0	0
12月	1						5		
	2						0		
	3						0		
	4						0		
	5						0		
	6						0		

b コガネムシ類(フェロモントラップ)

		ヒメコガネ		マメコガネ		ドウガネブイブイ	
		2017年	平年値	2017年	平年値	2017年	平年値
5月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.6
	中旬	0	0.1	0	0.1	0	1.2
	下旬	0	0.0	1	2.4	5.5	5.2
6月	上旬	0	0.0	11	17.7	10	7.7
	中旬	0	0.4	20	61.9	23	8.6
	下旬	2	1.6	6	33.7	8	8.6
7月	上旬	2	2.8	2	37.1	4	4.7
	中旬	11	6.3	5	55.4	3	1.4
	下旬	50	13.9	3	56.7	1	0.9
8月	上旬	36	20.3	3	38.2	1	0.5
	中旬	15	14.7	6	40.6	0	0.0
	下旬	6	7.8	3	26.0	0	0.0
9月	上旬	6	3.3	2	21.6	0	0.0
	中旬	3	0.8	0	7.3	0	0.0
	下旬	0	0.8	1	3.1	0	0.0
10月	上旬	0	0.1	1	2.5	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		131	72.9	64	404.2	55.5	39.4

c 果樹カメムシ類(フェロモントラップ誘殺数)

チャバネアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	6.0	2.1
3	15.2	4.3
4	22.6	31.4
5月.1	51.8	43.9
2	49.8	46.2
3	55.6	39.0
4	53.5	28.9
6月.1	51.1	30.9
2	127.0	62.7
3	148.1	125.6
4	178.1	316.9
7月.1	293.7	638.8
2	381.3	431.7
3	323.7	152.0
4	272.6	42.0
8月.1	302.7	50.7
2	190.4	37.0
3	97.0	14.9
4	54.3	15.7
9月.1	58.8	17.9
2	66.4	45.8
3	82.5	119.0
4	68.7	164.1
10月.1	64.1	141.7
2	45.1	91.0
3	20.9	11.9
4	9.1	43.0
11月.1	8.5	39.6
2	4.1	19.1
3	0.2	0.4
4	0.1	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	3.4	0.7
3	13.1	1.1
4	21.6	26.0
5月.1	91.2	50.6
2	89.0	51.6
3	142.9	78.0
4	135.3	56.9
6月.1	166.1	92.8
2	281.0	109.5
3	336.2	155.9
4	329.1	328.1
7月.1	475.2	576.0
2	558.4	388.7
3	608.1	240.6
4	568.3	42.2
8月.1	551.6	37.3
2	434.1	18.0
3	313.1	11.0
4	143.7	31.2
9月.1	102.6	63.3
2	65.2	46.2
3	37.9	36.0
4	19.1	50.2
10月.1	19.8	34.3
2	14.8	10.6
3	6.5	1.1
4	2.0	4.3
11月.1	1.8	4.5
2	0.9	2.2
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.1	0.0
3	1.2	0.0
4	1.9	4.2
5月.1	21.8	10.8
2	49.5	17.0
3	87.0	22.0
4	32.8	31.0
6月.1	19.2	9.3
2	19.6	9.8
3	27.0	9.6
4	29.0	43.3
7月.1	60.4	55.5
2	121.6	19.1
3	148.0	4.1
4	112.2	0.7
8月.1	97.9	0.6
2	86.6	3.0
3	53.8	17.3
4	24.6	33.4
9月.1	24.9	47.9
2	19.7	24.4
3	8.7	11.3
4	5.4	14.5
10月.1	6.2	7.7
2	4.3	10.9
3	2.0	1.5
4	1.3	4.4
11月.1	0.8	1.9
2	0.4	0.7
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

ツヤアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
5月.1	1.5	5.6
2	2.2	4.4
3	4.6	7.0
4	3.2	1.8
6月.1	3.2	0.9
2	5.8	3.8
3	4.7	5.1
4	2.7	2.3
7月.1	3.2	1.6
2	2.8	0.6
3	3.0	0.0
4	3.5	0.3
8月.1	1.8	0.7
2	1.7	2.0
3	0.8	0.0
4	1.2	0.9
9月.1	2.2	3.3
2	3.4	4.1
3	5.2	9.0
4	5.4	12.3
10月.1	9.9	12.3
2	14.1	32.8
3	11.7	6.3
4	5.1	13.1
11月.1	3.5	18.7
2	1.8	9.5
3	0.2	0.0
4	0.1	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.1	0.0
3	0.4	0.0
4	0.9	1.7
5月.1	3.8	4.1
2	3.5	6.2
3	7.7	10.0
4	9.1	7.9
6月.1	9.4	11.3
2	10.8	13.2
3	4.3	8.1
4	1.9	1.5
7月.1	1.0	0.0
2	0.9	0.4
3	0.6	0.6
4	0.6	0.0
8月.1	0.6	0.0
2	1.0	0.0
3	0.9	0.0
4	0.4	0.7
9月.1	1.1	2.8
2	1.2	2.6
3	2.0	2.5
4	2.1	3.4
10月.1	9.3	4.6
2	11.8	2.3
3	10.2	3.8
4	5.2	2.2
11月.1	1.2	1.6
2	0.8	0.7
3	0.2	0.0
4	0.1	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.1	0.7
3	0.6	0.3
4	0.8	0.8
5月.1	4.2	3.2
2	4.6	14.0
3	5.7	7.0
4	3.8	20.0
6月.1	1.2	0.7
2	1.1	0.3
3	1.1	0.0
4	0.6	0.0
7月.1	0.4	0.0
2	0.4	0.0
3	0.8	0.0
4	0.7	0.0
8月.1	0.3	0.0
2	0.3	0.0
3	0.2	0.0
4	0.4	1.3
9月.1	1.1	3.0
2	1.5	2.2
3	3.3	6.5
4	4.2	18.9
10月.1	19.9	39.7
2	24.6	18.6
3	22.6	38.9
4	8.7	24.5
11月.1	4.7	18.8
2	2.6	9.3
3	0.5	0.4
4	0.0	0.0

クサギカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.2	0.0
4	0.8	0.0
5月.1	4.9	6.9
2	6.8	7.1
3	8.5	5.0
4	5.7	7.0
6月.1	7.2	2.3
2	12.6	2.4
3	6.8	1.9
4	4.0	1.1
7月.1	5.7	1.6
2	10.1	1.1
3	9.1	1.1
4	6.2	0.4
8月.1	5.9	0.0
2	4.0	1.0
3	3.0	0.9
4	2.5	2.1
9月.1	3.8	0.4
2	5.1	4.6
3	8.8	7.2
4	9.6	17.3
10月.1	23.5	60.6
2	21.3	37.0
3	6.6	4.9
4	3.6	16.4
11月.1	1.1	2.7
2	0.2	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.3	0.0
4	1.9	0.0
5月.1	12.4	5.7
2	21.4	5.3
3	34.6	46.0
4	42.6	57.8
6月.1	53.9	39.4
2	77.5	38.4
3	42.8	19.2
4	17.5	6.8
7月.1	12.3	9.8
2	11.4	4.6
3	8.2	1.7
4	4.4	0.4
8月.1	4.0	0.0
2	3.2	0.0
3	2.0	0.0
4	1.5	0.0
9月.1	2.2	0.0
2	2.2	0.0
3	2.5	1.7
4	2.3	2.5
10月.1	2.7	3.4
2	2.3	2.2
3	0.9	0.3
4	0.4	1.7
11月.1	0.1	0.3
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2017年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.2	0.0
4	0.0	0.0
5月.1	0.3	0.0
2	0.2	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
6月.1	0.1	0.0
2	0.2	0.0
3	0.3	0.0
4	0.1	0.0
7月.1	0.5	0.0
2	0.7	0.0
3	1.6	0.0
4	2.0	0.0
8月.1	1.0	0.0
2	0.3	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
9月.1	0.2	0.0
2	0.3	0.0
3	0.3	0.0
4	1.0	0.0
10月.1	1.4	0.0
2	0.2	0.0
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0
11月.1	0.1	0.0
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

(3) ウメ輪紋ウイルス(PPV)に関する調査

2009年4月、東京都青梅市でウメにおいて、ウメ輪紋ウイルス(以下PPV)の感染が確認された。PPVは我が国のモモやスモモなどの果樹に重大な被害を与えるウイルスとして、これまでも特に侵入を警戒していたものである。このことから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内に産地が散在するウメおよび観光園地のウメを対象に、発生状況を把握するため、本年度も引き続き調査を実施した。

①全国発生状況調査

a 調査方法

ウメ等を対象樹種とし、新葉が展開して病徴明瞭となる時期に、目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

※調査要領の改正により29年度から果樹生産等地域の調査は県の任意対応となったため、4月～6月の巡回調査で調査を実施することとした。

b 調査地点

地区	市町	調査地点数	調査作物	調査時期
津	津市	1	ウメ	2018年4月上旬～ 6月上旬
伊勢志摩	南伊勢町	1	ウメ	2018年4月上旬～ 6月上旬
紀州	御浜町、紀宝町	2	ウメ	2018年4月上旬～ 6月上旬
計		4		

c 調査結果

全ての調査区において感染と思われる症状は確認されなかった。

②発生監視調査

平成28年度の廃棄処分を受けて、感染植物が確認された地域において、一定範囲の全ての宿主植物について感染の有無を調査し、感染の再発・広がりなどを確認した。

a 調査方法

感染が確認された観光園地および感染樹から半径500mを含む範囲において、5月下旬～6月中旬に調査を実施した。目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認し、ウメは病徴が認められた樹、その他の宿主植物は病徴の有無にかかわらず全ての樹から、検定試料を採取した。試料は1樹当たり5葉とし、全国発生状況調査と同様に、検定実施のため名古屋植物防疫所へ送付した。

b 調査地点

感染樹発生園地は単独で1調査地点とし、5月21日に調査を実施した。

感染樹発生園地を除く調査地域については、5月21日に10地点を調査した。

c 調査結果

感染樹発生園地では、調査対象となる宿主植物としてウメ463本、モモ9本を確認した。このうち、ウメ2本

モモ 9 本から試料を採取し名古屋植物防疫所が検定した結果、新たな感染は確認されなかった。

感染樹発生園地を除く調査地域では、ウメ、モモなどの宿主植物計 28 本を調査した。このうちモモ、スモモなどウメ以外の宿主で計 10 本から試料を採取し、名古屋植物防疫所が検定した結果、全て感染は確認されなかった。

(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査

キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統は、2014 年 5 月に国内で最初の発生が確認され、2017 年 10 月時点で 13 都県において発生が確認されている。

本病は、国内にまん延した場合に有用な植物に重大な損害を与えるおそれがある重要病害虫に該当することから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内のキウイフルーツ生産園地を対象に発生状況を把握するため、調査を実施した。

a 調査方法

キウイフルーツを対象樹種とし、6 月に各調査園地内の全樹を対象に目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

b 調査地点

地域等	市町名	調査地点数	調査本数	調査日
北 勢	鈴鹿市	1	76	2018 年 6 月 28 日
中 勢	津 市	1	12	2018 年 6 月 25 日
南 勢	多気町	1	30	2018 年 6 月 28 日
計		3	118	

c 調査結果

全ての調査区において感染と思われる症状は確認されなかった。

(6) 火傷病侵入警戒調査

りんご、なしなどに被害をもたらす火傷病菌は、国内で発生・まん延した場合に農業生産に与える影響が極めて大きく、また、その宿主植物の輸入時における発見が困難であることから、植物防疫法で輸入禁止植物の対象病菌として取り扱われている重要病菌である。三重県においても、火傷病防疫指針にのっとり、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法

宿主植物のなかで、本県の果樹・花木を生産する目的で栽培される主要な植物として「日本なし」、「かなめもち」を選定し、調査対象植物とした。「日本なし」については主要な5産地にそれぞれ1~2か所ずつ調査地を設定した。また、「かなめもち」については農業研究所鈴鹿市駐在(旧花植木センター)に1か所の調査地を設定した。

火傷病の症状について、枝、葉、果実等で目視により確認した。

日本なしについては、2018年4月から9月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

かなめもちについては、2018年4月から8月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

b 調査樹種および地点

○日本なし(幸水、豊水)

調査圃場	調査樹数
四日市市下海老町	60
津市久居小野辺町	63
津市香良洲町	60
松阪市笹川町	50
玉城町富岡	60
伊賀市羽根 1	33
伊賀市羽根 2	55

○かなめもち(レッドロビン)

調査圃場: 鈴鹿市高塚町 農業研究所鈴鹿市駐在圃場

調査本数: 40本(植栽本数6本、34本の2か所)

c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

2. 巡回等データ

(1) 水稻

a ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件判定結果

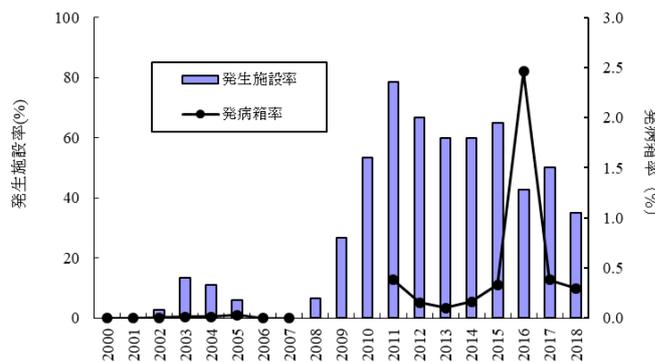
- : 好適条件 (いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件(湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件(湿潤時間の平均気温は15~25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件(前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件(前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

2018年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
5/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/03	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/07	-	-	-	-	◎	△	△	△	-	△	△	△	-	
5/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	◎	●	
5/24	◎	-	-	◎	△	◎	◎	△	-	-	-	△	△	
5/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/30	●	●	●	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/31	-	-	●	-	●	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	
6/01	-	-	◎	-	-	-	◎	△	△	-	-	●	●	
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/07	●	-	-	-	◎	◎	-	●	◎	●	●	-	●	東海地方梅雨入り
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/09	-	-	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	-	
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/11	-	●	●	●	●	-	-	-	●	-	-	-	-	
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/15	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	
6/16	-	-	-	◎	-	-	-	●	●	-	-	-	-	
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/18	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/20	-	-	-	-	●	△	●	●	-	●	●	◎	◎	
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/24	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/27	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	

2018年	桑名	四日市	亀山	津	上野	弼見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊 長島	尾鷲	熊野 新鹿	新宮 (参考)	備考
7/01	-	-	-	-	-	▲	-	○	○	-	-	○	○	
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	○	-	
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/05	-	-	-	○	-	▲	-	○	-	▲	-	-	-	
7/06	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	
7/07	-	-	▲	-	▲	-	-	-	-	-	▲	-	-	
7/08	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	
7/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/13	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	▲	○	-	-	
7/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東海地方梅雨明け
7/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/26	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/30	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
8/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/11	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/13	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/14	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/16	-	○	○	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	
8/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/21	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

b 5月データ

水稻育苗施設巡回調査における、ばか苗病の発生状況(2018年4月)										
調査日	JA育苗施設		ばか苗病(コシヒカリ)			その他の品種			種子消毒 床土消毒 播種時散布粒剤	培土
			発生箱率(%)	発生箱数	調査箱数	発生箱数	調査箱数	品種		
4/8	三重南紀	紀宝	5.0	36	720	0	100	三重23号	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
			-	-	-	45	900	あきたこまち		
		御浜	0.1	1	950	12	120	カグラモチ	紀宝で実施、播種翌日移動 タチガレエースM液剤	クリーン2号
	熊野	0.0	0	720	0	60	キヌヒカリ	紀宝で種子消毒のみ実施 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
		-	-	-	0	33	満月もち			
	伊勢	紀北	0.0	0	880	0	50	キヌヒカリ	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
-			-	-	0	100	あゆみもち			
4/10	鳥羽志摩	鵜方	0.0	0	1,000	0	600	あきたこまち	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
			0.0	0	1,000	0	1,000	みえのえみ	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
	-	-	-	0	150	カグラモチ				
	多気郡	兄国	0.0	0	180	0	120	三重23号	温湯消毒 タチガレエースM液剤	サンバイド
			0.0	0	720	0	1,000	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	サンバイド
	機殿	0.1	1	1,240	2	240	三重23号			
4/11	津安芸	橿形	0.1	2	1,500	0	450	みえのえみ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
			鈴鹿	南部	0.4	4	1,000	0	504	あきたこまち
	みえきた	南部	0.1	1	1,000	-	-	-	温湯消毒 モミガードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
			員弁	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 テクリードC・スミチオン ナエファイブ
		桑名	0.0	0	2,000	-	-	-	温湯消毒 テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
			0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
4/13	いがほくぶ	阿山	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号 一部城南培土
			上野南	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤
	伊賀南部	名張	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
			-	-	-	0	300	みえのゆめ	クリーン2号	
	三重中央	白山	0.0	0	1,000	0	420	みえのえみ	種子消毒・酸性水 床土消毒・酸性水	クリーン2号
			一志東部	壇野	0.0	0	1,000	-	-	-
三雲	0.1	1	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号		
県全体平均(コシヒカリ)			0.3	(昨年0.4%) 発生施設率 7/20=35% (昨年50%)						



JA育苗施設におけるばか苗病の発生状況の推移(2000年～2018年、巡回調査結果、コシヒカリのみ、2008～2010年は発生箱率未調査)

水稻病害虫の発生状況(2018年5月)

水稻病害虫の発生状況(2018年5月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	イネミズゾウムシ								葉いもち		
			被害程度別圃場割合(%)					株当たり 成虫数 (頭)	被害 株率 (%)	被害度	本田 発生 圃場率 (%)	補植苗を 確認した 圃場の 割合(%)	
			発生圃場率 (%)	甚	多	中	少						無
桑名	5/10	19	21.1	0.0	0.0	0.0	21.1	78.9	0.00	5.5	1.4	0	21.1
四日市鈴鹿	5/7、5/9、5/10	48	50.0	0.0	2.1	4.2	43.8	45.8	0.03	13.2	4.1	0	25.0
津	5/9	36	47.2	0.0	0.0	2.8	44.4	52.8	0.02	10.0	2.5	0	33.3
松阪	5/8、5/11	36	47.2	0.0	0.0	22.2	25.0	44.4	0.05	27.2	8.8	0	22.2
伊勢志摩	5/8、5/11	40	72.5	0.0	0.0	2.5	70.0	15.0	0.05	18.2	5.5	0	22.5
伊賀	5/11	27	7.4	0.0	0.0	0.0	7.4	92.6	0.00	0.3	0.1	0	29.6
紀州	5/10	16	75.0	0.0	12.5	6.3	56.3	25.0	0.08	28.3	12.5	0	18.8
県全体		278	38.8	0.0	1.1	5.0	32.7	38.8	0.03	17.2	3.7	0	35.0
平年値(10年平均)			59.0	0.7	2.1	8.6	47.2	40.6	0.05	22.8	7.1	0	42.3

その他病害虫: 紀州地区でイネゾウムシの被害及びイネドロオウムシの成虫、津、松阪地区でスクミンゴガイを(鈴鹿地区では水路において)確認

定点におけるイネミズゾウムシ発生状況(2018年5月)

地区	調査場所	品種	移植(予定)日	移植時の殺虫剤・殺菌剤施用等	被害株率(%)	被害度	被害程度	株当たり虫数(頭)
桑名	いなべ市北勢町回下喜	キヌヒカリ	5/13	エバーゴルフフォルテ箱粒剤				未定植のため調査不能
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	5/6	エバーゴルフワイド箱粒剤	0	0	無	0.08
	菰野町竹成	コシヒカリ	4/16	エバーゴルフフォルテ箱粒剤	20	5	少	0.28
	鈴鹿市矢橋町	神の穂	5/7	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	4/24	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
	亀山市山下町	コシヒカリ	4/19	ダントツ箱粒剤	0	0	無	0
津	津市安東町	コシヒカリ	4/23	なし	16	4	少	0
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/29	バリアード箱粒剤	4	1	少	0
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/29	なし	56	14	少	0.04
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	5/10	アブライバディート粒剤	72	34	中	0.12
	多気町兄国	コシヒカリ	4/28	デジタルコロトップアクトラ箱粒剤	0	0	無	0
	明和町坂本	コシヒカリ	4/28	ツインターボ箱粒剤08	24	6	少	0.04
伊勢 志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	4/28	オリゼメートオンコル粒剤	16	4	少	0.08
	玉城町蚊野	みえのえみ	4/25	フジワフエルテラ箱粒剤	64	16	少	0.2
	志摩市磯部町田之郷	コシヒカリ	4/18	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/3	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/5	ツインターボ箱粒剤08	0	0	無	0
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	4/17	フジワフエルテラ箱粒剤	24	6	少	0
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	ブイゲットバリアード箱粒剤	0	0	無	0
県庁察圃	農業研究所	コシヒカリ	4/25	なし	85	23	中	0.12
定点平均		-	-	-	20.1	6.0	少	0.05
平年値(10年平均)		-	-	-	22.4	7.3	-	0.04

※イネミズゾウムシ被害度に対する被害程度: 0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

c 6月データ

本田および置き苗における葉いもちの発生状況(2018年6月)

地区	調査 月日	本田調査							置き苗調査	
		発生程度別圃場割合(%)					発生無	発病度	放置率 (置き苗が放置されて いたほ場の割合%)	発生圃場率 (全調査圃場に対する 割合%)
		発生有								
		計	甚	多	中	少				
桑名	6/4	0	0	0	0	0	100	0	9.4	0
四日市鈴鹿	6/5	0	0	0	0	0	100	0	6.3	0
津	6/7	0	0	0	0	0	100	0	11.1	0
松阪	6/8	0	0	0	0	0	100	0	11.1	2.8
伊勢志摩	6/4,8	0	0	0	0	0	100	0	7.5	0
伊賀	6/6	0	0	0	0	0	100	0	17.9	0
紀州	6/5	0	0	0	0	0	100	0	6.3	0
県全体		0.0	0	0	0	0	100.0	0	9.7	0.4
10年平均		0	0	0	0	0	100	0	3.9	0.2

広域病害虫防除員によるいもち病初発調査(2018年6月) 10圃場について100m2条見歩き調査。

地区	調査 月日	調査場所	本田調査	置き苗調査		備考
			発生 圃場率 (%)	放置率 (置き苗が放置されて いたほ場の割合%)	発生圃場率 (全調査圃場に対する いもち病の発生割合%)	
桑名	6/4	桑名市上ノ輪 桑名市長島町下坂手 いなべ市北勢町畑毛	0 0 0	0 90 10	0 0 0	移植日:5月19~20日 品種:キヌヒカリ、生育順調 移植日:4月10日頃 品種:コシヒカリ 一部でヒエが多い 移植日:コシヒカリ 5月5日、キヌヒカリ 5月17日
鈴鹿	6/4	鈴鹿市三日市 鈴鹿市庄野 鈴鹿市須賀	0 0 0	10 10 10	0 0 0	
津市	6/5	一志町井生 一志町八太 白山町二本木	0 0 0	10 10 10	0 0 0	一部ほ場でホタルイ多い
松阪	6/5	美濃田町内浦 飯多 小阿坂趙ふけ 小阿坂趙山見	0 0 0	0 30 0	0 0 0	一昨年はコウキヤガラが多発していたが、本年度は認められなかった 一筆でスクリンゴガイの卵あり(15株)、ヒエ少々あり 生育は良好
	6/7	伊勢市上地町 玉城町上田辺 度会町大野木	0 0 0	40 10 0	0 0 0	1筆のみ、5月中旬移植 中干しほ場は葉色うすい。周辺ほ場では2割程度の置き苗率 調査ほ場、周辺ほ場ともに置き苗率が低い
伊賀	6/7	猪田地区 森寺地区 比自岐地区	0 0 0	10 40 10	0 0 0	移植日:5月2日 品種:コシヒカリ 初期生育良好 各ほ場とも今年は雑草が少ない 初期生育良好 一部でホタルイ発生 初期生育良好 雑草少なく、よく管理されている
東紀州	6/7	熊野市金山 御浜町下市木 紀宝町井内	0 0 0	20 30 0	0 0 0	草丈:40cm 草丈:45~50cm 草丈:35~40cm
県全体			0.0	16.7	0	-

水稲病害虫発生状況(2018年6月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	はらい落とし調査(虫数/10株)					イネドロオイムシ		イネ ゾウムシ	イネクロ カメムシ	フタオビコ ヤガ	イナゴ類	その他病害虫 (10株はらい落とし調査 および10m見取り調査)
			セジロウンカ	ヒメビウンカ	ツマグロヨコバイ		イネミズ ゾウムシ	発生 圃場率(%)	被害度	被害発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	
			成虫	成虫	成虫	幼虫	発生 圃場率(%)	被害度	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)		
桑名	6/4	32	0	0.03	0.13	0.03	0.28	0	0	0	0	0	37.5	アカスジカスミカメ、スクリンゴガイ
四日市鈴鹿	6/5	48	0	0	0.15	0	0.71	0	0	0	0	0	45.8	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、スクリンゴガイ
津	6/7	36	0	0.17	0.14	0.14	1.00	2.8	0.2	0	2.8	0	44.4	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、スクリンゴガイ
松阪	6/8	36	0	0.11	0	0	0.25	0	0	0	0	0	8.3	ホソハリカメムシ、スクリンゴガイ
伊勢志摩	6/4,8	40	0	0	0.03	0	0.40	0	0	2.5	0	0	15.0	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、スクリンゴガイ、 フタオビコヤガ(幼虫)、イネクロカメムシ(区外)
伊賀	6/6	28	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	67.9	
紀州	6/5	16	0	0	0.06	0	0.44	0	0	6.3	0	0	18.8	アカヒゲホソドリカスミカメ、シラホシカメムシ、スクリンゴガイ
県全体		236	0	0.05	0.08	0.03	0.47	0.4	0.03	0.8	0.85	0	34.3	
10年平均(※8年平均)			0.002	0.02	0.05	0.11	0.44	4.8	0.1	23.1	2.7	0.9	23.1	

圃場周辺の雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況(2018年6月)

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソドリカスミカ メ成虫		その他 斑点米カメムシ成幼虫
			発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	
桑名	6/4	16	6.3	0.1	0	0	0	0	37.5	3.0	18.8	0.5	
四日市鈴鹿	6/5	24	12.5	0.5	0	0	0	0	45.8	4.4	45.8	1.1	ミナミアオカメムシ(1)、マルカメムシ(2)
津	6/7	16	0	0	0	0	0	0	33.3	0.7	33.3	0.4	ミナミアオカメムシ(1)
松阪	6/8	18	11	0.1	0	0	0	0	44.4	2.1	11	0	
伊勢志摩	6/4,8	20	0	0	0	0	0	0	35.0	1.5	25.0	0.5	アカスジカスミカメ幼虫(8)
伊賀	6/6	14	0	0	0	0	0	0	7.1	0.1	0	0	
紀州	6/5	8	13	0.1	0	0	0	0	50.0	2.1	25	0.3	イチモンジカメムシ(1)
県全体		116	5.9	0.13	0	0	0	0	36.4	2.1	23.7	0.5	
10年平均			8.7	0.2	0.2	0.01	4.6	0.1	39.7	2.3	9.4	0.3	

※畦畔、のり面、休耕地等における20回振りすくい取り調査

定点圃場(または畦畔、のり面)における病害虫発生状況(2018年6月)

地区	調査場所	薬いもち		はらい落とし調査(虫数/10株)				イネドロオイムシ		イネクロカメムシ		その他病害虫 (見取り調査および圃場内(または畦畔、のり面)すくい取り虫数)	
		発病度	発病 程度	セジロウ カ成虫	ヒトビウ ンカ成虫	ツマグロヨコバ イ成虫	ツマグロヨコバ イ幼虫	イネミズ ゾウムシ	被害度	発生 程度	成虫数 (/25株)		被害株 率(%)
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	0	0	0	2	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)、ツマグロヨコバ成虫(1)、イナゴ類幼虫(1)
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	0	0	0	2	0	無	0	0	ホソハリカメムシ成虫(1)、アカスジカスミカメ成虫(3)、イナゴ類幼虫(1)
	菰野町竹成	0	無	0	0	0	0	7	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(24)、アカヒゲホソドリカスミカメ成虫(2)、イナゴ類幼虫(2)
	鈴鹿市矢橋	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカヒゲホソドリカスミカメ成虫(3)、イナゴ類幼虫(4)
	鈴鹿市御園町	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	アカスジカスミカメ幼虫(1)、イネミズゾウムシ(1)
	亀山市山下町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(3)、ニカメイガ(被害)
津	津市安東町	0	無	0	0	1	0	1	7	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)、ツマグロヨコバ成虫(1)、イネミズゾウムシ(1)
	津市安濃町草生	0	無	0	1	0	0	1	0	無	0	0	ヒトビウソウムシ(1)、イネミズゾウムシ(1)、イナゴ類幼虫(4)
	津市一志町井生	0	無	0	0	0	1	0	0	無	0	0	ツマグロヨコバ成虫(1)、イナゴ類幼虫(4)
松阪	松阪市美濃田町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	ホソハリカメムシ成虫(2)、アカスジカスミカメ成虫(10)
	多気町兄国	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(5)、アカヒゲホソドリカスミカメ成虫(1)
	明和町坂本	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	ササキリ(5)
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イネクロカメムシ(1)
	玉城町蚊野	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(2)、イナゴ類幼虫(4)
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(3)、イナゴ類幼虫(3)
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(14)
	伊賀市甲野	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(5)
紀州	紀北町赤羽	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(8)、アカヒゲホソドリカスミカメ成虫(1)、シラホシカメムシ(1)、イナゴ類(2)
	熊野市飛鳥町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
県庁農園	農業研究所	0	無	0	0	0	0	2	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(4)、アカヒゲホソドリカスミカメ成虫(6)、イナゴ類幼虫(6)

薬いもち発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)。イネドロオイムシ被害度(発生程度):0(無)、1-20(少)、21-50(中)、51-70(多)、71以上(甚)

スクミリンゴガ[®]イによる被害の発生状況(2018年6月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	スクミリンゴガ [®] イの被害発生ほ場率(%)				
			平成26年	27年	28年	29年	30年
桑名	6/4	32	0	2.8	3.1	9.4	12.5
四日市鈴鹿	6/5	48	0	0	4.2	4.2	4.2
津	6/7	36	0	2.3	5.6	5.6	8.3
松阪	6/8	36	0	0	8.3	5.6	5.6
伊勢志摩	6/4,8	40	0	0	0	2.5	2.5
伊賀	6/6	28	0	0	0	0	0
紀州	6/5	16	0	0	0	25.0	25.0
県全体		236	0.0	0.6	3.4	5.9	6.8

d 7月データ

水稲病害発生状況(2018年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち									紋枯病		
			程度別発生圃場率(%)						発生 無	発病度	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)
			発生有											
計	甚	多	中	少										
桑名	7/3	32	3	0	0	0	3	97	0	0	0	3	0	
四日市鈴鹿	7/2,4,6	48	4	0	0	0	4	96	0	0	0	10	1	
津	6/29,7/5	36	3	0	0	0	3	97	0	0	0	0	0	
松阪	6/29,7/5	36	11	0	0	0	11	89	0	1	10	3	0	
伊勢志摩	6/29,7/2,4	40	13	0	0	0	13	88	0	2	22	0	0	
伊賀	7/3	28	4	0	0	0	4	96	0	0	0	7	1	
紀州	6/29,7/6	16	31	0	0	13	19	69	5	20	0	6	1	
県全体		236	8.1	0.0	0.0	0.8	7.2	91.9	0.5	1.9	9.9	4.2	0.4	
平年(10年平均)			18.6	0.0	0.0	1.8	16.7	71.4	1.7	4.8	3.0	5.9	0.6	

水稲害虫発生状況(2018年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	はらい落とし調査(10株当たり)												見取り調査						
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメビウンカ		ツマグロヨコバイ			イネミズゾウムシ		フタオビコヤガ		イネクロカメムシ		ニカメイガ		イネヨトウ	
			発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	被害発生圃場率(%)	被害株率(%)	被害発生圃場率(%)	被害発生圃場率(%)		
桑名	7/3	32	0	0	0	0	22	0	9.4	0.34	0.22	9.4	0.09	0	0	15.6	0.8	18.8	3.1		
四日市鈴鹿	7/2,4,6	48	0	0	0	0	43.8	0.73	10.4	0.21	0.25	0	0	0	0	18.8	0.8	22.9	0		
津	6/29,7/5	36	0	0	0	0	27.8	0.64	33.3	0.72	0.28	2.8	0.03	8.3	0.14	36.1	2.1	22.2	0		
松阪	6/29,7/5	36	0	0	0	0	25.0	0.47	5.6	0.06	0	5.6	0	0	0	22.2	1.0	25.0	0		
伊勢志摩	6/29,7/2,4	40	0	0	0	0	0.0	0.00	5.0	0.08	0	0	0	0	0	10.0	0.4	15.0	0		
伊賀	7/3	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6	0.04	14.3	0.6	17.9	0		
紀州	6/29,7/6	16	6.3	0.06	0	0	18.8	0.19	37.5	0.94	1.25	6.3	0	6.3	0.06	12.5	0.5	12.5	0		
県全体		236	0.4	0.004	0.0	0.0	21.2	0.38	12.7	0.28	0.21	3.0	0.03	2.1	0.03	19.1	0.9	19.9	0.4		
平年(10年平均)			3.1	0.05	0.1	0.0	10.2	0.14	28.7	0.17	1.29	6.7	0.09	5.7	0.07	18.7	2.3	12.9	1.7		

虫数は調査圃場あたり

定点圃場または畦畔における水稲病害虫発生状況(2018年7月)

地区	調査場所	葉いもち			紋枯病			すくい取り20回調査				すくい取り調査・斑点米カメムシ類 (見取り調査・その他病害虫)
		発病株率(%)	発病度	発病程度	発病株率(%)	発病度	発病程度	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメビウンカ	ツマグロヨコバイ	
		成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	0	無	0	0	無					
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	0	無	0	0	無					
	菟野町竹成	0	0	無	4	1	少	1				(ニカメイガ)
	鈴鹿市矢橋町	0	0	無	0	0	無					アカヒゲホソトリカスカム成1、(イゴ)幼4、(ニカメイガ)
	鈴鹿市御菌町	0	0	無	0	0	無					アカヒゲホソトリカスカム成1
津	亀山市山下町	0	0	無	0	0	無					ホソハカメムシ成1、(ツマグ)ロヨコバイ成1、(イゴ)幼1、ササキ幼2、(ニカメイガ)
	津市安東町	0	0	無	0	0	無	1				カスカムシ類幼1、(ヒメ)ビウンカ成1、ツマグロヨコバイ成1、(イゴ)類
	津市安濃町草生	0	0	無	0	0	無					ホソハカメムシ成1、クモヘカメムシ成1、アカシカスカム成2、(イゴ)幼1、(ニカメイガ)
松阪	津市一志町井生	4	1	少	0	0	無					
	松阪市美濃田町	0	0	無	0	0	無					アカシカスカム成6、アカヒゲホソトリカスカム成2
	多気町兄国	0	0	無	0	0	無					(ツマグ)ロヨコバイ成1)
伊勢 志摩	明和町坂本	0	0	無	0	0	無					ホソハカメムシ成1
	伊勢市円座町	0	0	無	0	0	無					
	玉城町蚊野	16	4	少	0	0	無					(イナゴ)幼2)
伊賀	志摩市磯部町下之郷	0	0	無	0	0	無					
	伊賀市大野木	0	0	無	0	0	無					
紀州	伊賀市甲野	0	0	無	0	0	無					(イゴ)幼2)
	紀北町紀伊長島区赤羽	12	3	少	0	0	無					
	熊野市飛鳥町	0	0	無	0	0	無					
県庁農園	農業研究所(無防除)	0	0	無	0	0	無					カスカムシ類幼虫1、(イゴ)幼4、(ニカメイガ)

葉いもちおよび紋枯病発病度(発病程度);0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

成:成虫、幼:幼虫

畦畔イネ科雑草における、斑点米カメムシ類の発生状況(20回振りすくい取り)(2018年7月)

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカメムシ 成虫		アカヒゲホソドリカ スミカメ成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		その他 斑点米 カメムシ類
			発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	
桑名	7/3	16	18.8	0.4	0	0	0	0	56.3	2.3	12.5	0.3	0	0	イモシジカメムシ7
四日市鈴鹿	7/2,4,6	24	12.5	0.3	4.2	0	12.5	0.2	62.5	2.0	12.5	0.1	0	0	イモシジカメムシ2
津	6/29,7/5	18	5.6	0.1	0	0	5.6	0.1	33.3	0.6	5.6	0.1	0	0	-
松阪	6/29,7/5	18	16.7	0.3	16.7	0.4	5.6	0.1	33.3	6.6	27.8	0.5	6	0.11	-
伊勢志摩	6/29,7/2,4	20	10.0	0.1	5.0	0.1	0	0	35.0	1.0	0	0	0	0	イモシジカメムシ1
伊賀	7/3	14	0	0	7.1	0	0	0	50.0	1.9	21.4	0.2	0	0	-
紀州	6/29,7/6	8	12.5	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
県全体		118	11.0	0.2	5.1	0.1	4.2	0.1	42.4	2.2	11.9	0.2	0.8	0.02	-
平年(10年平均)			23.1	0.5	7.0	0.5	11.4	0.2	33.5	3.8	9.6	0.3	2.5	0.06	-

定点ほ場以外の畦畔、のり面等で調査したもの。

畦畔および圃場内における、斑点米カメムシ類(中型種成虫)の発生状況・広域病害虫防除員による調査(2018年7月)

地区	調査月日	調査場所	ホソハリカメムシ 成虫数	クモヘリカメムシ 成虫数	シラホシカメムシ類 成虫数	備考
桑員	7/4	桑名市上ノ輪	0	0	0	スクミリンゴガイ多い。チョウジタデ、キシュウスズメヒエ多い。
		桑名市長島町下坂手	0	0	0	一部ほ場でニカメイガ多い。一部ほ場でウリカワ、ミズガヤツリ、ヒエ多い。
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	チョウジタデ多い。いもち無し。
鈴亀	7/10	鈴鹿市算所	0	0	0	
		鈴鹿市庄野	0	0	0	
		鈴鹿市須賀	0	0	0	
津市	7/2	一志町井生	0	0.0	0.2	アカスジカメムシ6頭捕獲。イナゴ類の幼虫が散見される。
		一志町八太	0.2	0	0	アカスジカメムシ7頭捕獲。イナゴ類の幼虫が散見される。
		白山町二本木	0	0	0	アカスジカメムシ1頭捕獲。イナゴ類の幼虫が散見される。
松阪飯多	7/4	美濃田町	0.2	4.6	0	一部ほ場でヒエ、コウキヤガラ多い。
		小阿坂町ふけ	0.2	0	0	イナゴ類多い
		小阿坂町前田	3.4	18.4	0	全体的に畦畔管理が適正にされていない。
伊勢	7/5	伊勢市上地町	0	0	0	イナゴ類3、ヨコバエの15。害虫被害は認められない。
		度会町大野木スナゴ	0	0.8	0	イナゴ類4。害虫被害は認められない。
		玉城町上田辺	0	0	0	イナゴ類20。食害痕はわずか。
伊賀	7/4	猪田地区	3.4	0.4	0	全体にイナゴ類多い。雑草は少ない。一部ほ場でホソハリカメムシ多い。
		森寺地区	0	0	0	イナゴ類、クモ多い。雑草は少ない。
		比自岐地区	0	0	0	全体に虫少ない。雑草少ない。
東紀州	7/5	熊野市金山	0.0	0	1	出穂前、畦畔除草済み
		御浜町下市木	0	0.2	0	出穂前、畦畔除草良好
		紀宝町井内	0.2	1.2	0	出穂初期、畦畔除草済み
県全体			0.36	1.22	0.06	-
平年値(10年平均)			0.41	0.35	0.08	-

すくいとり調査(各調査場所において、5ほ場×20回振り)、成虫数は1ほ場当りの頭数

(参考)スクミリンゴガイの発生状況(2018年7月)

地区	調査 月日	調査圃場 数	スクミリンゴガイまたはその卵を 確認したほ場の数	スクミリンゴガイまたはその卵を 確認した圃場の割合(%)
桑名	7/3	32	4	12.5
四日市鈴鹿	7/2,4,6	48	4	8.3
津	6/29,7/5	36	4	11.1
松阪	6/29,7/5	36	4	11.1
伊勢志摩	6/29,7/2,4	40	0	0.0
伊賀	7/3	28	0	0.0
紀州	6/29,7/6	16	4	25.0
県全体		236	20	8.5

e 8月データ

水稲病害発生状況(2018年8月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	穂いもち			葉いもち ^a			上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	紋枯病					発病 度	発病 株率 (%)	白葉枯 病		ごま葉枯 病 ^a	
			発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	発生 穂率 (%)		程度別発生圃場率(%)							発生圃 場率(%)	発生圃 場率(%)		
										計	甚	多	中	少						
桑名	8/2	32	0	0	0	12.5	5.3	3.9	37.5	0	0	3	34.4	2.5	9.9	0	0			
四日市鈴鹿	7/30,8/1	48	0	0	0	9.1	0.6	0	38.6	0	0	0	38.6	1.2	4.3	0	0			
津	7/31,8/1	36	0	0	0	5.6	0.3	0	30.6	0	0	6	25.0	2.3	6.6	0	0			
松阪	7/27,30	36	2.8	0.1	0.004	11.1	1.1	0	36.1	0	0	3	33.3	2.4	9.2	0	0			
伊勢志摩	8/2,3	40	7.3	1.2	0.014	4.9	4.5	0	19.5	0	0	0	19.5	1.7	5.8	0	0			
伊賀	8/3	28	0	0	0	7.1	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
紀州	7/27	16	25.0	5.0	0.049	37.5	2.5	80.0	37.5	0	0	0	37.5	1.5	5.3	0	0			
県全体		236	3.4	0.6	0.021	10.2	2.1	34.4	28.4	0	0	2	26.7	1.7	5.9	0	0			
平年値(10年平均、 ^a 9年平均)			8.9	1.5	0.090	13.5	2.9	22.7	29.3	0.0	0.1	1.7	27.4	1.8	5.0	0.2	3.4			

穂いもち発生状況・広域病害虫防除員による調査(2018年8月)

地区	調査 月日	調査場所	発病 株率(%) ^a	発病穂率(%)		備考
				計	穂首 ^a 枝梗 ^a	
桑名	8/1	桑名市上ノ輪	0	0	0	出穂始め(8/1現在)
		桑名市長島町下坂手	0	0	0	紋枯れ病多い
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	穂揃い期:コシヒカリ 7/25、キヌヒカリ7/28
鈴鹿	8/4	鈴鹿市三日市	0	0	0	褐変粒2~3粒(1穂あたり)
		鈴鹿市庄野	0	0	0	
		鈴鹿市須賀	0	0	0	褐変粒、未熟粒(すれ)1~2粒(1穂あたり)
津市	8/1	一志町井生	0	0	0	
		一志町八太	0	0	0	一部は場で、紋枯病が散見される
		白山町二本木	0	0	0	
松阪飯多	8/4	松阪市小阿坂町前田	0	0	0	
		松阪市小阿坂町ふけ	0	0	0	
		松阪市美濃田町内浦	0	0	0	
伊勢	8/3	伊勢市上地町	0	0	0	周辺の水田でも穂いもちは見当たらない。
		度会郡度会町大野木	0	0	0	周辺の水田でも穂いもちは見当たらない。
		度会郡玉城町上田辺	0	0	0	周辺の水田でも穂いもちは見当たらない。置き苗にもいもち病の発生はなし。
伊賀	8/5	伊賀市猪田地区	0	0	0	イナゴ類が各圃場で多く見られた。
		伊賀市森寺地区	0	0	0	スズメの食害が多い。
		伊賀市比自岐地区	0	0	0	イナゴ類が多い。
東紀州	8/6	熊野市金山	0	0	0	
		御浜町下市木	0	0	0	
		紀宝町井内	0	0	0	
県全体			7.0	0.4	0.2	0.2
平年値(10年平均、 ^a 9年平均)						

水稲害虫発生状況(2018年8月)

地区	10株払い落とし調査										見取り調査による被害発生圃場率(%)												
	セジロウシカ		トビイロウシカ		ヒトビウシカ		ウシカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		イネズノウムシ		フタオビヨヤガ		イネヨトウ	ニカメイガ	イチモンジセリ	アワヨトウ	コブノメ	イネコロカメ	ササキリ	イナゴ類	
	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)									成虫数
桑名	0	0	0	0	31.3	0.7	28.1	1.1	31.3	2.1	15.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	0	0	0	0	70.5	1.4	72.7	4.3	70.5	2.8	6.1	2.3	0.05	2.3	0.0	0	18.2	0	0	6.8	0	2.3	
津	0	0	0	0	36.1	0.5	52.8	2.8	30.6	0.8	0.1	0	0	5.6	0.1	0	33.3	0	0	0	0	0	
松阪	0	0	0	0	50.0	0.9	52.8	1.8	19.4	0.4	0	0	0	5.6	0.1	0	41.7	0	0	0	0	5.6	
伊勢志摩	0	0	0	0	31.7	0.5	36.6	0.8	14.6	0.3	0.7	0	0	4.9	0.1	0	0	0	0	0	0	0	
伊賀	0	0	0	0	17.9	0.3	53.6	0.9	0	0	0	0	3.6	0.04	0	0	0	0	0	0	0	3.6	
紀州	12.5	0.13	0	0	43.8	1.0	62.5	2.2	37.5	0.9	0.3	6.3	0.06	0	0	18.8	12.5	0	0	0	13	0	
県全体	0.8	0.01	0	0	41.9	0.8	52.1	2.1	30.1	1.1	3.3	1.3	0.02	3.0	0.1	1.3	15.7	0	0	0.0	1	2.1	
平年値(10年平均)	6.9	0.12	0.1	0.001	22.5	0.4	52.2	3.0	39.6	0.9	3.8	11.0	0.21	20.0	0.5	1.1	14.7	0.7	5.1	7.5	2.9	11.8	

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2018年8月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査月日	調査圃場数	斑点米カメムシ類発生程度別発生圃場率(%)					ホソハリカメムシ成幼虫		クモヘリカメムシ成幼虫		シラホシカメムシ類成幼虫		アカスジカメムシ成虫		ミナミアオカメムシ成幼虫		その他斑カメ
			計	甚	多	中	少	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	
桑名	8/2	32	21.9	0	0	3.1	18.8	3.1	0.03	3.1	0.03	6.3	0.06	15.6	0.4	0	0	
四日市鈴鹿	7/30,8/1	48	50.0	0	0	4.2	45.8	2.1	0.02	6.3	0.08	2.1	0.0	43.8	0.7	0	0	アカヒゲホソドリカメムシ
津	7/31,8/1	36	30.6	0	0	5.6	25.0	8.3	0.14	5.6	0.06	2.8	0.1	25.0	0.4	0	0	アカヒゲホソドリカメムシ
松阪	7/27,30	36	47.2	0	2.8	8.3	36.1	5.6	0.06	19.4	1.17	5.6	0.1	30.6	0.4	0	0	アカヒゲホソドリカメムシ
伊勢志摩	8/2,3	40	27.5	2.5	0	7.5	17.5	10.0	0.18	15.0	3.20	2.5	0.03	5.0	0.1	2.5	0.05	イネカメムシ
伊賀	8/3	28	7.1	0	0	0	7.1	0	0	3.6	0.04	3.6	0.04	0	0	0	0	
紀州	7/27	16	12.5	0	0	0.0	12.5	0	0	6.3	0.13	0	0	6.3	0.1	0	0	
県全体		236	31.4	0.4	0.4	4.7	25.8	4.7	0.1	8.9	0.76	3.4	0.04	20.8	0.3	0.4	0.01	
平年値(10年平均)			40.3	0.4	1.6	8.1	30.0	18.2	0.3	10.8	0.89	5.9	0.04	17.4	0.5	1.9	0.04	

発生程度別基準・すくい取り虫数(20回振): (甚)31以上、(多)11~30、(中)4~10、(少)1~3、(無)0

定点圃場におけるイネ病害虫発生状況(2018年8月)

地区	調査場所	穂いもち		紋枯病		すくい取り虫数/20回						斑点米カメムシ類ほか	その他病害虫(私査し、見取り)							
		発病率(%)	発病程度	発病率	発病程度	セジロウカ	トビイロウカ	ヒメトビウカ	ウンカ類幼虫	ツマグロヨコバイ成虫	幼虫									
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	5	少	0	0	0	0	0	0	0	0	ヒトビウカ成虫、ウンカ類幼虫、ツマグロヨコバイ成虫、幼虫						
	四日市市下海老町	0	無	2	少	0	0	5	0	0	0	0	0	ウンカ類幼虫、ツマグロヨコバイ成虫、幼虫、ネソハリカメムシ成虫、アカスジカメムシ成虫						
	菟野町竹成	0	無	0	無	0	0	1	2	0	0	0	0	ツマグロヨコバイ成虫、幼虫、アカスジカメムシ成虫、カメムシ類幼虫						
四日市鈴鹿	鈴鹿市矢橋町	0	無	0	無	0	0	7	0	4	0	0	0	ネソハリカメムシ成虫2、クモヘリ成虫1、幼虫1、シラホシ成虫1、アカスジカメムシ成虫3、ササキ類2	ウンカ類幼虫、ツマグロヨコバイ幼虫、イネカメムシ成虫					
	鈴鹿市御園町	0	無	2	少	0	0	6	0	5	0	0	0	アカスジカメムシ成虫1	ウンカ類幼虫、ツマグロヨコバイ幼虫、イネカメムシ成虫、イネグムシ成虫					
	亀山山下町	0	無	2	少	0	0	9	24	13	12	0	0	アカスジカメムシ成虫3、カメムシ類幼虫有、イナゴ類成虫1、幼虫1、ササキ類成虫1	ネソハリカメムシ成虫					
津	津市安東町	0	無	3	少	0	0	8	18	21	0	0	0	ネソハリカメムシ成虫1、アカスジカメムシ成虫2	ツマグロヨコバイ幼虫、コメイモ幼虫					
	津市安濃町草生	0	無	0	無	0	0	4	2	0	0	0	0	アカスジカメムシ成虫1	ツマグロヨコバイ成虫、幼虫、シラホシカメムシ成虫					
	津市一志町井生	0	無	2	少	0	0	0	0	0	0	0	0	イナゴ類幼虫2	ヒトビウカ成虫、ウンカ類幼虫、ツマグロヨコバイ成虫、ネソハリカメムシ成虫、トゲシカメムシ成虫、アカスジカメムシ成虫					
松阪	松阪市美濃田町	0	無	8	少	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカメムシ成虫1	ヒトビウカ成虫、ウンカ類幼虫、ツマグロヨコバイ成虫、幼虫、アカスジカメムシ成虫、フタバコイガ幼虫、イナゴ類					
	多気町兄国	0	無	6	少	0	0	0	4	0	0	0	0	アカスジカメムシ成虫1	ヒトビウカ成虫、ツマグロヨコバイ成虫、トゲシカメムシ成虫					
	明和町坂本	0	無	0	無	0	0	1	0	6	0	0	0	クモヘリ成虫1、アカスジカメムシ成虫1、ササキ類1	ウンカ類幼虫、ツマグロヨコバイ成虫、シラホシカメムシ成虫					
伊勢志摩	伊勢市円座町	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	玉城町蚊野	0.20	無	0	無	0	0	3	5	2	4	0	0	0	0	0	0	0	イナゴ類幼虫1、ササキ類幼虫2	
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	無	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ウンカ類幼虫、ツマグロヨコバイ成虫、カメムシ類幼虫、フタバコイガ幼虫	
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ヒトビウカ成虫、ウンカ類幼虫	
	伊賀市甲野	0	無	0	無	0	0	2	14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	ネソハリカメムシ成虫、クモヘリカメムシ幼虫、イネスズグムシ成虫	
紀州	紀北町赤羽	0	無	10	少	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	熊野市飛鳥町	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平均	0.01	2.1	0	0	0	2.5	3.7	2.9	0.8										
	平年値(10年平均)	0.17	2.5	0.8	0	3.0	11.1	11.1	9.0	6.3										
泉子寮圃	農業研究所(無防除)	0	無	8	少	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ネソハリカメムシ幼虫1、アカスジカメムシ成虫3、イナゴ類成虫3

穂いもち発病率(発病程度):0(無)、1-10(少)、11-30(中)、31-60(多)、61以上(甚)

紋枯病発病率(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)

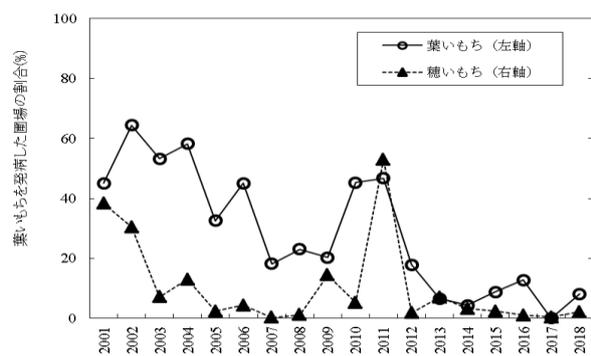


図. 7月上旬における葉いもち発生状況の推移および8月上旬における穂いもち発生状況の推移(1999~2015年巡回調査結果)

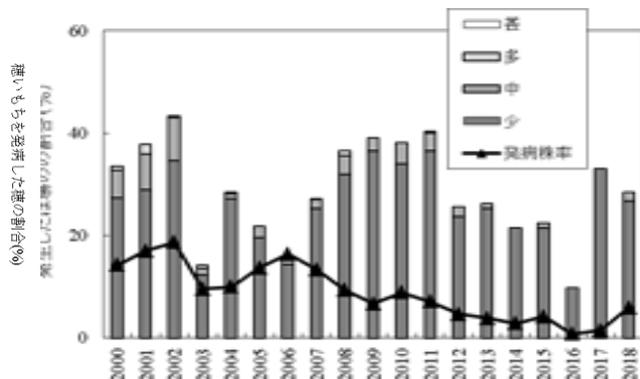


図5. 8月上旬における紋枯病発生状況の推移(2000~2018年巡回調査結果)

f 9月データ

水稻(普通期)病害発生状況(2018年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	穂もち		紋枯病		ごま葉枯病		白葉枯病	稲こうじ病	
			発生 圃場率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病 度 (%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)			発生 圃場率 (%)
桑名	9/3	8	0	0	25.0	1.0	1.0	50.0	0.6	0	0
四日市鈴鹿	9/6	1	0	0	0	0.0	0.0	100	2	0	0
津	9/12	4	0	0	50.0	0.5	2.0	100	4	0	0
県全体		13	0	0	30.8	0.8	1.2	69.2	1.7	0	0
10年平均			10.6	0.1	47.9	4.4	12.4	34.3	5.1	4.7	3.6
								(9年平均)	(6年平均)		(9年平均)

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2018年9月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査 圃場 数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		イネカメムシ 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫	
		発生 圃場率 (%)	虫数										
桑名	8	37.5	0.6	0	0	12.5	0.1	12.5	0.1	0	0	0	0
四日市鈴鹿	1	100	1.0	100	1.0	0	0	0	0	100	2.0	100	2
津	4	0	0	100	7.8	0	0	25.0	0.5	0	0	25.0	0.8
県全体	13	30.8	0.5	38.5	2.5	7.7	0.1	15.4	0.2	7.7	0.2	15.4	0.4
10年平均		24.6	0.4	28.1	1.6	9.5	0.1	12.5	0.3	15.8	0.5	28.5	0.6
													(8年平均)

水稻(普通期)害虫発生状況(2018年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	10株払い落とし調査												見取り調査による被害発生圃場率(%)							
			セジロウシ		トビイロウシ		ヒメトビウシ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		フタオビコヤガ		イネヨ	ニカメ	ササキ	イナゴ	アワヨ	イネモ	コブノ	
			発生圃 場率 (%)	成虫数	発生圃 場率 (%)	成虫数	発生圃 場率 (%)	成虫数	発生圃 場率 (%)	幼虫数	発生圃 場率 (%)	成虫数	幼虫数	発生圃 場率 (%)	成虫数	ウ	イ	サ	イ	ア	イ	コ
桑名	9/3	8	0	0	0	0	75.0	2.9	75	4.5	12.5	0.1	0.0	0	0	0	12.5	0	0	0	0	12.5
四日市鈴鹿	9/6	1	0	0	0	100	3.0	100	5.0	100	75.0	12.0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0
津	9/12	4	0	0	0	100.0	2.3	50.0	1.3	100.0	3.0	8.5	0	0	0	0	50.0	0	0	0	0	0
県全体		13	0.0	0.0	0	0	84.6	2.7	69.2	3.5	46.2	6.8	3.5	0	0	0	23.1	8	0.0	0	0	7.7
10年平均			13.3	0.2	0.0	0.0	27.0	1.0	51.2	4.5	67.7	5.5	3.8	6.8	0.1	3.5	24.6	26.2	32.4	10.2	0.6	11.6

定点圃場における斑点米および斑点米カメムシ類発生状況(2018年)

地区	調査場所	品種	移植日	採取 日	斑点米発生率(%)					斑点米カメムシ類 20回振りすくいとり虫数 8月巡回調査(菰野町竹成は9月)	
					精玄米調査(1.85mm)					側部加害・ 銜部の 黒点	
					カメムシ被 害粒 発生率	斑紋型変 色	くさび型 加害	頂部の黒 変	側部加害・ 銜部の 黒点		
桑名	いなべ市北勢町阿下音	キヌヒカリ	5/13	9/3	0.32	0.11	0.11	0.11	0	-	-
	四日市市下海老町	キヌヒカリ	5/6	8/10	0.32	0.11	0.00	0.11	0.11	-	-
	菰野町竹成	コシヒカリ	4/16	8/10	0.11	0.00	0.11	0	0	-	-
四日市 鈴鹿	鈴鹿市矢橋町	神の穂	5/7	9/6	0.17	0.00	0.00	0.09	0.09	ホハリカメムシ成虫2、クモヘリ成虫1、シラホシ成虫1、 アカスジカスミカメ成虫3	
	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	4/24	8/10	0.73	0.42	0.10	0.10	0.10	アカスジカスミカメ成虫1	
	亀山市山下町	コシヒカリ	4/19	8/10	0.62	0.10	0.42	0.10	0	アカスジカスミカメ成虫3、カスミカメ類幼虫有	
津	津市安東町	コシヒカリ	4/23	8/10	0.96	0	0.64	0.32	0	ホハリカメムシ成虫1、アカスジカスミカメ成虫2	
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/29	8/10	0.94	0.21	0.42	0.21	0.10	アカスジカスミカメ成虫1	
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/29	8/10	0.84	0.10	0.63	0	0.10	-	
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	5/10	8/13	0.96	0.11	0.53	0.32	0.00	アカスジカスミカメ成虫1	
	多気町兄国	コシヒカリ	4/28	8/13	1.21	0.55	0.33	0.22	0.11	アカスジカスミカメ成虫1	
	明和町坂本	コシヒカリ	4/28	8/13	3.56	2.41	0.31	0.52	0.31	クモヘリカメムシ成虫1、アカスジカスミカメ成虫1	
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	4/28	8/10	0.00	0.00	0	0	0	-	
	玉城町蚊野	みえのえみ	4/25	8/13	0.32	0.21	0.11	0	0	-	
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	4/18	8/10	0.42	0.21	0.11	0.11	0	-	
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/3	8/27	0.63	0.00	0.21	0.11	0.32	-	
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/5	8/27	1.71	1.71	0	0	0	-	
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	4/17	8/10	0.41	0.10	0	0.30	0	-	
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	8/10	0.32	0	0.11	0.22	0	-	
県予察圃	松阪市嬉野川北町・無防除	コシヒカリ	4/25	8/15	1.44	0.19	1.06	0.10	0.10	ホハリカメムシ幼虫1、アカスジカスミカメ成虫3	
	定点平均		-	-	0.77	0.33	0.22	0.15	0.07	斑点米カメムシ類成幼虫数・定点平均1.0頭	
	平年値(10年平均)		-	-	0.36	0.20	0.04	0.09	0.05	同上・平年1.3頭	

(2) 麦類

コムギ病害虫の発生状況(2018年4月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒節病 発病率(%)	縮萎縮病 発病率(%)	アブラ ムシ類 寄生程度	ハモグリ バエ類 寄生率(%)	品種	生育状況
桑名	いなべ市大安町片樋	4/4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.0	さとのそら	草丈45cm(昨年80cm)
四日市	菰野町池底	4/9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈69cm(昨年75cm)、出穂始まり
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	4/9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈60cm(昨年70cm)、出穂始まり
津	津市殿村	4/5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	あやひかり	草丈40cm(昨年65cm)
松阪	松阪市藤之木 多気町兄国	4/6	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	あやひかり ニシノカオリ	草丈70cm(昨年75cm)、出穂始まり 草丈68cm(昨年75cm)、出穂始まり
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	4/4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	草丈45cm(昨年80cm)、畦畔への除草剤散布影響あり、生育むら
伊賀	伊賀市西之澤 伊賀市畑村	4/10	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	タマイズミ タマイズミ	草丈32cm(昨年30cm)、湿害による生育むら 草丈30cm(昨年40cm)、湿害による生育むら、発芽不良による生育遅れ
県全体			0.0	0.0	0.0	0.0 (伊賀タマイズミ)	0.1	0.1		-
平年(10年平均)			0.2	0.0	0.4	- (伊賀タマイズミ)	0.1	0.6		-

各地点4圃場において、1圃場あたり25茎を調査。

コムギ病害虫の発生状況(2018年5月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病率 (%)	アブラムシ 類 寄生程度	ムギアカタ マバエ寄 生率(%)	赤かび病		品種	備考
								発生 圃場率(%)	発病 率(%)		
桑名	いなべ市大安町片樋	5/10	0	0	0	0	0	100	0.131	さとのそら	
四日市	菰野町池底	5/7	0	0	0	0.5	0	0	0.000	あやひかり	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	5/9	0	0	0	0.8	0	100	1.365	あやひかり	
津	津市殿村	5/9	0	0	0	1.0	0	50	0.006	あやひかり	
松阪	松阪市藤之木 多気町兄国	5/9	0 0	0 0	0 0	0.0 0.0	0 0	100 100	0.081 0.208	あやひかり ニシノカオリ	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	5/11	0	0	0	0.5	0	50	0.015	ニシノカオリ	
伊賀	伊賀市西之澤 伊賀市畑村	5/11	0 0	0 0	0 0	0.3 0.8	0 0	0 0	0.000 0.000	タマイズミ タマイズミ	開花期 開花期
県全体			0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	55.6	0.21	-	-
平年値(10年平均)			0.4	0.2	0.0	0.8	0.0	27.0	0.34	-	-

各地点4圃場を調査。赤かび病:50m見取り調査。平年値は追加調査時の最終結果を示す。

1圃場あたり25茎調査。

コムギ巡回調査圃場における赤かび病の発生状況(2018年。発生率率(%))

地区	調査地点	品種	5月第2週	5月第4週	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	さとのそら	0.131	0.197	5月24日晴れ
四日市	菰野町池底	あやひかり	0.000	0.038	5月24日晴れ
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	あやひかり	1.365	1.675	5月24日晴れ
津	津市殿村	あやひかり	0.006	0.141	5月24日晴れ
松阪	松阪市藤之木 多気町兄国	あやひかり ニシノカオリ	0.081 0.208	0.068 0.070	5月25日晴れ 5月25日くもり
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	ニシノカオリ	0.015	0.060	5月25日くもり
伊賀	伊賀市西之澤 伊賀市畑村	タマイズミ タマイズミ	0.000 0.000	0.005 0.000	5月24日晴れ 5月24日晴れ
県全体			-	0.212	0.321
平年値			-	0.340	

各地点4圃場において50m見取り調査。

コムギ縮萎縮病の発生状況(2019年3月)

地区	調査地点	調査日	被害率(%)	品種	草丈(cm)	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	3/8	0	あやひかり	31	(昨年20cm)
四日市	四日市市江村	3/7	0	あやひかり	35	(昨年25cm)
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	3/7	0	あやひかり	50	(昨年20cm)
津	津市殿村	3/4	0	あやひかり	29	(昨年14cm)
松阪	松阪市藤之木 多気町兄国	3/8	0 0	あやひかり ニシノカオリ	25 35	(昨年25cm) (昨年27cm)
伊勢志摩	伊勢市村松	3/5	0	ニシノカオリ	15	(昨年15cm)
伊賀	伊賀市西之澤 伊賀市畑村	3/4	0 0	タマイズミ タマイズミ	15 33	(昨年10cm)、鹿の食害あり (昨年11cm)
県全体平均			0	伊賀タマイズミ	平均0.0%	
平年値(10年平均)			1.8	伊賀タマイズミ	平年値2.0%	

各地点4圃場にて、1圃場当たり25茎を調査。

(3) 大豆

ダイズ虫害発生状況(2018年8月)

地区	調査地点	調査 月日	アブラムシ類	ハスモンヨトウ・シロイチモジトウ		コガネムシ類	カメムシ類	草丈および備考
			寄生株率(%)	葉食害度	白変か所数(/1a)	葉食害度	寄生虫数(/25株)	
桑名	いなべ市大安町大井田	8/2	0.0	0.0	0.0	0.0	0	草丈25cm
四日市	四日市市江村町	7/30	0.0	0.0	0.0	0.0	0	草丈20cm、7月13日播種
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	7/30	0.0	0.0	0.0	0.0	0	草丈35cm
津	津市白山町川口	7/31	0.0	0.0	0.7	7.5	0	草丈27cm、マメコガネ確認
松阪	松阪市藤之木町	7/31	0.0	0.0	0.0	0.0	0	草丈20cm
	松阪市保津町		0.0	0.0	0.4	0.0	0	草丈10cm、区外でタバコガ類
伊賀	伊賀市木興	8/3	0.0	0.0	0.0	0.0	0	草丈20cm、未発芽やや多
	伊賀市千戸		0.0	0.0	0.0	0.0	0	草丈35cm、区外でタバコガ類
県全体		—	0.0	0.0	0.1	0.9	0.0	—
10年平均		—	0.1	0.2	0.4	0.7	0.0	—

ダイズ病害虫発生状況(2018年9月)

地区	調査地点	調査 月日	ダイズア ラムシ発生 程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジトウ	コガネムシ 類	吸食性カメムシ類			その他 病害虫	
			白変か所数(/1a)	葉 食 害 度	葉食害度	寄生株率 (%)	寄生虫数 (頭/25株)	種類		
桑名	いなべ市大安町大井田	9/3	0.8	0.0	0.3	0.3	4.0	1.3	ホソハリ(成)、イチモンジ(成)	マメコガネ、タバコガ類
四日市 鈴鹿	四日市市江村町	9/3	0.0	0.0	0.3	0.8	9.0	3.8	ミナミアオ(成)	草高90cm、マメコガネ、イナゴ、ウワバ類、ハスモン卵、シヤクガ幼虫
	鈴鹿市下大久保	9/6	0.3	0.0	0.8	0.5	4.0	1.5	ミナミアオ(幼)、ホソハリ(成)、イチモンジ(成)	草高90cm、マメコガネ、イナゴ、ウワバ類、フタスジヒメハムシ
津	津市白山町川口	9/12	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0		草高90cm、シロイチ、タバコガ類、ウワバ類
松阪	松阪市藤之木町	9/11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		草高80cm、区外でハスモン、シロイチ
	松阪市保津町		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		草高80cm、区外でミナミアオ(成)、イチモンジカメ(成)
伊賀	伊賀市木興	9/6	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.5	イチモンジ(成)	草高60cm、ウワバ類
	伊賀市千戸		0.0	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0		草高80cm
県全体			0.1	0.0	0.6	0.2	2.4	0.9	—	—
10年平均			2.2	1.3	3.1	0.7	2.4	1.5	—	—

ハスモンヨトウ発生状況・広域病害虫防除員による調査(2018年9月)

地区	調査 月日	調査場所	白変か所数 (/1a)	備考
桑名	9/5	桑名市長島町千倉	1.0	全体的に生育不良、倒伏あり
		桑名市志知	0.8	生育良好、台風で少し倒伏、圃場5草多し
		いなべ市北勢町治田外面	1.0	全体的に生育不良、倒伏少ない、管理不足が多し
鈴鹿	9/9	鈴鹿市野辺町	2.2	生育良好、圃場1~2で黄化葉目立つ、白変は各株微小部分
		鈴鹿市算所町	7.8	やや生育不良で苗立ちもよくない(圃場1~4)、圃場5は生育良好、圃場4で株全体(1株)に白変
		鈴鹿市須賀	3.0	風被害葉多数(枯死葉)がほぼ全株で確認、生育は良好、白変は微小部分
津市	9/5	津市南河路	0.0	一部の圃場で食害、雑草多し
		津市一志町其村	0.4	一部の圃場で雑草多し
		津市安濃町荒木	0.0	全調査圃場で食害多し
松阪 飯多	9/6	小阿坂町高見	8.2	全体的にイナゴ多、圃場3雑草多し
		八重田西沖	3.6	全体的にイナゴ多
		深長町行歩田	9.0	カナブン・イナゴやや多し、圃場4・5で雑草にクモエリカメムシ多数
伊勢	9/6	伊勢市西豊浜	0.0	草高50~70cmで生育良好、ハスモンヨトウ食害痕多、圃場5は一部倒伏(台風20号)と落葉(台風21号)目立つ
		伊勢市小俣町	0.0	草高40~60cmとやや小さい、ハスモンヨトウ食害痕中程度
		玉城町原	0.0	草高60~70cmで生育良好、ハスモンヨトウ食害痕かなり多
伊賀	9/9	猪田(大東)地区	0.0	草高50~60cm、イナゴ多、一部湿害見られるも概ね生育良好
		依那具地区	0.0	草高50~60cm、湿害多し
		比自岐地区	0.0	雑草少なくよく管理されている、イナゴ多
県全体			2.1	
10年平均			2.2	

ダイズ病害虫発生状況(2018年10月)

地区	調査地点	調査月日	ダイズアブラムシ発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		吸実性カメムシ類		種類
				白変か所数(1/a)	葉食害度※	寄生株率(%)	寄生虫数(25株)	
桑名	いなべ市大安町大井田	10/11	0.0	0.0	0.0	46.0	56.3	ミナミアオ(成・幼)、ホソヘリ(成・幼)、マメドクガ
四日市	四日市市江村町	10/11	0.0	0.7	0.0	9.0	2.5	ミナミアオ(成・幼)
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	10/5	0.0	0.0	0.0	18.0	5.5	ミナミアオ(成・幼)、ホソヘリ(成)、萁小さい
津	津市白山町川口	10/12	0.0	0.0	0.0	14.0	6.5	ミナミアオ(成・幼)
松阪	松阪市藤之木町	10/9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ウワバ類
	松阪市保津町		0.0	0.0	0.0	3.0	0.8	ミナミアオ(幼)、湿害あり
伊賀	伊賀市木興	10/5	0.0	1.8	5.0	0.0	0.0	シロイチ・ハスモン混在、フタスジヒメハムシ多
	伊賀市千戸		0.0	0.0	0.0	1.0	0.5	イチモンジ(幼)
県全体			0.0	0.3	0.2	11.4	9.0	—
10年平均			3.3	2.1	4.4	12.0	8.2	—

葉食害度※:25株中の被害株数

ダイズ成熟期における莢および子実の被害発生状況(2018年12月)

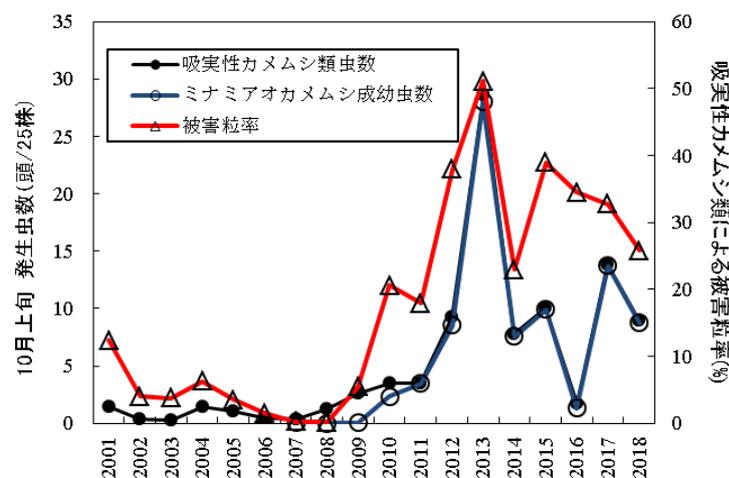
地区	調査地点	採取月日	*莢調査被害率(%)		被害粒調査(篩選別前の子実について調査・著しい未熟粒を除く)										その他被害粒(腐敗粒)(%)		
			虫害1	虫害2	フタスジヒメハムシ				吸実性カメムシ類								
					紫斑粒率(%)	褐斑粒率(%)	黒斑粒率(%)	腐敗粒率(%)	被害粒率(%)			9月		10月			
桑名	いなべ市大安町大井田	11/13	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	1.2	62.9	5.7	17.8	39.4	4.0	1.3	46.0	56.3	1.8
四日市	四日市市江村町	11/13	0.0	4.7	0.0	0.0	0.5	0.0	27.8	3.5	5.6	18.6	9.0	3.8	9.0	2.5	2.6
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	11/13	0.0	0.4	0.8	0.0	3.4	0.8	30.1	2.9	6.8	20.5	4.0	1.5	18.0	5.5	0.8
津	津市白山町川口	11/13	0.0	0.0	0.2	0.2	4.7	1.2	38.1	4.6	14.2	19.3	0.0	0.0	14.0	6.5	0.5
松阪	松阪市藤之木	11/13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.7	1.3	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
	松阪市保津町	11/13	0.0	0.0	0.0	2.1	1.6	0.2	29.6	4.4	7.8	17.4	0.0	0.0	3.0	0.8	3.7
伊賀	伊賀市木興	11/16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	4.3	0.4	1.0	2.9	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	伊賀市千戸	11/16	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.8	8.5	0.8	2.3	5.4	0.0	0.0	1.0	0.5	1.0
県全体平均			0.0	0.6	0.1	0.3	2.3	0.5	25.8	2.8	7.1	15.9	2.4	0.9	11.4	9.0	1.7
10年平均			1.0	2.0	0.4	0.3	1.3	0.4	26.2	3.4	14.1	16.3	2.4	1.5	12.0	9.0	3.0

1地点あたり4圃場を調査。1圃場あたり任意の10株を選定し、それぞれ上位5莢ずつを採取(200莢程度)。

*被害率率はフタスジヒメハムシ被害莢を含まず集計

被害率調査・虫害1:莢外部からの食害および被害、タバコガ類等。

同・虫害2:莢内部における食害、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤムシガ、マメシクイガ等。



10月上旬のダイズ圃場における吸実性カメムシ類発生状況と、ダイズ被害粒発生状況の推移(2001~2018年・病害虫防除所巡回調査)

(4)果樹

県予察圃(カンキツ・紀南果樹研究室)における発生消長

そうか病発病率 葉

	4月			5月			6月			7月			8月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	1.6	18.5	43.9	56.1	61.9	68.1	68.7	69.0	69.3	68.7	69.0	68.5	86.0	86.5	87.0
2017年	0.0	15.5	37.0	59.5	77.5	85.5	79.5	82.0	85.5	86.0	86.5	85.5	86.0	86.5	87.0

そうか病発病率 果実

	5月			6月			7月			8月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	7.3	38.7	80.1	84.3	85.9	92.3	93.8	95.8	96.3	93.8	95.8	96.3
2017年	1.7	64.2	85.0	88.3	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

黒点病発病率

	6月			7月			8月			9月			10月			
	初発	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年発病果率	6.4	22.4	48.0	80.5	92.4	93.3	96.1	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2017年発病果率	0.8	13.3	19.2	60.0	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平年果実発病度	3.5	11.1	23.9	33.8	40.5	46.0	54.2	62.6	69.0	71.1	72.7	75.9	77.4	81.7	83.2	83.2
2017年果実発病度	1.9	2.7	10.7	25.6	34.3	24.6	39.8	53.3	56.2	58.6	61.7	68.3	58.8	78.6	81.2	81.2

かいよう病発病率 葉

	5月			6月			7月			8月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.2	0.8	1.8	2.3	2.8	3.1	3.3	3.6	3.7	3.8	4.1	4.1
2017年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

かいよう病発病率 果実

	5月			6月			7月			8月			9月			10月			
	初発	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.0	0.5	0.9	2.1	3.4	7.8	17.1	21.6	20.9	23.2	23.2	23.5	23.9	25.0	25.8	24.6	25.8	25.8	24.6
2017年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.3	2.5	3.3	4.2	3.3	2.5	4.2	5.8	5.8	4.2	5.8	5.8

果実外観調査

無防除区	そうか病		黒点病		かいよう病		黒点病		そうか病		かいよう病	
	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度
平年	75.9	45.3	100.0	75.9	13.7	7.2	61.7	15.6	0.6	0.2	61.7	15.6
2017年	100.0	65.9	99.8	68.7	1	0	24.2	3.5	2.5	0	24.2	3.5

ハダニ発生消長調査結果(無防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数) ※6月上旬調査から新葉による調査

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	95.1	81.5	30.2	39.1	30.4	47.5	33.2	29.7	27.7	10.3	4.5	5.7	5.5	12.4	30.4	59.7	49.1	44.2
2017年	44.4	63.3	51.3	41.4	84.4	77.8	224.4	228.9	194.4	7.8	1.1	1.1	0.0	0.0	4.4	16.6	16.6	15.6
平年	37.2	51.1	67.2	69.6	77.7	82.3	62.0	63.9	53.0	43.2	44.0	—	27.8	28.6	—	21.7	67.4	—
2017年	26.7	25.6	1.1	2.2	2.2	1.1	11.1	5.6	8.9	6.7	0.0	—	6.7	8.9	—	2.2	0.0	—

ハダニ発生消長調査結果(農行防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	3.3	0.3	0.6	0.8	0.9	4.7	13.4	6.8	3.7	7.4	4.7	19.2	22.2	93.1	16.2	128.8	30.4	40.0
2017年	1.1	1.1	0.0	4.5	0.0	3.3	23.3	97.8	7.8	4.4	0.0	1.1	4.4	2.2	5.6	140.0	208.8	307.8
平年	53.6	82.1	186.4	86.1	69.8	62.1	63.1	71.8	51.1	6.2	5.1	—	4.6	1.9	—	0.8	0.4	—
2017年	3.3	6.7	1.1	1.1	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0	3	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—

チャバネアオカメシ発生消長調査結果 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4.8	16.3	72.5	525.5	4844.5	5211.6	971.6	1133.7	2422.6	3425.3	9075.0	3507.7	1293.3	802.2	630.2	939.1	1500.1	3735.8
2017年	0.0	3.0	7.0	33.0	16.0	8.0	0.0	2.0	28.0	101.0	23.0	27.0	94.0	124.0	218.0	200.0	180.0	389.0
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	2186.2	132.4	27.8	2.3	0	0.2												
2017年	733.0	97.0	2.0	1.0	0.0	0.0												

ツヤアオカメシ発生消長 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	6.8	46.1	131.5	957.3	656.6	411.1	97.3	98.2	73.3	21.1	13.0	19.5	20.6	37.7	79.8	258.5	736.4	2554.2
2017年	1.0	24.0	72.0	874.0	778.0	48.0	11.0	2.0	8.0	13.0	5.0	4.0	23.0	26.0	82.0	53.0	141.0	2704.0
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	3502.1	495.4	300.2	84.5	12.6	3.4												
2017年	8712.0	6837.0	749.0	117.0	8.0	28.0												

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 100果実あたり寄生数調査

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.2	0.5	2.4	5.9	9.4	15.1	6.8	7.0	3.3	5.8	6.7	10.5	9.3	2.3	0.4
2017年	1.7	0	4.2	2	7.5	0.0	1	0	0.8	0.0	2.5	0	5.0	0.0	0

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 黄色粘着板誘殺数

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.5	0.6	0.4	1.0	1.7	1.5	3.0	3.2	7.7	8.1	13.1	10.2	11.9	13.3	8.0	3.8	1.4	0.3
2017年	0.3	0.5	1.0	1.2	2.5	1.6	1.4	1.5	0.4	1.1	0.9	1.4	5.0	11.0	7.9	4.7	1.8	0.7

カンキツ巡回調査結果

4月	地区	調査場所	そらか病		かいじょう病		ミカンハダニ		カイガラムシ類 寄生技率(%)	ヤブネ カイガラムシ 寄生率(%)	カメムシ類 叩き落し数	品 種	生育状況等	調査月日
			旧薬発病度	温州(旧薬) 発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	中晩柑(旧薬) 寄生率(%)	寄生率(%)						
	桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		4月11日
	津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		4月7日
	松阪	多気町五柱(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		4月5日
		松阪市小河坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州		4月5日
		南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州		4月10日
	伊勢	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	袋かけ。果実径9cm。	4月10日
	志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	10	5.2	0	0	0	0	カラ	袋かけ。果実径10cm。	4月10日
		紀北町海野	0	0	0	12	5.6	0	0	0	0	新甘夏	果実径9cm。	4月6日
		熊野市久生屋	0	0	0	0	0	26	3.92	0	0	早生温州	ミカンガニは幼虫多い。	4月6日
		御浜町下市木	0	0	0	12	5.6	0	0	0	0	カラ		4月6日
	紀州	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		4月6日
		御浜町中立	0	0	0	0	0	8	0.18	0	0	新甘夏		4月6日
		紀宝町大里	0	0	0	4	0.8	8	0.10	4	0	セミノール		4月6日
		平 均	0	0	0	6.3	2.9	3.2	0.32	1.5	0			
		平 年(10年平均)	0.02	0.4	0.1	9.5	4.6	6.3	0.25	1.2	0.2			

地区	調査場所	そつか病		かんじょう病		黒点病		ミカンハダニ(春葉)		アブラムシ類					
		春葉発病度		発病度		発病度		寄生率(%)		新梢寄生率(%)					
		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	寄生率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	新梢寄生率(%)				
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30				
	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30				
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4				
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	2	0.4	0	0	0	10				
	紀北町海野	0	0	0	0	6	1.2	1.6	2	0.02	0				
紀州	熊野市久生屋町	0	0	0	0	0	0	0	2	0.02	0				
	御浜町下市木	0	0	0	0	6	1.2	0	2	0.02	0				
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	8	0.12	0				
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	6	0.08	0				
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0.4	8	0.08	0				
	平均	0	0	0	0	2.3	0.5	0.2	2.2	0.03	6.0				
平年(10年平均)		0.04	0.1	0.08	3.0	1.2	1.2	11.5	0.44	4.3					
6月 続き															
地区	調査場所	チャノキイロ		カメムシ類		アカマル		カイガラムシ類		品 種					
		アザミウマ	被害果率(%)	叫き落とし	虫数	カイガラムシ	新梢寄生率(%)	新梢寄生率(%)	生育状況等	調査月日					
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月9日
	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月5日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月9日
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月9日
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月9日
	紀北町海野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日
紀州	熊野市久生屋町	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	6月7日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月7日
	平均	0	0	0	0.08	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
平年(10年平均)		0.5	0	0	0.07	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4

地区	調査場所	そが病 果実発病度		かいじょう病(春葉)		かいじょう病(果実)		黒点病 果実発病度		品 種									
		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度										
伊勢志摩	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州									
	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州									
	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州									
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州									
	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	1.6	0	普通温州									
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル									
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0.4	0	0	0	0	カラ									
	紀北町海野	0	0	0	2.0	0	0	0	0	新甘夏									
	熊野市久生屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州									
	御浜町下市木	0	0	0	4.4	0	0.4	0	0	カラ									
紀州	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州									
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏									
	紀室町大里	0	0	0	4	0	0.4	0	0	セミノーブル									
	平 均	0	0	0	5.0	0	1.3	0.1	0.1										
	平年(10年平均)	0.3	0.2	0.04	8.2	0.006	3.0	3.9	5.4										
8月続き																			
地区	調査場所	ミカンハダニ 寄生葉率(%)		チャノキイロ アザシウマ 被害果率(%)		ミカンハダニ 被害新梢率 (%)		カマシ類 叩き落とし 虫数		カイガラムシ類 寄生率(%)		アカマル カイガラムシ 寄生果率(%)		ハマキムシ類 被害果率(%)		品 種	備 考 生育状況等	調査日	
		寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	被害果率(%)	被害率(%)	被害率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)						
伊勢志摩	桑名市多度町小山	8	0.08	4	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径4cm、ハダニは死亡虫も多かった。著果少ない。	7月31日	
	津市大里窪田町	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径4cm。	8月2日	
松阪	多気町五桂(定)	14	2.40	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径3cm。新葉にアブラムシ類寄生。	7月28日	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径4cm。著果少ない。アブラムシ類局所的に発生。	7月28日	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	2	0.02	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径4cm。	8月1日	
	南伊勢町泉	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果実径2.5cm。	8月1日	
	南伊勢町五カ所浦	38	1.88	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径3cm。7オハハコモ、スガハハコモ局所的に発生。	8月1日	
	紀北町海野	14	0.52	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径2~4cm。	8月1日	
紀州	熊野市久生屋町	26	0.44	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径4cm。	8月3日	
	御浜町下市木	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径1cm。著果少ない。アブラムシ類局所的に発生。	8月3日	
	御浜町阿田和	4	0.04	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径5cm。7オハハコモ確認。	8月3日	
	御浜町中立	2	0.02	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径7cm。	8月3日	
	紀室町大里	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果実径3.5cm。ハダニ被害あり。	8月3日	
平 均	8.3	0.42	0.5	0	7.5	0	0	0.5	0	0	0	0	0	0					
平年(10年平均)	5.6	0.30	1.2	44.4	0.008	0.2	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0				

9月	地区	調査場所	カハ、上ツ病(春葉)		カハ、上ツ病(果実)		黒点病 果実発病度	褐色腐敗病 発病果率(%)	品種											
			温州 発病率(%)	温州 発病度	中晩柑 発病率(%)	中晩柑 発病度														
9月	桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	早生温州										
		津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	早生温州										
		多気町五基(定)	0	0	0	0	0	0	0	早生温州										
		松阪市小阿波町	0	0	0	0	0	0	0	普通温州										
		南伊勢町熊越(定)	0	0	0	0	8.0	0	0	普通温州										
		南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル										
		南伊勢町五分所浦	0	0	4	0.8	0	0	0	カラ										
		紀北町海野	0	0	10	2.0	0	8.0	0	新甘夏										
		熊野市久生原町	0	0	0	0	0	0	0	早生温州										
		御浜町下市木	0	0	12	2.4	0	0	0	カラ										
紀州	御浜町向田和	0	0	0	0	0	0	0	早生温州											
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	早生温州											
	紀宝町大里	0	0	2	0.4	0	0.8	0	新甘夏											
	平均	0.3	0.2	4.7	0.9	0	1.3	0	セミノーブル											
平均(10年平均)		0.3	0.2	9.4	3.7	0.05	6.4	10.5	0											
9月続き																				
9月	地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロ アザミウマ		ミカンハモクワガ		カメムシ類		カイガラムシ類		ヤノネカイガラムシ		アカマル カイガラムシ		品種	生育状況等	調査日	
			寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	被害新梢率(%)	叩き落とし虫数	寄生枝率(%)	寄生葉率(%)	寄生果率(%)										
9月	桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径7~8cm。	9月7日
		津市大里窪田町	1.4	0.26	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径5.5cm, 着果少ない, 新葉でアラムシ確認。
9月	松阪	多気町五基(定)	2	0.02	0	0	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径7~8cm, 新葉でアラムシ確認。	9月4日
		松阪市小阿波町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径7~8cm。	9月4日
9月	伊勢志摩	南伊勢町熊越(定)	10	0.10	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径8cm。	9月7日
		南伊勢町泉	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果実径4cm。	9月7日
		南伊勢町五分所浦	4	0.10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径4.5cm, 一部でアラムシ多発。	9月7日
		紀北町海野	0	0	4	50	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径6.5cm。	9月5日
9月	紀州	熊野市久生原町	2	0.02	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径5cm。	9月5日
		御浜町下市木	2	0.04	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径3cm。	9月5日
		御浜町向田和	58	1.46	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径5cm, 新葉でアラムシ確認。	9月5日
		御浜町中立	44	0.64	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径8cm。	9月5日
平均		12.8	0.24	0.3	21.4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果実径4.3cm。	9月5日
平均(10年平均)		6.4	0.17	2.8	43.1	0.02	0.4	0.07	0.2	0.4	0.07	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	

10月	地区	調査場所	かいよつ病(春葉)				かいよつ病(果実)				黒点病		褐色腐敗病		品 種
			温州		中晩柑		温州		中晩柑		果実発病度	発病果率	発病果率	品 種	
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度					
桑名	津	桑名市多度町小山	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州
		津市大里窪田	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州
松阪		多気町五桂(定)	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州
		松阪市小河坂町	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	0	0	普通温州
伊勢		南伊勢町船越(定)	0	0	—	—	0	0	—	—	12.0	0	0	0	普通温州
志摩		南伊勢町泉	—	—	0	0	—	—	—	—	0	0	0	0	セミノーブル
		南伊勢町五カ所浦	—	—	2	0.4	—	—	—	—	0	0	0	0	カラ
		紀北町海野	—	—	4	0.8	—	—	—	—	14.0	0	0	0	新甘夏
		熊野市久生屋	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州
		御浜町下市木	—	—	6	1.2	—	—	—	—	0	0	0	0	カラ
紀州		御浜町阿田和	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	0	0	早生温州
		御浜町中立	—	—	0	0	—	—	—	—	0	0	0	0	新甘夏
		紀宝町大里	—	—	4	0.8	—	—	—	—	0	0.4	0	0	セミノーブル
		平 均	0	0	2.7	0.5	0	0	0.2	0	3.0	0	0	0	
		平年(10年平均)	0.06	0.01	9.1	4.5	0.06	6.3	17.1	0					
10月続き															
地区	調査場所	ミカンハダニ	チャキイロ	カラムシ類	カイガラムシ類	ヤブネカイガラムシ	アカマル	カイガラムシ	寄生果率(%)	品 種	生育状況等	調査月日			
桑名	津	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	10月6日			
		津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	10月4日			
松阪		多気町五桂(定)	32	1.64	0	0	0	0	0	0	早生温州	10月2日			
		松阪市小河坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	10月2日			
伊勢		南伊勢町船越(定)	2	0.02	0	0	0	0	0	0	普通温州	10月3日			
志摩		南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	10月3日			
		南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	10月3日			
		紀北町海野	0	0	0	1	0	0	0	0	新甘夏	10月4日			
		熊野市久生屋	0	0	0	0	2	0	0	0	早生温州	10月4日			
		御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	10月4日			
紀州		御浜町阿田和	2	0.02	0	0	4	0	0	0	早生温州	10月4日			
		御浜町中立	68	1.50	0	0	0	0	0	0	新甘夏	10月4日			
		紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	10月4日			
		平 均	8.0	0.24	0	0.08	0.5	0	0	0					
		平年(10年平均)	4.3	0.10	4.1	0.2	0.8	0.1	0.9						

3月	地区	調査場所	そわか病		かいよう病		ミカンハダニ	カイガラムシ類	ヤノネカイガラムシ	品 種	生育状況等	調査月日	
			旧葉発病度	温州(旧葉)	温州(旧葉)	中晩柑(旧葉)							
						発病率(%)							発病率(%)
	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	0	0	早生温州	ワガアブラムシ1頭確認。	3月9日	
	津市大里種田	0.4	0	0	—	—	2	0.02	0	早生温州	近隣にそわか病常発園地あり。	3月6日	
	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	2	0.04	0	早生温州		3月7日	
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	0	0	普通温州		3月7日	
	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	0	0	普通温州		3月5日	
	南伊勢町泉	0	—	—	0	0	0	0	0	セミノール	袋かけあり。	3月5日	
	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	—	4	2.4	0	0	0	カラ	袋かけあり。	3月5日	
	紀北町海野	0	—	—	4	2.4	0	0	0	新甘夏		3月8日	
	熊野市久生屋	0	0	0	—	—	6	0.08	0	早生温州		3月8日	
	御浜町下市木	0	—	—	6	2.8	0	0	0	カラ	袋かけあり。	3月8日	
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	0	0	早生温州		3月8日	
	御浜町中立	0	—	—	0	0	0	0	0	新甘夏	収穫済み。	3月8日	
	紀宝町大里	0	—	—	2	0.4	0	0	0	セミノール	袋かけあり。	3月8日	
	平均	0.03	0	0	2.7	1.3	0.8	0.01	0				
	平年(10年平均)	0	0.1	0.02	8.5	3.8	4.7	0.15	1.6				
												0.2	

ナシ巡回調査結果

地区	調査場所	黒星病 発病芽率(%)	黒星病 発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	ハダニ類		アブラムシ類 寄生枝率(%)	品種	生育状況等	調査月日
					寄生葉率(%)	寄生虫数/葉				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	幸水	展葉・開花はじめ。	4月10日
	津市久居小野辺町(定)	0	-	-	-	-	0	幸水	未展葉	4月7日
津	津市香良洲町(定)	0	-	-	-	-	0	幸水	未展葉	4月7日
	松阪市笹川町	0	-	-	-	-	0	幸水	未展葉	4月5日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	-	-	-	-	0	幸水	未展葉	4月5日
	伊賀市羽根1	0	-	-	-	-	0	幸水	未展葉	4月11日
伊賀	伊賀市羽根2	0	-	-	-	-	0	幸水	未展葉。	4月11日
	平均	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	0.3		
					(6年平均)	(6年平均)	(8年平均)			

地区	調査場所	黒星病 発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	ハダニ類		アブラムシ類 寄生枝率(%)	品種	生育状況等	調査月日
				寄生葉率(%)	寄生虫数/葉				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	幸水		5月8日
	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	幸水		5月10日
津	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	幸水		5月10日
	松阪市笹川町	6	0	0	0	0	幸水	果実の黒星病も目立つ。区外でアブラムシ1頭あり。	5月9日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	幸水	果実に黒星病1か所あり。	5月12日
	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	幸水		5月12日
伊賀	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	幸水		5月12日
	平均	0.9	0	0	0	0			
平年(10年平均)		0.4	0.6	0.04	0.0004	1.6			

地区	調査場所	黒星病 発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	ハダニ類		アブラムシ類 寄生枝率(%)	品種	生育状況等	調査月日	
				寄生葉率(%)	寄生虫数/葉					
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	2	2	0	0	6	0	幸水	アブラムシは上向きの枝の葉先に密集。	6月6日
	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	幸水	区外で赤星病あり。	6月8日
津	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	幸水		6月8日
	松阪市笹川町	4	4	0	0	0	0	幸水	黒星病も多発。袋掛けあり。	6月5日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	幸水		6月6日
	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	幸水		6月7日
伊賀	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	幸水		6月7日
	平均	0.9	0.9	0	0	0.9	0			
平年(10年平均)		2.2	0.4	0.02	0.0002	5.5	0			

7月	地区	調査場	黒星病 発病率(%)	うどんこ病 発病率(%)	ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
					発病率(%)	発生虫数/葉	寄生枝率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	見取り虫数			
四日市 鈴鹿	四日市市下海老		0	0	10	0.20	0	0	0	0	幸水	袋かけあり。赤星病も確認。	7月4日
		津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	袋かけあり。赤星病も確認。
津	津市香長洲町(定)		0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	袋かけあり。	7月6日
		松阪市笹川町	6	0	0	0	4	0	0	0	0	幸水	袋かけあり。黒斑病ひどい。赤星病も確認。
伊勢志摩	玉城町富岡(定)		2	0	66	1.82	0	0	0	0	幸水	両半分袋かけあり。黒斑病散見。	7月7日
		伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水		7月7日
伊賀	伊賀市羽根2		0	0	0	0	0	0	0	0	幸水		7月7日
		平均	1.1	0	10.9	0.29	0.6	0	0	0	0		
平年(10年平均)			2.4	0.1	1.1	0.06	0.9	0.04	0	0			

8月	地区	調査場	黒星病		うどんこ病 発病率(%)	疫病 発病率(%)	ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	備 考	調査月日	
			発病率(%)	発生果率(%)			寄生枝率(%)	寄生新梢率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	見取り虫数				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老		0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	ハダニ被害あり。	8月2日	
		津市久居小野辺町(定)	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	区外でうどんこ病あり。赤星病散見。	8月2日
津	津市香長洲町(定)		0	-	2	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	ハダニ被害あり。	8月2日	
		松阪市笹川町	4	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	黒斑病目立つ。	7月28日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)		0	-	2	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		8月4日	
		伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)		8月4日
伊賀	伊賀市羽根2		0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	萎縮病、黒斑病あり。	8月4日
		平均	0.6	0	0.6	0	0.3	0.003	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			2.0	1.6	1.5	0	3.9	0.28	0.2	1.4	0	0				

9月	地区	調査場	黒星病		うどんこ病 発病率(%)	疫病 発病率(%)	ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等	調査月日	
			発病率(%)	発生果率(%)			寄生枝率(%)	寄生新梢率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	見取り虫数				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老		0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	区外で黒星病確認。	9月5日	
		津市久居小野辺町(定)	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)		9月4日
津	津市香長洲町(定)		0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	取寄せみ。ハダニが明確確認。	9月4日
		松阪市笹川町	10	-	0	0	6	0.80	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	区外でうどんこ病あり。取寄せみ。
伊勢志摩	玉城町富岡(定)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	区外で黒星病確認。	9月8日
		伊賀市羽根1	0	0	0	0	10	0.26	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	一部でハダニがひどい。
伊賀	伊賀市羽根2		0	0	0	0	10	0.14	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	ニハダニ被害確認。	9月8日
		平均	1.4	0	1.1	0	3.7	0.17	0.3	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			1.3	1.2	8.9	0	3.7	0.13	1.3	0.4	0.02	0				

カキ巡回調査結果

4月	地区	調査場所	炭疽病		備考	調査月日
			炭疽病 発病枝率(%)	炭疽病 発病枝率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	松阪市嬉野川北町1	0	0		4月10日
			0	0		4月10日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	玉城町蚊野1	0	0		4月5日
			0	0		4月5日
	平均		0			
	平年(10年平均)		0			
			(9年平均)			

5月	地区	調査場所	炭疽病		生育状況等	調査月日
			うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	松阪市嬉野川北町1	0	0	蕾	5月8日
			0	0	蕾	5月8日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	玉城町蚊野1	0	0	開花はじめ	5月12日
			0	0	開花はじめ	5月12日
	平均		0	0		
	平年(10年平均)		0	0.05	0.0005	

6月	地区	調査場所	炭疽病		生育状況等	調査月日
			うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	松阪市嬉野川北町1	2	0	果径1.5cm。	6月5日
			2	0	5チャハネ幼虫。	6月5日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	玉城町蚊野1	2	0	0	6月6日
			0	0	0	6月6日
	平均		1.5	0	1.3	
	平年(10年平均)		1.4	0.05	0	

7月	地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カキノヘタムシガ		カメムシ類		生育状況等	調査月日
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	叩き落とし虫数			
									カキノヘタムシガ	カメムシ類		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	松阪市嬉野川北町1	6	0	0	0	4	0	0	0		7月5日
			6	0	0	0	2	0	0	0		7月5日
伊勢志摩	玉城町敢野(定)	玉城町敢野1	0	0	0	0	0	0	0	0	果実径4.5cm。	7月3日
			0	0	0	0	0	0	0	0	果実径4.5cm。	7月3日
	平均		3.0	0	0	0	1.5	0	0	0		
	平年(10年平均)		10.0	0	0	0	0.2	0	0.8	0		

8月	地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カキノヘタムシガ		カメムシ類		備考 生育状況等	調査月日
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	叩き落とし虫数			
									カキノヘタムシガ	カメムシ類		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	松阪市嬉野川北町1	4	0	0	0	0	0	0	0		8月1日
			4	0	0	0	0	0	2	0		8月1日
伊勢	玉城町敢野(定)	玉城町敢野1	0	0	0	0	0	0	0	0		8月4日
			0	0	0	0	0	0	0	0		8月4日
	平均		2.0	0	0	0	0	0	0	0.5		
	平年(10年平均)		8.7	0	0	0	0.7	0	0.03	0		

9月	地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カキノヘタムシガ		カメムシ類		生育状況等	調査月日
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数			
									カキノヘタムシガ	カメムシ類		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	松阪市嬉野川北町1	4	0	0	0	0	0	0	0		9月8日
			2	0	0	0	0	0	0	0		9月8日
伊勢	玉城町敢野(定)	玉城町敢野1	0	0	0	0	0	0	0	0		9月7日
			2	0	0	0	0	0	0	0		9月7日
	平均		2.0	0	0	0	0	0	0	0		
	平年(10年平均)		17.7	0	0	0	1.8	0	0	0.5		

10月	地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病果率(%)	カメムシ類		カキノヘタムシガ 被害果率(%)	生育状況等	調査月日
					被害果率(%)	見取り虫数			
	松阪	松阪市嬉野川北町(定)	4	0	4	0	0	角斑落葉病あり	10月5日
		松阪市嬉野川北町1	4	0	2	0	0	角斑落葉病あり	10月5日
	伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	円星落葉病あり	10月2日
		玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	円星落葉病あり	10月2日
	平均		2.0	0	1.5	0	0		
	平年(10年平均)		19.8	0.3	5.6	0.03	0.05		

ブドウ巡回調査結果

4月	地区	調査場所	黒とう病 発病葉率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
伊勢志摩	玉城町勝田	—	デラウェア			〃
伊 賀	伊賀市森寺(定)	—	安芸クイーン			〃
	伊賀市森寺1	—	巨峰			〃
	伊賀市上ノ庄(定)	—	巨峰			〃
	伊賀市上ノ庄1	—	巨峰			〃
	名張市下小波田1	—	デラウェア			〃
名張市下小波田2	—	巨峰			〃	
	平均		▲			
	平年(8年平均)		—			

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		生育状況等	調査月日
		発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)		
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	5月10日
	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	デラウエア	5月12日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	5月12日
	伊賀市森寺1	0	0	4	0	0	0	巨峰	殺菌剤無処理区。 5月12日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰	5月12日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	0	巨峰	5月12日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	デラウエア	クビアカスカシハ食害痕あり。 5月12日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	巨峰	5月12日
平均		0	0	0.5	0	0	0		
平年(10年平均)		0	0	0.7	0.03	0.003	0		

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		生育状況等	調査月日
		発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	被害率(%)		
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	6月8日
	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	デラウエア	6月16日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	6月7日
	伊賀市森寺1	0	2	0	0	0	0	巨峰	6月7日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰	6月7日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	0	巨峰	6月7日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	デラウエア	6月7日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	巨峰	6月7日
平均		0	0.3	0	0	0	0		
平年(10年平均)		0.05	1.0	0.1	0.0009	0	0		

7月	地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		品 種	生育状況等	調査月日
			発病率(%)	発病葉率(%)	発病率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉			
津	伊勢志摩	津市久居明神町	0	0	0	0	4	0.04	安芸クイーン	袋かけあり。ハダニ類の食害はカンザワハダニ。	7月6日
		玉城町勝田	0	0	8	0.10	0	0	0	デラウェア	袋かけあり。ハダニ類の食害はカンザワハダニ。
伊賀	伊賀市	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		7月7日
		伊賀市森寺1	0	4	0	0	0	0	巨峰	殺菌剤無処理区。マメコガネ食害痕あり。	7月7日
		伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰		7月7日
		伊賀市上ノ庄 1	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋かけ途中。	7月7日
		名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	デラウェア	袋かけあり。	7月7日
		名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋かけあり。マメコガネ食害痕有。区外でべと病確認。	7月7日
平 均		0	0.5	1.5	0.02						
平年(10年平均)		3.9	1.2	1.7	0.03						

8月	地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		チャノキイロアザミウマ 被害総軸率(%)	カメムシ類 寄生率(%)	品 種	備 考 生育状況等	調査月日
			発病率(%)	発病葉率(%)	発病率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉					
津	伊勢志摩	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	0	-	安芸クイーン	マメコガネ、ハスモロコシ一部で確認。	8月2日
		玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	収穫済み。	8月4日
伊賀	伊賀市	伊賀市森寺(定)	2	0	0	0	0	0	0	-	安芸クイーン		8月4日
		伊賀市森寺1	0	4	0	0	0	0	0	-	巨峰	殺菌剤無処理区	8月4日
		伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	-	巨峰		8月4日
		伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	0	0	-	巨峰	園内のクイーンナではべと病やアザミウマ確認。	8月4日
		名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	-	デラウェア	褐斑病あり。園地外御でコナネムシ類食害痕目立つ。	8月4日
		名張市下小波田2	2	0	0	0	2	0.08	0	-	巨峰	褐斑病確認。	8月4日
平 均		0.5	0.5	1.4	11.2	0.3	0.01	4.0	0.1				
平年(10年平均)		9.9	1.4	11.2	0.10	2.7	0.10	(7年平均)	(9年平均)				

9月	地区	調査場所	べと病		黒い病		ハダニ類		チャノキイロ アザミウマ		品種	生育状況等	調査月日
			発病薬率(%)	発生率(%)	発病薬率(%)	発生率(%)	寄生虫数(葉)	被害種軸率(%)	安芸クイーン	アサモントウ卵塊、食害痕あり。			
	津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	有袋、ハズレヨドリ卵塊、食害痕、マコガネ食害確認。	9月4日
	伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	0	0	アサモントウ	収穫済み。	9月8日
		伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	ハズレヨドリ卵塊、食害痕あり。	9月8日
		伊賀市森寺1	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	有袋+ネット。	9月8日
		伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		9月8日
		伊賀市上ノ庄1	2	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		9月8日
		名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	0	アサモントウ	収穫済み。褐斑病散見。	9月8日
		名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	褐斑病散見。	9月8日
		平均	0.3	0	0	0	0	0	0	0			
		平年(10年平均)	9.7	0.7	0.8	0.01	20.5						
							(4年平均)						

10月	地区	調査場所	べと病		黒い病		ハダニ類		品種	生育状況等	調査月日
			発病薬率(%)	発生率(%)	発病薬率(%)	発生率(%)	寄生虫数(葉)	寄生虫数(頭/葉)			
	津	津市久居明神町	0	0	0	0	4	0.08	安芸クイーン	褐斑病確認。	10月4日
	伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	アサモントウ	区外でハダニ確認。	10月2日
		伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	収穫済み。	10月5日
		伊賀市森寺1	0	0	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。褐斑病確認。	10月5日
		伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。一部で褐斑病確認。	10月5日
	伊賀	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。	10月5日
		名張市下小波田1	0	0	0	40	0.96	0	アサモントウ	収穫済み、褐斑病確認。	10月5日
		名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	巨峰	収穫済み。褐斑病目立つ。	10月5日
		平均	0	0	0	5.5	0.13				
		平年(10年平均)	9.5	0.1	0.1	0.8	0.01				

ウメ巡回調査結果

4月	地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等	調査月日
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
津	津市片田中町	0	0	0	0	0	0	14	14	葉未展葉	4月7日	
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0	0	0	8	8	五ヶ所小梅 果実長は約1.5cm。	4月10日	
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	6	6	果実長は約1cm、未展葉。	4月6日	
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	6	6	果実は大豆粒程度。	4月6日	
	平均	0	0	0	0	0	0	8.5	8.5			
	平年(8年平均)	0	0.04	0	0	0	0	14.8	14.8			
			(7年平均)									

5月	地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等	調査月日
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
津	津市片田中町	0	0	0	0.3	0	0	0	14	白加賀 着花少ない。	5月10日	
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0.3	0	0	0	4	五ヶ所小梅 果実2cm程度。	5月9日	
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	南高 着花平年並。	5月11日	
	紀宝町大里	0	0.3	0.6	0	0	0	0	0	南高 着花平年並。	5月11日	
	平均	0	0.07	0.3	0	0	0	4.5	4.5			
	平年(8年平均)	2.6	0.4	0.1	0.3	0	0.3	12.7	12.7			

6月	地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等	調査月日
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
津	津市片田中町	0	0	0	0	0	0	0	4	白加賀 収穫残(区外)で黒星病あり。	6月8日	
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0.9	0	0	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅 収穫済み。ダニ目立つ。	6月9日	
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	南高	6月7日	
	紀宝町大里	0.3	0	0	0	0	0	0	2	南高 果実の区外、葉でかいよう病あり。	6月7日	
	平均	13.1	1.4	0.05	0.6	7.3	7.3					
	平年(8年平均)											

果樹カメムシ類越冬個体数調査

a. チャバネアオカメムシ越冬冬量調査													単位:頭
調査地点\調査年月	2008.3	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	2018.2	10年平均	
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)	3	2	4	0	1	0	1	1	0	0	5	1.2	
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)	0	1	9	0	17	1	13	9	0	0	3	5.0	
松阪市大阿坂町 (広葉樹林)	1	0	0	0	4	1	27	1	0	1	14	3.5	
松阪市小阿坂町 (ヒノキ林)	0	2	6	3	2	2	36	28	0	6	11	8.5	
平均	1.0	1.3	4.8	0.8	6.0	1.0	19.3	9.8	0	1.8	8.3	4.6	
採集地点率(%)	50	75	75	25	100	75	100	100	0	50	100	65.0	
※1地点あたり1㎡範囲内の落葉を3カ所採取し(計3㎡)、捕獲した数を計測。 ※調査は、例年1月～3月に実施。													
b. グサギカメムシ越冬冬量調査													単位:頭
調査地点\調査年月	2008.2	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	2018.1	10年平均	
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)	6	3	14	3	17	1	12	9	7	4	6	7.6	
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)	52	23	174	23	294	8	658	543	46	38	172	185.9	
南伊勢町船越 (カンキツ園)	2	1	33	0	5	0	55	5	4	30	27	13.5	
御浜町志原 (カンキツ園)	0	1	1	0	1	0	3	10	1	0	3	1.7	
平均	15.0	7.0	55.5	6.5	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	52.0	52.2	
採集地点率(%)	75	100	100	50	100	50	100	100	100	75	100	85.0	
※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。 ※例年小屋の設置は10月上旬、1月～2月に回収調査を実施。 ※2008年2月までは志摩市磯部町堀切で調査。以降は、南伊勢町船越に、設置場所を西へ約7km移動して調査。													

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 7月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	0	0%	春先からの低温でハウスについては約1週間遅れている。5月に入ってから雨よけハウス、露地等は晴天に恵まれ生育が進んだが、6月に入って再び低温が続き、全体に1週間程度の遅れとなっている。病害虫については発生は見られない。	7月9日
	伊賀市上之庄2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		7月9日
	伊賀市上之庄3	巨峰	0	0%	0	0%		7月9日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		7月9日
	伊賀市予野2	巨峰	0	0%	0	0%		7月9日
	平均		0.0	0.0%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		1.8 (9)	3.3% (9)	0.9 (9)	1.9% (9)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 8月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	0	0%	ハウス・露地とも1週間程度生育遅れ。降雨量が少ないため病害虫の発生は少ない。収穫時期においてもハウスは1週間遅れのスタートとなった。	8月8日
	伊賀市上之庄2	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	伊賀市予野2	巨峰	0	0%	0	0%		8月8日
	平均		0	0%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		6.4 (9)	12.3% (9)	8.3 (9)	16.5% (9)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 9月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	3	6%	12	24%	春先の低温でハウス・露地とも1週間程度の生育遅れ。収穫時期においても酸抜けが悪く1週間遅れ。8月下旬からべと病・晩腐病が発生している。	9月5日
	伊賀市上之庄2	巨峰	5	10%	10	20%		9月5日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	2	4%	9	18%		9月5日
	伊賀市予野1	巨峰	5	10%	8	16%		9月5日
	伊賀市予野2	巨峰	4	8%	6	12%		9月5日
	平均		3.8	7.6%	9.0	18.0%		
	過去の平均値 (データ数)		11.3 (9)	23.0% (9)	17.7 (6)	25.0% (6)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

(5)茶

茶巡回調査結果(2017年4月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ		チャノミドリ		チャノキイロ		ハマキムシ類		クワシロカイ		チャトゲコナジラミ		備考
		発病枚数	旧葉寄生率(%)	旧葉寄生虫数/葉	たたき落とし虫数	たたき落とし虫数	アザミウマ	たたき落とし虫数	たたき落とし虫数	ガラムシ	雌成虫寄生率(%)	寄生率(%)	寄生度	発生程度		
四日市	水沢町(定)	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	6	28	10.7	少	4月7日	
	水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	52	18.7	少	4月7日	
	水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	64	23.3	少	4月7日	
鈴鹿市	山本町(定)	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	14	6	2.0	少	4月7日	
	山本町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	4.0	少	4月7日	
	山本町2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	14	5.3	少	4月7日	古葉に炭疽病確認
鈴鹿市	山本町3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	28	10.0	少	4月7日	古葉に炭疽病確認
	太森町1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	74	27.3	少	4月7日	
	太森町2	0	2	0.02	0	0	1	0	0	0	10	32	10.7	少	4月7日	
龜山市	太森町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	26	8.7	少	4月7日	
	飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	60	20.7	少	4月5日	
	飯南町粥見2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	20	70	30.0	少	4月5日	
松阪	飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	76	25.3	少	4月5日	
	大台町栢原(定)	0	10	0.86	0	0	0	0	0	0	14	22	7.3	少	4月5日	カンザワハダニは幼虫
	大台町栢原1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	58	19.3	少	4月5日	
伊勢志摩	大台町栢原2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	30	10.0	少	4月5日	たたき落としでカンザワハダニ確認
	度会町棚橋	1	0	0	0	0	0	0	0	0	54	80	32.7	少	4月5日	古葉に炭疽病確認
	度会町牧戸	0	2	0.04	0	0	0	0	0	0	6	90	38.7	少	4月5日	
平均		0.2	1.1	0.05	0	0.06	0.1	0	0.06	0.1	16.7	45.7	16.9	少		
前年(2016年)		0	8.7	0.17	0.7	0.5	0.7	0.06	10.4	42.7	15.9					
前年(10年平均)		2.7	4.0	0.13	0.4	2.5	0.4	0.1	15.0	41.8	18.4					
平年値計算データ数		10	10	10	10	10	10	10	7	10	8					

※チャトゲコナジラミ: 罹葉裏幼虫寄生程度; A: 51頭以上、B: 26頭~50頭、C: 1頭~25頭、E: 0頭
 寄生度 = $\{(A \times 3) + (B \times 2) + (C \times 1)\} / \{3 \times (\text{調査葉数})\} \times 100$
 発生程度のランク分けは右表による

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年5月)

地区	調査場所	炭疽病 発病枚数 枚数/㎡	もち病 新葉寄生 率(%)	カンザワハダニ 新葉寄生 虫数/葉	チャ/ミドリ ヒメヨコバイ たたき殺と し虫数	チャ/キイロ アガミウマ たたき殺と 虫数	チャ/ボソガ 巻葉数/ ㎡	ハマキム シ類 巻葉数/ ㎡	クワシロカ イガラシ 蛹成虫寄 生株率(%)	チャトゴコナジラミ幼虫		調査月日	備考
										寄生率%	発生度		
四日市	四日市市水沢町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日	被覆中
	四日市市水沢町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日	被覆中
	四日市市水沢町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日	被覆中
鈴鹿市	鈴鹿市山本町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日	被覆中
	鈴鹿市山本町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日	被覆中
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	1	0	1	0	2	14	4.7	5月8日	摘採前
鈴鹿市	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	0	0	0	0	36	16.0	5月8日	摘採後
	亀山市大森町1	0	0	0	0	0	2	0	18	54	19.3	5月10日	手摘み後
	亀山市大森町2	0	0	0	0	0	0	0	14	22	7.3	5月10日	摘採後(被覆中につき隣接茶園を調査)
松阪市	松阪市大森町3	0	0	0	0	0	2	0	6	42	14.0	5月10日	摘採前(被覆中につき隣接茶園を調査)
	松阪市飯南町粥見1	0	2	0.02	0	0	0	0	18	42	14.0	5月8日	摘採後
	松阪市飯南町粥見2	0	2	0.02	3	0	0	0	4	44	17.3	5月8日	摘採後
大台町	大台町柳原(定)	0	0	0	0	0	0	0	8	40	13.3	5月8日	摘採後
	大台町柳原1	0	14	0.16	0	0	0	0	10	34	11.3	5月8日	摘採前
	大台町柳原2	0	0	0	0	0	0	0	8	46	16.0	5月8日	摘採前、叩き落としてマダラカサハラハムシ
伊勢志摩	度会町柳橋	0	0	0	1	0	0	0	32	8	2.7	5月8日	摘採前
度会町牧戸	0	2	0.02	0	0	0	0	1	12	62	29.3	5月8日	摘採後
平均		0	1.5	0.02	0.4	0	0.4	0.4	10.5	35.2	13.1		
前年(2016年)		0	4.9	0.15	2.3	0.4	0.6	0.3	1.3	18.3	6.1		
平年(10年平均)		0.1	5.2	0.12	1.0	4.2	0.1	0.08	13.1	40.2	21.6		
データ数		10	10	10	10	10	6	4	10	10	8		7

チャトゴコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※炭疽病、もち病、ハマキムシ類、チャ/ボソガについては、枠調査(1/8㎡×8ヶ所=1㎡)による。
 ※チャトゴコナジラミ混雑幼虫寄生程度：A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
 寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100
 発生程度のランク分けは右表による。

茶巡回調査結果(2017年6月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ		チャノコバハイ		チャノキイロ		ソマグロア		クワシロ		チャトグコナジラミ		備考		
		発病枚数/m ²	発生率(%)	新葉寄生枚数/m ²	新葉寄生率(%)	たつき落し虫数	たつき落し虫数/葉	たつき落し虫数	たつき落し虫数/葉	アザミウマ	ハマキムシ類	チャノホソガ	オカスミカメ	クワシロ	カイガラムシ		寄生度	発生程度
四日市	市水沢町(定)	0	0	0	0.46	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	1.3	少	萌芽~1葉期、古葉に炭疽病
	市水沢町1	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	18	20	7.3	少	0.5萌芽~1葉期、古葉に炭疽病
	市水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	8.0	少	0.5萌芽~1葉期
鈴鹿	市山本町(定)	1	0	2	0.02	1	0	0	0	1	0	0	2	2	4	1.3	少	萌芽前
	市山本町1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	2	6	2.0	少	萌芽前
	市山本町2	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	2	4	1.3	少	0.5萌芽~1葉期
	市山本町3	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3.3	少	1葉期
亀山	市太森町1	0	0	2	0.06	2	0	0	0	2	0	0	0	2	4	1.3	少	1葉期
	市太森町2	0	0	0	0.34	0	0	0	2	1	0	0	0	0	6	2.0	少	萌芽前
	市太森町3	0	0	4	0.06	0	0	0	1	0	0	0	0	4	2	0.7	少	萌芽前
松阪	市飯南町粥見1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	12	4	18	6.0	少	萌芽期
	市飯南町粥見2	0	0	0	0	9	0	4	0	0	0	0	2	2	28	13.3	少	0.5葉期
	市飯南町粥見3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	8	2	24	8.0	少	1葉期	
	大台町栲原(定)	0	0	6	0.08	1	0	0	0	0	1	6	2	2	18	6.0	少	萌芽期、カンザワハダニ天敵を確認
	大台町栲原1	1	0	18	0.36	0	0	4	0	0	0	8	0	0	32	10.7	少	萌芽期
	大台町栲原2	0	0	14	0.32	1	1	1	1	1	0	6	2	22	7.3	少	1葉期、区外でもら病	
伊勢	棚橋	0	0	0	0	10	0	1	0	0	0	6	2	26	8.7	少	0.5葉期	
志摩	度会町牧戸	0	0	4	0.06	0	0	0	1	0	0	12	2	32	14.7	少	0.5葉期	
平均		0.1	0	4.6	0.10	1.7	0.6	0.7	0.3	0.1	3.6	2.8	2.8	15.8	5.7	少		
前年(2016年)		0.1	0	0.8	0.01	5.8	8.8	2.0	0.4	0	17.4	2.1	5.3	1.8				
平年(10年平均)		0.2	0.01	4.0	0.09	1.8	11.2	0.5	0.2	2.9	8.5	7.4	25.9	11.4				
データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	6	10	7	7	6				

※炭疽病、もち病、チャノホソガ、ハマキムシ類、ソマグロアオカスミカメは、株調査(1m²)による。

※チャトグコナジラミ発生程度: A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭

寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100

発生程度のランク分けは右表による。

チャトグコナジラミ幼虫	寄生度	発生程度
81以上	甚	
61~80	多	
41~60	中	
1~40	少	
0	無	

茶巡回調査結果(2017年7月)

地区	調査場所	炭疽病 発病枚数 (当年葉)/ ㎡	もち病 発病枚数 (当年葉)/ ㎡	輪斑病 発病枚数 (当年葉)/ ㎡	寄生葉 率(%)	寄生虫 数/葉	チャノキハダニ たつき落と し虫数	チャノキハダニ たつき落と し虫数	ハマキムシ類 巻葉数 /㎡	チャノホ ソガ 巻葉数 /㎡	ツマヅロカ スミカメ 被害芽数 /㎡	クワシロカイガラムシ 雌成虫寄生 株率(%)	雄成虫寄生 株率(%)	寄生葉 率%	寄生度 %	発生程 度	調査月日	備考
	四日市市水沢町(定)	0	0	0	76	8.94	1	0	0	0	0	6	6	24	8.0	少	7月5日	摘採後、ハダニ多発
	四日市市水沢町1	0	0	1	30	2.12	0	0	0	0	0	24	10	58	19.3	少	7月5日	摘採後
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	28	10	40	13.3	少	7月5日	摘採後
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	8	0.08	1	12	0	0	0	0	0	24	8.0	少	7月5日	摘採後
四日市	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	1	6	0	0	1	0	4	20	6.7	少	7月5日	摘採後
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	26	8.7	少	7月5日	摘採前
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	16	0.54	0	0	0	0	0	0	0	28	9.3	少	7月5日	摘採後
	亀山市太森町1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	18	8	28	9.3	少	7月5日	摘採後
	亀山市太森町2	0	0	1	2	0.02	0	0	0	1	0	20	8	24	8.0	少	7月5日	摘採後(被覆中につき隣接茶園)
	亀山市太森町3	0	0	0	2	0.02	0	0	0	2	1	16	4	38	12.7	少	7月5日	摘採前(被覆中につき隣接茶園)、 ヨモギエダシヤク散見
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	22	7.3	少	6月30日	摘採前
	松阪市飯南町粥見2	0	0	1	0	0	28	45	0	0	0	8	0	74	28.0	少	6月30日	摘採後
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	2	20	0	0	0	44	2	44	14.7	少	6月30日	摘採前
松阪	大台町栃原(定)	0	0	1	2	0.02	1	2	0	0	0	8	0	28	9.3	少	6月30日	摘採後、区外でもち病
	大台町栃原1	0	0	0	2	0.02	1	0	0	0	0	12	2	22	7.3	少	6月30日	摘採後
	大台町栃原2	1	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	12	2	18	6.0	少	6月30日	摘採後
伊勢	度会町牧戸1	0	0	0	2	0.02	5	4	0	0	1	16	18	12	4.0	少	6月30日	摘採前
志摩	度会町牧戸2	0	0	0	6	0.06	0	0	0	0	0	4	4	52	20.0	少	6月30日	摘採前
	平均	0.06	0	0.3	8.3	0.66	2.6	5.1	0	0.3	0.2	12.1	4.3	32.3	11.1	少		
	前年(2016年)	0.6	0.06	0.8	1.0	0.01	1.2	10.7	0.1	0	0.1	3.8	15.1	36.0	14.3			
	平年(10年平均)	2.4	0.01	1.2	0.3	0.007	2.3	17.9	0.1	0.5	1.1	10.4	18.3	42.2	17.6			
	データ数	10	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	7	7		

チャノコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※炭疽病、輪斑病、ホソガ、ハマキムシ類については、株調査(1㎡)による。
 ※クワシロカイガラムシ、雄成虫寄生程度:A:株の1/2以上かつ雌成虫寄生程度:B:株の1/4以上又は枝幹の一部に環状、
 C:枝幹に環状、D:寄生なし、寄生度=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査株数))×100
 ※チャノコナジラミ一葉当たり寄生程度:A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭(調査株数)×100
 寄生度=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査株数))×100

茶巡回調査結果(2017年8月)

地区	調査場所	炭疽病 新葉発 病葉数/m ²	もち病 新葉発 病葉数/m ²	輪斑病 新葉発 病葉数/m ²	カンザワハダニ 寄生率(%)	チャノミドリ 寄生率(%)	チャノミドリ 寄生率(%)	アザミウマ 寄生率(%)	チャノキイロ 寄生率(%)	ハマキムシ 寄生率(%)	ツマクログアオ 寄生率(%)	カスガカメ 寄生率(%)	ヨモギエ 寄生率(%)	ダシヤク 寄生率(%)	クワシロカイガラムシ 寄生率(%)	チャトゲコナジミ幼虫 寄生率(%)	発生 程度	調査月日	備考		
四日市	水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	6	2	4	1.3	少	8月3日 3~4葉期	
四日市	水沢町1	0	0	0	0	5	22	0	0	0	0	0	0	0	0	4	26	8.7	少	8月3日 3~4葉期	
四日市	水沢町2	0	0	0	0	0	36	1	0	0	0	0	0	0	10	2	74	24.7	少	8月3日 1~2葉期	コカクモン成虫
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	2.0	少	8月3日 1~2葉期	
四日市	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	1	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4.0	少	8月3日 2~3葉期	コカクモン成虫多
鈴鹿市	山本町2	0	0	0	0	15	2	0	0	1	0	0	0	0	4	0	16	5.3	少	8月3日 深刈のため隣接茶園調査	4~5葉期
鈴鹿市	山本町3	1	0	0	0	20	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5.3	少	8月3日 4葉期	
亀山市	太森町1	1	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	6	4	10	3.3	少	8月3日 3葉期	区外でシヤクトリムシ
亀山市	太森町2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	10	6	4	1.3	少	8月3日 2葉期		
亀山市	太森町3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	2	4	1.3	少	8月3日 2~3葉期	区外でシヤクトリムシ	
松阪市	飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	24	8.0	少	8月1日 1~2葉期	
松阪市	飯南町粥見2	0	0	0	10	0.50	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	64	21.3	少	8月1日 1~2葉期	旧葉に炭疽病・輪斑病目立つ
松阪市	飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	52	17.3	少	8月1日 1~2葉期	
松阪市	大台町柳原(定)	0	0	0	2	0.02	4	5	0	0	0	0	0	0	14	10	28	9.3	少	8月1日 0.5~1.5葉期	
松阪市	大台町柳原1	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18	6.0	少	8月1日 2~3葉期	アオハハゴロモ多発生
松阪市	大台町柳原2	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	10	16	5.3	少	8月1日 2~4葉期	アオハハゴロモ多発生 叩き落としてカサハラハムシ類確認
伊勢志摩	度会町牧戸1	0	0	0	8	0.18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	40	13.3	少	8月1日 1~3葉期	旧葉に炭疽病・輪斑病目立つ
伊勢志摩	度会町牧戸2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	2	48	16.0	少	8月1日 1~3葉期	旧葉に炭疽病目立つ
平均		0.1	0	0.06	1.1	0.04	3.0	8.9	0.06	0.1	0.06	0.06	0.06	0.06	4.6	3.2	25.7	8.6	少		
前年(2016年)		0.2	0.06	0.3	0.4	0.01	0.6	4.6	0.1	0	0.6	0	0.6	0	9.6	1.7	16.0	6.0			
平年(10年平均)		1.4	0.1	3.1	1.4	0.03	1.1	7.6	0.5	1.1	1.5	0.02	5.4	7.6	23.9	12.4					
データ数		10	5	10	10	10	10	10	10	10	10	6	5	10	10	7					

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノミドリカサカサ、ヨモギエダシヤクについては、枠調査(1m²)による。

※チャトゲコナジミ: 一葉当たり寄生程度(梅毒当年毒葉): A: 51頭以上, B: 26~50頭, C: 1~25頭, E: 0頭

寄生度=[{(A×3)+(B×2)+(C×1)} / (3×(調査葉数))]×100、発生程度は右表によりランク分け

寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年9月)

地区	調査場所	炭疽病		輪斑病		カンザワハダニ	チャノミドリヒメヨコバイ		チャノキヒロアザミウマ		ハマキムシ類		チャノホソガ		クアシロカイガラムシ		チャトゲコナジツミ幼虫		備考
		新葉発病葉数/㎡	新葉発病葉数/㎡	寄生率(%)	寄生虫数(頭/葉)		たたく落とし虫数(頭)	たたく落とし虫数(頭)	寄生率(%)	寄生虫数/㎡	寄生率(%)	寄生虫数/㎡	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	
四日市	四日市市水沢町(定)	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	4	8	2.7	少	9月5日	新梢枯死症散見		
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	4	1.3	少	9月5日				
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	2	10	0	6	12	4.0	少	9月5日					
鈴鹿	鈴鹿市山本町(定)	0	1	0	0	0	0	5	0	4	12	4.0	少	9月6日	新梢枯死症散見				
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	1	1	12	0	2	10	0	0	無	9月5日				
	鈴鹿市山本町2	0	2	0	0	2	15	5	3	2	6	20	6.7	少	9月5日	新梢枯死症散見			
亀山市	鈴鹿市山本町3	0	2	2	0.02	0	0	0	0	4	24	8.0	少	9月6日	新梢枯死症散見				
	亀山市太森町1	1	7	4	0.12	0	0	0	1	0	2	16	5.3	少	9月6日	新梢枯死症散見、シヤトリ被害あるも虫おらず			
	亀山市太森町2	0	2	0	0	0	0	0	18	4	14	18	6.0	少	9月6日	新梢枯死症散見、叩き落としてマダラカサハラハムシ			
松阪	亀山市太森町3	0	2	4	0.04	0	0	0	3	10	14	4.7	少	9月6日	新梢枯死症散見、叩き落としてマダラカサハラハムシ				
	松阪市飯南町粥見1	0	5	0	0	0	1	0	0	6	62	20.7	少	9月4日	新梢枯死症やや多				
	松阪市飯南町粥見2	0	5	0	0	2	1	0	0	2	8	68	24.7	少	9月4日	新梢枯死症やや多、マダラカサハラハムシ被害散見			
大台町	松阪市飯南町粥見3	0	2	0	0	1	1	0	1	0	56	18.7	少	9月4日	新梢枯死症散見				
	大台町栃原(定)	0	2	0	0	1	1	0	0	2	34	11.3	少	9月4日	新梢枯死症散見、マダラカサハラハムシ被害散見				
	大台町栃原1	0	7	6	0.12	0	0	0	0	6	14	6	2.0	少	9月4日	新梢枯死症やや多			
伊勢志摩	大台町栃原2	0	4	0	0	1	0	0	1	6	12	24	8.0	少	9月4日	新梢枯死症散見、叩き落としてマダラカサハラハムシ			
	度会町牧戸1	1	4	12	0.14	6	0	0	0	0	4	26	8.7	少	9月4日	新梢枯死症散見、叩き落としてマダラカサハラハムシ多			
	度会町牧戸2	0	3	0	0	0	1	0	0	0	2	48	16.0	少	9月4日	新梢枯死症散見、三番茶芽切れ葉に輪斑病多数			
平均		0.1	2.8	1.6	0.02	0.8	1.3	1.8	1.5	2.3	6.9	25.1	8.5	少					
前年(2016年)		1.4	1.9	6.6	0.10	2.7	4.4	2.9	0.2	10.2	2.3	28.2	15.6						
10年平均		1.6	3.1	2.2	0.04	1.6	6.9	1.2	3.4	4.2	5.0	17.3	6.4						
データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	8	7						

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、ホソガ、ツマグロアオカスミカメ、ヨモギエダシヤクは、株調査(1㎡)による。

※輪斑病は新梢枯死症を含む。

※チャトゲコナジツミ：寄生率(%) = (A×3) + (B×2) + (C×1) / (3×(調査葉数)) × 100

寄生率(%) = (A×3) + (B×2) + (C×1) / (3×(調査葉数)) × 100

発生程度：右表による。

チャトゲコナジツミ	
寄生率	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2017年10月)

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	カンザワハダニ	チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノボソガ	ツマグロアオカスミカメ	クワシロカイガラムシ	チャトゲコナジラミ幼虫	調査月日	備考		
		発病枚数/m ²	発病枚数/m ²	寄生率(%)	寄生虫数/葉	叩き落し虫数	巻葉数/幼虫数/m ²	巻葉数/幼虫数/m ²	被害葉数/m ²	雄マユ寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生率(%)	発生程度		
四日市	市水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	12	4.0	少	摘採後
四日市	市水沢町1	0	0	0	0	1	0	0	2	4	0	18	6.0	少	摘採後
四日市	市水沢町2	0	0	0	0	2	0	2	1	6	0	6	2.0	少	摘採前
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	0	0	0	3	0	18	8	2	0.7	少	摘採前
四日市	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	1	0	0	20	10	6	2.0	少	摘採後
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	0	0	12	0.12	0	1	0	18	16	12	4	1.3	少	摘採前
鈴鹿	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6	2.0	少	摘採後
亀山市	太森町1	0	0	6	0.10	0	0	11	5	28	2	18	6.0	少	摘採前
亀山市	太森町2	0	0	0	0	1	0	0	13	18	2	14	4.7	少	摘採前
亀山市	太森町3	0	0	10	0.20	1	0	3	1	10	6	6	2.0	少	摘採後
松阪市	飯南町粥見1	0	1	10	0.28	0	0	0	0	16	0	14	4.7	少	摘採後
松阪市	飯南町粥見2	0	0	6	0.24	0	0	0	0	38	10	38	12.7	少	摘採後
松阪市	飯南町粥見3	0	0	2	0.02	0	0	0	0	12	4	32	10.7	少	摘採後
大阪	大台町柳原(定)	0	0	2	0.06	0	0	1	0	26	8	4	1.3	少	摘採前、マダラカサハラハムシ確認
大台町	柳原1	0	0	34	1.48	1	0	0	0	28	8	2	0.7	少	摘採前
大台町	柳原2	0	0	10	0.40	0	0	0	0	24	12	0	0	無	摘採後
伊勢志摩	度会町牧戸1	1	10	0	0	0	0	1	0	4	2	26	8.7	少	摘採前、マダラカサハラハムシ確認、旧葉に炭疽病
伊勢志摩	度会町牧戸2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	2.0	少	摘採前
平均		0.06	0.6	5.1	0.16	0.3	0.06	0.3	0.8	15.7	4.9	11.9	4.0	少	
前年(2016年)		0.1	1.7	0.2	0	1.2	0.2	0	2.3	8.0	1.4	22.8	10.5		
平年(10年平均)		2.0	2.0	1.1	0.02	1.2	2.9	0.05	3.4	11.0	3.0	20.5	10.0		
データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	6	10	10	9	8	

※炭疽病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノボソガについては、幹調査(m²)による。

※チャトゲコナジラミ、寄生程度：稲葉当年春葉～前年最終葉一葉当たり：A:51頭以上、B:26～50頭、C:1～25頭、E:0頭、

寄生率=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100

発生程度：右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生率	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶巡回調査結果(2018年3月)

地区	調査場所	カンザワハダニ		クワシロカイ ガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫		調査月日	備考
		寄生葉率 (%)	寄生虫数/ 葉	雌成虫寄生 株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生度	発生程度		
四日市	四日市市水沢町(定)	2	0.02	4	24	8.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
	四日市市水沢町1	6	0.18	4	14	4.7	少	3月6日	
	四日市市水沢町2	8	0.16	0	10	4.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
鈴鹿	鈴鹿市山本町(定)	0	0	4	16	5.3	少	3月6日	
	鈴鹿市山本町1	0	0	16	12	4.0	少	3月6日	
	鈴鹿市山本町2	20	1.12	10	6	2.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
亀山	鈴鹿市山本町3	0	0	2	8	2.7	少	3月6日	
	亀山市太森町1	0	0	0	14	4.7	少	3月6日	
	亀山市太森町2	0	0	10	4	1.3	少	3月6日	
松阪	亀山市太森町3	4	0.08	30	4	1.3	少	3月6日	
	松阪市飯南町粥見1	4	0.16	2	10	3.3	少	3月7日	
	松阪市飯南町粥見2	2	0.02	2	26	11.3	少	3月7日	
大台町	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	14	4.7	少	3月7日	
	大台町栃原(定)	0	0	8	8	2.7	少	3月7日	
	大台町栃原1	8	0.14	12	4	1.3	少	3月7日	
伊勢 志摩	大台町栃原2	0	0	10	10	3.3	少	3月7日	
	度会町牧戸1	0	0	0	18	6.0	少	3月7日	荒廃茶園化の始まり
	度会町牧戸2	0	0	0	18	6.0	少	3月7日	
平均		3.0	0.10	6.3	12.2	4.3	少		
前年(2017年)		0.8	0.02	5.6	34.4	12.2			
平年(10年平均)		1.3	0.03	12.7	42.3	16.2			
データ数		10	10	10	8	7			

※チャトゲコナジラミ罹染幼虫寄生程度;
A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
寄生度 = $(3 \times NA + 2 \times NB + 1 \times NC) / (3N) \times 100$
発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

広域防除員報告(茶)

調査方法

1圃場あたり炭疽病は1㎡を調査(1/8㎡枠調査×10カ所)
 カンザワハダニは50葉の寄生葉率、寄生頭数を調査。
 新葉がない場合は、旧葉を調査する。
 生育状況、特記事項等を記録する。

調査結果

調査地点:松阪市飯南町粥見藤ヶ瀬 榎田川左岸下流(魚瀬橋付近)10圃場

調査日	平成30年5月9日						調査日	平成30年7月5日							
対象 病害 虫	カンザワハダニ					炭疽病	備 考	対象 病害 虫	カンザワハダニ					炭疽病	備 考
	圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生 葉率 (%)				発病葉 数(枚 /㎡)	圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数		
	1	0	0	0	0	0		1	0	0	0	0	1		
	2	0	0	0	0	0		2	0	0	0	0	2		
	3	7	0.14	5	10	0		3	0	0	0	0	0		
	4	6	0.12	5	10	0		4	0	0	0	0	2		
	5	0	0	0	0	0		5	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0		6	0	0	0	0	0		
	7	2	0.04	2	4	0		7	0	0	0	0	0		
	8	0	0	0	0	0		8	0	0	0	0	3		
	9	0	0	0	0	0		9	0	0	0	0	0		
	10	0	0	0	0	0		10	0	0	0	0	2		
平均	1.5	0.03	1.2	2.4	0		平均	0	0	0	0	1.0			
6年平均	1.8	0.04	0.6	1.2	0		6年平均	1.0	0.02	0.6	1.2	11.3			
生育状況等 一番茶収穫はすでに始まっている。ここ1週間ぐらいで終えるであろう。 「チャトゲジラミ」が多数発生している。 圃場によりチャノキイロアザミウマ少々発生。 ウスミドリメクラガメによる被害葉が見られた。							生育状況等 二番茶刈取り前後。 全体的にチャトゲジラミ、クワシロカイガラムシ多数。								

イチゴ親株表《2018年9月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		うどんこ病		葉黄病		ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン	コナジラミ類		備考	その他					
			発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生個体	寄生株率 (%)	発生個体	寄生株率 (%)	発生個体	成虫寄生株率 (%)			蛹寄生株率 (%)	品種	栽培形式		
津	津市赤津町榎本	9月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	かおり野	露地・ベンチ		
	津市一志町石橋	9月12日	0	0	80	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	かおり野	露地・ベンチ		
松阪	松阪市曾原町	9月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ		
	松阪市藤原権現前町	9月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ		
	松阪市藤之木町	9月11日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・地床		
	松阪市新開町	9月11日	0	0	0	0	2	0.5	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	露地・地床	
伊勢	玉城町岩出	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	区外:葉黄病確認	
	伊勢市小浜町元町	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	区外:葉黄病確認
志摩	玉城町勝田	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	鳥羽市聖神町	9月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・地床	
	志摩市磯部町栗木広	9月11日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・地床	
平均			0	0	7.3	0.5	0.1	0.5	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			0.4	0.06	0.5	3.9	1.3	0.8	0.2	0.6	0.05	0.09										

イチゴ《2018年10月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		うどんこ病		葉黄病		ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン	コナジラミ類		備考	その他					
			発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生個体	寄生株率 (%)	発生個体	寄生株率 (%)	発生個体	成虫寄生株率 (%)			蛹寄生株率 (%)	品種	栽培形式		
津	津市赤津町榎本	10月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	80	20.0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕		
	津市一志町石橋	10月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	2.5	2	0	0	0	0	0	0	ベンチ	ドクダミ、シヤクダミ類	
	津市霊出長常町	10月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	ベンチ	H30.10~新採種
松阪	松阪市曾原町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	松阪市藤原権現前町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	松阪市藤之木町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・土耕	
	松阪市新開町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
伊勢	玉城町岩出	10月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	20	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	伊勢市小浜町元町	10月10日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	区外:アブラムシ類確認
	玉城町勝田	10月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	ロウムシ類食害が多い
志摩	鳥羽市聖神町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	株元に露が発生
平均			0	0	0.2	0	0	0	9.3	2.3	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			0.4	0.2	0.3	6.8	2.4	3.1	1.0	2.3	0	0										

イチゴ《2018年11月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		うどんこ病		葉黄病		ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン	コナジラミ類		備考	その他					
			発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生個体	寄生株率 (%)	発生個体	寄生株率 (%)	発生個体	成虫寄生株率 (%)			蛹寄生株率 (%)	品種	栽培形式		
津	津市赤津町榎本	11月8日	0	0	2	0	0	0	0	0	90	52.5	0	0	0	0	0	0	0	0	土耕	
	津市一志町石橋	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	収穫多い
	津市霊出長常町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	H30.10~新採種、区外:アブラムシ類
松阪	松阪市曾原町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	タバコガキ類(花食が多い)
	松阪市藤原権現前町	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	松阪市藤之木町	11月6日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・土耕	
	松阪市新開町	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
伊勢	玉城町岩出	11月9日	0	0	2	0	0	0	0	70	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	伊勢市小浜町元町	11月9日	0	0	2	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	玉城町勝田	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
志摩	鳥羽市聖神町	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
平均			0	0	0.5	0.2	0.04	13.5	6.5	0.3	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			0.3	0.7	0.3	9.0	3.3	2.4	0.7	0.3	0.08	0										

イチゴ《2018年12月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		葉黄病		ハダニ類		アブラムシ類		ハスモン	コナジラミ類		備考	その他					
			発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	発病果率 (%)	寄生株率 (%)	発生個体	寄生株率 (%)	発生個体	寄生株率 (%)	発生個体	成虫寄生株率 (%)			蛹寄生株率 (%)	品種	栽培形式		
津	津市赤津町榎本	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	津市一志町石橋	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	津市霊出長常町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	露地・土耕
松阪	松阪市曾原町	12月4日	0	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	露地・土耕
	松阪市藤原権現前町	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	松阪市藤之木町	12月4日	0	0	0	0	10	6.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・土耕	
	松阪市新開町	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	区外:アブラムシ類確認
伊勢	玉城町岩出	12月5日	0	0.5	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	ナナシ類(アブラムシ類由来)
	伊勢市小浜町元町	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	2	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	玉城町勝田	12月6日	0	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	天敵確認
志摩	鳥羽市聖神町	12月6日	0	0	0	0	8	4.0	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	12月6日	0	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	露地・ベンチ	
平均			0	0.9	0	0	1.8	1.0	0.7	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			0.4	0.2	0.8	0.3	12.5	5.2	2.3	0.6	0.1	0.05										

イチゴ 《2019年1月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式
津	津市芸濃町椋本	1月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	菌核病確認
	津市一志町石橋	1月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	小動物の食害確認
	津市雲出長常町	1月9日	6	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	菌核病確認
松阪	松阪市曾原町	1月11日	0	0.6	0	0	2	1.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	松阪市總府権現前町	1月11日	10	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	菌核病確認
	松阪市藤之木町	1月11日	0	0	0	0	50	37.5	0	0	0	0	章姫	土耕	天敵確認
	松阪市新開町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
伊勢 志摩	玉城町岩出	1月7日	10	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
	伊勢市小保町元町	1月7日	0	0.6	0	0	2	1.5	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	十才病確認、天敵確認
	玉城町藤田	1月7日	0	0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認
	鳥羽市聖神町	1月17日	0	0.6	0	0	20	12.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	1月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平均			2.2	0.8	0	0	6.7	4.5	0	0	0	0			
平 年(10年平均)			0.7	0.4	1.0	0.03	16.5	7.9	0.5	0.1	0.1	0.1			

イチゴ 《2019年2月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式
津	津市芸濃町椋本	2月6日	0	0.6	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
	津市一志町石橋	2月6日	4	0	0	0	10	5.0	2	0.5	0	0	かおり野	ベンチ	
	津市雲出長常町	2月6日	2	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	天敵6日 捕殺網、天敵確認できず
松阪	松阪市曾原町	2月6日	0	0	0	0	6	3.6	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	松阪市總府権現前町	2月6日	0	2.5	0	0	2	0.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	松阪市藤之木町	2月6日	0	0	0	0	30	16.0	0	0	0	0	章姫	土耕	天敵の捕殺網い
	松阪市新開町	2月6日	0	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
伊勢	玉城町岩出	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	F4次芝生の深い散見
	伊勢市小保町元町	2月4日	2	1.0	0	0	2	2.0	2	0.5	0	0	かおり野	ベンチ	菌核病確認
	玉城町藤田	2月4日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認
志摩	鳥羽市聖神町	2月4日	0	0.6	0	0	40	30.0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	2月4日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平均			0.7	0.4	0	0	8.2	4.9	0.3	0.08	0	0			
平 年(10年平均)			1.4	0.6	0.7	0.06	17.7	7.6	1.0	0.3	0.6	0.2			

イチゴ 《2019年3月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考			
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	3月4日	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	菌核病確認	
	津市一志町石橋	3月4日	4	5	0	0	10	6.0	2	0.5	0	0	かおり野	ベンチ		
	津市雲出長常町	3月4日	2	1	0	0	2	0.5	0	0	0	0	3	かおり野	ベンチ	ヒズハナアザミマ
松阪	松阪市曾原町	3月8日	0	0	0	0	10	2.6	0	0	0	0	1	章姫	ベンチ	ヒズハナアザミマ
	松阪市總府権現前町	3月8日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	章姫	ベンチ	ヒズハナアザミマ
	松阪市藤之木町	3月8日	0	0	0	0	10	5.0	0	0	0	0	1	章姫	土耕	ヒズハナアザミマ
	松阪市新開町	3月8日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	1	かおり野	土耕	ヒズハナアザミマ
伊勢	玉城町岩出	3月5日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	かおり野	ベンチ	ヒズハナアザミマ
	伊勢市小保町元町	3月5日	40	10	0	0	2	0.6	2	0.5	0	0	0	かおり野	ベンチ	
	玉城町藤田	3月5日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	章姫	ベンチ	ヒズハナアザミマ
志摩	鳥羽市聖神町	3月6日	2	0	0	0	30	15.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵(多)
	志摩市磯部町栗木広	3月6日	0	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平均			4.7	1.6	0	0	6.2	2.7	0.5	0.1	0	0	0.8			
平 年(10年平均)			3.0	0.7	0.3	0.04	15.4	7.2	0.8	0.3	0.6	0.2	2.6			

2. トマト

トマト 《2018年5月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率(%)	葉かび病 発病株率(%)	すすかび病 発病株率(%)	黄化葉巻病 発病株率(%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 寄生率(%)	タバコ コナジラミ 寄生率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率(%)	アブラ ムシ類 寄生株率(%)	備考		
							葉発病株率(%)	果実発病株率(%)						品種	定植時期
桑名	木曾町町原緑輪中	5月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎はるか	1月24日	
	木曾町町見入	5月10日	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	うどんこ病確認
	桑名市長島町	5月10日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	TVみそら66	9月29日	うどんこ病確認
四日市	四日市市貝家町	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	うどんこ病確認(多)
	松阪市總府一志町	5月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごぼうび	1月12日	
伊勢	明和町佐田	5月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	ハウス桃太郎	9月1日	
	伊勢市小保町相合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	9月1日	収穫終了
平均			0	0	0	0	0.3	0.7	0	0	0.3	0			
平 年(10年平均)			0	8.4	2.4	1.4	16.3	1.7	0.03	0.9	4.3	0.09			

トマト 《2018年9月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	品種	定植時期
	木曾町源線輪中	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月10日	黄色粘着病;コナジラミ類被害
桑名	木曾町見入	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	オンシツコナジラミ成虫確認(約1~2頭/株)、区外:黄化葉巻病あり
	桑名市長島町	9月3日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	桃太郎プレミアム	未定植	
四日市	四日市市員家町	9月3日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	TYみそら86	未定植	
松阪	松阪市膳所一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植	
	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごぼりび	未定植	
伊勢	伊勢市小俣町相合	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平年(9年平均)		0	0	0.9	0.03	0	0	0	0.08	0.1	0.2			

トマト 《2018年10月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	品種
	木曾町源線輪中	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月10日	
桑名	木曾町見入	10月11日	0	0	0	60	0	0	10	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	
	桑名市長島町	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎ネクスト	10月10日	定植直後
四日市	四日市市員家町	10月11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	TYみそら86	未定植	
松阪	松阪市膳所一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植	
	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごぼりび	未定植	
伊勢	伊勢市小俣町相合	10月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	ハウス桃太郎	9月2日	
	平均		0	0	0	15.0	0	0	2.5	0	0	0			
	平年(10年平均)		0	0	0.8	0.5	0	0	0.2	0.7	0	0.04			

トマト 《2018年11月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	品種
	木曾町源線輪中	11月5日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月10日	1月再定植予定	
桑名	木曾町見入	11月5日	0	0	0	30	0	0	0	60	0	0	0	2	CFハウス桃太郎	8月16日	すす病確認
	桑名市長島町	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎ネクスト	10月10日	
四日市	四日市市員家町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら86	10月下旬	タバココナジラミ成虫確認
松阪	松阪市膳所一志町	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	ハウス桃太郎	育苗苗	
	明和町佐田	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごぼりび	育苗苗	
伊勢	伊勢市小俣町相合	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	
	平均		0	0	0	4.6	0	0	0	8.6	0.3	0	0	0.3			
	平年(10年平均)		0	0.8	0.7	0.9	0.09	0.06	0	0.03	1.1	3.3	0	0.2	0.07		

トマト 《2018年12月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)
	木曾町源線輪中	12月7日	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月10日	
桑名	木曾町見入	12月7日	0	0	0	40	10	0	0	10	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	
	桑名市長島町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎ネクスト	10月10日	
四日市	四日市市員家町	12月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	TYみそら86	10月下旬	農薬散布直後で被害の恐れがあり調査中止
松阪	松阪市膳所一志町	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	ハウス桃太郎	育苗苗	
	明和町佐田	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	ごぼりび	育苗苗	1月中旬定植予定
伊勢	伊勢市小俣町相合	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	
	平均		0	0	1.7	6.7	1.7	0	0	1.7	0.7					
	平年(10年平均)		0	0.2	8.1	1.2	1.8	0.08	0.09	0.2	0.9					

トマト 《2019年1月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)	発生株率 (%)
	木曾町源線輪中	1月10日	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	11月上旬	ほ場変更
桑名	木曾町見入	1月10日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月5日	ほ場変更
	桑名市長島町	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎ネクスト	10月10日	
四日市	四日市市員家町	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら86	10月下旬	
松阪	松阪市膳所一志町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	ハウス桃太郎	12月中旬	
	明和町佐田	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごぼりび	12月下旬	
伊勢	伊勢市小俣町相合	1月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	うどんこ病確認(軽微)
	平均		0	0	0	0.9	0	0	0	0	0	0	1.4			
	平年(10年平均)		0	5.5	7.6	0.6	5.6	0.06	0.03	0.7	0.5					

トマト 《2019年2月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツ コナジラミ	タバコ コナジラミ	ハモグリ バエ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)	雌寄生 率率 (%)	雄寄生 率率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾町源藤輪中	2月7日	0	0	0	4	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月上旬	
	木曾町見入	2月7日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月5日	黄色巻葉症:コナジラミ類確認
	桑名市長島町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	うどんこ病確認(微)
四日市	四日市市員家町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	T109	9月29日	黄化病疑い、すすかび病(微)
松阪	松阪市藤野一志町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	生育遅延あり
	明和町佐田	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	ごほうび	1月12日	
伊勢	伊勢市小原町相合	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	うどんこ病確認(微)
平均			0	0	0	0.9	0	0	0	0	0	0.3		
平 年(10年平均)			0.03	5.7	5.9	0.5	6.1	0.4	0.03	0.9	1.5			

トマト 《2019年3月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツ コナジラミ	タバコ コナジラミ	ハモグリ バエ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)	雌寄生 率率 (%)	雄寄生 率率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾町源藤輪中	3月8日	0	0	0	4	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月上旬	
	木曾町見入	3月8日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月5日	区外、コナジラミ類確認
	桑名市長島町	3月8日	0	0	2	0	2	2	0	0	0	桃太郎プレミアム	10月7日	
四日市	四日市市員家町	3月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	T109	9月29日	黄化病疑い、確認
松阪	松阪市藤野一志町	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	下葉に葉巻症状確認
	明和町佐田	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月12日	
伊勢	伊勢市小原町相合	3月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
平均			0	0	0.9	0.6	0.3	0.3	0	0	0	0		
平 年(10年平均)			0.05	5.8	0.5	0.07	5.2	0.4	1.1	0.6	0.03			

3.ハクサイ

ハクサイ 《2018年9月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ	ヨトウガ	ハスモン ヨトウ	モンシロ チョウ	備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	生育状況
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	四日市市水沢町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	瀬野町千草	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	鈴鹿市園分町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
津	津市一志町美村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	津市一志町高野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
松阪	明和町志貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	多気町丹生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
平均			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
平 年(8年平均)			0	0	0	0	0	2.2	0	0	0.7	0.1	0			
果予農産 松阪市藤野川北町(管内)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	

ハクサイ 《2018年10月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白腐病		べと病	アブラムシ類	コナガ	ヨトウガ	ハスモン ヨトウ	モンシロ チョウ	備考						
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他		
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町1	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月中旬	生育期		
	四日市市下海老1	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月中旬	生育期	フタスジレハムシ類確認	
	四日市市下海老2	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	信州大福	9月中旬	生育期	シロイテモノヨトウ類確認	
	瀬野町千草	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	-	未定植		
津	鈴鹿市園分町1	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月中旬	生育期	欠株5%程度	
	鈴鹿市園分町2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬月	9月中旬	生育期	欠株1%程度	
	津市一志町藤村	10月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月中旬	生育期		
	津市一志町高野	10月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴貴85	9月中旬	生育期		
松阪	津市須久瀬町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	明和町志貴	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月中旬	生育期		
	多気町丹生	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月中旬	生育期		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
平 年(10年平均)			0.5	0.3	3.6	0.9	0.1	1.4	0.2	0.002	0.1	0.6	0.4 (4年平均)	0.09					
果予農産 松阪市藤野川北町(管内)			10月6日	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	晴貴80	9月20日	生育期	

冬キャベツ 《2018年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考	その他				
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	被害総数 (頭/株)												
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月中旬	生育期	区外:黒腐病確認、しおれ被害見		
	四日市市下海老町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬親方	9月中旬	生育期			
	四日市市中野町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月中旬	生育期			
	鈴鹿市国府町1	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	輝風	8月28日	生育期	株腐病確認(約1割程度発生)		
	鈴鹿市国府町2	11月7日	40	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬産	8月28日	収穫終了	根にぶ病発生:未発生	
	津市芸濃町椋本	11月8日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月中旬	生育期		
津	津市北河路町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬産	9月7日	生育期		
	津市久居野口町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月16日	生育期	タバコガ幼虫被害:葉の上で多数確認	
	津市新家町(久居)	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝みさき	10月12日	生育期	欠稼2%程度確認	
	松阪 松阪市郷野森本町	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬産	9月26日	生育期		
伊勢 玉城町岡出	11月9日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	9月中旬	生育期	区外:黒腐病確認	
平均		4.0	1.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2			
平均(10年平均)		6.7	1.8	0.4	5.6	2.0	0.7	0.009	1.2	0.01	0.9	0.9	0.2	(4年平均)								
果予察ほ	松阪市郷野川北町(場内)	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0	0	0	0	0	0	0	夢ごろも	9月20日	生育期	

冬キャベツ 《2018年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		コナガ		アブラムシ類		根こぶ病		備考	その他								
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	寄生度	発病株率 (%)	品種			定植時期	生育状況						
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	12月6日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月中旬	生育期							
	四日市市下海老町	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬親方	9月中旬	生育期							
	四日市市中野町	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月中旬	生育期							
	鈴鹿市国府町1	12月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	輝風	8月28日	収穫終了	調査終了						
	鈴鹿市国府町2	12月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	冬産	8月28日	収穫終了	調査終了						
	津市芸濃町椋本	12月6日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月中旬	生育期						
津	津市北河路町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬産	9月7日	生育期	鳥害確認		
	津市久居野口町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月16日	生育期	生育不順(凍害)		
	津市新家町(久居)	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝みさき	10月12日	生育期	生育遅延確認		
	松阪 松阪市郷野森本町	12月4日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬産	9月26日	生育期		
伊勢 玉城町岡出	12月6日	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	9月中旬	生育期		
平均		0.7	0.2	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0										
平均(10年平均)		8.4	2.6	1.2	0.6	0.008	0.6	0.2	1.0	(4年平均)	(4年平均)											
果予察ほ	松阪市郷野川北町(場内)	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢ごろも	9月20日	生育期	

冬キャベツ 《2019年1月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		その他
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	1月8日	0	夢舞台	9月中旬	収穫期	
	四日市市下海老町	1月8日	-	冬親方	9月中旬	生育期	
	四日市市中野町	1月8日	-	夢舞台	9月中旬	生育期	菌核病確認
	鈴鹿市国府町1	12月6日	0	輝風	8月28日	収穫済み	
	鈴鹿市国府町2	12月6日	0	冬産	8月28日	収穫済み	
	津市芸濃町椋本	1月9日	0	松波	8月中旬	収穫期	菌核病確認
津	津市北河路町	1月9日	0	冬産	9月7日	収穫期	
	津市久居野口町	1月9日	-	松波	9月15日	生育期	
	津市新家町(久居)	1月9日	-	輝みさき	10月12日	生育期	
	松阪 松阪市郷野森本町	1月11日	0	冬産	9月26日	収穫期	
伊勢 玉城町岡出	1月7日	0	TCA-517	9月中旬	収穫期		
平均		0					
平均(10年平均)		1.2					
果予察ほ	松阪市郷野川北町(場内)	1月10日	-	夢ごろも	9月20日	生育期	

冬キャベツ 《2019年2月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		その他
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	1月8日	0	夢舞台	9月中旬	収穫期	
	四日市市下海老町	2月7日	0	冬親方	9月中旬	収穫期	株腐病確認
	四日市市中野町	2月7日	-	夢舞台	9月中旬	収穫初期	
	鈴鹿市国府町1	12月6日	0	輝風	8月28日	収穫済み	
	鈴鹿市国府町2	12月6日	0	冬産	8月28日	収穫済み	
	津市芸濃町椋本	1月9日	0	松波	8月中旬	収穫期	菌核病確認
津	津市北河路町	1月9日	0	冬産	9月7日	収穫期	
	津市久居野口町	2月5日	0	松波	9月15日	収穫期	
	津市新家町(久居)	2月5日	-	輝みさき	10月12日	生育期	
	松阪 松阪市郷野森本町	1月11日	0	冬産	9月26日	収穫期	
伊勢 玉城町岡出	1月7日	0	TCA-517	9月中旬	収穫期		
平均		0					
平均(10年平均)		1.2					
果予察ほ	松阪市郷野川北町(場内)	2月6日	-	夢ごろも	9月20日	生育期	

冬キャベツ 《2019年3月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病			備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市平尾町	1月8日	0	夢舞台	9月中旬	収穫期		
	四日市市下海老町	2月7日	0	冬親方	9月中旬	収穫期	株腐病確認	
	四日市市中野町	3月7日	0	夢舞台	9月中旬	収穫初期		
鈴鹿	鈴鹿市国府町1	12月6日	—	輝風	8月28日	収穫済み		
	鈴鹿市国府町2	12月6日	—	冬藍	8月28日	収穫済み		
津	津市芸濃町椋本	1月9日	0	松波	8月中旬	収穫期	菌核病確認	
	津市北河路町	1月9日	0	冬藍	9月7日	収穫期		
	津市久居野口町	2月5日	0	松波	9月15日	収穫期		
	津市新家町(久居)	3月4日	0	輝みさき	10月12日	生育期	菌核病確認(多)	
松阪	松阪市緑野森本町	1月11日	0	冬藍	9月25日	収穫期		
伊勢	玉城町岡出	1月7日	0	TCA-517	9月中旬	収穫期		
平均			0					
平 年(10年平均)			1.2					
県予察ほ	松阪市緑野川北町(場内)	3月5日	—	夢ごろも	9月20日	生育期		

5.春キャベツ

春キャベツ 《2018年4月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市	四日市市平尾町	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	石井中早生	11月26日	生育期	
	鈴鹿	四日市市平尾町2	4月9日	0	0	0	0	0	0	若女将	11月15日	生育期	欠採約1%程度確認
津	津市川方町1(久居)	4月5日	4	0	0	2	0.02	0	0	味春	12月5日	生育期	
	津市川方町2(久居)	4月7日	0	0	0	4	0.04	0	0	味春	12月28日	生育期	モンシロチョウ卵確認
	津市新家町1(久居)	4月7日	0	0	0	2	0.02	0	0	輝みさき	12月1日	生育期	モンシロチョウ卵確認
	津市新家町2(久居)	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	味春	12月1日	生育期	コナガ確認
平均			0.7	0	0	1.3	0.01	0	0				
平 年(10年平均)			1.9	4.7	1.2	0.2	0.002	0.1	0.001				
県予察ほ	松阪市緑野川北町(場内)	4月10日	0	0	0	6	0.06	0	0	若女将	11月17日	生育期	モンシロチョウ卵確認

春キャベツ 《2018年5月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病			備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市平尾町1	5月7日	—	石井中早生	12月10日	耕起済み		
	鈴鹿	四日市市平尾町2	5月7日	—	若女将	12月9日	生育期	
津	津市川方町1(久居)	5月9日	—	味春	11月中旬	生育期		
	津市川方町2(久居)	5月9日	—	味春	11月中旬	生育期		
	津市新家町1(久居)	5月9日	—	輝みさき	11月中旬	耕起済み		
	津市新家町2(久居)	5月9日	0	味春	11月中旬	収穫期		
平均			0					
平 年(10年平均)			0					
県予察ほ	松阪市緑野川北町(場内)	5月11日	—	若女将	11月17日	生育期		

春キャベツ 《2018年12月》

地区	調査場所	調査月日	アブラムシ類		コナガ		備考		
			寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況
四日市	四日市市平尾町1	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	鈴鹿	四日市市平尾町2	-	-	-	-	-	-	未定植
津	津市川方町1(久居)	12月7日	0	0	0	0	味春	11月中旬	定植期
	津市川方町2(久居)	12月7日	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期
	津市新家町1(久居)	12月7日	0	0	0	0	味春	11月下旬	定植期
	津市新家町2(久居)	12月7日	0	0	0	0	味春	12月上旬	定植期
平均			0	0	0	0			
平 年(10年平均)			2.6	0.7	0.1	0.001			
県予察ほ	松阪市緑野川北町(場内)	12月6日	0	0	0	0	味春	11月20日	生育期

春キャベツ 《2019年1月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市	四日市市下海老町	1月8日	0	0	0	0	0	0	石井中早生	生育期	
	四日市市赤水	1月8日	0	2	0.5	0	0	0	若女将	生育期	
津	津市川方町1(久居)	1月9日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期
	津市川方町2(久居)	1月9日	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期
	津市新家町1(久居)	1月9日	0	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期 鳥の食害確認
	津市新家町2(久居)	1月9日	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期 鳥の食害確認
	平均		0	0.3	0.08	0	0	0			
平年(10年平均)			0	1.4	0.4	0.1	0.001				
県子寮ほ	松阪市羅野川北町(場内)	1月10日	0	0	0	0	0	0	味春	11月20日	生育期

春キャベツ 《2019年2月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市	四日市市下海老町	2月7日	0	0	0	0	0	0	石井中早生	11月中旬	生育期 生育遅延株散見
	四日市市赤水	2月7日	0	0	0	0	0	0	若女将	11月中旬	生育期
津	津市川方町1(久居)	2月5日	0	0	0	2	0.02	0	味春	11月中旬	生育期
	津市川方町2(久居)	2月5日	0	2	0.5	0	0	0	味春	12月上旬	生育期
	津市新家町1(久居)	2月5日	0	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期 鳥の食害確認
	津市新家町2(久居)	2月5日	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期 鳥の食害確認
	平均		0	0.3	0.08	0.3	0.003				
平年(10年平均)			0	3.1	0.8	0.04	0.001				
(9年平均)											
県子寮ほ	松阪市羅野川北町(場内)	2月6日	0	4	1.0	0	0	0	味春	11月20日	生育期

春キャベツ 《2019年3月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市	四日市市下海老町	3月7日	0	0	0	0	0	0	石井中早生	11月中旬	生育期
	四日市市赤水	3月7日	0	0	0	0	0	0	若女将	11月中旬	生育期
津	津市川方町1(久居)	3月4日	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期
	津市川方町2(久居)	3月4日	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期 黄化株散見
	津市新家町1(久居)	3月4日	2	0	0	0	0	0	味春	11月下旬	生育期 株腐病確認
	津市新家町2(久居)	3月4日	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期
	平均		0.3	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			1.0	1.2	0.3	0.03	0.001				
県子寮ほ	松阪市羅野川北町(場内)	3月5日	0	0	0	0	0	0	味春	11月20日	生育期

6.青ネギ

青ネギ 《2018年4月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジロトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミクマ	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)
松阪	松阪市柿原町	4月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫終了
伊勢	伊勢市東豊浜町	4月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	ネギアザミクマ成虫確認
	伊勢市小俣町1	4月4日	0	0	2	0.5	2	0.5	0	0	0	0	0	0	60cm	
	伊勢市小俣町2	4月4日	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	3.3	0	30cm	
	平均		0	0	0.7	0.2	0.7	0.2	0	1.1	0	0	1.1			
平年(10年平均)			0.06	0.01	6.8	1.9	2.7	0.7	0.1	0	0	0.1	1.2			
(2年平均)																
県子寮ほ	松阪市羅野川北町(場内)	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	30cm		

青ネギ 《2018年5月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミクマ	備考
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	
松阪	松阪市柿木原町1	5月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫終了
	伊勢市東豊浜町1	5月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	1.3	50cm
	伊勢市小保町1	5月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	40cm
	伊勢市小保町2	5月11日	0	0	0	0	0	2	5.0	0	0	0.7	0	40cm
平均			0	0	0	0	0.7	1.7	0	0	0	0.7	0.4	
平年(10年平均)			0	0	4.5	1.2	0	0	0.3	0.03	0.04	6.9	23.1	
県予察注	松阪市膳野川北町(場内)	5月11日	0	0	0	0	0	0	10	0	0	93.3	80.0	50cm
	平年(10年平均)													

青ネギ 《2018年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミクマ	備考
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.3	50.0	25cm タネハエ寄生(約1%程度)
	伊勢市小保町1	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	3.3	30cm
	伊勢市小保町2	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15cm
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.2	17.8	
平年(10年平均)			0.05	0.01	12.7	4.4	0	0	0.05	0.3	0	6.0	37.8	
県予察注	松阪市膳野川北町(場内)	6月5日	0	0	0	0	0	0	0	6.7	0	0.7	100	60cm 露地・無防除
	平年(10年平均)		0	0.08	12	3.3	0	0	16.7	2.2	0.2	7.1	73.2	

青ネギ 《2018年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミクマ	備考
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.0	30cm	4条白マルチ
	伊勢市小保町1	7月7日	0	0	2	5.0	0	0	0	0.7	0	33.3	35cm	4条白マルチ
	伊勢市小保町2	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	20.0	30cm	4条白マルチ
	平均		0	0	0.7	1.7	0	0	0	0.4	0	0.2	31.1	
平年(10年平均)			0.8	0.2	8.8	2.5	0	0	0	1.9	0.1	5.8	22.9	
県予察注	松阪市膳野川北町(場内)	6月29日	0	0	0	0	0	0	2	10.0	0	0.7	90.0	60cm
	平年(10年平均)		2.2	0.6	2.6	1.0	0	0	10.2	7.7	0	9.3	69.7	

青ネギ 《2018年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミクマ	ハスモンヨトウ	備考
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.3	0	0	30cm
	伊勢市小保町1	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.3	0	0	30cm 白絹病確認(発病株率約5%)
	伊勢市小保町2	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0.7	0	0	40cm
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.2	12.4	0	0	
平年(10年平均)			0	0	0	0	0	0	0.07	0.7	9.8	28.1	0.3	0.3	
県予察注	松阪市膳野川北町(場内)	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	66.7	0	0	60cm (露地・無防除)白絹病確認(発病株率約50%)
	平年(10年平均)		0.6	0.2	0	0	0	0	9.3	0	8.9	63.0	0	0	

青ネギ 《2018年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミクマ	ハスモンヨトウ	備考	
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)		被害率 (%)
松阪	松阪市柿木原町	9月11日	0	0	0	0	0	0	0	10.0	20.0	0	0	0	50cm	
	伊勢市東豊浜町	9月8日	0	0	0	0	0	0	1	10	2.0	20.0	0	0	40cm 黒腐病(葉の腐化)	
	伊勢市小保町1	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	30cm	
	伊勢市小保町2	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm 軟腐病・ネギコガ類	
平均			0	0	0	0	0	0	0.2	6.7	6.5	6.0	0	0		
平年(10年平均)			0.03	0.008	0	0	0	0	0	0.3	3.2	21.0	18.5	0.3	0.3	
県予察注	松阪市膳野川北町(場内)	9月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	100	0	0	40cm アザミクマ類:多	
	平年(10年平均)		1	0	0	0	0	0	0	0	29	57	0	0		

青ネギ 《2018年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミクマ	ハスモンヨトウ	備考		
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)		被害率 (%)	草丈
松阪	松阪市柿木原町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	80	3	0	2	2	40cm	
	伊勢市東豊浜町	10月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	3	20	1	0	0	0	40cm 黒腐病
	伊勢市小保町1	10月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	15cm 定植直後
	伊勢市小保町2	10月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	3	20	3	0	0	0	25cm
平均			0	0	0	0	0	0	0	1.7	30.0	4.3	0	0.6	0.6		
平年(10年平均)			0.3	0.08	0	0	0	0	0	0.05	2.7	29.7	17.9	1.5	1.3		
県予察注	松阪市膳野川北町(場内)	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	40cm	
	平年(10年平均)		1	0.1	0	0	0	0	0	1	1	84	42	1	2		

青ネギ 《2018年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モジロトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		寄生株率 (%)
松阪	松阪市柿木原町1	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	20.0	3.3	0	0	40cm	
	伊勢市東豊浜町1	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	3.3	0	0	0	40cm	
	伊勢市小俣町1	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	4.7	0	0	0	0	40cm	
	伊勢市小俣町2	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0.7	0	0	0	40cm	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	6.0	0.8	0	0		
平 年(10年平均)			0.2	0.06	0	0	0	0	0	0.09	0.4	5.3	9.9	0.08	0.3		
					(2年平均)		(2年平均)						(4年平均)		(4年平均)		
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	7	33.3	10.0	0	0	50cm	
	平 年(10年平均)		2	0.5	0	0	0	0	0	0.8	1	8.7	48.6	0	0		

青ネギ 《2018年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モジロトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		寄生株率 (%)
松阪	松阪市柿木原町1	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0.7	10.0	0	0	60cm	
	伊勢市東豊浜町1	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	
	伊勢市小俣町1	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	
	伊勢市小俣町2	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0.2	0	0.2	2.6	0	0		
平 年(10年平均)			0.3	0.09	0.8	0.2	0	0	0	0.09	0.2	1.1	5.6	0.08	0.08		
					(4年平均)		(4年平均)						(4年平均)		(4年平均)		
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	60cm	灰色かび病確認
	平 年(10年平均)		1	0.2	1	0.02	0	0	0	0.09	0	1.1	5.5	0.08	0.08		

青ネギ 《2019年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	備考	
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度			草丈
松阪	松阪市柿木原町	1月11日	0	0	0	0	0	0	1.3	50cm	
	伊勢市東豊浜町	1月7日	0	0	0	0	0	0	0	25cm	
	伊勢市小俣町1	1月7日	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	伊勢市小俣町2	1月7日	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
平均			0	0	0	0	0	0	0.3		
平 年(10年平均)			0.07	0.02	1.9	0.5	0	0	2.1		
					(9年平均)		(9年平均)				
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	1月10日	0	0	0	0	0	0	6.7	40cm	
	平 年(1年平均)		0	0	0	0	0	0	10		

青ネギ 《2019年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	備考	
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度			草丈
松阪	松阪市柿木原町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	50cm	アザミクマ類成虫確認
	伊勢市東豊浜町	2月4日	0	0	0	0	0	0	0.7	40cm	アザミクマ類成虫確認、黒腐菌核病確認
	伊勢市小俣町1	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	40cm	乾燥による葉先枯れ、欠株散見
	伊勢市小俣町2	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	30cm	アザミクマ類成虫確認
平均			0	0	0	0	0	0	0.2		
平 年(10年平均)			0	0	0.4	0.09	0	0	2.1		
					(2年平均)		(2年平均)		(9年平均)		
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	15cm	アザミクマ類成虫確認
	平 年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	8.2		

青ネギ 《2019年3月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モジロトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	備考	
			発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度	発病株率 (%)	発病程度							寄生株率 (%)
松阪	松阪市柿木原町1	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	アザミクマ類成虫確認
	伊勢市東豊浜町	3月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	アザミクマ類成虫確認
	伊勢市小俣町1	3月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	アザミクマ類成虫確認
	伊勢市小俣町2	3月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	アザミクマ類成虫確認、食害株確認
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平 年(10年平均)			0	0	1.2	0.4	0	0	0	0	0	0	0.4		
					(9年平均)		(9年平均)								
県予察ほ	松阪市總野川北町(場内)	3月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	

7.白ネギ

白ネギ 《2018年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイテ モジロトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリバエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	草丈	定植日	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	20.0	20cm	5月18日	開羽一本太
	鈴鹿市岸田町	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	3.3	30.0	30cm	5月1日	開羽一本太
松阪	明和町斎宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	多気町東池上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
平均			0	0	0	0	0	0	0	6.7	0	1.7	25.0			
平 年(1年平均)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.3			
県子額ほ	松阪市郷野川北町(場内)	6月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100	20cm	育苗床	白眉 露地・無防除
	平 年(1年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

白ネギ 《2018年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイテ モジロトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリバエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	草丈	定植日	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	7月6日	2	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	35cm	開羽一本太	葉先に謎の食害あり
	鈴鹿市岸田町	7月6日	2	5.0	2	5.0	0	0	0	0.7	0	1.3	3.3	70cm	開羽一本太	
松阪	明和町佐田	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	20.0	25cm	吉宗	
	多気町東池上	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0	0.7	60.0	25cm	龍翔	
平均			1.0	2.5	0.5	1.3	0	0	0	0.5	0	0.8	19.2			
平 年(前年)			0.4	1.0	0.4	1.0	0	0	0	14.8	0	2.8	39.6			
県子額ほ	松阪市郷野川北町(場内)	6月29日	2	2	0	0	0	0	0	10.0	0	0	90.0	50cm	白眉	露地・無防除
	平 年(前年)		0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	10.0	80.0			

白ネギ 《2018年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイテ モジロトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリバエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		草丈	定植日	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)			
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	1.3	0	0	0	60cm	5月18日	開羽一本太 台風12号による倒伏被害確認
	鈴鹿市岸田町	7月30日	2	5	0	0	0	0	0	0.7	20.0	20.0	0	0	0	70cm	5月1日	開羽一本太 軟腐病確認
松阪	明和町佐田	7月27日	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0.7	0	0	0	30cm	6月13日	吉宗
	多気町東池上	7月27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.3	0	0	0	20cm	6月15日	龍翔 軟腐病確認
平均			0.4	1.0	0	0	0	0	0	0.8	4.4	5.1	0	0				
平 年(10年平均)			0.8	2.0	0	0	0	0	0	0.5	11.9	46.0	0	0				
県子額ほ	松阪市郷野川北町(場内)	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90.0	0	0	50cm	6月15日	白眉 (露地・無防除)
	平 年(1年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

白ネギ 《2018年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイテ モジロトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリバエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		草丈	定植日	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)			
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	9月6日	2	5	0	0	0	0	0.0	0.0	60.0	6.7	0	0	0	70cm	5月18日	開羽一本太 台風による倒伏被害、草丈
	鈴鹿市岸田町	9月6日	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	40.0	3.3	0	0	0	60cm	6月1日	開羽一本太 軟腐病、ネグニ菌類
松阪	明和町佐田	9月11日	0	0	0	0	0	0	3.3	10.0	3.3	100.0	0	0	0	60cm	6月13日	吉宗
	多気町東池上	9月11日	0	0	0	0	8	15	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	20cm	6月16日	龍翔 ネグニ、葉腐(黒光病)ノ菌類、Curvularia、Alte
平均			0.5	1.25	0	0	1.5	3.75	0	0.8	2.5	33.3	27.5	0	0			
平 年(1年平均)			0.8	2.0	0	0	0	0	0	6.0	0	42.0	30.7	0	0			
県子額ほ	松阪市郷野川北町(場内)	9月7日	2	5	0	0	0	0	0.0	0.0	1.3	86.7	0	0	0	60cm	6月16日	白眉
	平 年(1年平均)		0	0	0	0	0	0	0	6.7	0	66.7	66.7	0	0			

白ネギ 《2018年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイテ モジロトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリバエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		草丈	定植日	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)			
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	93.3	0.0	2	2	70cm	5月22日	
	鈴鹿市岸田町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	20.0	20.0	0	0	60cm	5月17日	
松阪	明和町佐田	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	10.0	0	0	60cm	6月13日	
	多気町東池上	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	30cm	6月16日	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	24.8	6.0	0.4	0.4	-		
平 年(1年平均)			0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	40	6.7	0	0			
県子額ほ	松阪市郷野川北町(場内)	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	66.7	3.3	0	0	60cm	6月16日	
	平 年(1年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	40	6.7	0	0			

白ネギ 《2018年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 発生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイテ モジトク 被害率 (%)	ネギハモ クリバエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	11月7日	10	25	0	0	0	0	0.0	0	0	6.7	0.0	0	0	60cm	5月22日
	鈴鹿市岸田町	11月7日	4	10	0	0	0	0	0.0	0	0	20.0	0.0	0	0	60cm	5月17日
松阪	明和町佐田	11月6日	40	75	0	0	0	0	0.0	0	0	0.7	50.0	0	0	60cm	6月13日
	多気町東池上	11月6日	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.7	0.7	0	0	60cm	6月16日
平均			13.5	27.5	0	0	0	0	0.0	0	0	7.0	12.7	0	0	-	
平年(1年平均)			1.8	0.5	0	0	0	0	0	0.8	0.5	8.7	48.5	0	0		
果予線沿	松阪市藤野川北町(場内)	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	66.7	0	0	60cm	6月16日
	平均(1年平均)		2	5	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0		

白ネギ 《2018年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 発生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイテ モジトク 被害率 (%)	ネギハモ クリバエ 被害率 (%)	ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	12月6日	20	50	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	60	5月22日 関羽一本太
	鈴鹿市岸田町	12月6日	30	75	0	0	0	0	0	0	0	6.7	0	0	0	60	5月17日 関羽一本太
松阪	明和町佐田	12月4日	20	50	0	0	0	0	0	0	0	30.0	0	0	0	60	6月13日 吉宗
	多気町東池上	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	60	6月16日 龍翔
平均			17.5	43.8	0	0	0	0	0	0	0	9.3	0	0	0		
平年(1年平均)			1.2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0		
果予線沿	松阪市藤野川北町(場内)	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	60	6月16日 石倉一本太
	平均(1年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

白ネギ 《2019年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度			被害率 (%)	草丈
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	1月8日	0	0	0	0	0	0	0.0	60	関羽一本太	収穫中
	鈴鹿市岸田町	1月8日	0	0	0	0	0	0	0.0	60	関羽一本太	収穫中
松阪	明和町佐田	1月11日	0	0	0	0	0	0	10	70	吉宗	収穫中
	多気町東池上	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	50	龍翔	収穫中
平均			0	0	0	0	0	0	2.5			
平年(1年平均)			0	0	0	0	0	0	16			
果予線沿	松阪市藤野川北町(場内)	1月10日	0	0	0	0	0	0	6.7	60	石倉一本太	
	平均(1年平均)		0	0	0	0	0	0	0			

白ネギ 《2019年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザ ミクマ 被害率 (%)	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度			被害率 (%)	草丈
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	2月5日	-	-	-	-	-	-	-	0	5月22日	関羽一本太 収穫終了
	鈴鹿市岸田町	2月5日	-	-	-	-	-	-	-	0	5月17日	関羽一本太 収穫終了
松阪	明和町佐田	2月6日	0	0	0	0	0	0	3.3	60	6月13日	吉宗
	多気町東池上	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	60	6月16日	龍翔
平均			0	0	0	0	0	0	1.7			
平年(1年平均)			0	0	0	0	0	0	1.1			
果予線沿	松阪市藤野川北町(場内)	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	60	6月16日	石倉一本太
	平均(1年平均)		0	0	0	0	0	0	0			

広域防除員聞き取り調査結果（野菜）

作物名：トマト
2018年10月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	10月5日	木曾岬町加路戸	ひなた	無	無	多 (前年比)	無	無	作型：抑制、定植日：8月20日 開花段数：4段目、 着果数：3～4果、最終：7段、 生育良好、2本仕立て 2月中旬に半促成栽培へ切り替え
	2	10月5日	木曾岬町外平喜	CF桃太郎はるか	無	無	少 (前年比)	無	無	作型：促成、定植日：9月9日 開花段数：2段、 収穫予定：11月20日頃～ 樹勢が弱い、徒長ぎみ。 2本仕立て
	3	10月5日	木曾岬町小和泉	みそら64	無	無	少 (前年比)	無	無	作型：抑制、定植日：8月9日 開花段数：6段目、着果数：3～4果 収穫初日：9月30日 ロックワール栽培、2本仕立て9段取り、樹勢良好
	4	10月5日	木曾岬町中和泉	りんか409	無	無	少 (前年比)	無	無	作型：抑制、定植日：8月29日 開花段数：2～3段目、 収穫予定：11月上旬～ 2本仕立て、長段取り、生育良好
	5	10月5日	木曾岬町源緑輪中	りんか409はるか	-	-	-	-	-	作型：半促成、定植日：11月上旬以降 本ば未定植

作物名：トマト
2019年2月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	2月1日	木曾岬町加路戸	CF桃太郎はるか	無	無	多	無	無	作型：半促成、定植日：10月25日 開花段数：5段目、収穫段数：1段目 着果数：4～5果、5段で摘芯、やごで5段取り 最終：10段 黄化葉巻病が上部で発生、そのほかは順調
	2	2月1日	木曾岬町外平喜	CF桃太郎はるか	無	無	やや多	無	無	作型：促成、定植日：9/10 収穫段数：6段目 着果数：5果 天候良かったので収量多い、暖房は平年並
	3	2月1日	木曾岬町小和泉	CFハウス桃太郎	無	並	やや多	無	無	作型：促成、定植日：9/10 開花段数：10段目、収穫段数：4段目、着果数：4果 ロックワール栽培、2本仕立て、樹勢平年並
	4	2月1日	木曾岬町中和泉	りんか409	無	やや多	多	無	無	作型：抑制、定植日：9/5 収穫段数：6～7段目、開花段数：11段目 着果数：4個、生育良好 台風時にかん水しておよそ半分植え替える
	5	2月1日	木曾岬町源緑輪中	りんか409はるか	無	やや多	多	無	無	作型：半促成、定植日：11/2～3 開花段数5～6段、収穫2月5～10日ごろ開始、 着果数：5～6果、5～6段で摘芯しやごで7～8段。最終：14段

3. 気象データ

(1) 気象概況(津地方気象台)

月	旬	気温	降水量	日照時間	備 考
2018 1	上	□	□	●	日照時間がかかなり多いが、気温は前半低く、後半高く変動。
	中	□	●	□	低気圧の影響により、この時期としては降水量が多かった。
	下	▲	□	△	気温が平年よりかなり低く、強い寒気で北部中心に大雪。
2	上	△	□	○	寒気が流れ込み、気温は平年より低かった。
	中	△	▲	●	冬型の気圧配置や高気圧に覆われ、晴天日が多かった。
	下	○	△	○	低気圧の日本海通過に伴う南風の影響で、後半は気温高。
3	上	○	●	□	低気圧や暖かい風の影響で雨の日が多く、気温は高。
	中	○	□	●	冬型の気圧配置や高気圧で晴れ多く、少雨。
	下	□	○	□	高気圧と暖かい空気に覆われ、晴れて気温が高かった。
4	上	●	●	○	前半は高気圧に覆われたが、後半は前線の影響で雨多。
	中	○	●	□	天気が周期的に変わり、晴天日が多かったが北中部で多雨。
	下	●	□	○	高気圧に覆われ晴天日が多くなり、気温高く日照時間多。
5	上	□	○	○	晴天、降雨日ともに多。1日には今年初めて真夏日(亀山)。
	中	●	□	●	高気圧に覆われ、かなり気温が高く日照時間が多かった。
	下	○	□	△	暖かい空気に覆われて、気温が高い日が多かった。
6	上	○	○	●	前半は高気圧に覆われたが、後半は前線の影響で多雨。
	中	△	○	□	低気圧や前線の影響により、雨の日が多かった。
	下	○	△	●	暖かい空気の影響で、27日には今年初めて猛暑日(粥見)。
7	上	○	○	□	晴天日あったが、雨の日多。9日ごろ梅雨明け(東海地方)。
	中	●	▲	●	高気圧に覆われ全期間通じて、極端な高温が続いた。
	下	●	□	○	高気圧に覆われ晴れた日が多かった。
8	上	●	▲	●	高気圧に覆われ晴れた日が多かった。
	中	△	○	□	湿った空気の影響で曇りや雨の日多。
	下	●	○	●	湿った空気の影響で、大気の状態が不安定。台風20号。
9	上	□	○	▲	湿った空気の影響で曇りや雨の日多。
	中	□	□	△	湿った空気の影響により、ぐずついた天気が続いた。
	下	□	●	△	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日多。台風24号。
10	上	●	△	○	晴天日あったが、前線や湿った空気の影響で曇り雨が多。
	中	□	△	▲	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日多。
	下	□	△	●	高気圧に覆われ晴れた日が多かった。
11	上	○	○	□	天気は周期的に変化。
	中	○	▲	○	天気は周期的に変化。
	下	○	□	□	天気は周期的に変化。
12	上	●	□	▲	暖かい空気に覆われることが多く、曇りの日が多かった。
	中	□	○	▲	気圧の谷や低気圧の影響で、ぐずついた天気が多かった。
	下	□	○	△	期間の終わりは冬型の気圧配置。28日は津で初氷を観測。

気 温: ▲かなり低い △低い □平年並 ○高い ●かなり高い
 降 水 量: ▲かなり少ない △少ない □平年並 ○多い ●かなり多い
 日 照: ▲かなり少ない △少ない □平年並 ○多い ●かなり多い

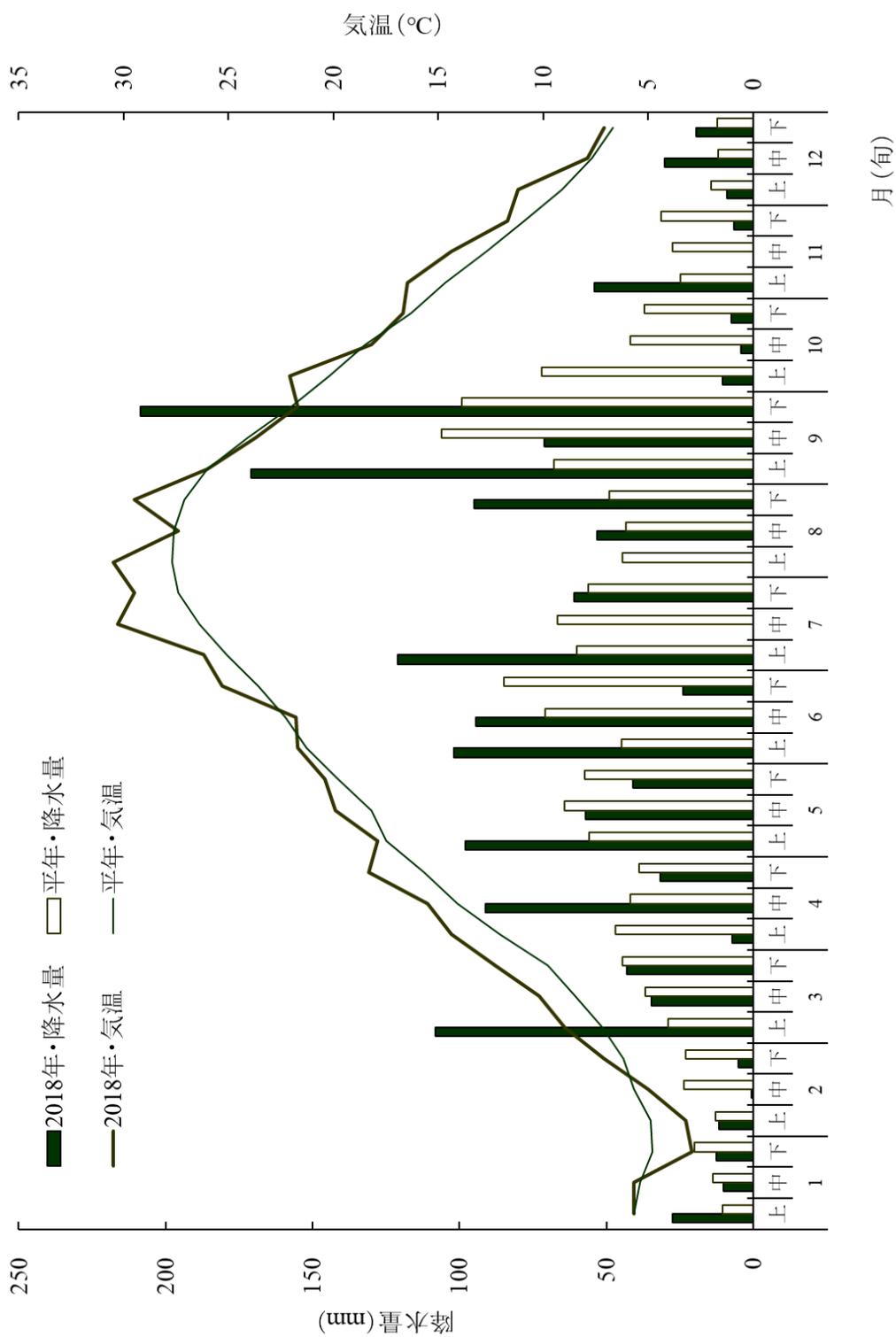
(2) 旬別気象表(津地方気象台)

月	旬	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)	
		2018年	平年	2018年	平年	2018年	平年
1	上	5.7	5.7	27.5	10.3	47.6	53.7
	中	5.7	5.4	10.0	13.7	76.9	53.6
	下	2.9	4.8	12.5	19.9	49.2	59.2
2	上	3.2	4.9	11.5	12.7	61.7	52.1
	中	5.0	5.7	0.5	23.5	69.8	50.0
	下	7.1	6.2	5.0	22.9	52.8	43.9
3	上	9.0	7.2	108.0	28.8	57.0	59.1
	中	10.2	8.5	34.5	36.6	69.9	59.1
	下	12.3	9.8	43.0	44.6	100.9	61.1
4	上	14.4	12.1	7.0	47.0	72.8	60.1
	中	15.5	14.1	91.0	41.9	64.1	63.2
	下	18.3	15.7	31.5	38.9	81.9	65.8
5	上	17.9	17.5	98.0	55.9	66.9	58.2
	中	19.9	18.2	57.0	64.1	89.4	54.7
	下	20.4	19.8	41.0	57.2	59.8	72.4
6	上	21.7	21.3	102.0	44.9	73.5	59.1
	中	21.8	22.3	94.5	70.8	50.2	47.1
	下	25.3	23.6	24.0	84.8	65.2	36.5
7	上	26.2	25.1	121.0	60.0	54.4	52.7
	中	30.3	26.4	0.0	66.6	106.6	54.2
	下	29.5	27.4	61.0	56.2	100.9	81.9
8	上	30.5	27.7	0.0	44.5	106.6	72.8
	中	27.4	27.6	53.0	43.4	74.3	69.6
	下	29.5	27.1	95.0	49.1	98.3	72.4
9	上	26.0	26.0	171.0	67.9	34.2	66.0
	中	23.7	24.1	71.0	106.1	38.7	54.6
	下	21.7	22.0	208.5	99.1	29.8	48.2
10	上	22.1	20.2	10.5	71.9	56.9	47.7
	中	18.2	18.5	4.0	41.7	36.0	55.0
	下	16.7	16.3	7.5	37.1	80.6	62.1
11	上	16.5	14.7	54.0	24.8	46.6	54.8
	中	14.4	12.7	0.0	27.4	62.9	53.0
	下	11.7	10.9	6.5	31.4	62.3	55.6
12	上	11.2	9.1	9.0	14.4	28.5	58.9
	中	7.9	7.7	30.0	11.9	47.5	58.3
	下	7.1	6.7	19.5	12.3	51.2	62.7

※平年値は、1981年から2010年までの30年間による地上気象観測での値。

※気象庁発表「気象統計情報」より作成。

(3) 気象グラフ



平成30年 旬別気温と降水量(津地方気象台・地上気象観測)

平成 30 年度植物防疫年報

発行 2020 年 1 月 15 日
三重県病虫害防除所

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町 530

Tel 0598-42-6365

Fax 0598-42-7568